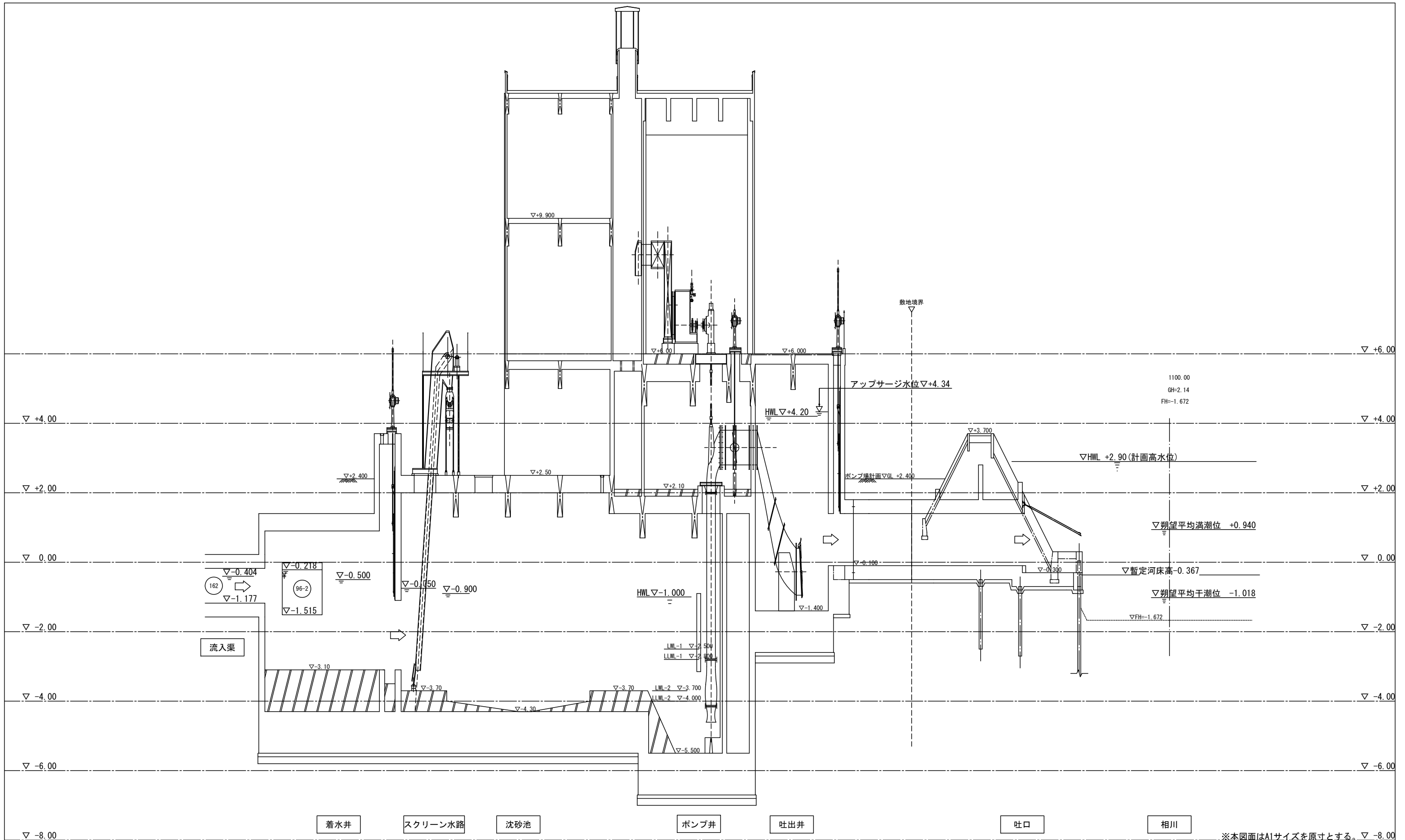


※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	一般平面図		
縮尺	1/250	図面番号	1/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



流入渠

着水井

スクリーン水路

沈砂池

ポンプ井

吐出井

吐口

相川

は後打ち無筋コンクリート

※本図面はA1サイズを原寸とする。▽ -8.00

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	水位関係図		
縮尺	V=1/100	図面番号	2/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

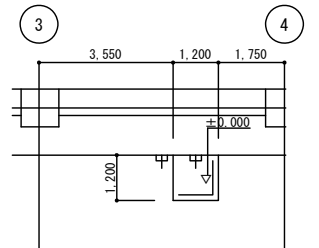
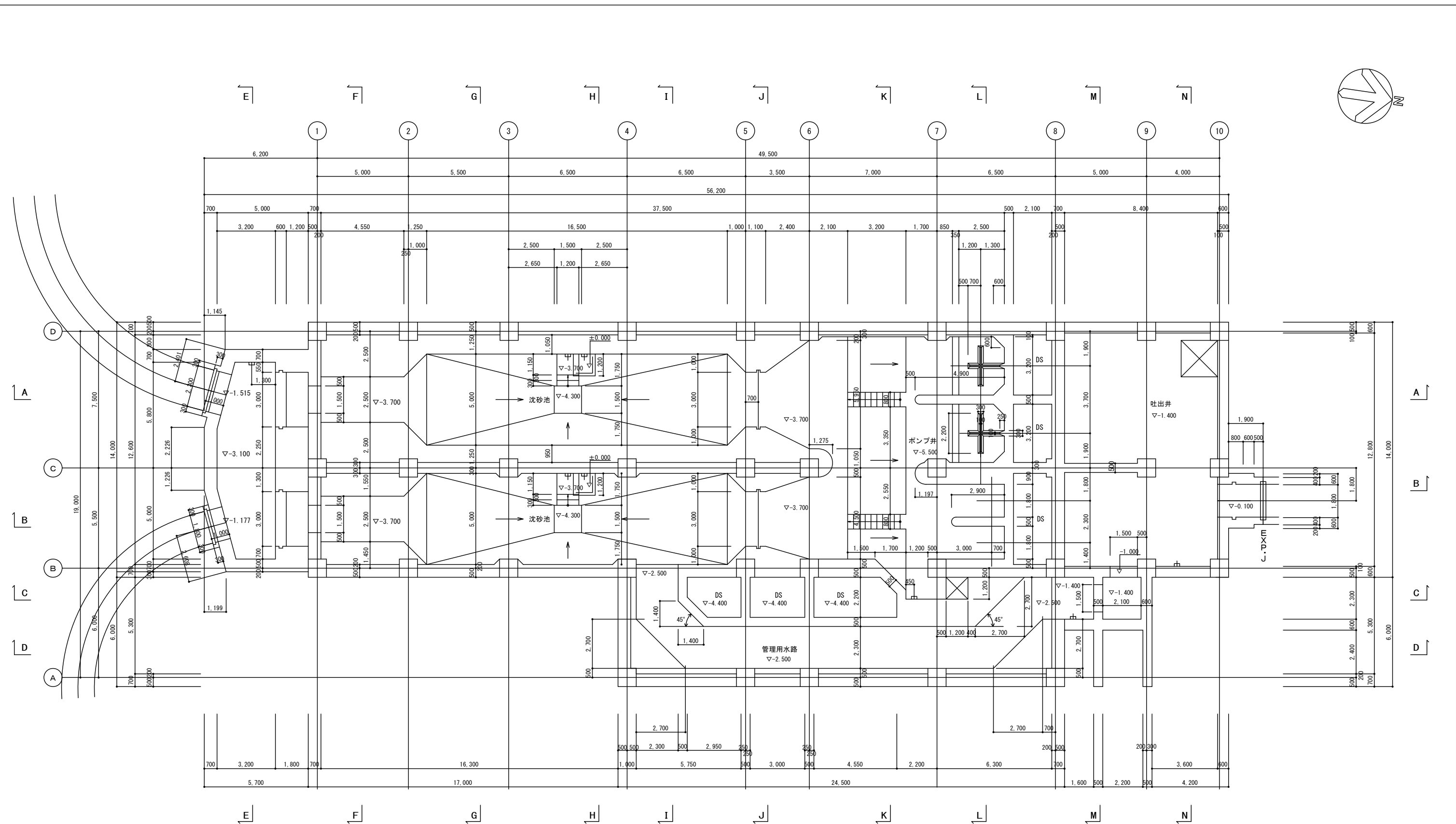
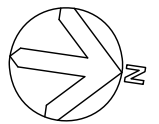
工事区分一覧表

(工事区分の記載事項については区分が不明確になる恐れのあるものについて記入する。)

NO	項目	場所	建築工事	建築機械 設備工事	建築電気 設備工事	土木工事	プラント機械 設備工事	プラント電気 設備工事	備考	NO	項目	場所	建築工事	建築機械 設備工事	建築電気 設備工事	土木工事	プラント機械 設備工事	プラント電気 設備工事	備考	記載項目例	
1	躯体	1SLより上部	○						2SL床開口立上り共	33	屋内アルミ手摺	2階エンジン室搬出入スペース	○							・躯体	・ポーチ
2		1SLより下部、吐出井				○			1SL床開口立上り共	34		上記以外				○				・捨コン	・客土
3	掘削・埋戻し					○				35	竖樋	GL+100より上部	○							・砂利地業	・足洗場
4	地業	捨てコンクリート				○				36	コンクリートフード	外壁部	○							・止水板	・スロープ
5	箱抜	全箇所	○ (1SL上部)			○ (1SL下部)				37	金属製フード	外壁部		○						・スリーブ	・床流し
6	スリーブ	プラント用	○ (1SL上部)			○ (1SL下部)				38	有圧扇取付枠			○						・箱抜	・花壇
7		建築機械、建築電気用		○	○	○ (1SL下部)				39	洗面器、化粧鏡	2階WC		○						・仕上	・流し台
8	取合差筋	土木躯体/建築躯体				○				40	ホイストレール	2階エンジン室	○							・取合差筋	・コンロ台
9	コンクリート立上り	2階エンジン室 原動機置場	○ (差筋)				○ (立上り)			41	燃料小出槽防油堤						○			・マンホール蓋	・水切棚
10	フリーアクセスフロアー	2階電気室						○		42	地下貯油槽						○		外殻含む	・ハンドホール	・吊戸棚
11	床 無筋コンクリート	1階ポンプ室、2階エンジン室					○			43	くつ洗い流し		○ (仕上げ)	○ (水栓)		○ (躯体)				・タラップ	・浴槽
12		2階給気ファン室、2階排気ファン室		○						44	ハンドホール		○			○				・ホイストレール	・スノコ
13		水路・水糟部				○				45	雨水枡								(場内整備)	・受枠及蓋	・バランス釜
14		上記以外	○							46										・ドレーン	・防火パン
15	帯電防止タイル	2階電気室						○		47										・樋	・安全水槽
16	床用塗料	1階ポンプ室					○			48										・換気扇取付枠	・フード
17		上記以外	○							49										・床排水目皿	・配管トラフ
18	自家発電機基礎	2階エンジン室						○		50										・連通管	・配管ビット
19	消音機基礎	1階ポンプ室					○	○		51										・トップライト	
20	グレーチング蓋	(GT-2, 4, 5, 6)				○ (受枠)	○			52										・ルーフファン	
21		上記以外				○				53										・防液堤	
22	手すり一体型開口蓋	エンジン室 (KT-1)	○							54										・床無筋コンクリート	
23	足掛金物	水位計用ビット (TA-5, 4)	○ (地上)			○ (地下)				55										・床仕上	
24		ハンドホール (TA-9)	○ (地上)			○ (地下)				56										・機械基礎及差筋	
25		上記以外				○				57										・階段室及段ウラ	
26	マンホール蓋	水位計用ビット蓋、ハンドホール蓋	○							58										・側溝	
27		上記以外				○				59										・グレーチング	
28	床モルタル金こて	階段室	○						ノンスリップ金物共	60										・手摺	
29	塩ビ製ハンドレール	階段室	○							61										・雨水枡	
30	屋外アルミ手摺	電気室搬入バルコニー	○							62										・笠木	
31		上記以外				○				63										・ノンスリップ	
32	搬入用開口蓋(取外式屋根)	2階エンジン室屋根	○							64										・地下貯油槽外殻	

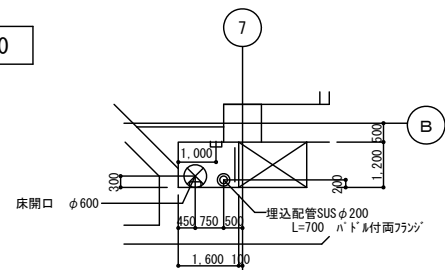
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	工事区分一覧表		
縮尺	-	図面番号	3/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



±0.000平面図 S=1/100

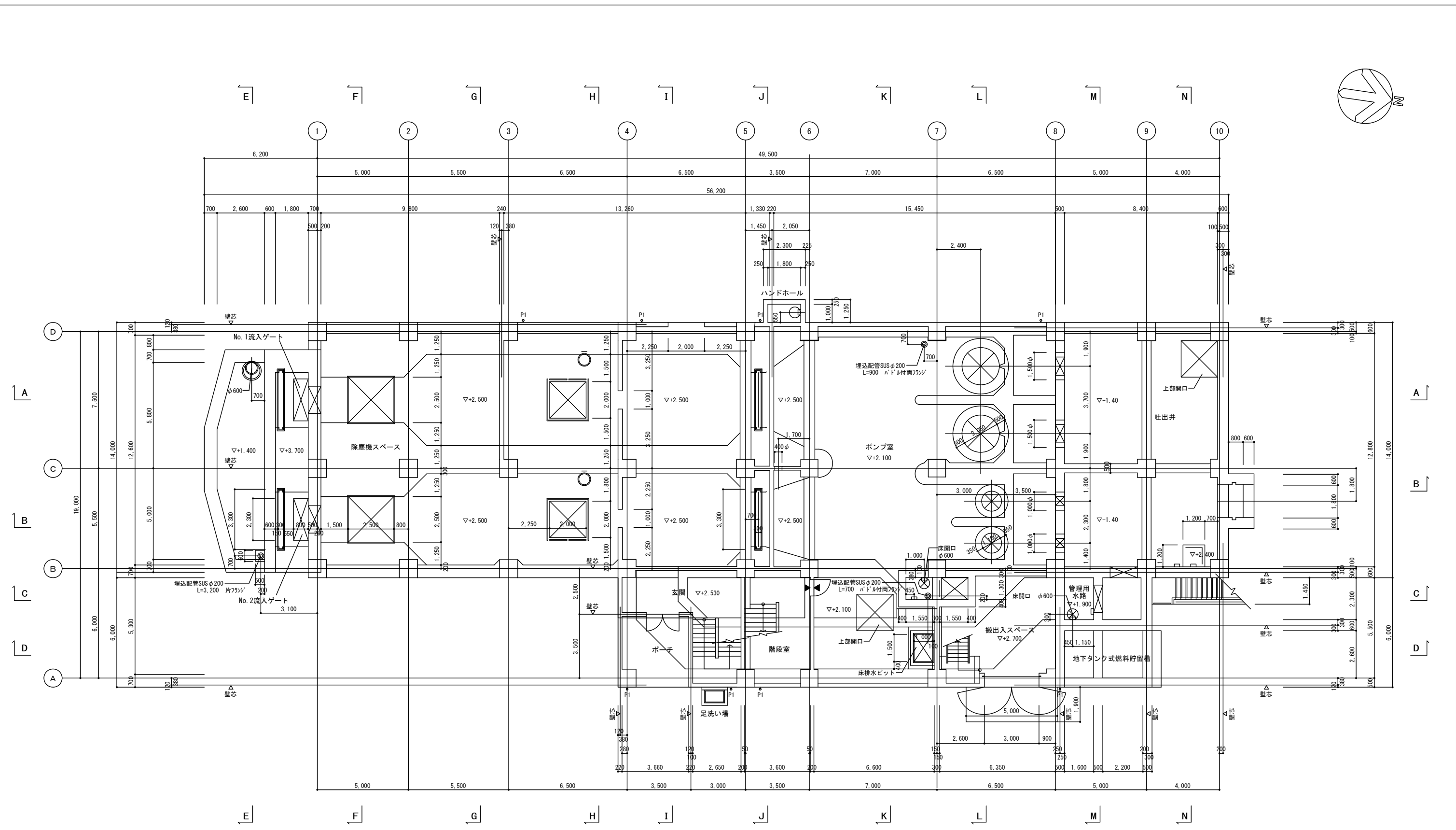
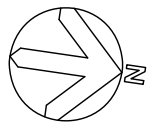
水路部 平面図 S=1/100



-1.900平面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	水路部 平面図
縮尺	1/100 図面番号 4/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課

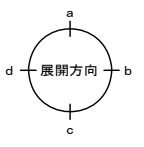


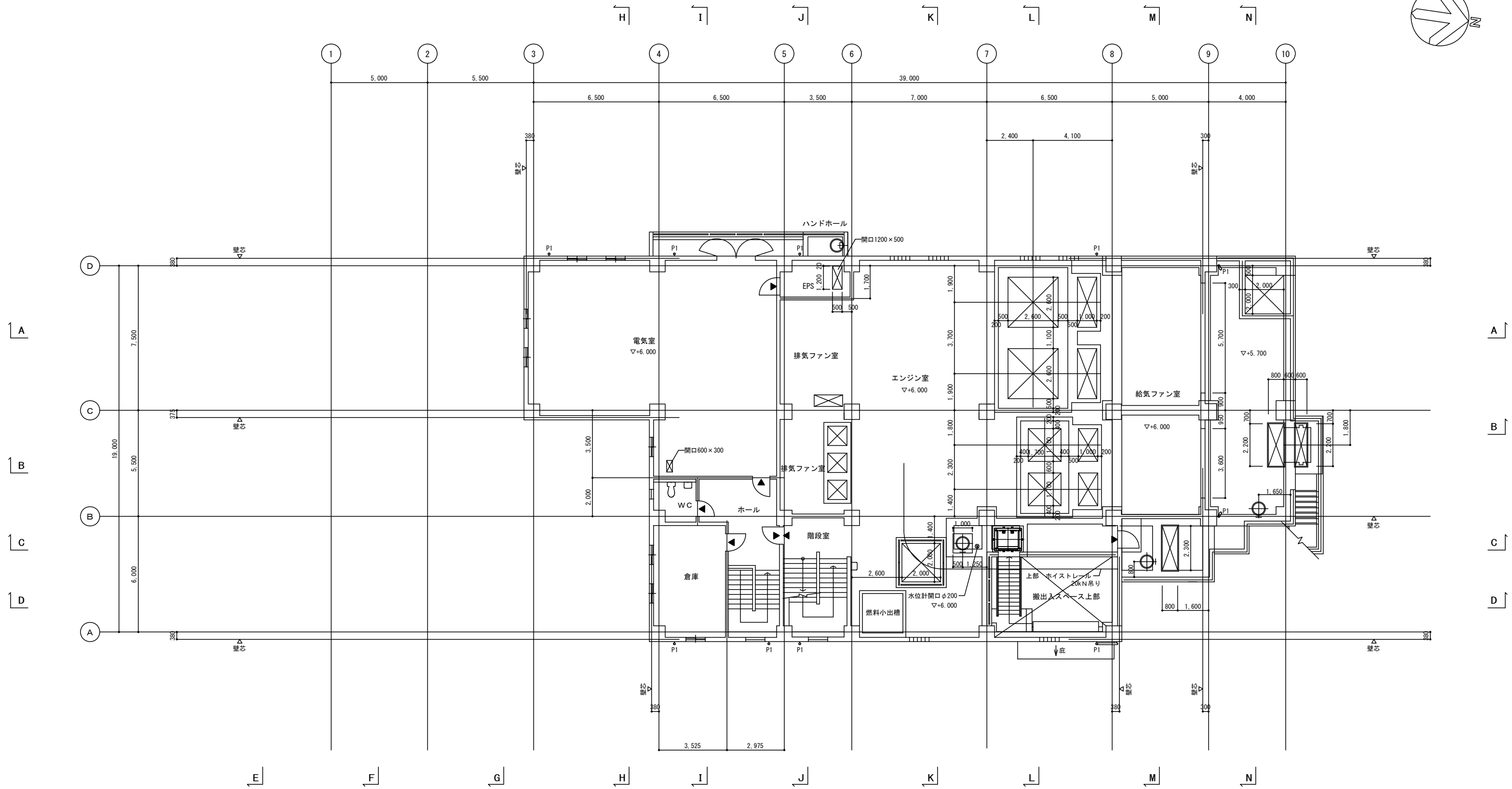
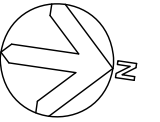
- 注記)
- P1は縦樋100φを示す。
 - RD1はルーフトレイン(横引型)100Aを示す。
 - ▼は室名札 平付(250×50既製品)を示す。

1階 平面図 S=1/100


※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	1階 平面図
縮尺	1/100 図面番号 5/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課

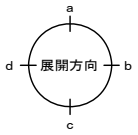




注記)

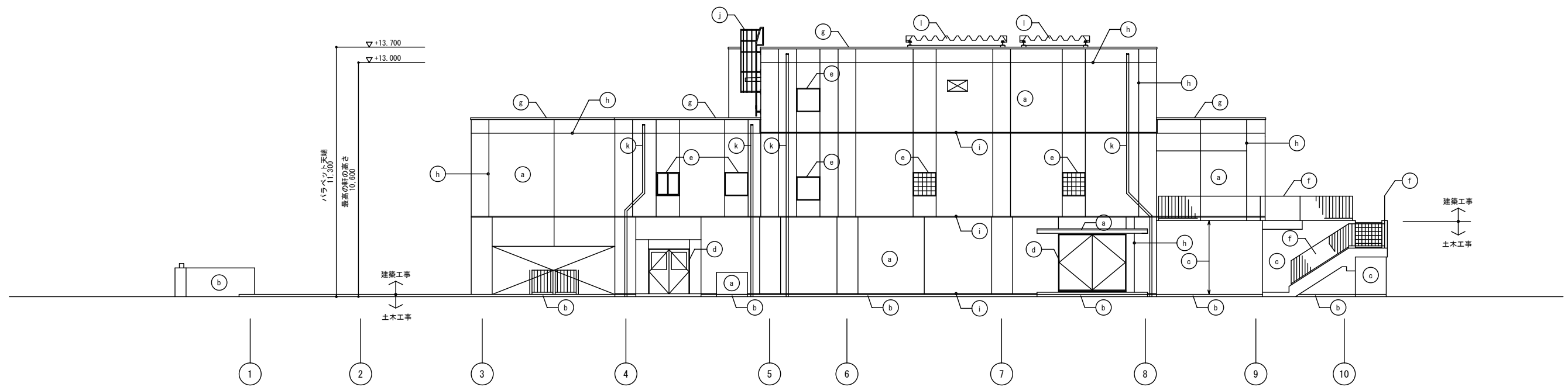
1. ○ P1は縦樋100φを示す。
2.  RD1はルーフトレイン（横引型）100Aを示す。
3. ▼ は室名札 平付（250×50既製品）を示す。

2階 平面図 S=1/100

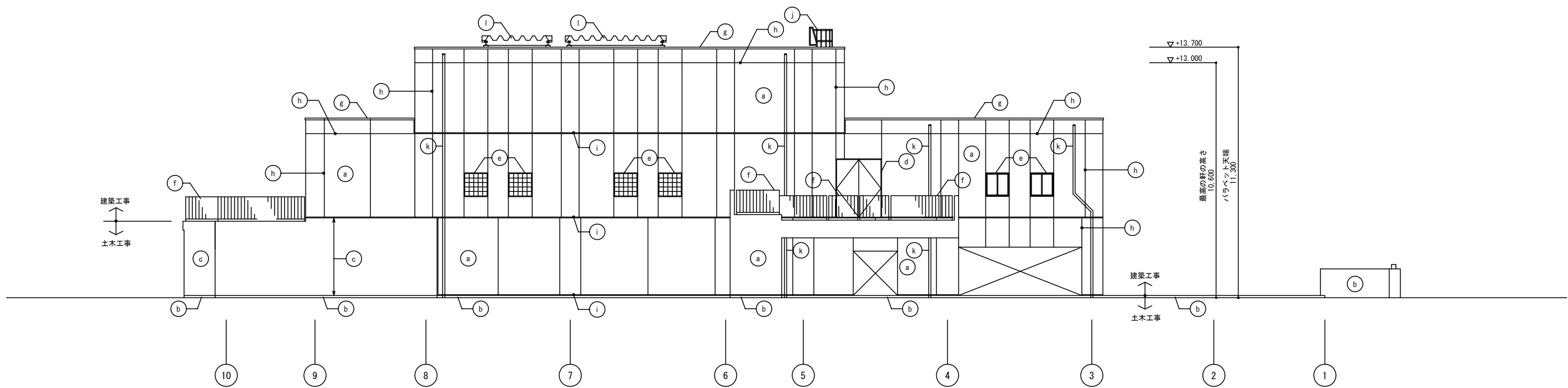


※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	2階 平面図		
縮尺	1/100	図面番号	6/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



東立面図 S=1/100



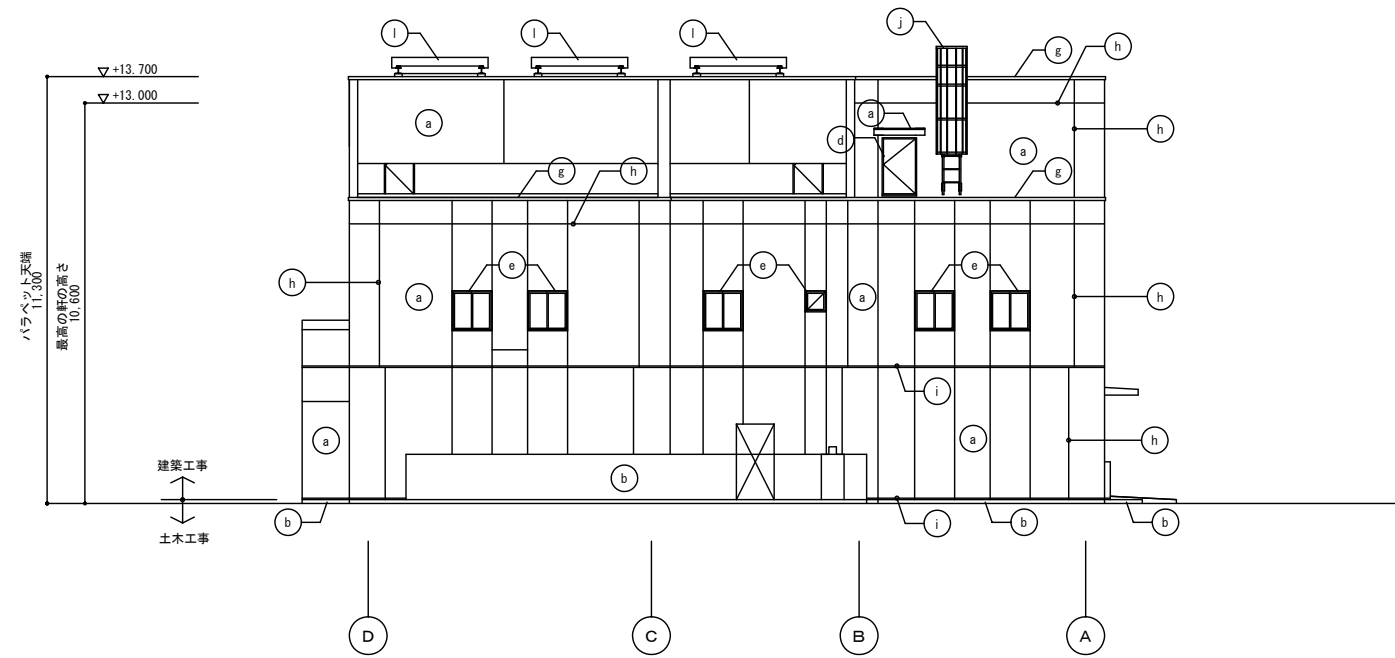
西立面図 S=1/100

仕上凡例	
(a) コンクリート打放しの上覆層塗材 (RE)	(f) アルミ製笠木 (B-1)
(b) <コンクリート打放し> (C)	(g) 誘発目地
(c) <コンクリート打放し> (C)の上覆層塗材 (RE)	(h) 打継目地
(d) 鋼製建具 DP	(i) ステンレス製安全ガード付タラップ
(e) アルミ製建具 (B-1)	(j) 配管用銅管 (白管) SGP100A DP
(f) アルミ製手摺 (B-1)	(k) 屋根搬入口蓋折板葺き

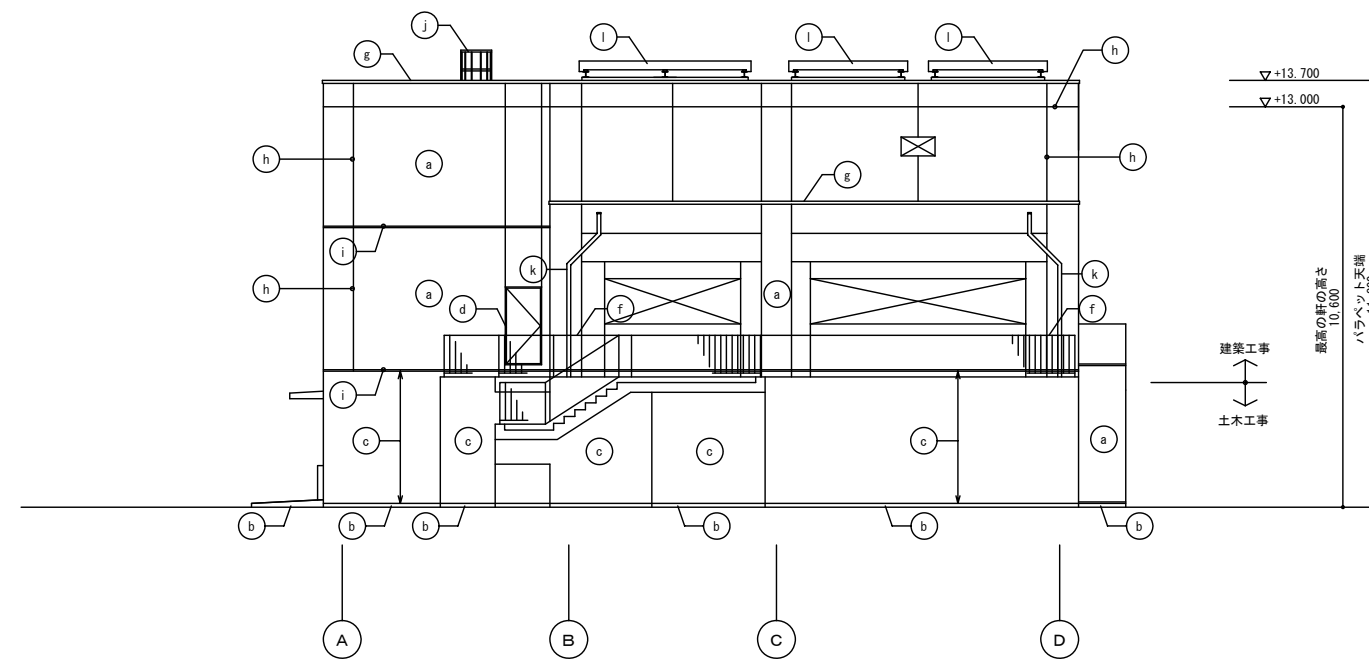
凡例	
—	ラインは、設計上の打継目地部分を示す。
- - -	破線ラインは、設計上の誘発目地部分を示す。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	立面図(1)		
縮尺	1/100	図面番号	7/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



南立面図 S=1/100



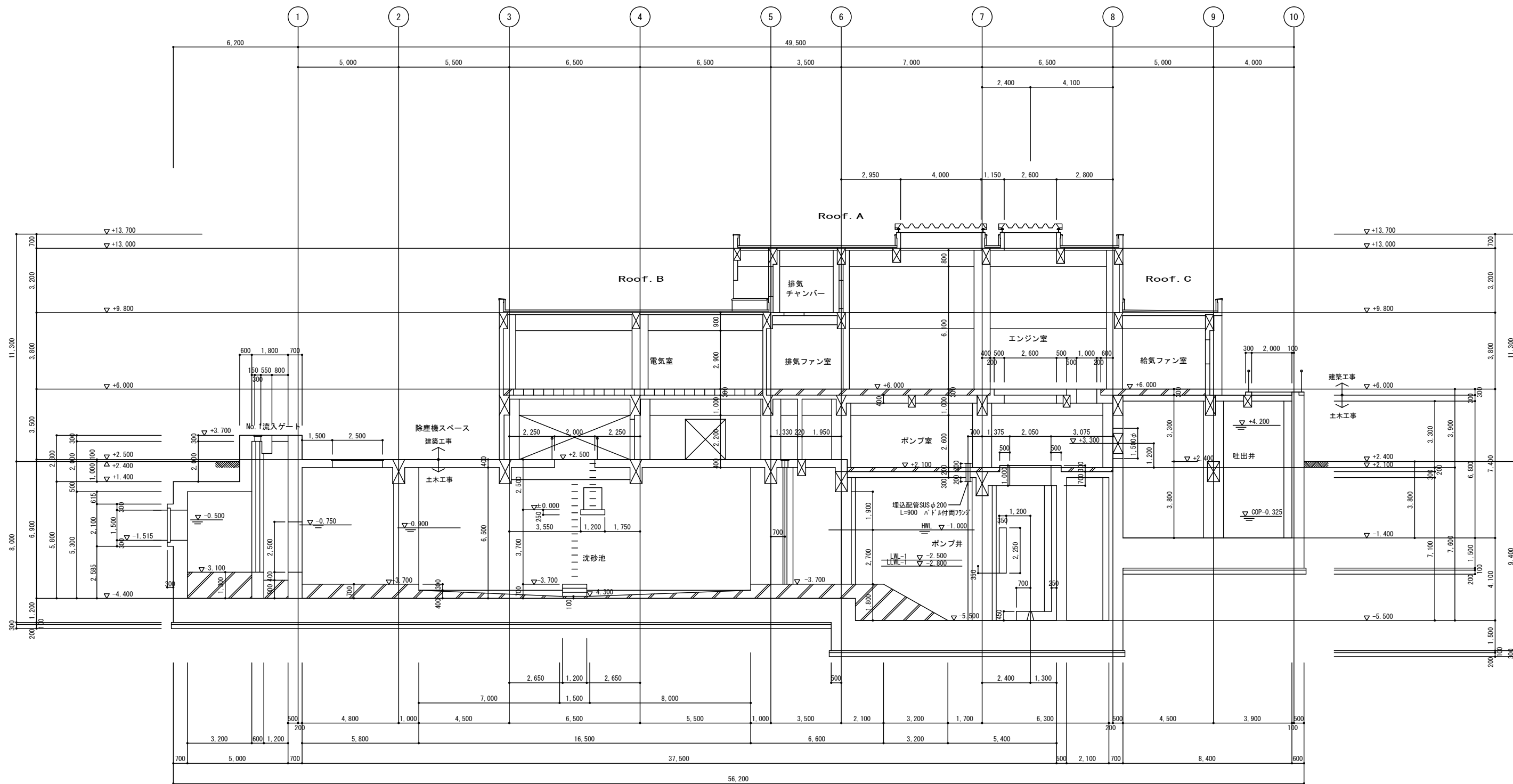
北立面図 S=1/100

仕上凡例	
(a) コンクリート打放しの上覆層塗材 (RE)	(g) アルミ製笠木 (B-1)
(b) <コンクリート打放し> (C)	(h) 誘発目地
(c) <コンクリート打放し> (C)の上覆層塗材 (RE)	(i) 打継目地
(d) 鋼製建具 DP	(j) ステンレス製安全ガード付タラップ
(e) アルミ製建具 (B-1)	(k) 配管用鋼管 (白管) SGP100A DP
(f) アルミ製手摺 (B-1)	(l) 屋根搬入口蓋折板葺き

凡例	
—	ラインは、設計上の打継目地部分を示す。
- - -	破線ラインは、設計上の誘発目地部分を示す。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

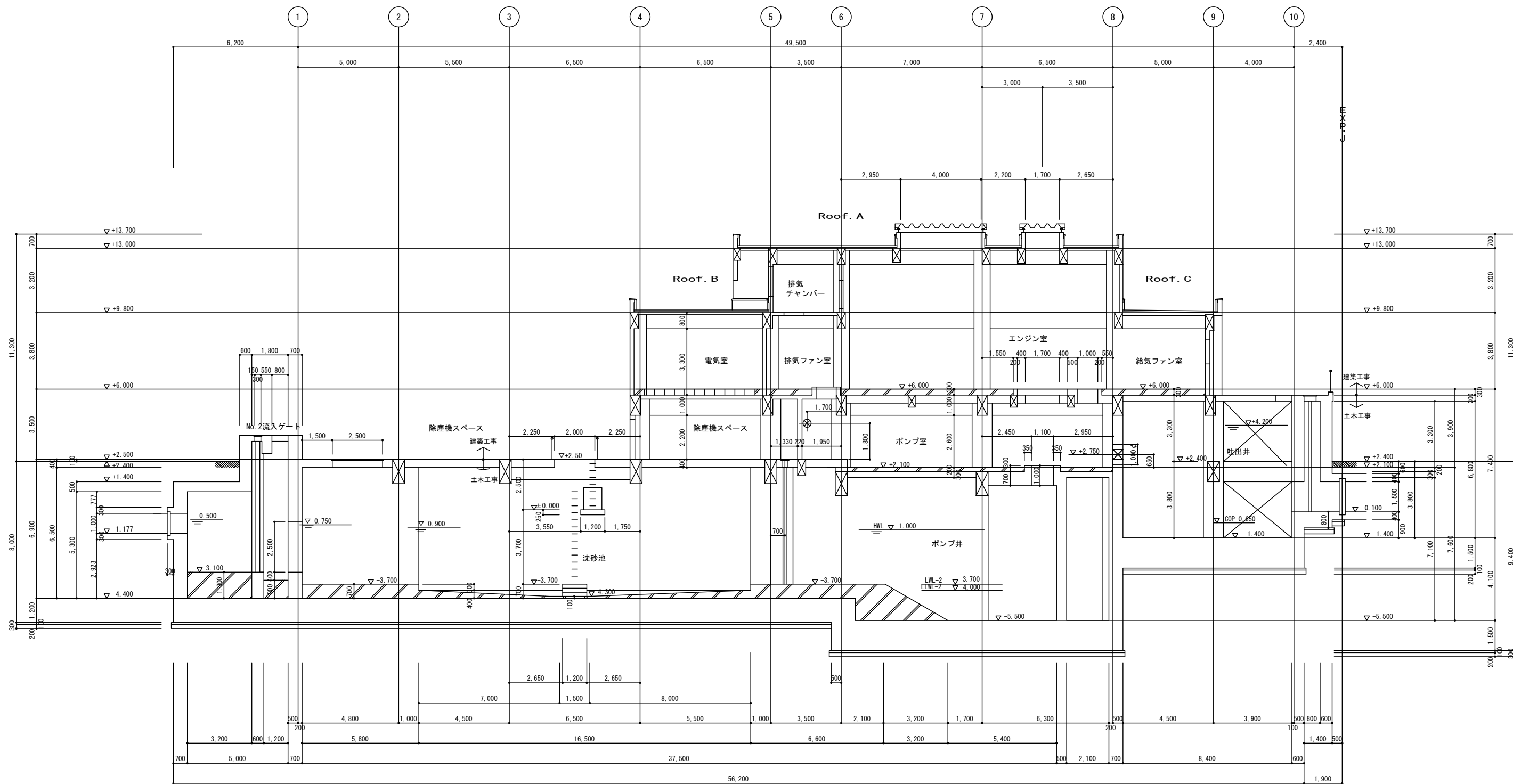
工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	立面図(2)		
縮尺	1/100	図面番号	8/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



A-A断面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

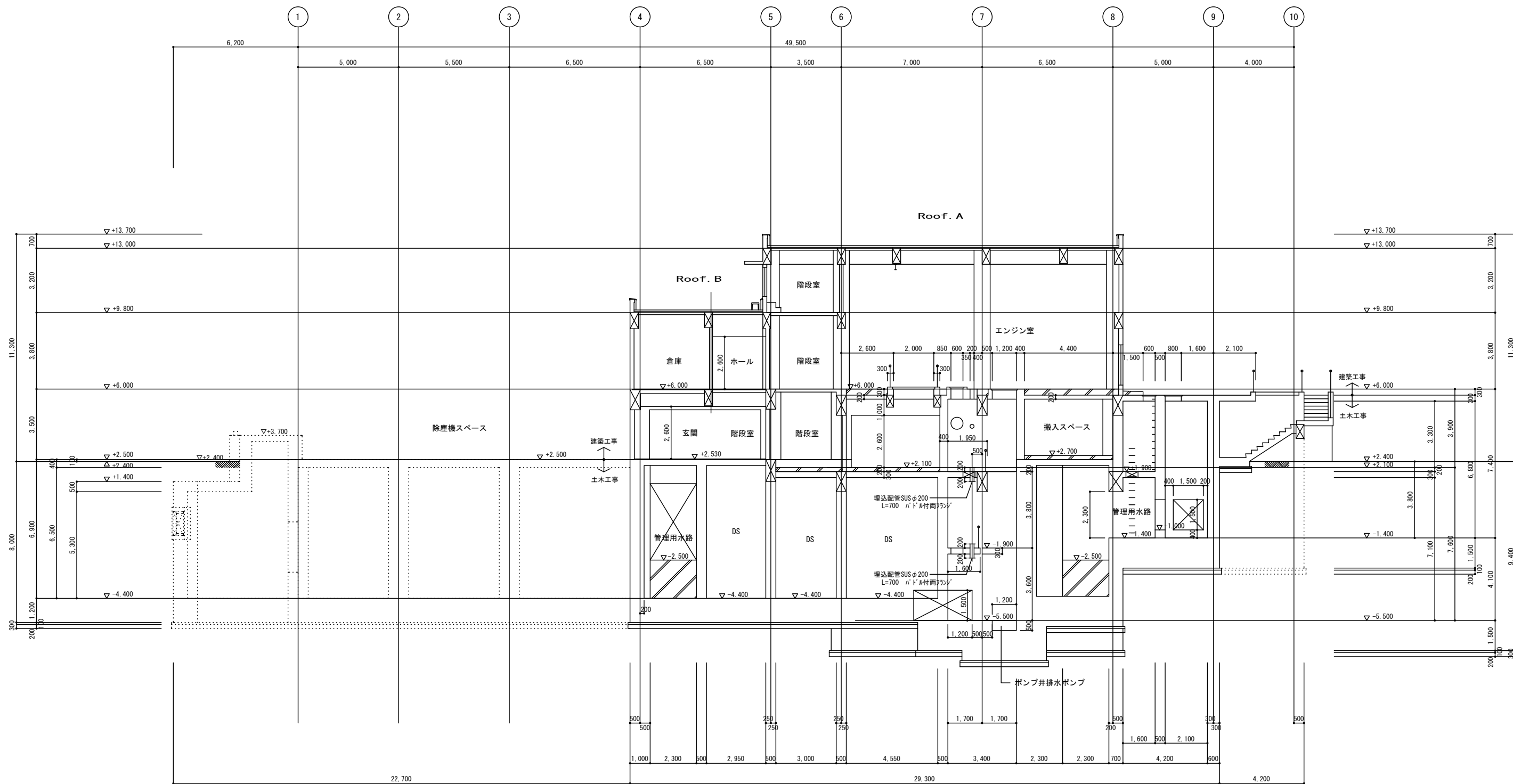
工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	断面図(1)		
縮尺	1/100	図面番号	9/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



B-B断面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

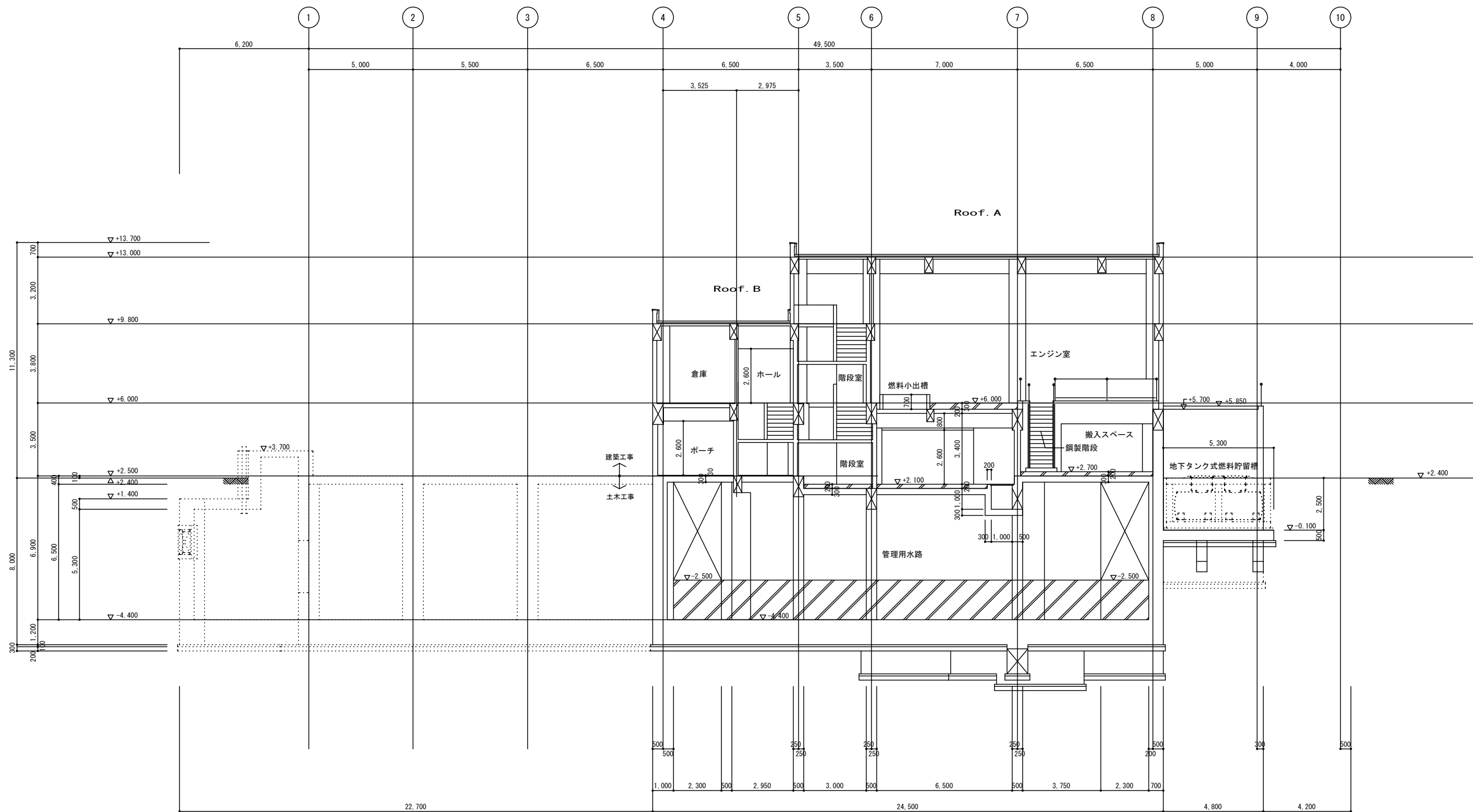
工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	断面図(2)		
縮尺	1/100	図面番号	10/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



C-C断面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

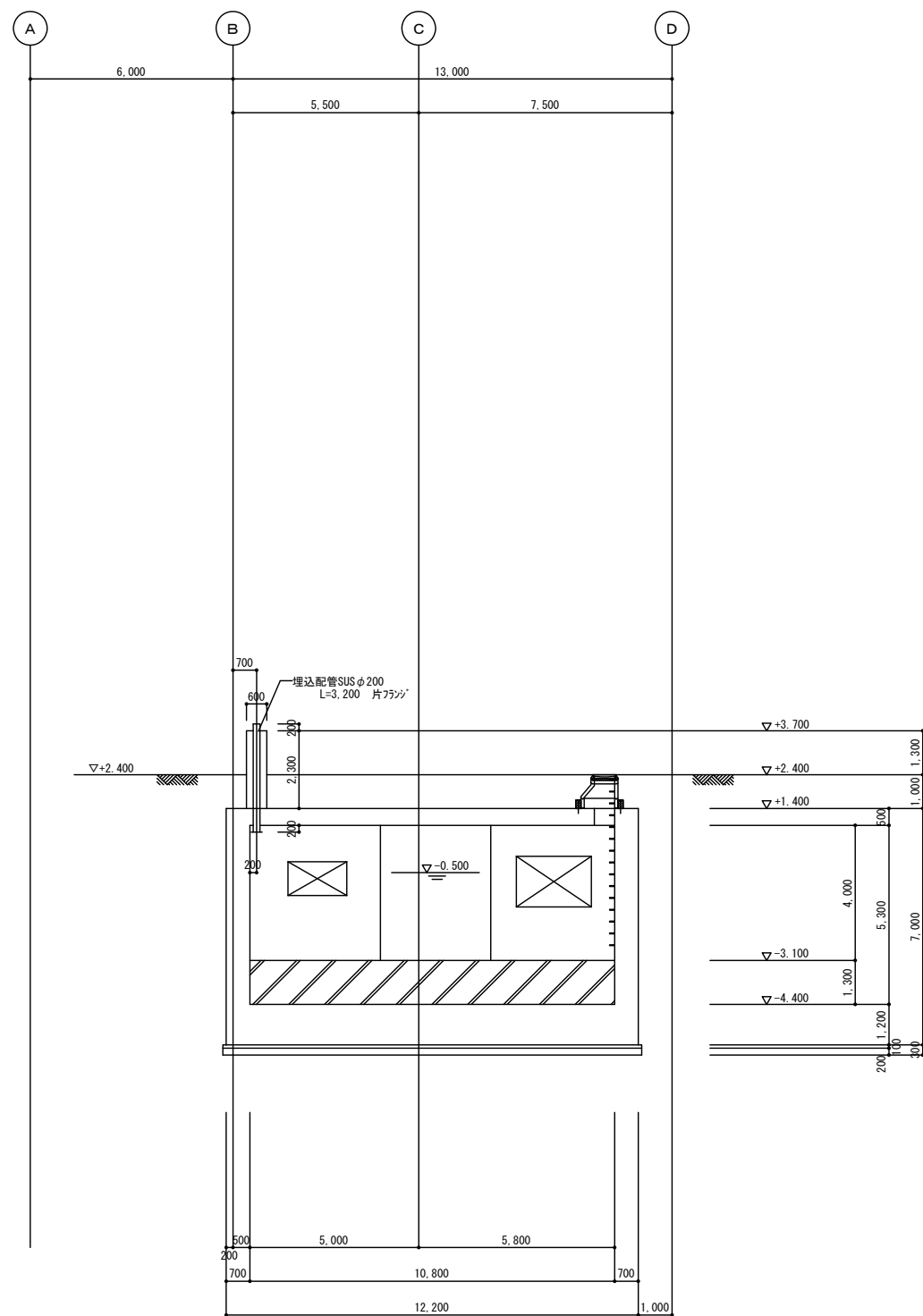
工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	断面図(3)		
縮尺	1/100	図面番号	11/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



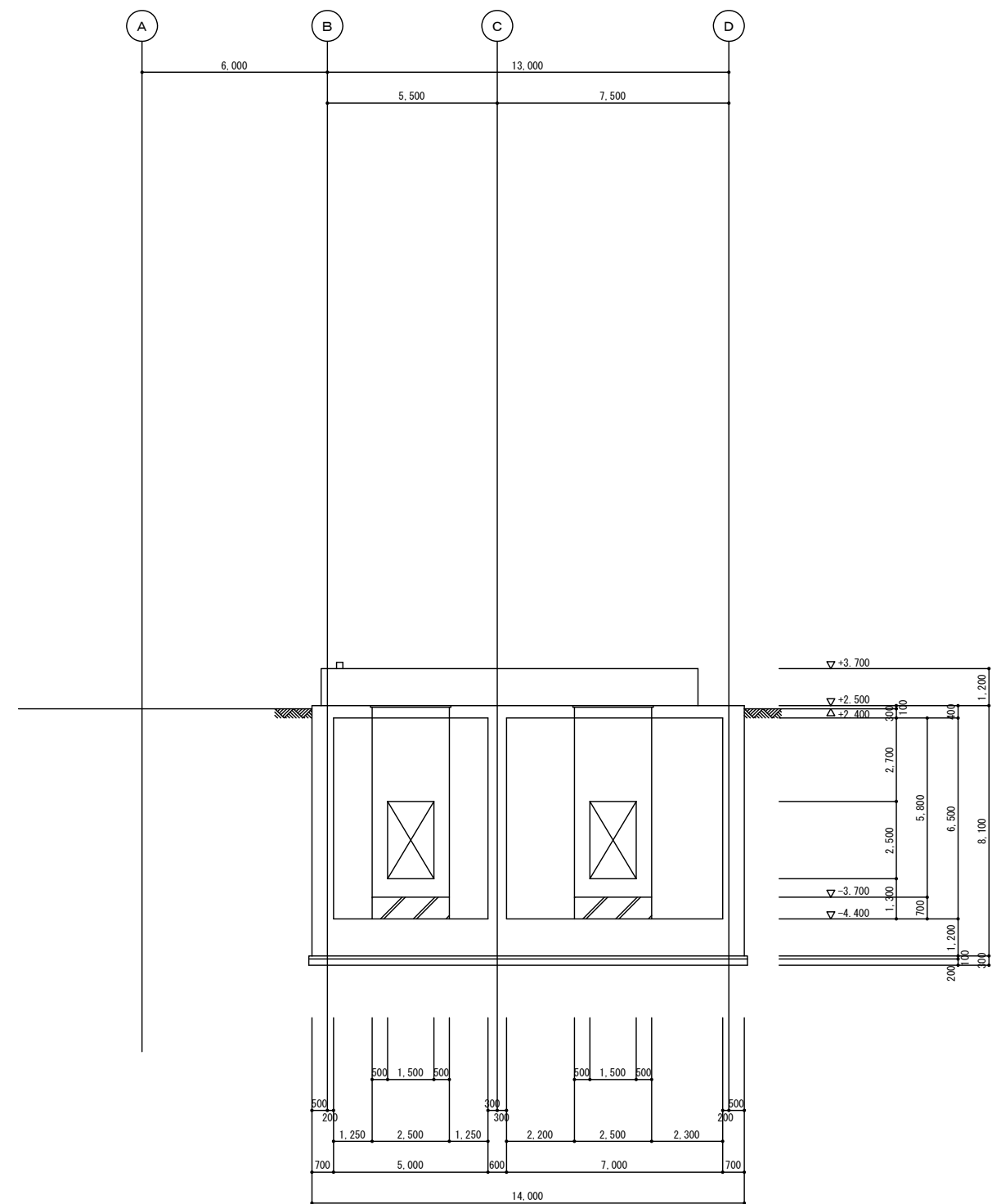
D-D断面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	断面図(4)		
縮尺	1/100	図面番号	12/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



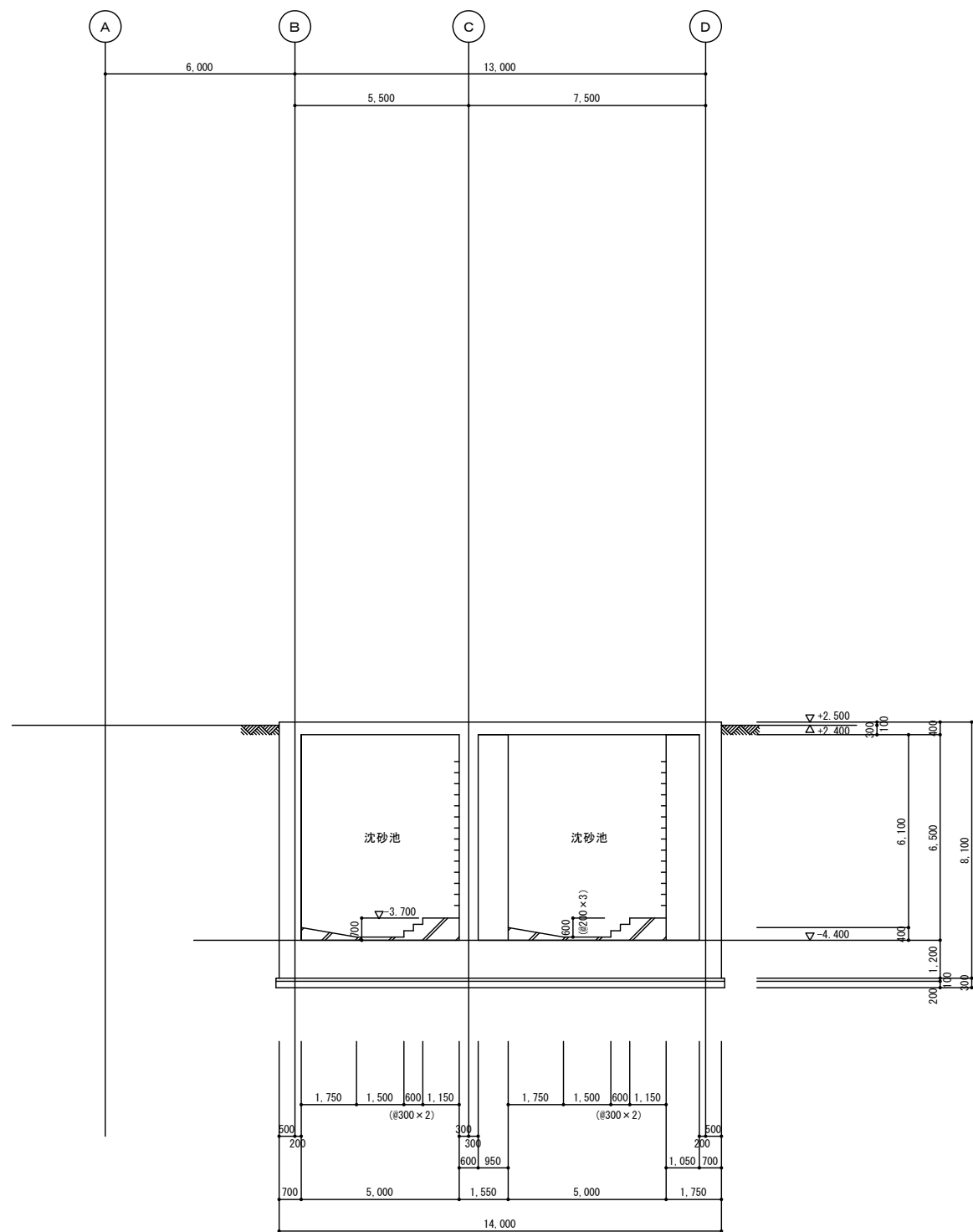
E-E断面図 S=1/100



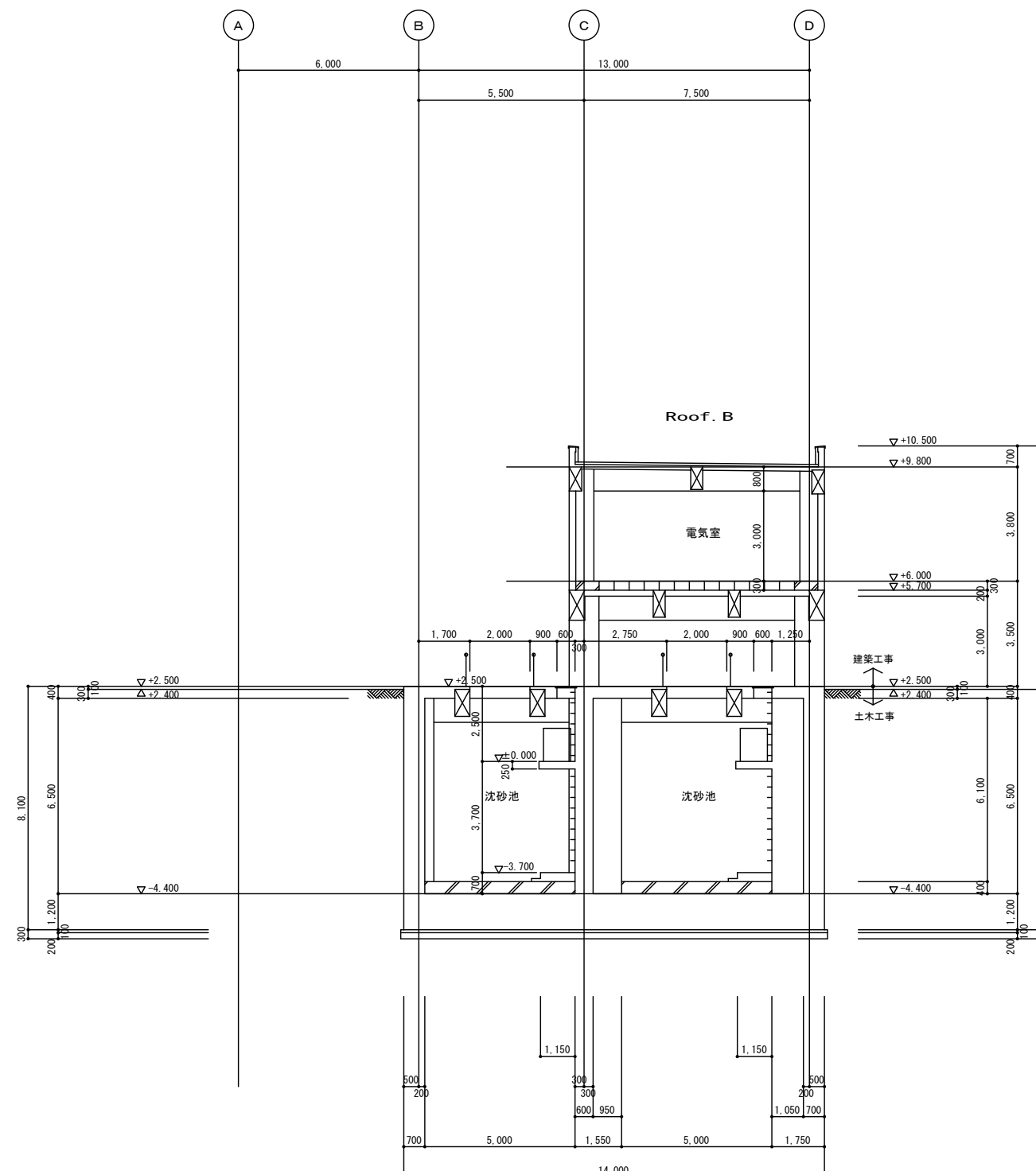
F-F断面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	断面図(5)		
縮尺	1/100	図面番号	13/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



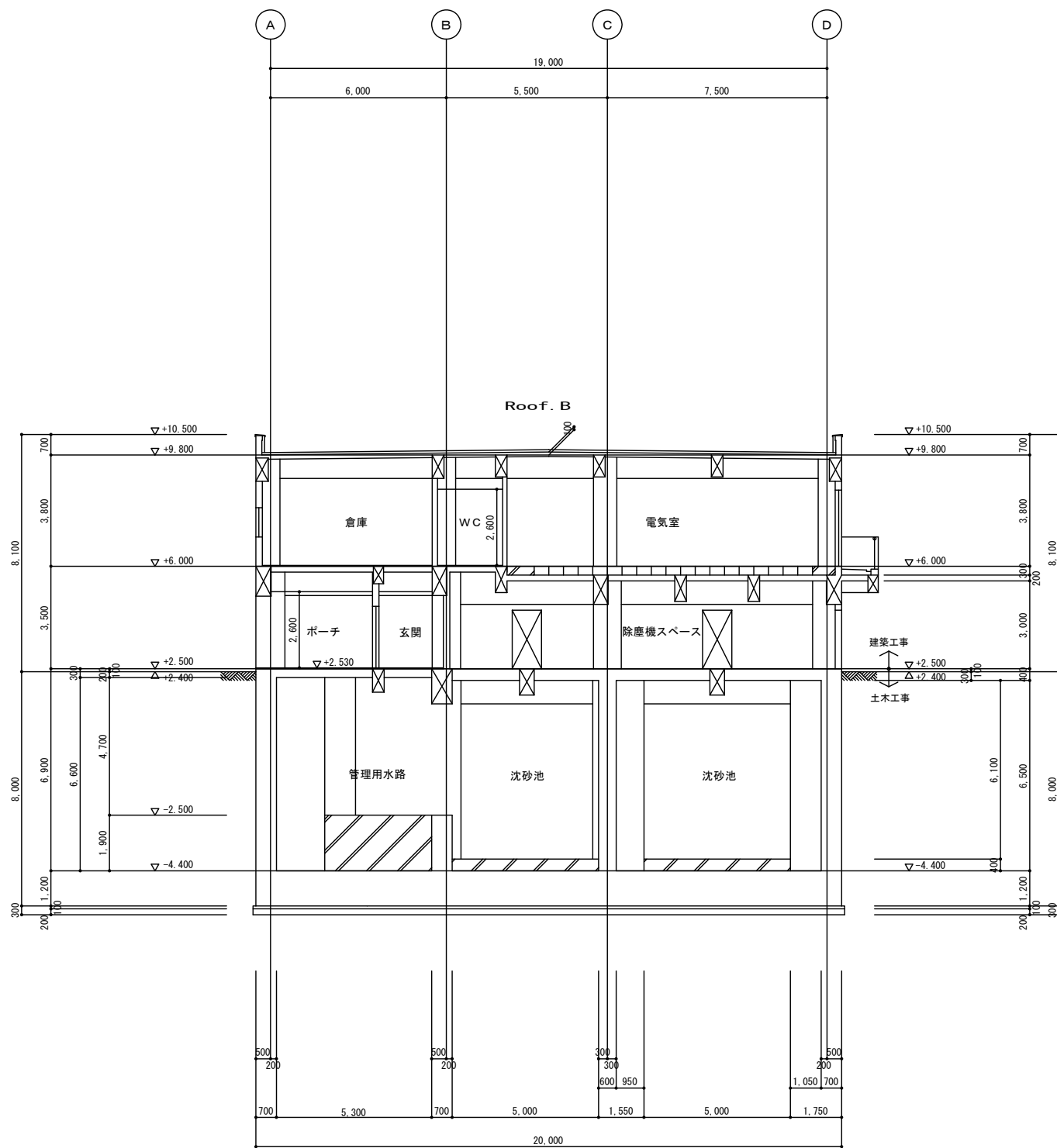
G-G断面図 S=1/100



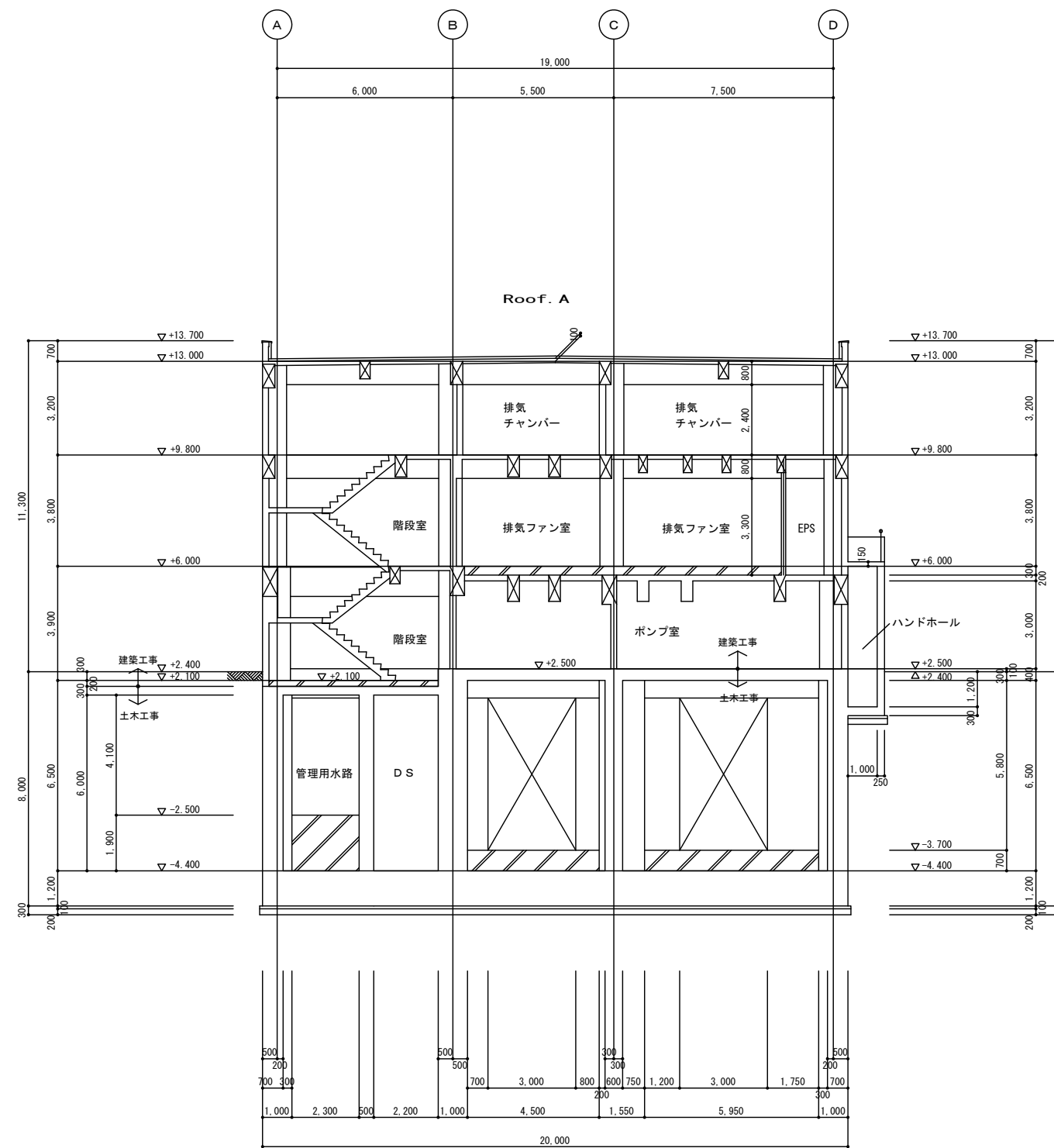
H-H断面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	断面図(6)		
縮尺	1/100	図面番号	14/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



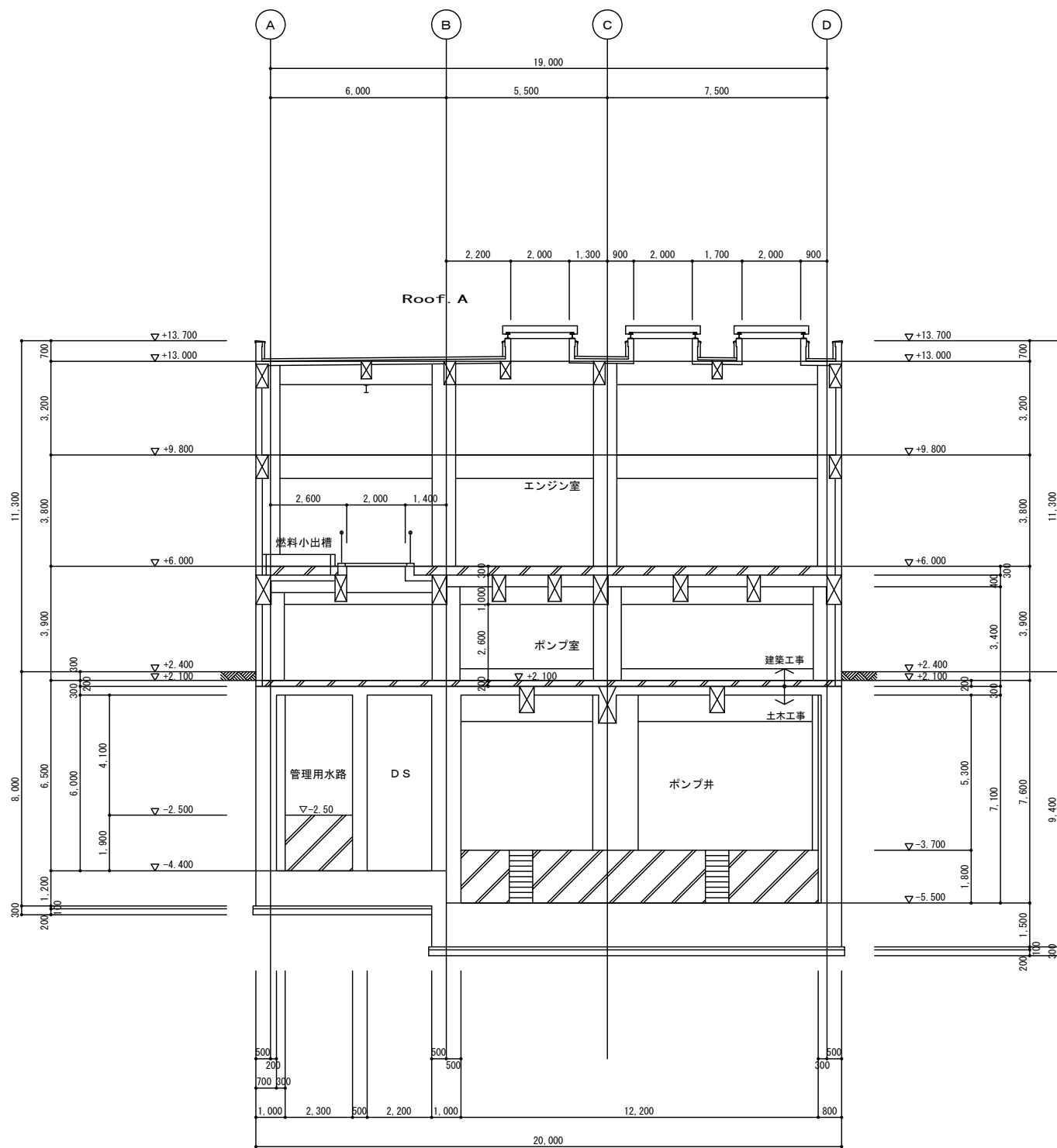
I-I断面図 S=1/100



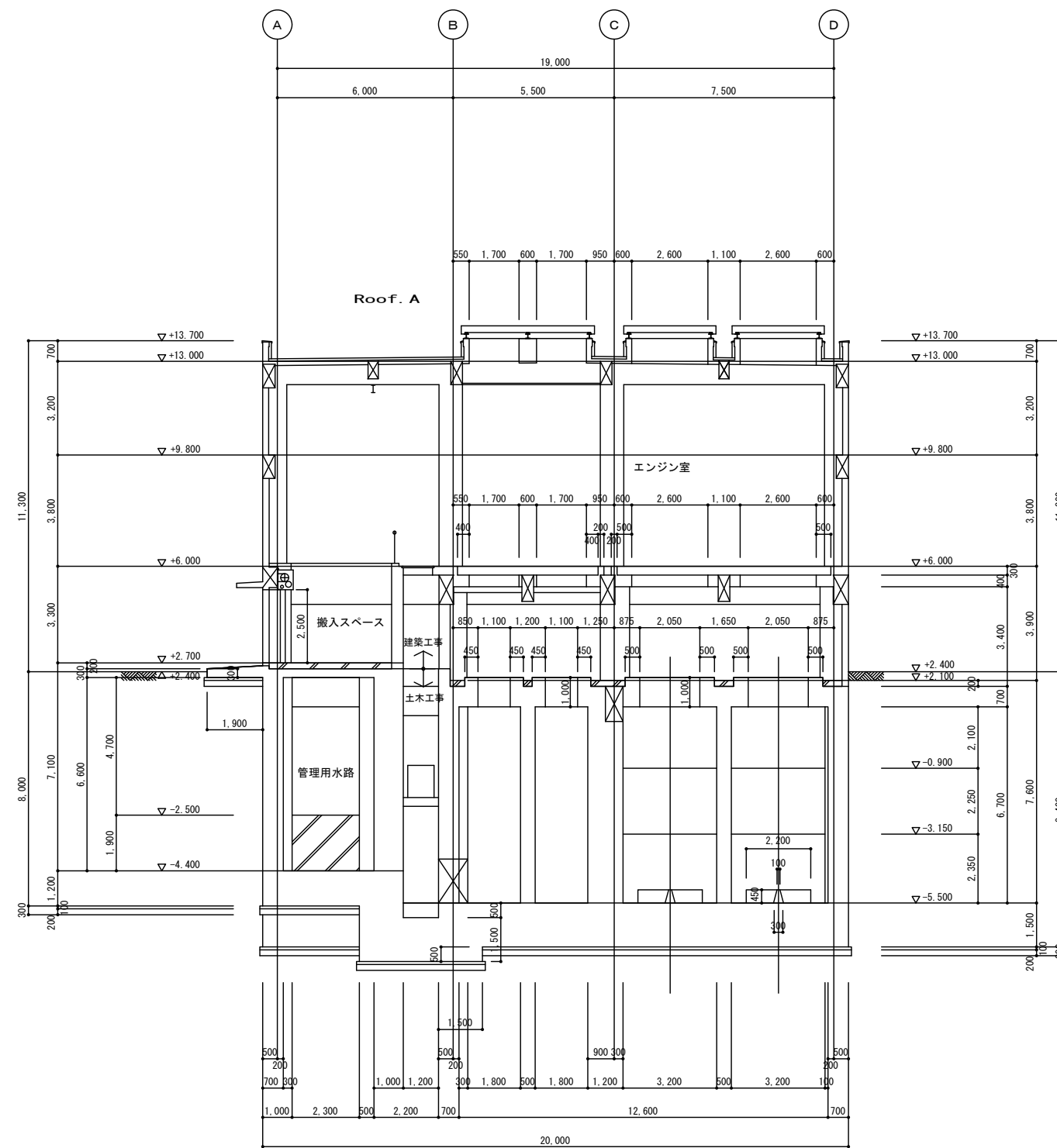
J-J断面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	断面図(7)		
縮尺	1/100	図面番号	15/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



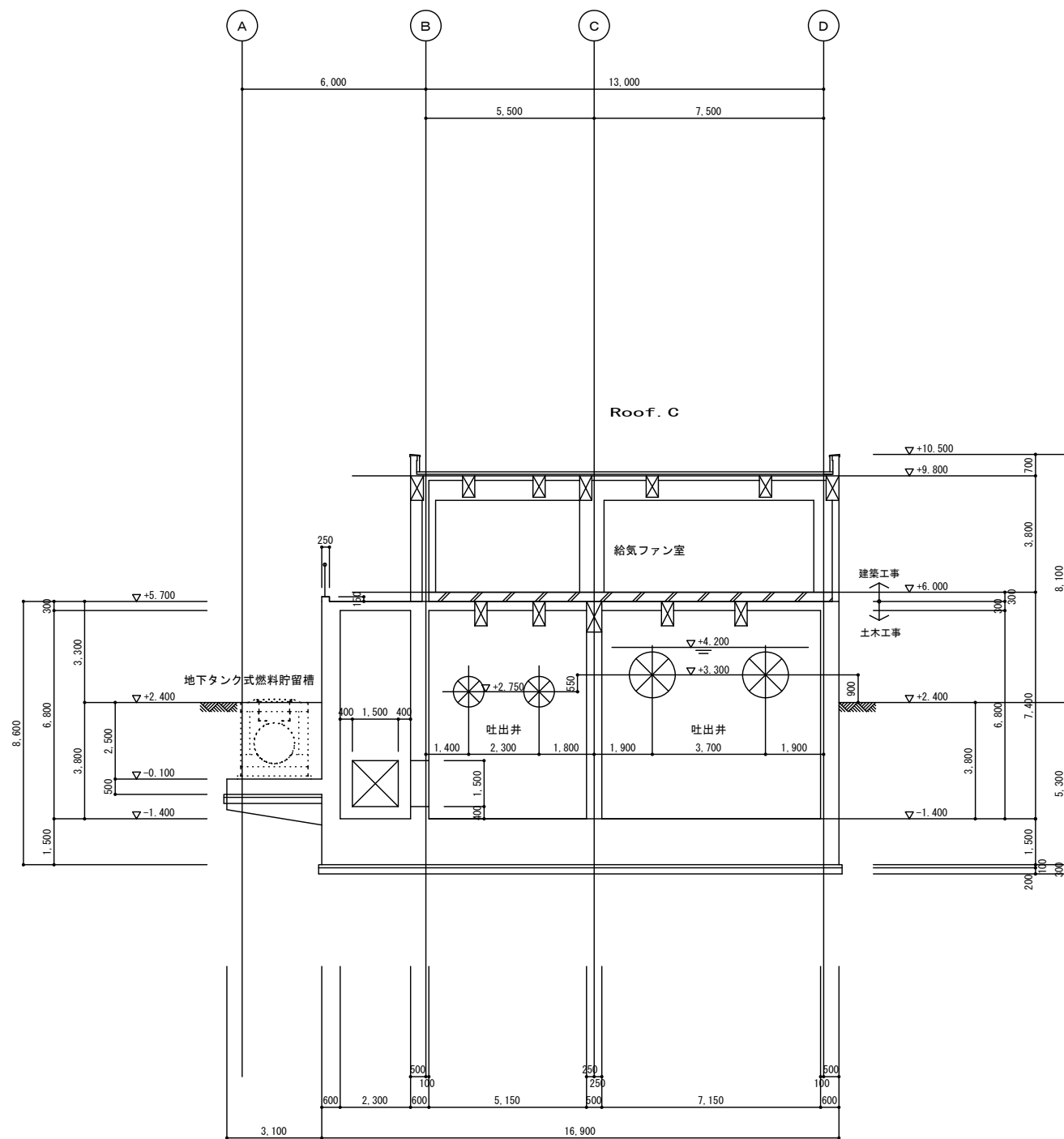
K-K断面図 S=1/100



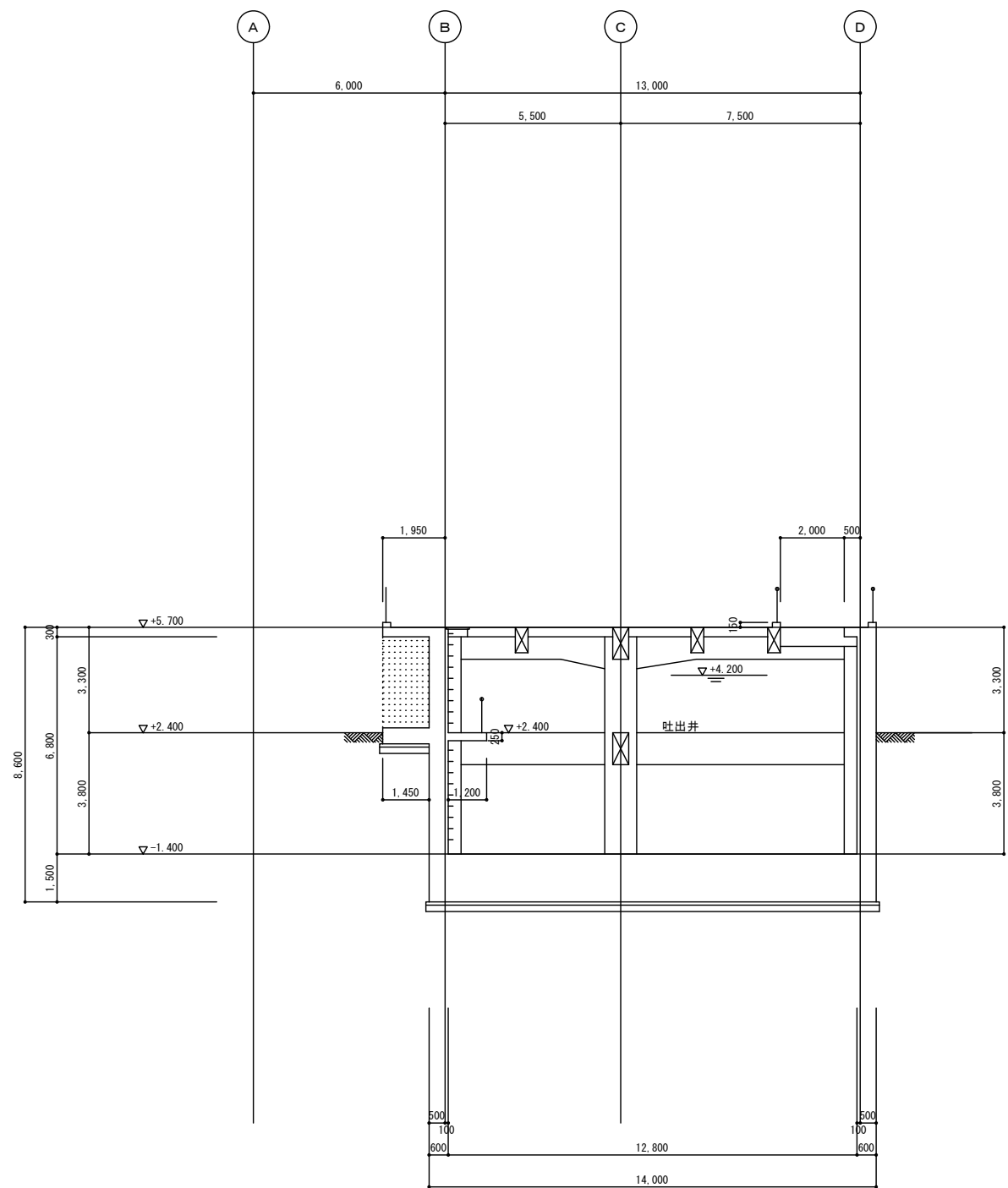
L-L断面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	断面図(8)		
縮尺	1/100	図面番号	16/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



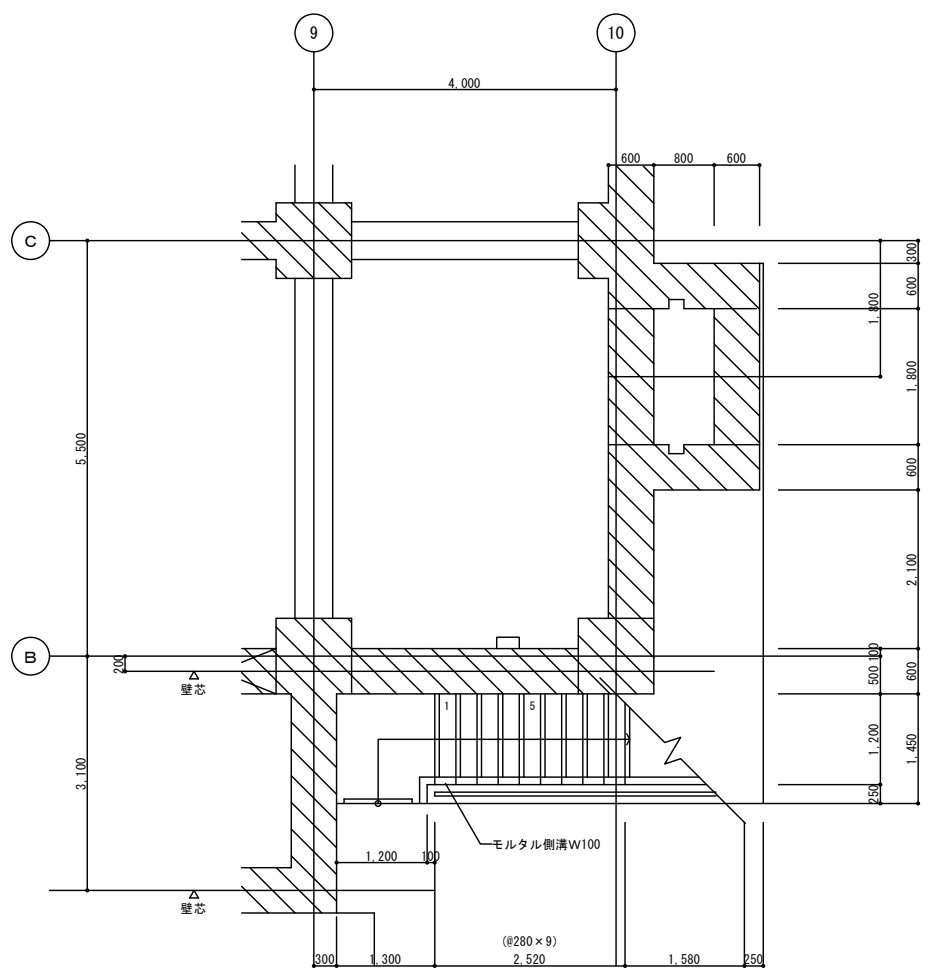
M-M断面図 S=1/100



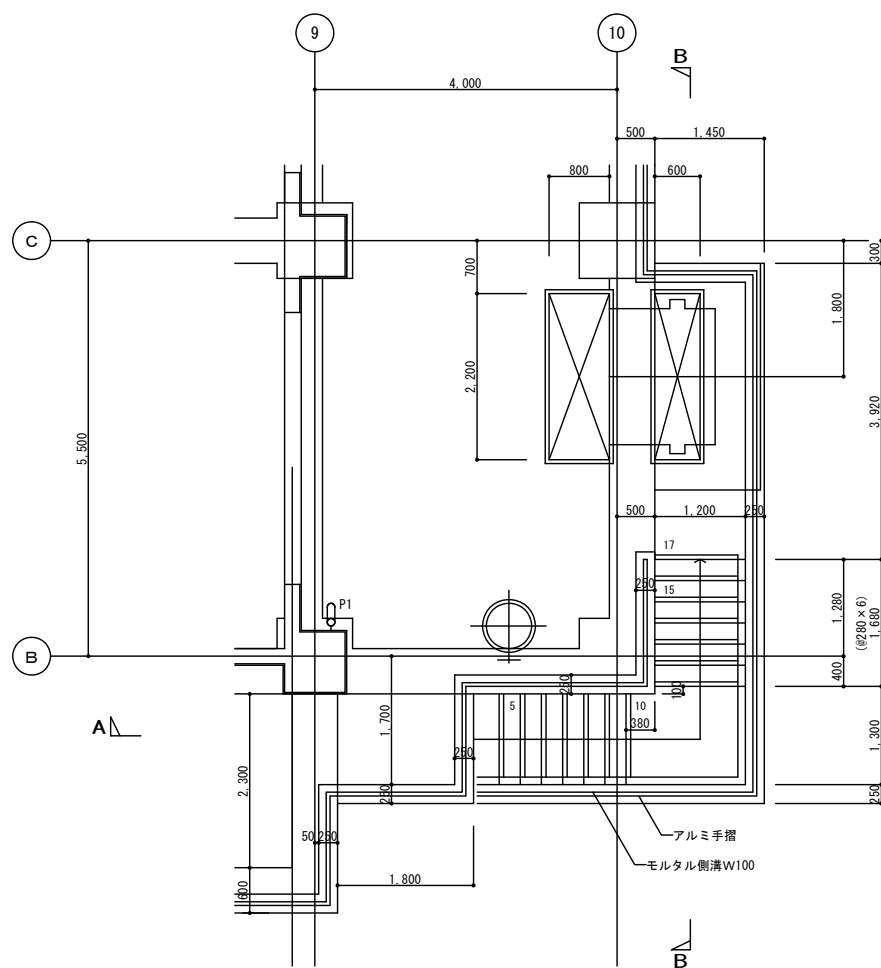
N-N断面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

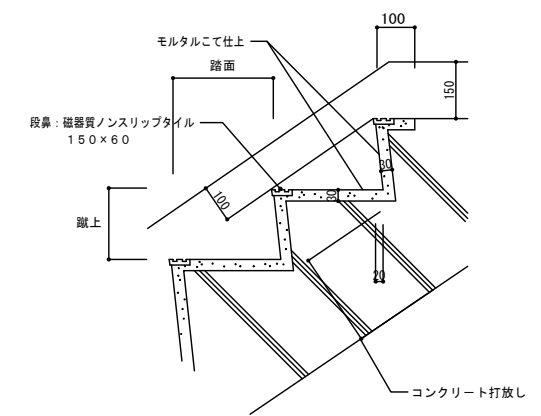
工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	断面図(9)		
縮尺	1/100	図面番号	17/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



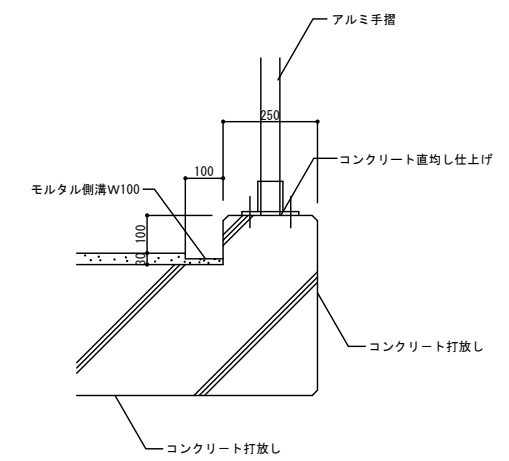
1階平面詳細図 S=1/50



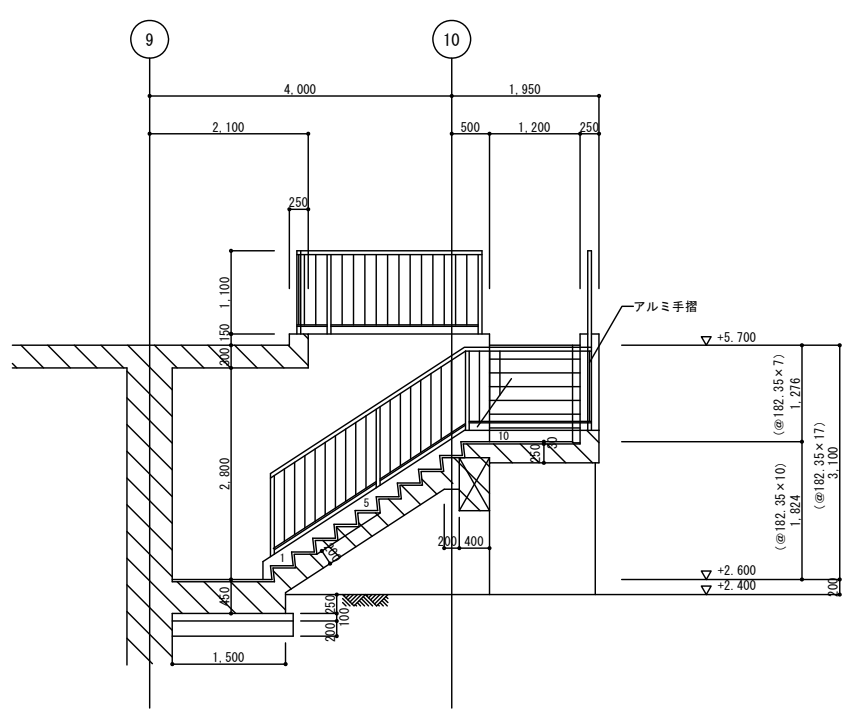
2階平面詳細図 S=1/50



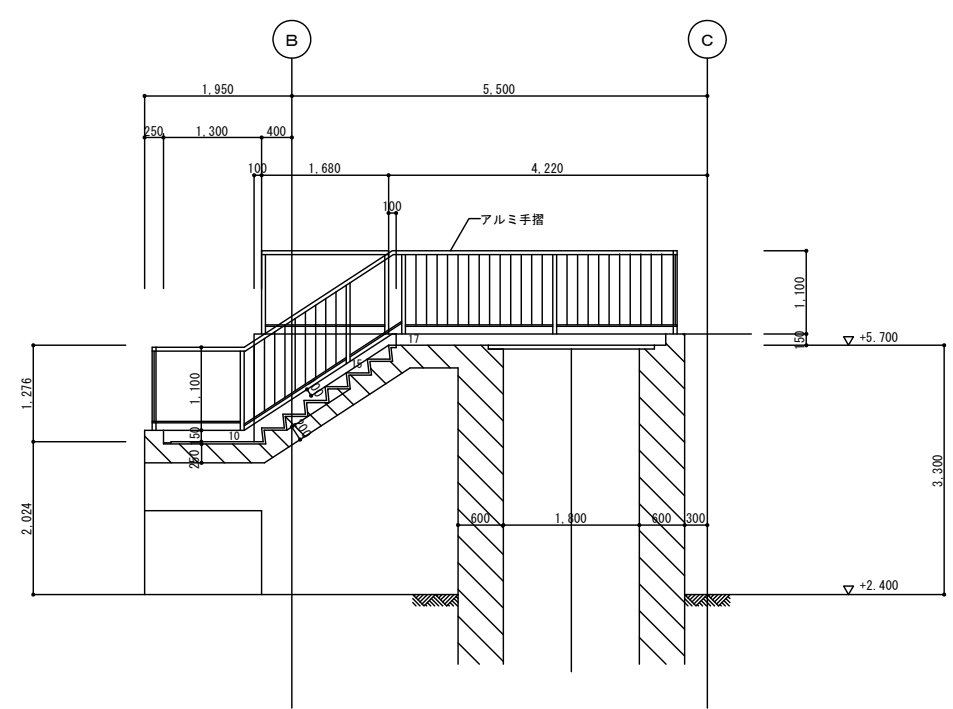
階段詳細図 1/10



側面詳細図 1/10



A-A断面図 S=1/50

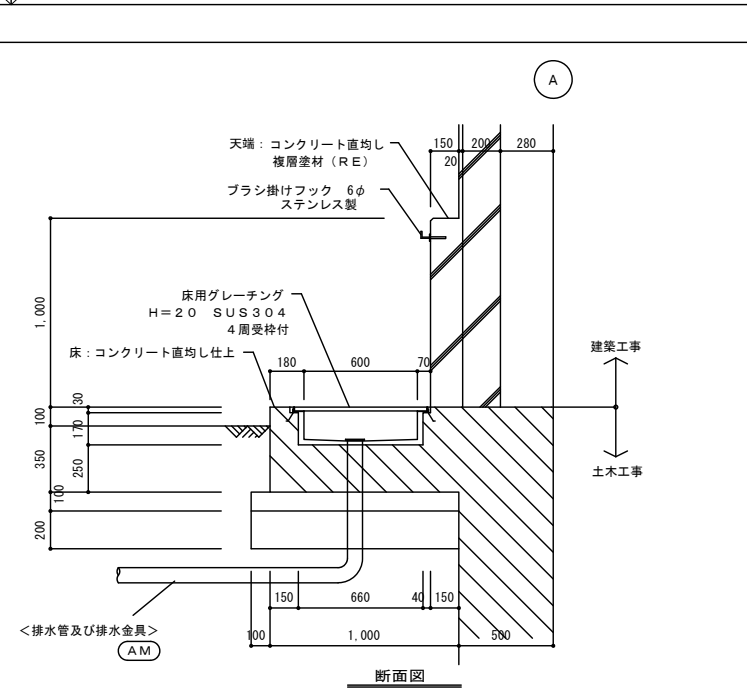
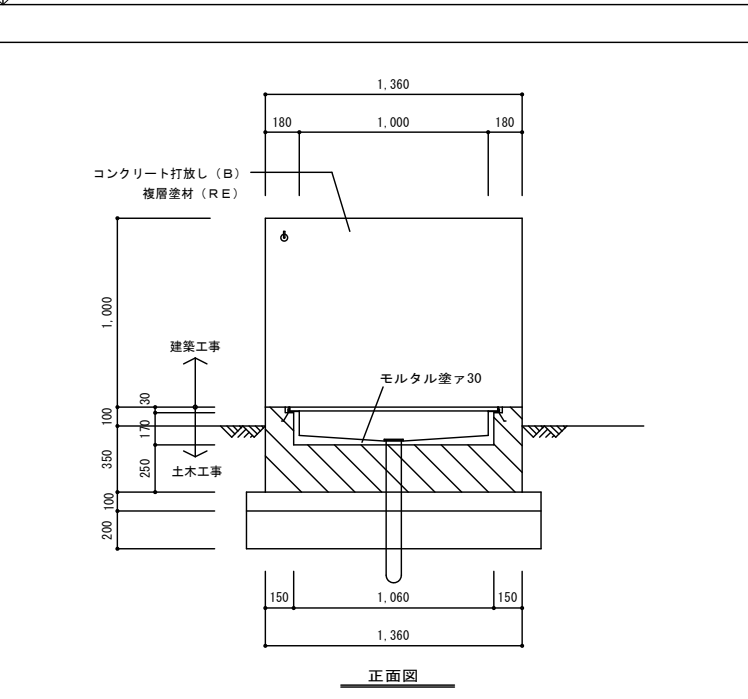
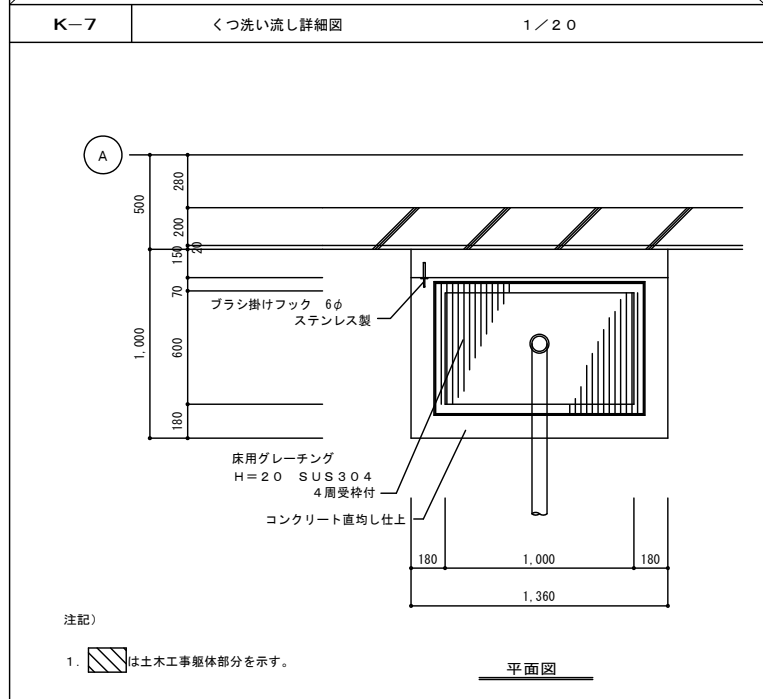
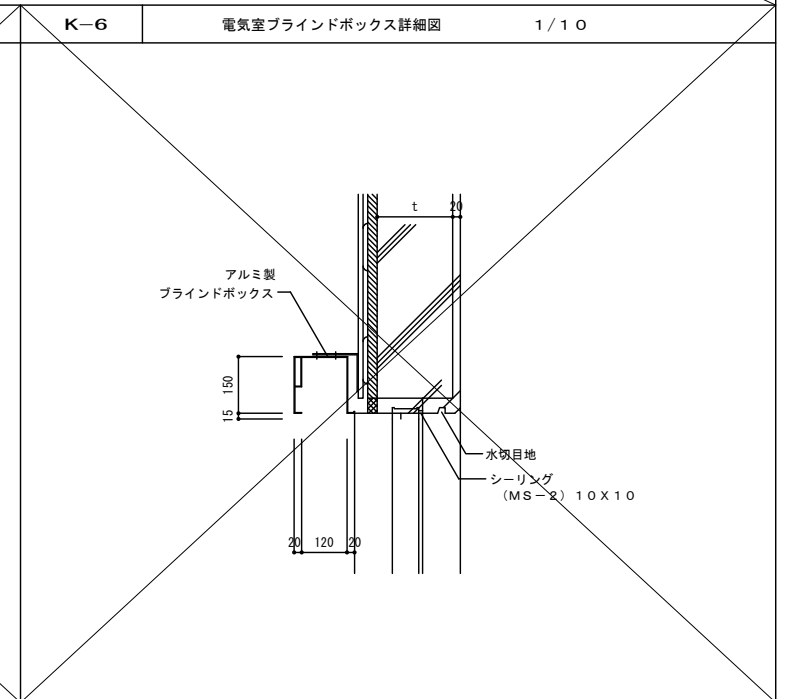
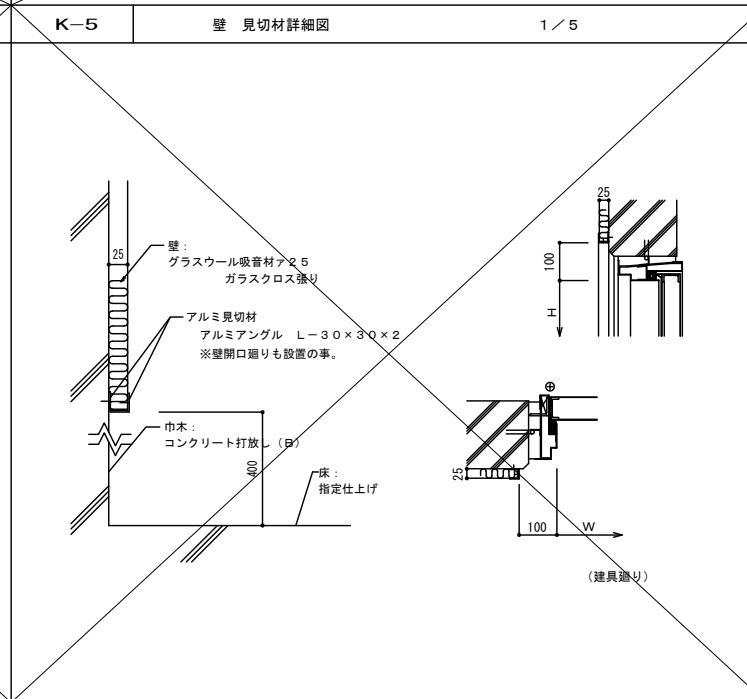
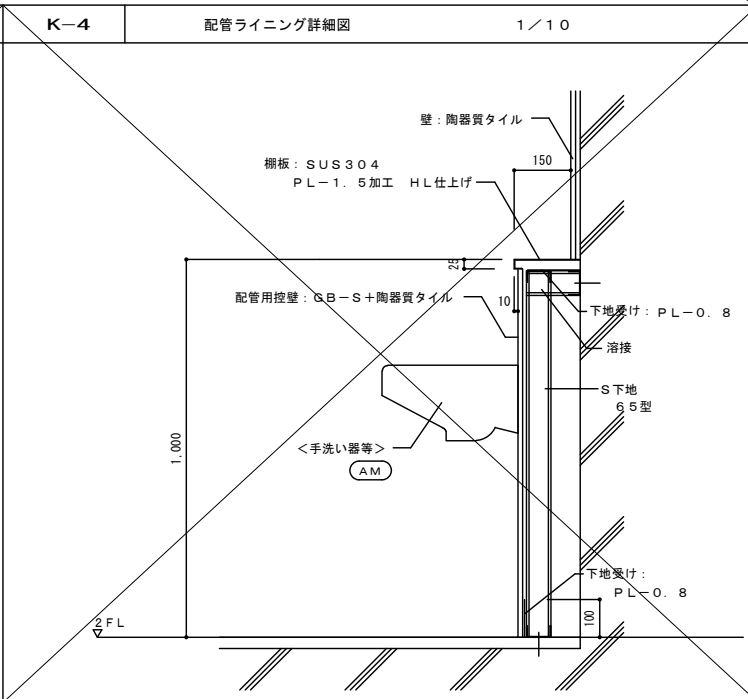
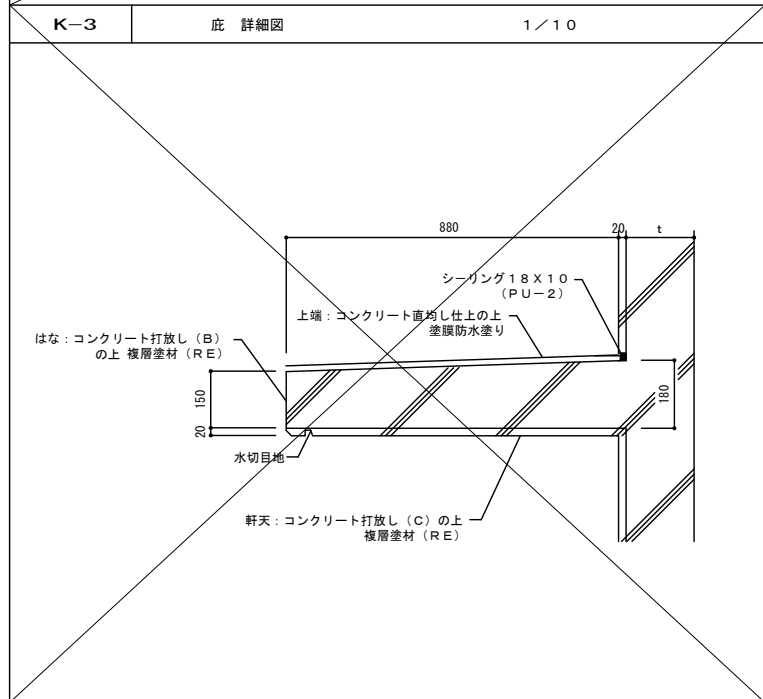
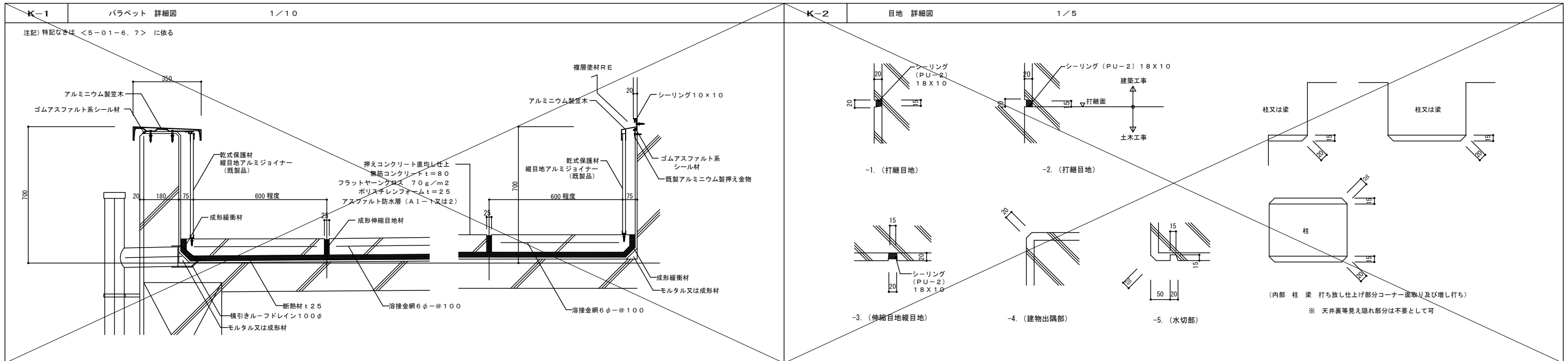


B-B断面図 S=1/50

注記)
1. は土木工事躯体部分を示す。

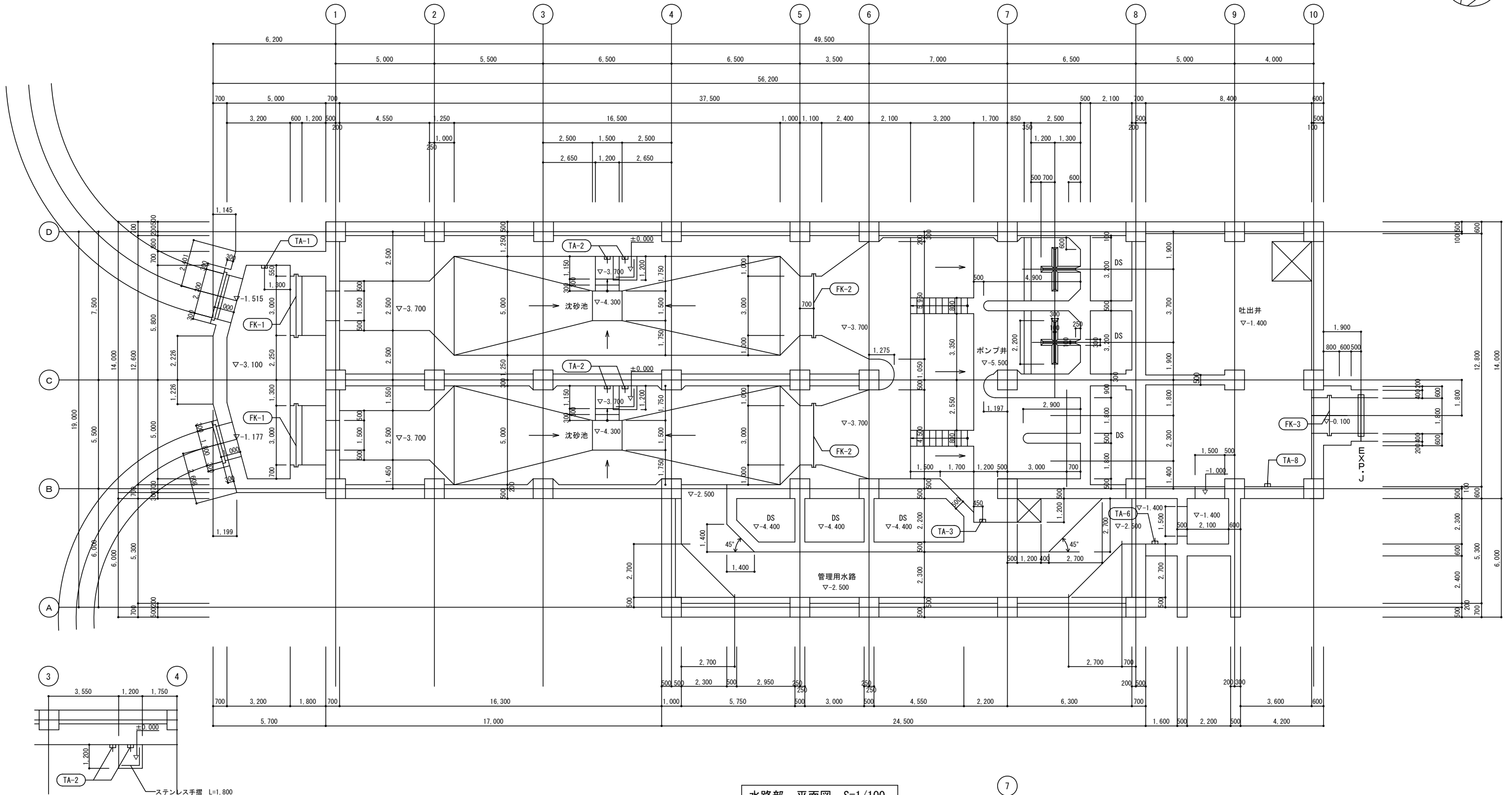
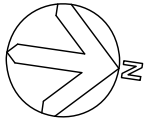
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	外部階段詳細図		
縮尺	1/50	図面番号	18/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



※本図面はA1サイズを原寸とする。

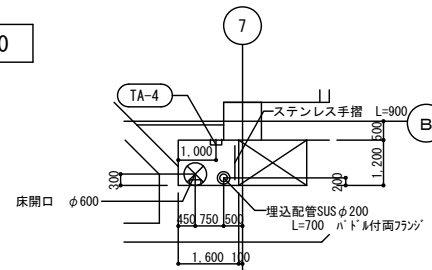
工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	部分詳細図
縮尺	図示 図面番号 19/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課



±0.000平面図 S=1/100

符号	名称	符号	名称	符号	名称	符号	名称
GT-	床用グレーチング蓋	HR-1	アルミニウム製手摺 (一般部) H=1,100	TA-	足掛金物 ポリプロピレン被覆製	MH-	1号組立マンホール
TK-	手すり一体型開口蓋	HR-2	アルミニウム製手摺 (階段部) H=900	M1	鋳鉄製マンホール蓋 φ600 防水型 (T-2)		
FK-	合成木材製角落し	HR-3	アルミニウム製手摺 (取外し式) H=1,100	M2	鋳鉄製マンホール蓋 φ600 電気ハンドホール蓋用		

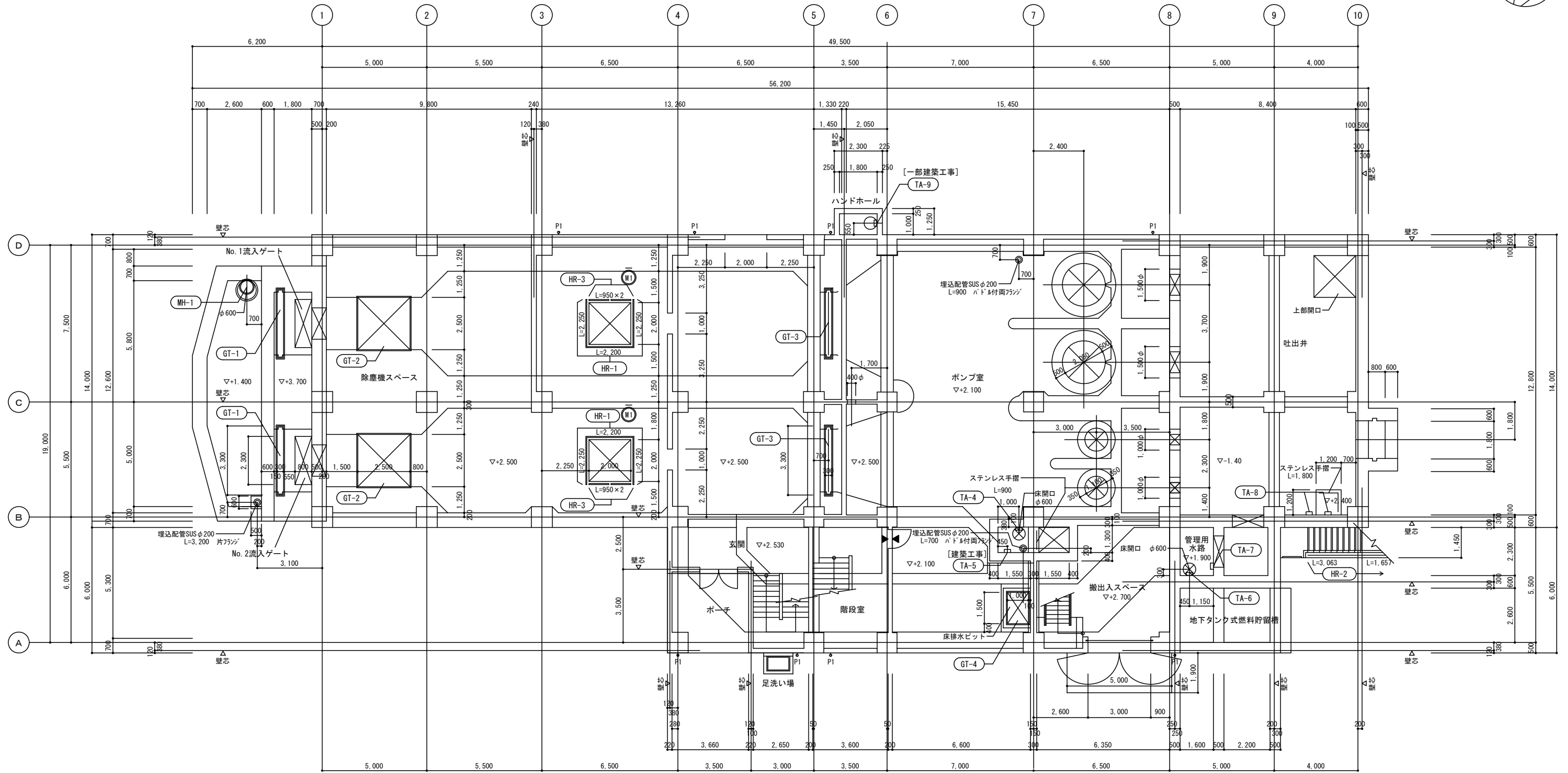
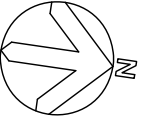
水路部 平面図 S=1/100



-1.900平面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	水路部付帯設備配置図
縮尺	1/100 図面番号 20/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課

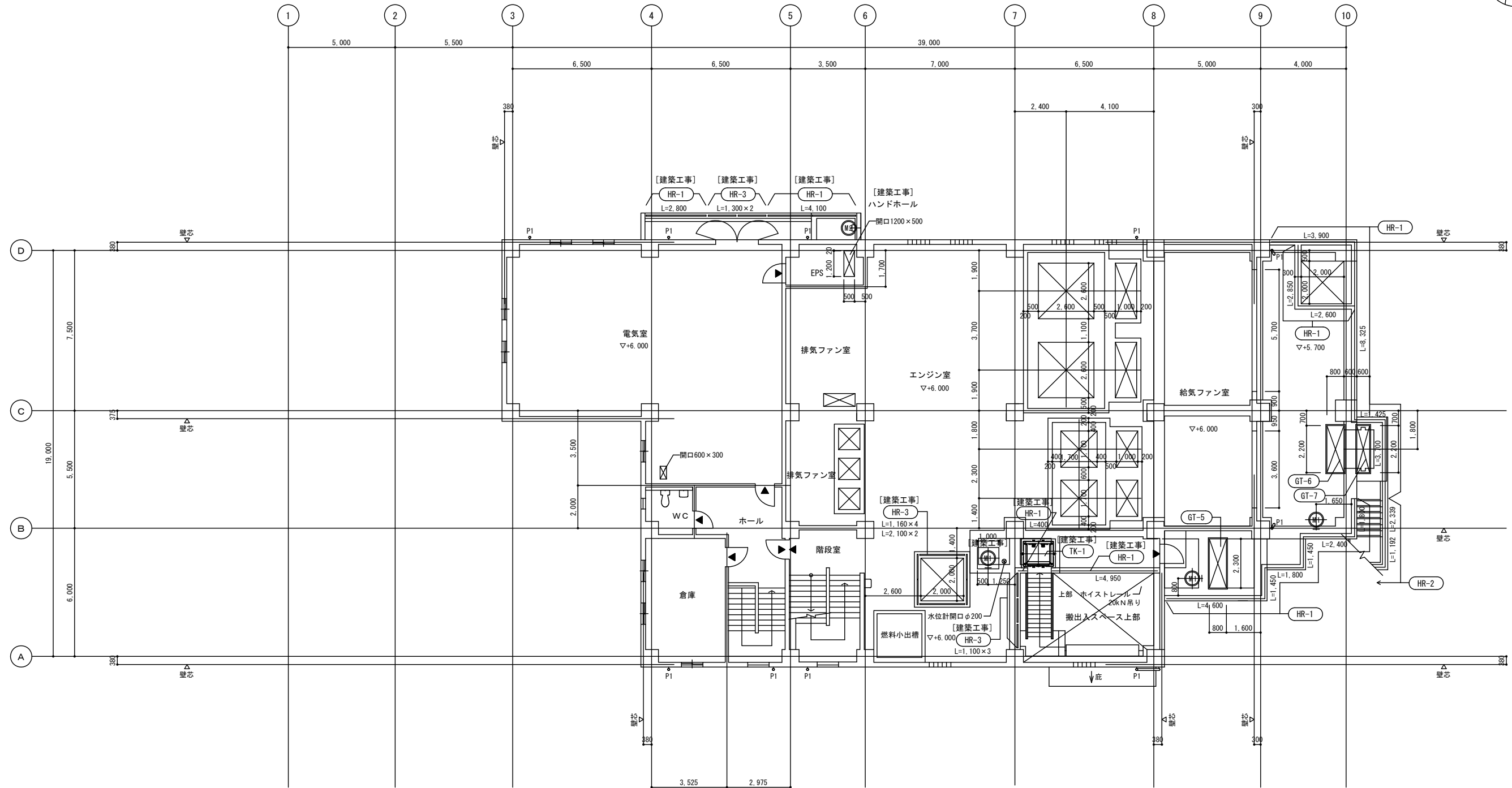
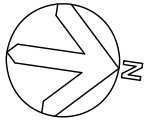


1階 平面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

符号	名称	符号	名称	符号	名称	符号	名称
GT-	床用グレーチング蓋	HR-1	アルミニウム製手摺 (一般部) H=1,100	TA-	足掛金物 ポリプロピレン被覆製	MH-	1号組立マンホール
TK-	手すり一体型開口蓋	HR-2	アルミニウム製手摺 (階段部) H=900	M1	鋳鉄製マンホール蓋 φ600 防水型 (T-2)		
FK-	合成木材製角落し	HR-3	アルミニウム製手摺 (取外し式) H=1,100	M2	鋳鉄製マンホール蓋 φ600 電気ハンドホール蓋用		

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	1階付帯設備配置図		
縮尺	1/100	図面番号	21/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



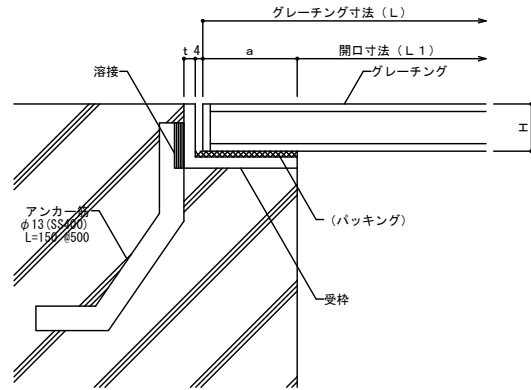
2階 平面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

符号	名称	符号	名称	符号	名称	符号	名称
GT-	床用グレーチング蓋	HR-1	アルミニウム製手摺 (一般部) H=1,100	TA-	足掛金物 ポリプロピレン被覆製	MH-	1号組立マンホール
TK-	手すり一体型開口蓋	HR-2	アルミニウム製手摺 (階段部) H=900	M1	鑄鉄製マンホール蓋 φ600 防水型 (T-2)		
FK-	合成木材製角落し	HR-3	アルミニウム製手摺 (取外し式) H=1,100	M2	鑄鉄製マンホール蓋 φ600 電気ハンドホール蓋用		

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	2階付帯設備配置図		
縮尺	1/100	図面番号	22/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

GT- 床用グレーティング蓋及び受枠標準図



グレーティング形式選定表 (参考)
注) パーピッチ、H、a、t は採用 (歩行用) の参考値である。
A. 鋼製: 設計荷重 3.5 kN/m²

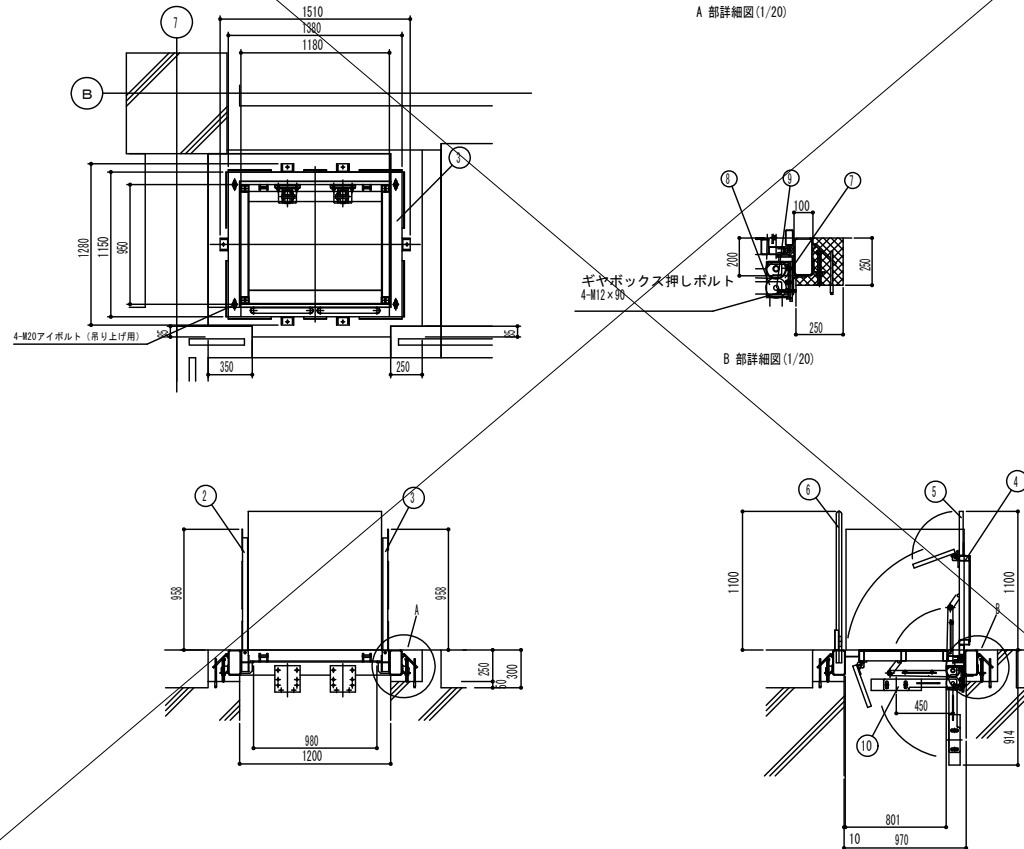
L (mm)	パーピッチ (mm)	H (mm)	a (mm)	t (mm)
~ 500	30	19	50	4.5
501~1,200	30	25	50	6.0
1,201~1,500	30	32	50	6.0
1,501~1,700	30	38	50	6.0
1,701~1,900	30	44	50	6.0
1,901~2,100	30	50	50	6.0

- 仕様・注記
- 1) グレーティング、枠は製造メーカーの仕様による。
 - 2) グレーティング、枠は同材質のものを使用する。
 - 3) 鋼製グレーティング及び受枠は JIS H 8641の2種55の溶融亜鉛メッキとする。
 - 4) パッキングが必要な場合は受枠側に接着する。
 - 5) 蓋には荷重表示を行う。
 - 6) 受枠はアンカー筋で躯体の鉄筋に溶接して固着する。固着点は、隅角部については、角を構成する辺に1点ずつ、辺については、600mm以内の等間隔とする。
 - 7) 設計荷重は、歩行用3.5kN/m²とする。
 - 8) 許容たわみ量は、歩行用L/300以下 (Lはスパン長) とする。
 - 9) 多雪地域は、ラバー付を標準とする。
 - 10) 本図は歩行用に適用し、車両用は、別途T荷重仕様とする。
 - 11) スペリ止めの有無を明記すること。

床用グレーティング蓋リスト

符号	開口寸法		蓋寸法		H	受枠 (t)	割付枚数 (参考)	箇所数	滑り止め	備考
	L1	B1	L	B						
GT-1	300	3,300	400	3,400	19	4.5	3	2	有り	蓋、受枠共土木工事
GT-2	2,500	2,500	(2,600)	(2,600)	50	6.0	(4)	2	有り	図示受枠のみ土木工事、蓋[PM]工事
GT-3	300	3,300	400	3,400	19	4.5	3	2	有り	蓋、受枠共土木工事
GT-4	1,000	1,500	(1,100)	(1,600)	25	6.0	(3)	1	有り	図示受枠のみ土木工事、蓋[PM]工事
GT-5	800	2,300	(900)	(2,400)	25	6.0	(3)	1	有り	図示受枠のみ土木工事、蓋[PM]工事
GT-6	800	2,200	(900)	(2,300)	25	6.0	(3)	1	有り	図示受枠のみ土木工事、蓋[PM]工事
GT-7	600	2,200	700	2,300	25	6.0	3	1	有り	蓋、受枠共土木工事

TK- 手すり一体型開口蓋



項目	名前	員数	材料
1	本体枠	1	SS400
2	安全柵1	1	SS400
3	安全柵2	1	SS400
4	床板	1	SS400
5	床板補助柵	1	SS400
6	差し込み式安全柵	2	SS400
7	ギヤボックス	2組	SS400
8	ギヤ	2組	SUS304
9	ギヤシャフト	2組	SUS304
10	バランスウェイト	2組	SS400

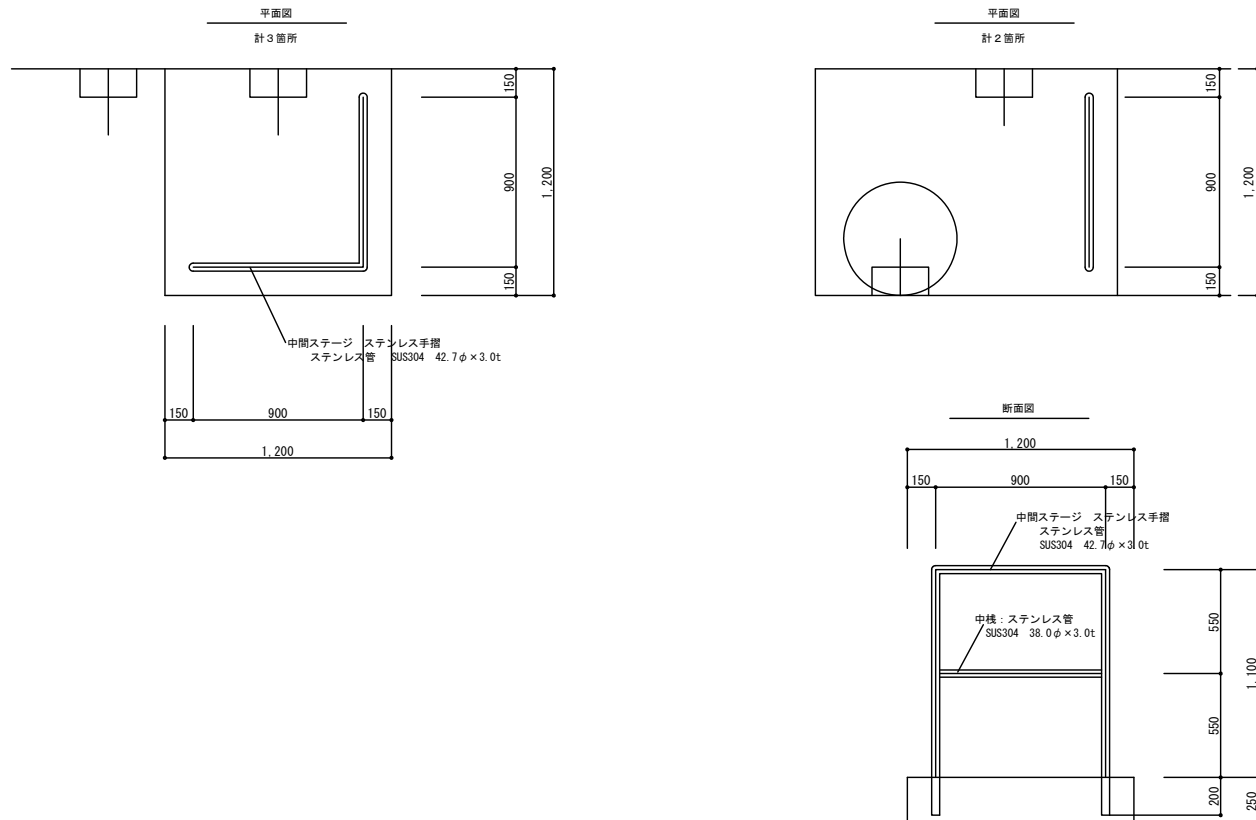
仕様

設置箇所 屋内 (ドライエリア)
設置方式 箱抜き埋戻し方式
床板種類 鋼板
許容荷重 4.9kN/m²
※重量物を積載する場合は別途養生が必要になります。
※集中荷重が負荷する場合は別途検討が必要になります。

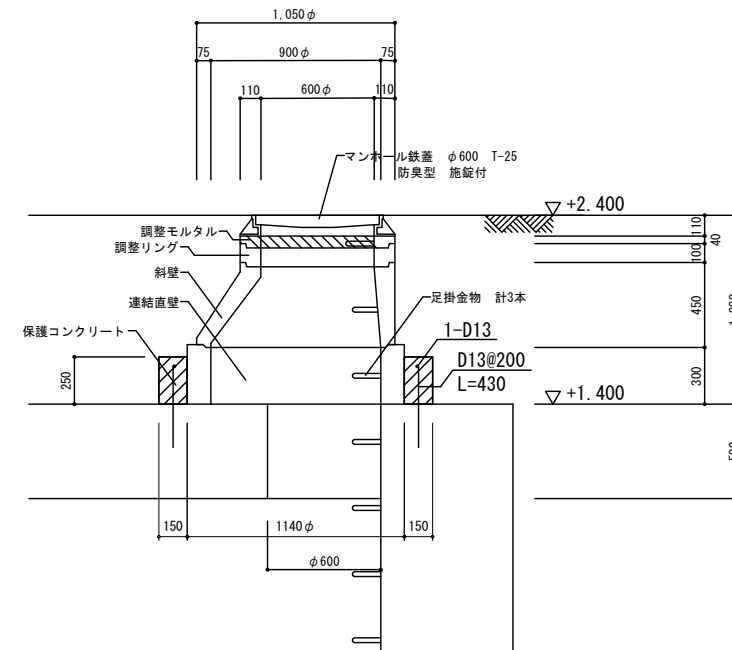
塗 装 1種ケレン
フタル酸樹脂系塗装125μm
ご指定色塗装
※ウェイトは溶融亜鉛メッキ (HDZ35)
(塗装は表面のみ)
※ボルト、ギヤ歯面、摺動部は未塗装 (SUS304もしくは溶融亜鉛メッキ品)

その他 一枚床方式
引き棒方式

中間ステージ ステンレス手摺 詳細図



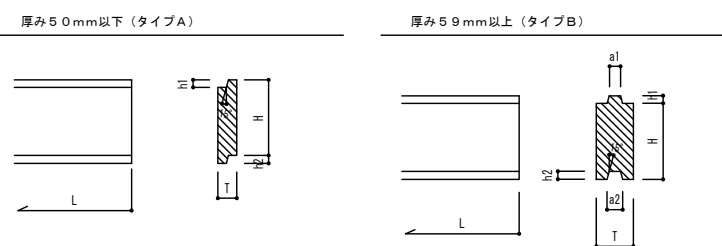
MH- 1号組立マンホール 詳細図



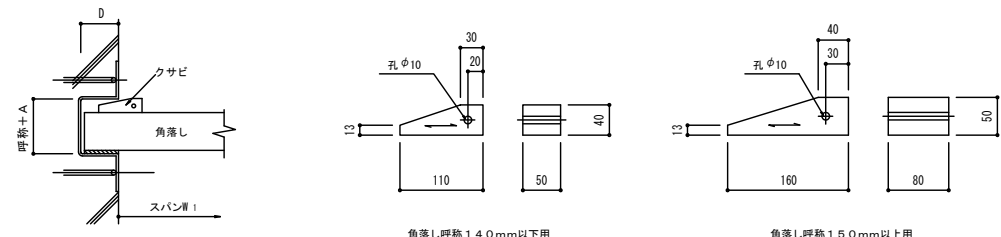
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	付帯設備詳細図(1)
縮尺	図示 図面番号 23/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課

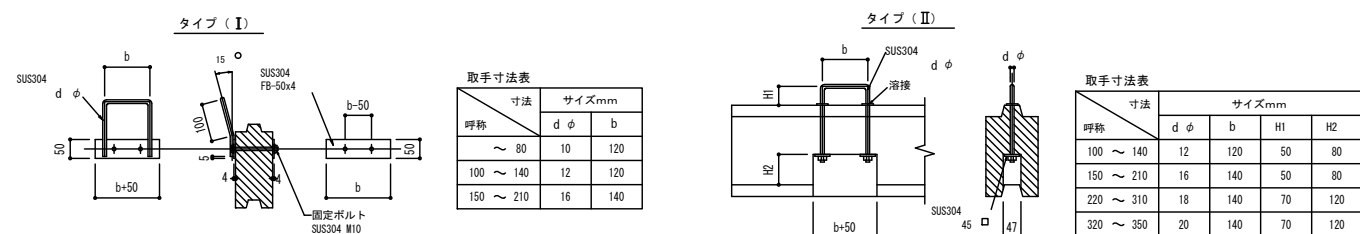
FK- 合成木材製角落し及び受枠標準図



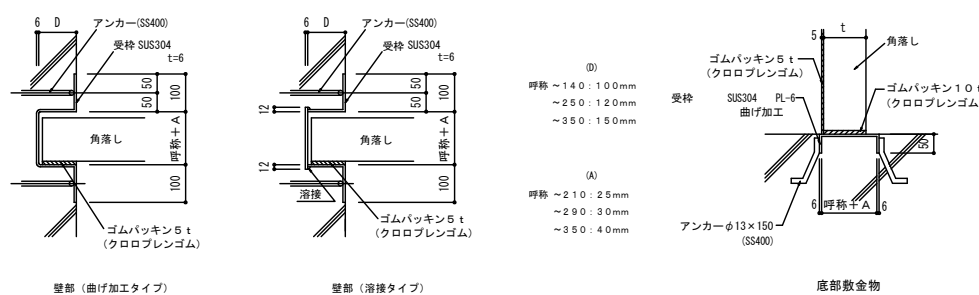
浮力防止用クサビ



手掛金物標準図

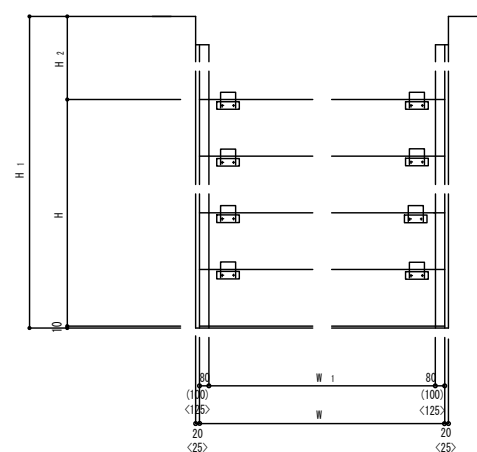


受枠標準図



合成木材製角落しリスト

符号	水路寸法		角落し寸法		H ₂	板厚t	割付枚数(参考)	箇所数	備考
	W ₁	H ₁	W	H					
FK-1	3,000	6,800	3,200	2,900	3,890	177	10	2	設計水深 = 2,600 ※受枠のみ
FK-2	3,000	6,200	3,200	3,000	3,190	177	10	2	設計水深 = 2,700 ※受枠のみ
FK-3	1,800	5,800	1,960	4,600	1,190	118	16	1	設計水深 = 4,300 ※受枠のみ



注一 () 内寸法は呼称150以上の場合を示す
 < > 内寸法は呼称260以上の場合を示す

厚み選定表〔許容たわみ率より算定〕 (単位mm)

スパンW 水深H	750	1000	1500	2000	2500	3000	3500	4000	4500	5000	5500	6000	6500	7000	7500	8000
1000	49	49	59	78	98	118	138	138	157	177	197	207	227	247	257	277
1500	49	49	69	98	118	138	138	157	177	197	217	237	257	277	297	317
2000	49	49	69	98	118	138	157	177	197	217	237	267	287	307	327	347
2500	49	49	78	98	118	147	167	197	217	237	257	287	307	327	347	367
3000	49	59	78	118	138	177	197	227	247	277	297	327	347	367	387	407
3500	49	59	98	118	138	177	197	227	247	277	297	327	347	367	387	407
4000	49	59	98	118	138	177	197	217	247	277	307	327	347	367	387	407
4500	49	59	98	118	147	177	197	227	257	287	317	347	367	387	407	427
5000	49	69	98	138	147	177	207	237	267	297	327	347	367	387	407	427
5500	49	69	98	138	177	197	217	247	277	307	337	347	367	387	407	427
6000	49	69	98	138	177	197	217	257	287	317	347	367	387	407	427	447
6500	49	69	98	138	177	197	227	257	287	317	347	367	387	407	427	447
7000	59	69	118	138	177	197	237	267	297	327	347	367	387	407	427	447
7500	59	69	118	138	177	207	237	267	307	337	347	367	387	407	427	447
8000	59	78	118	138	177	207	247	277	317	347	367	387	407	427	447	467
8500	59	78	118	147	177	217	247	287	317	347	367	387	407	427	447	467
9000	59	78	118	147	197	217	257	287	327	347	367	387	407	427	447	467
9500	59	78	118	147	197	217	257	297	327	347	367	387	407	427	447	467
10000	59	78	118	177	197	227	267	297	337	367	387	407	427	447	467	487

材質 (木枠内: 比重=0.5) 比重=0.74

形状寸法表

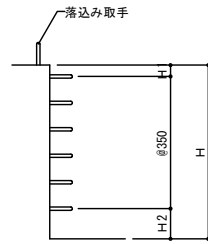
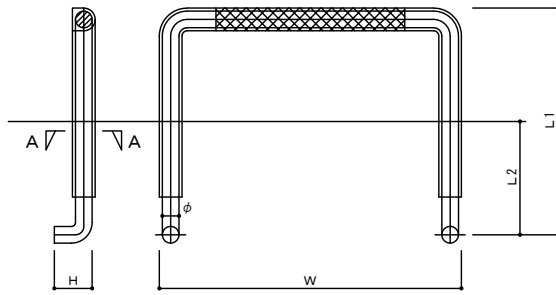
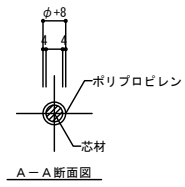
タイプ	寸法 呼称	板厚 T	はめあい溝				有効高さ H	長さ L	参考質量 (k _g /m)			受枠寸法		取手タイプ		
			a ₁	a ₂	h ₁	h ₂			比重 0.5	比重 0.74	比重 1.0	内幅 呼称+A	奥行 D	I	II	
A	50	49	-	-	20	20	170-600	W1=160	25.0	37.0	50.0	75	25	100	○	—
	60	59	20	20.5	20	21	170-600		30.0	44.4	60.0	85	25	100	○	—
	70	69	25	25.5	20	21	170-600		35.0	51.8	70.0	95	25	100	○	—
	80	78	25	25.5	20	21	170-600		38.0	57.7	78.0	105	25	100	○	—
	100	98	35	35.5	20	21	170-600		48.0	72.5	98.0	125	25	100	○	○
	120	118	40	40.5	20	21	170-600		59.0	87.3	118.0	145	25	100	○	○
	140	138	45	45.5	30	31	160-600		69.0	102.1	138.0	165	25	100	○	○
	150	147	45	45.5	30	31	160-300		73.5	108.7	147.0	175	25	120	○	○
	B	160	157	50	50.5	30	31	160-300	78.5	116.2	157.0	185	25	120	○	○
		180	177	55	55.5	30	31	160-300	88.5	131.0	177.0	205	25	120	○	○
		200	197	65	65.5	30	31	160-300	98.5	145.8	197.0	225	25	120	○	○
		210	207	70	70.5	30	31	160-300	103.5	153.2	207.0	235	25	120	○	○
		220	217	70	70.5	30	31	200-400	108.5	160.6	217.0	250	30	120	—	○
		230	227	75	75.5	30	31	250-400	113.5	168.0	227.0	260	30	120	—	○
		240	237	80	80.5	30	31	250-400	118.5	175.4	237.0	270	30	120	—	○
		250	247	85	85.5	35	36	250-400	123.5	182.8	247.0	280	30	120	—	○
260		257	90	90.5	35	36	250-400	128.5	190.2	257.0	290	30	150	—	○	
270		267	95	95.5	35	36	250-400	133.5	197.6	267.0	300	30	150	—	○	
280		277	100	101	35	36	250-400	138.5	205.0	277.0	310	30	150	—	○	
290		287	105	106	35	36	300-400	143.5	212.4	287.0	320	30	150	—	○	
300		297	110	111	35	36	300-400	148.5	219.8	297.0	340	40	150	—	○	
310		307	115	116	35	36	300-400	153.5	227.2	307.0	350	40	150	—	○	
320		317	120	121	35	36	300-400	158.5	234.6	317.0	360	40	150	—	○	
330		327	120	121	40	41	350-500	163.5	242.0	327.0	370	40	150	—	○	
340	337	120	121	40	41	350-500	168.5	249.4	337.0	380	40	150	—	○		
350	347	120	121	40	41	350-500	173.5	256.8	347.0	390	40	150	—	○		

- 注 1) 合成木材を貼り合わせ接合する場合は、エポキシ系接着剤を使用する。
 2) 参考質量は、食物(引き上げ用取手)の重量を含まない。
 3) 製品比重は、0.5及び0.74を標準とする。
 4) 製品比重1.0は、比重調整用重り(SUS製)を本体外に組み込み作製する。
 5) 角落し厚み 350mm を超える場合はスパン(L)と水深(H)より都度設計する。

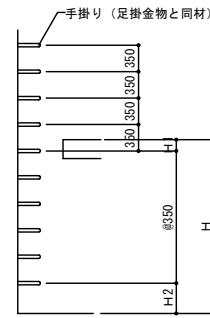
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	付帯設備詳細図(2)
縮尺	1/20 図示 図面番号 24/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課

足掛金物：ポリプロピレン製



Aタイプ



Bタイプ

形状寸法表 (参考)

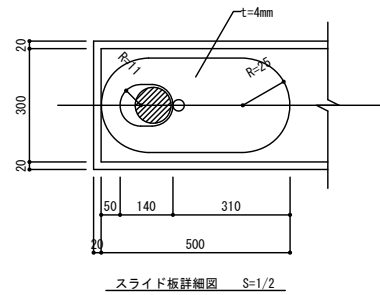
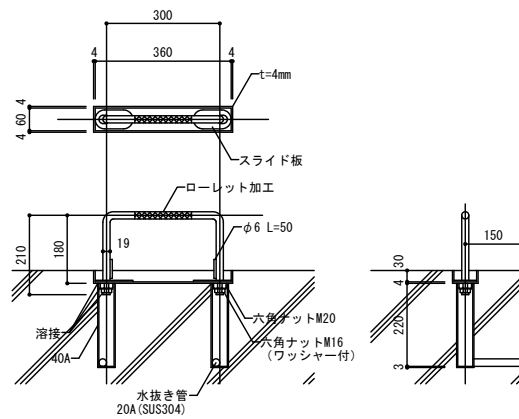
W	L1	L2	H	φ
○ 300	250	100	50	19
● 400	300	150	50	22

- 仕様・注記
- 1) ポリプロピレン製の形状寸法は製造メーカーの仕様による。
 - 2) 芯材の材質は、SWGH12R、SUS304又はSUS403とする。
 - 3) 壁に100mm以上埋め込む。
 - 4) 足掛り部のすべり止め加工は150mm以上とする。
 - 5) 足掛金物の取付間隔は350mmを標準とする。
 - 6) ポリプロピレン製の芯材の材質は設置場所の環境条件を考慮して選定する。
 - 7) 形状寸法表のうち ○印の有るものを適用する。
 - 8) 手掛金物として落とし込み式取手を設置する。ただし、足掛金物が向かい合って設置される場合は1箇所のみ設置する。

足掛金物リスト：ポリプロピレン製

符号	タイプ	H	H1	H2	本数 (1箇所当り)	落とし込み取手 (1箇所当り)	手掛り (1箇所当り)	箇所数	備考
TA-1	A	5,500	1,200	450	12	—	—	1	組立マンホール内を除く
TA-2上部	A	2,500	200	200	7	1	—	2	
TA-2下部	B	3,700	150	400	10	—	4	2	
TA-3	B	3,600	200	250	10	—	4	1	
TA-4	B	3,800	200	450	10	—	4	1	建築工事4本 土木工事10本
TA-5	A	4,100	200	400	11	1	—	1	建築工事
TA-6	B	3,300	200	300	9	—	4	1	
TA-7	A	3,800	200	450	10	1	—	1	
TA-8上部	A	3,300	200	300	9	1	—	1	
TA-8下部	B	3,800	50	250	11	—	4	1	
TA-9	A	4,950	200	200	14	1	—	1	建築工事10本 土木工事4本

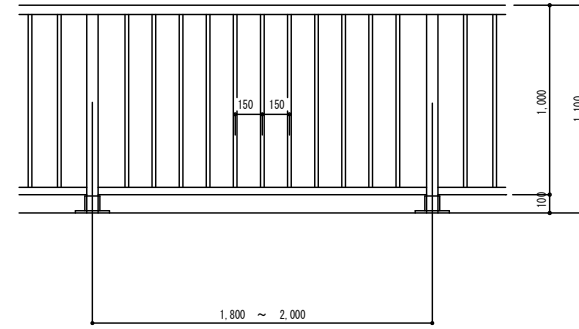
落とし込み取手標準図 S=1/10



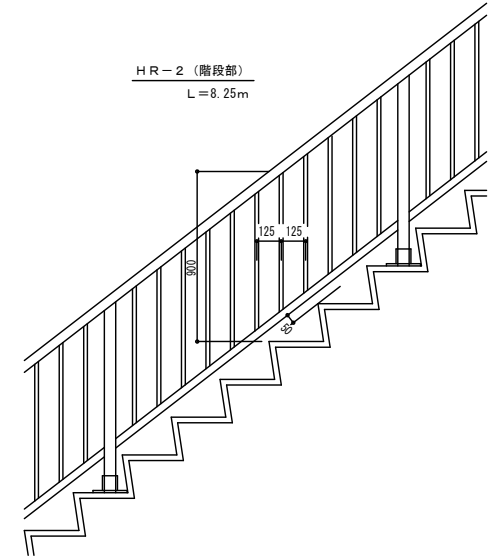
スライド板詳細図 S=1/2

- 仕様・注記
- 1) 材料はすべてSUS304を用いる。
 - 2) 原則として全ての足掛金物上部には、手掛け用取手を設ける。
 - 3) 水抜き管は、水路又は池側へ設ける。

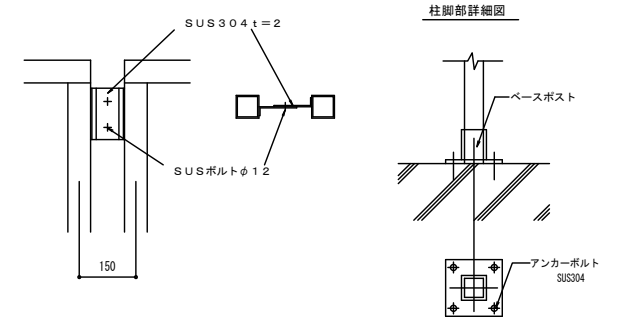
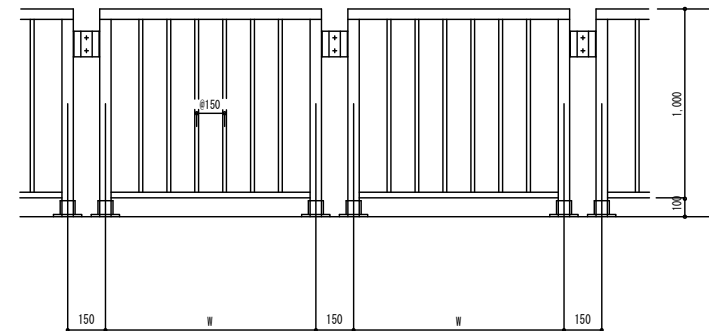
HR-1 (一般部)
L=49.71m



HR-2 (階段部)
L=8.25m



HR-3 (脱着式)
L=3.80m



形状寸法表 (単位mm)

	支柱間隔	笠木	手摺子間隔	高さ	下部の隙間	支柱
廊下・バルコニー	1,800 又は2,000	—	φ150	1,100	100	—
屋上	1,800 又は2,000	—	φ150	1,100	100	φ3,600
階段	1,500内外	—	φ125以内	900	50	—
部材厚	3mm以上	3mm以上	—	—	—	3mm以上

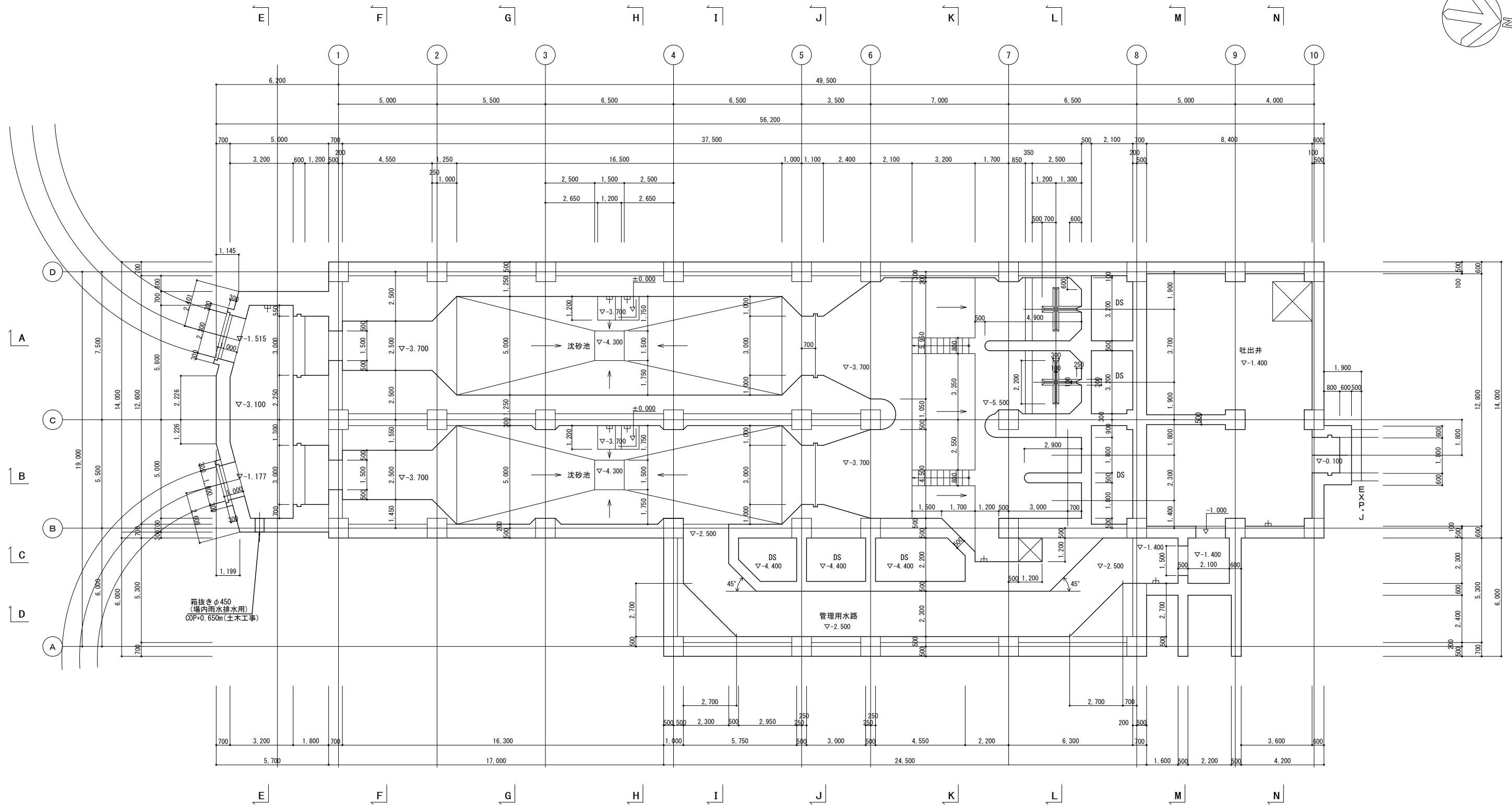
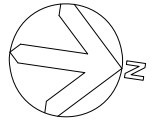
設計条件

部材名	荷重方向	設計条件	
笠木	水平方向	設計耐力	1.5kN/m
		たわみ量	500N/mで1/500以下かつ5mm以下 局部荷重500Nで1/100以下
	垂直方向	設計耐力	1.0kN/m
		たわみ量	500N/mで1/500以下かつ5mm以下 局部荷重500Nで1/100以下
支柱	設計耐力	2.7kNまたは3.0kN	
	たわみ量	局部荷重500Nで1/100以下	

- 注記
- 1) 材質は、JIS H4100によるA6063S-T5またはA6063S-T6またはA6061S-T6とし押出し形材を使用する
 - 2) 表面処理は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）14.2.1表のB-1種とする
 - 3) 支柱、笠木、支柱には補強材を使用しない。その他の部位に使用する補強材はJIS G3101によるSS400とし亜鉛メッキはJIS H8610の5級（クロメート被膜はJIS H8625のCM2C）以上とする
 - 4) 小ネジの類はステンレス製（SUS304、SUS305J1またはSUSXM7）とする
 - 5) 現場取付作業以外の組立などは工場製作とする。伸縮目地は必要に応じて設ける
 - 6) 切断面の処置はバリ等を適切な方法で除去する。端部の小口は同材にてふたをして仕上る
 - 7) 設計耐力及びたわみ量は、工場にて試験を行い監督職員に報告する。なお、公的試験場の試験成績書をもって、これに代える事が出来る
 - 8) 柱脚部はベースポストタイプとする。仕様は、製造メーカーの仕様によるものとする。

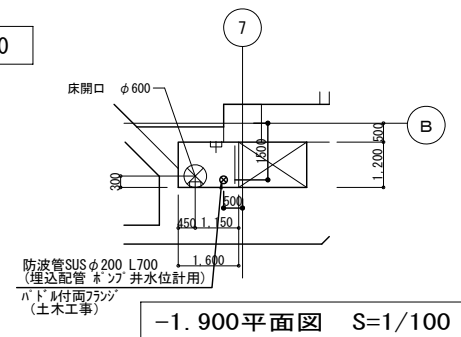
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	付帯設備詳細図(3)		
縮尺	図示	図面番号	25/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



箱抜きφ450
(場内雨水排水用)
COP+0.650m(土木工事)

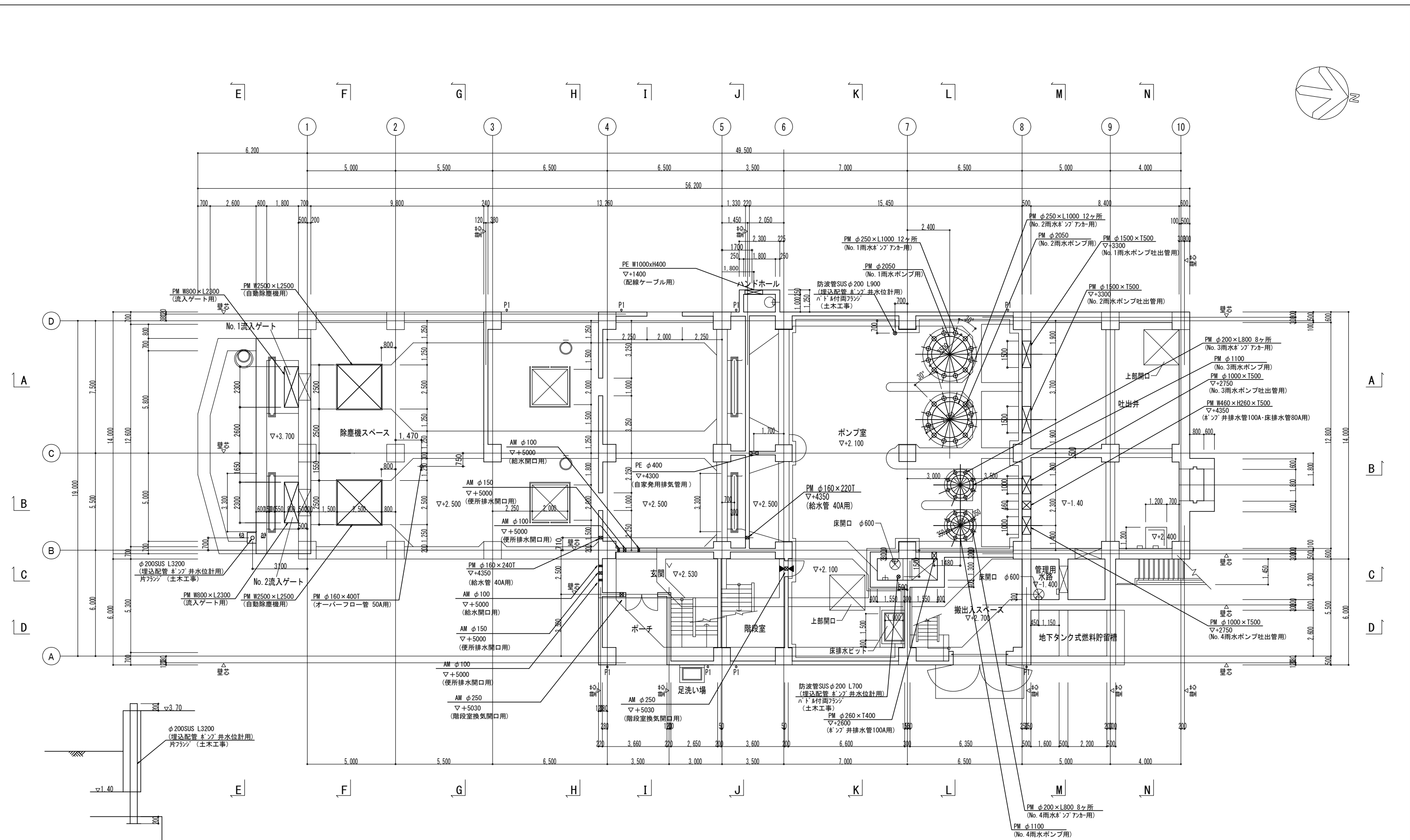
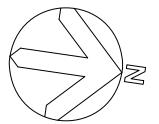
水路部 平面図 S=1/100



-1.900平面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	箱抜き・埋込配管図(1)		
縮尺	1/100	図面番号	26/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

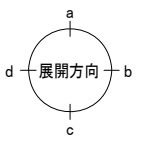


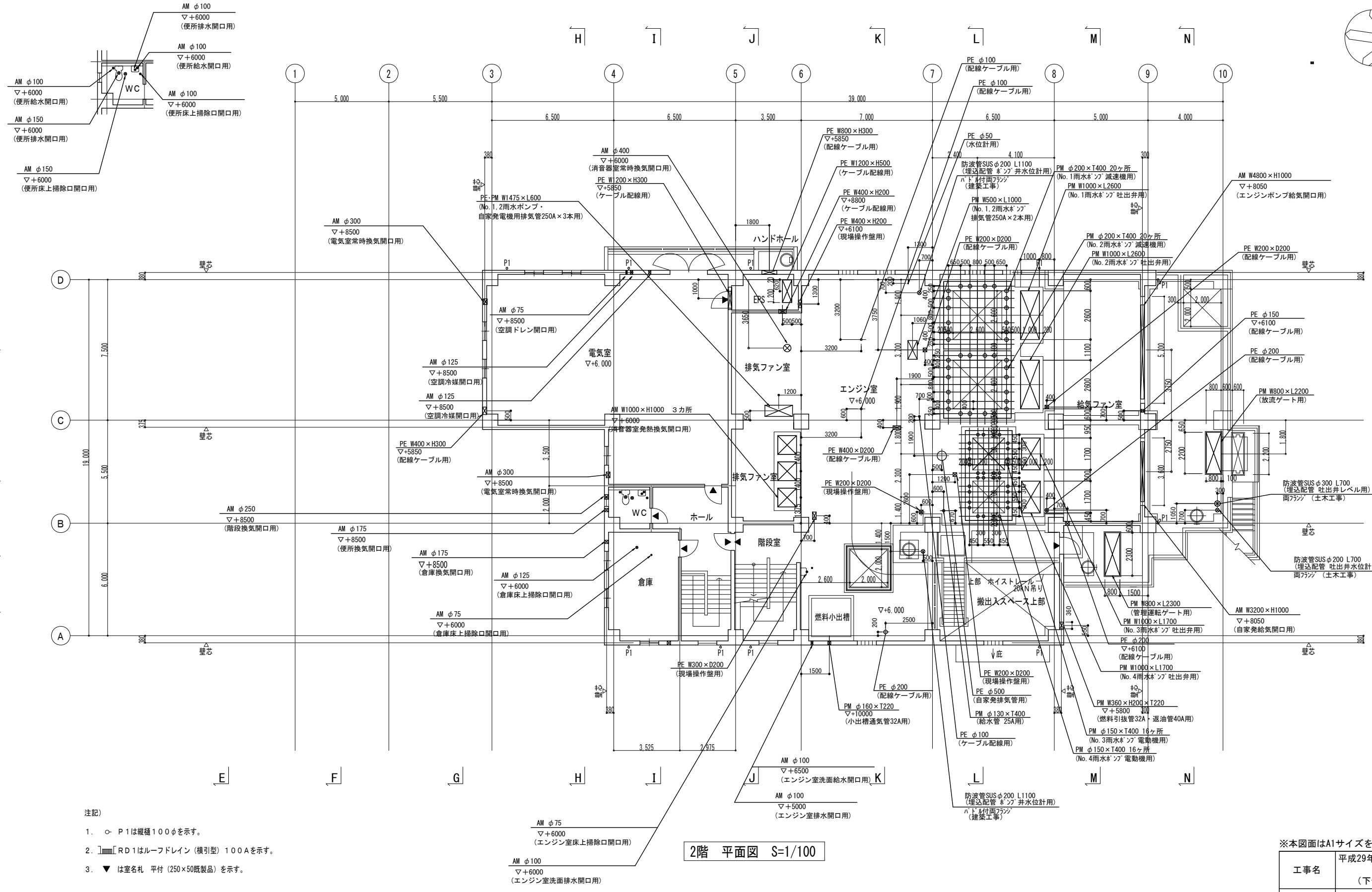
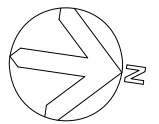
1階 平面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	箱抜き・埋込配管図(2)
縮尺	1/100 図面番号 27/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課

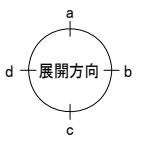
- 注記)
- P1は縦樋100φを示す。
 - ▭ RD1はルーフトレイン(横引型)100Aを示す。
 - ▼は室名札 平付(250×50既製品)を示す。





- 注記
- P1は縦樋100φを示す。
 - ▭ RD1はルーフトレイン(横引型)100Aを示す。
 - ▼は室名札 平付(250×50既製品)を示す。

2階 平面図 S=1/100



※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	箱抜き・埋込配管図(3)
縮尺	1/100 図面番号 28/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課

構造細目共通図 (複合構造物)

1 特記事項

1.1 適用範囲

- (1) 本構造細目共通図は、下水道施設における処理場、ポンプ場の複合構造物に適用する。
- (2) 土木工事と建築工事の区分は図面による。
- (3) 図面及び構造細目共通図に記載されていない事項は、下記に基づくものとし、これらに相違がある場合は監督職員に確認し指示を受ける。

土木工事	1) 土木工事特記仕様書 2) 土木工事一般仕様書・土木工事必携 3) コンクリート標準示方書	(別紙による。) (2012年版)
建築工事	1) 建築工事特記仕様書 2) 建築工事一般仕様書 3) 公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) 国土交通省大臣官房官庁営繕部	(別紙による。) (平成 28 年版) (平成 28 年版)

- (4) 項目は○印のついたものを適用する。○印のない場合は、※印のあるものを適用する。○印と⊗印のある場合は、共に適用する。

1.2 鉄筋の仕様

鉄筋の種類及び継手は 1. 2. 1 表による。

1. 2. 1 表 鉄筋の種類及び継手

鉄筋の種類	種別	径	
		土木	建築
鉄筋の種類	SD 295A	—	※ D16 以下
	※ SD 345 ・ SD 390 ・ SD 490	※ D13 以上	—
	SD 345	—	※ D19 以上
鉄筋の継手	重ね継手	下記以外	
	ガス圧接	※ D19 以上の柱、梁主筋 ※ D16 以上の増設端の床、壁鉄筋	※ D19 以上、D29 以下の柱、梁主筋
	機械式継手	・ 図面による。	

1.3 コンクリートの仕様

コンクリートは 1. 3. 1 表による。

1. 3. 1 表 コンクリートの仕様

分類	コンクリート種別	設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	セメントの種類
土木	鉄筋コンクリート	※ 24 ・ 30	※ 12 ・	※ 高炉セメント B ・ 普通ポルトランドセメント ・ 低熱ポルトランドセメント
建築	鉄筋コンクリート	地上	※ 24 ・ 21	※ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメント B
		地下基礎、基礎梁	※ 24 ・ 21	※ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメント B
土木	無筋コンクリート	※ 普通コンクリート	※ 18 ・	※ 高炉セメント B ・ 普通ポルトランドセメント
建築	無筋コンクリート	※ 普通コンクリート	※ 18 ・	・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメント B

注1: 無筋コンクリートには均しコンクリート、捨てコンクリートを含む。

1.4 砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリート

砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリートの厚さは 1. 4. 1 表による。

1. 4. 1 表 砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリートの仕様

部位	種別	厚さ (mm)
土木工事	砂利または砕石	※ 200
	均しコンクリート	※ 100
建築工事	砂利または砕石	※ 60
	捨てコンクリート	※ 50

2 共通事項

2.1 記号及び符号

設計図中で使用する記号及び符号は、2. 1. 1 表及び 2. 1. 2 表を標準とする。

2. 1. 1 表 鉄筋の断面表示

区分	径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	
建築		●	X	∅	●	○	⊙	⊗	⊕	
土木		●又は建築による。								

2. 1. 2 表 一般凡例

記号符号	内容	※印の説明及び注意事項
F※	フーチング断面種別	※ 番号
※1C※2	柱断面種別	※1 階数 ※2 その階の番号
※1G※2	大梁断面種別	※1 階数、地中大梁はFとする ※2 その階の番号 X方向 1, 2, 3- - - Y方向 A, B, C- - -
CG※	片持大梁断面種別	※ 番号、階別区分はしない
※1B※2	小梁断面種別	※1 地中小梁のみFとする。 ※2 階別区分はしない 地中小梁を除く
CB※	片持小梁断面種別	※ 番号、階別区分はしない
※1W※2	壁配筋種別	※1 E: 耐震壁, K: 階段壁 D: 土圧、水圧を受ける壁 階別区分はしない ※2 壁厚 (cm)
※1S※2※3	床版配筋種別	※1 片持床版のみCとする ※2 床版厚 (cm) ※3 配筋種別 (英大文字) 階別区分はしない
※1K※2	階段の配筋種別	※1 A: 片持床版形 B: 二辺固定床版形 ※2 配筋種別 (数字) 階別区分はしない
CB※	コンクリートブロック壁	※ 壁厚 (cm)
////	打ち増し範囲	
////	梁・床版の上がり下がり	一般には基準FLよりの+、-に 応じた凡例により表示
(※)	床用積載荷重	積載荷重の値 (kN/m ²)
STP	あばら筋、スターラップ	梁、基礎梁、小梁
HOOP	帯筋、帯鉄筋、フープ	柱
S.HOOP	スパイラル筋、らせん筋	柱
幅止筋	幅止め筋	柱、梁、壁
組立筋	組立て筋	床版、底版

2.2 一般注意事項

- (1) 設計図は監督職員の承諾を得なければ変更してはならない。変更の必要を生じた場合は、監督職員と協議すること。

3 土木工事

3.1 鉄筋の曲げ加工

鉄筋の曲げ加工は、3. 1. 1 表及び 3. 1. 2 表を標準とする。

- (1) Dは、曲げ内法直径を示す。
- (2) dは、鉄筋直径 (呼び名) を示す。

3. 1. 1 表 末端部

曲げ角度	折曲げ図	すべてのコンクリート		使用箇所
		SD345		
		D16 以下	D19 ~D32	
180°		5d 以上	5d 以上	定着末端部
135°		5d 以上	5d 以上	スターラップ、帯鉄筋 フープ筋等
90°		5d 以上	5d 以上	
135° 90°		5d 以上	5d 以上	幅止め筋

3. 1. 2 表 中間部

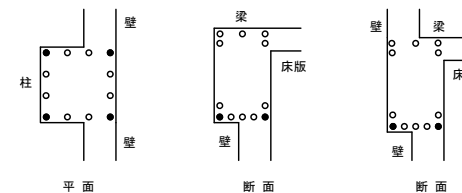
曲げ角度	折曲げ図	すべてのコンクリート		使用箇所
		SD345		
		D16 以下	D19 ~D32	
90° 以下		4d 以上	4d 以上	あばら筋、帯筋 スパイラル筋
		10d 以上	10d 以上	折曲げ鉄筋

3.2 異形鉄筋の末端部

異形鉄筋の末端部には、3. 2. 1 表によりフックを設ける。

3. 2. 1 表 フックを設ける位置

部位	継手方式		備考
	重ね継手	圧接継手	
柱	四隅の主筋	1) 最上階の柱頭 2) 継手部	1) 最上階の柱頭 3.2.1 図の●印 3.8.1 図参照
	上下階の柱断面が異なる場合	1) 下階の柱主筋を引き通す事が出来ない柱頭部	1) 下階の柱主筋を引き通す事が出来ない柱頭部 3.2.1 図の●印 3.8.2 図参照
	帯筋 (HOOP)	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部 3.9.1 図参照
梁	主筋	1) 出隅及び下端筋の出隅 (基礎梁は除く)	3.2.1 図の●印
	あばら筋 (STP)	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部 3.12.1 図参照
杭基礎	独立フーチング基礎の底版筋	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部 3.25.1 図参照
煙突の鉄筋	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	壁の一部となる場合を含む
幅止め筋			3.1.1 表参照

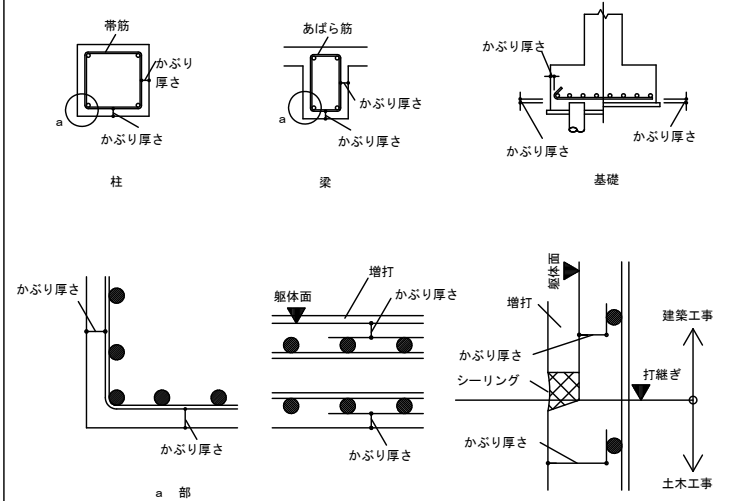


3. 2. 1 図 異形鉄筋の末端部

3.3 鉄筋のかぶり及び間隔

3.3.1 かぶり厚さ

かぶり厚さとは、一番外側の鉄筋 (幅止め筋を除く) の外面から躯体面までの距離 (3. 3. 1 図) をいう。
鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上を確保し、最小かぶり厚に許容施工誤差 10mm を加えた厚さ以内に納めるものとする。



3. 3. 1 図 鉄筋のかぶり厚さ

3.3.2 最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは、3. 3. 1 表による。

- (1) 床版、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、均しコンクリートの厚さを含まない。
- (2) 柱及び梁の主筋に D29 以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の 1.5 倍以上確保して最小かぶり厚さを定める。
- (3) 溶接金網にも適用する。

3. 3. 1 表 鉄筋の最小かぶり厚さ (mm)

構造部分の種類	スラブ	底版・フーチング		梁	柱、壁
		杭基礎下端筋	その他		
一般	40	3.24 杭基礎の補強を参照	60	40	40
水中・土中等	50		60	50	60

- 1: 部位により最小かぶり厚さの判断が困難な場合は、監督職員の指示を得る。
- 2: 「その他」は底版・フーチングの上下面及び側面とする。
- 3: 塩害対策地域区分は、土木工事特記仕様書による。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	構造細目共通図 (1)
縮尺	— 図面番号 29/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課

3 土木工事

3.4 鉄筋相互のあき

3.4.1 梁・壁・床版

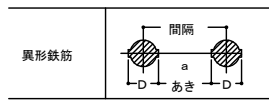
鉄筋相互のあきは、下記(1)、(2)、(3)の最大値以上とする。

- (1) 粗骨材の最大寸法の4/3倍
- (2) 最小のあき20mm
- (3) 異形鉄筋の直径(呼び名)以上

3.4.2 柱

鉄筋相互のあきは、下記(1)、(2)、(3)の最大値以上とする。

- (1) 粗骨材の最大寸法の4/3倍
- (2) 最小のあき40mm
- (3) 異形鉄筋の直径(呼び名)の1.5倍以上



(注) D：鉄筋の最外径 d：鉄筋直径(呼び名)

3.4.1図 鉄筋のあき

3.4.1表 鉄筋径と鉄筋間隔の関係一覧

鉄筋径 d	最外径 D	鉄筋相互のあき：a			最小鉄筋間隔		
		(1) 粗骨材径×4/3倍	(2) 最小あき	(3) 鉄筋径×1.0	(梁) a+D	(柱) a+D	
D13	14	33mm 粗骨材最大径 2.5mmの場合	梁：20mm 柱：40mm	13mm	20mm	47mm	54mm
D16	18			16mm	24mm	51mm	58mm
D19	21			19mm	29mm	54mm	61mm
D22	25			22mm	33mm	58mm	65mm
D25	28			25mm	38mm	61mm	68mm
D29	33			29mm	44mm	66mm	77mm

3.5 鉄筋の継手及び定着

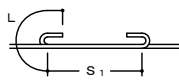
3.5.1 継手長及び定着長の基本

- (1) 鉄筋の継手及び定着の長さは、3.5.1表による。なお、定着長 $S_2 \cdot S_3$ は、3.1項による曲げ加工後の直線部分で確保する。ただし、主鉄筋の中心間隔が100mm未満の場合は、別途継手及び定着の長さを算出し図面に示すものとする。

3.5.1表 鉄筋の重ね継手及び定着の長さ(主鉄筋中心間隔100mm以上)

鉄筋の種別	鉄筋径区分	設計基準強度 (N/mm ²)	フックなし			フックあり		
			S1:重ね継手長	S2:定着長	S3:定着長	S1:重ね継手長	S2:定着長	S3:定着長
SD345	D22以下	24以上	40・d	35・d	25・d	30・d	25・d	20・d
	D25~D32	27未満	45・d	35・d	30・d	35・d	25・d	20・d
	D35以上		50・d	40・d	30・d	40・d	30・d	20・d

- (2) 径が異なる鉄筋の継手長さは、細い鉄筋の径による。
- (3) 継手は相互にずらすことを原則とする。
- (4) フックのある場合の継手長及び定着長には、3.5.1図に示すようにフック部分Lを含めない。

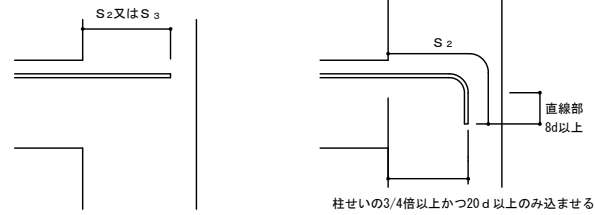


3.5.1図 フックのある場合の継手及び定着要領

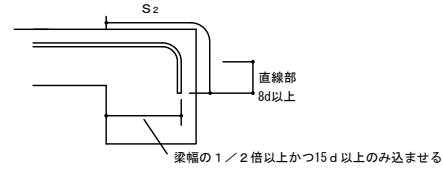
3.5.2 継手の特記事項

- (1) 継手は極力応力の小さい位置に設ける。
- (2) 異種径の鉄筋をガス圧接する場合は、鉄筋径の直近の範囲内とする。

3.5.3 梁主筋の柱内定着



3.5.2図 梁主筋の柱内定着要領

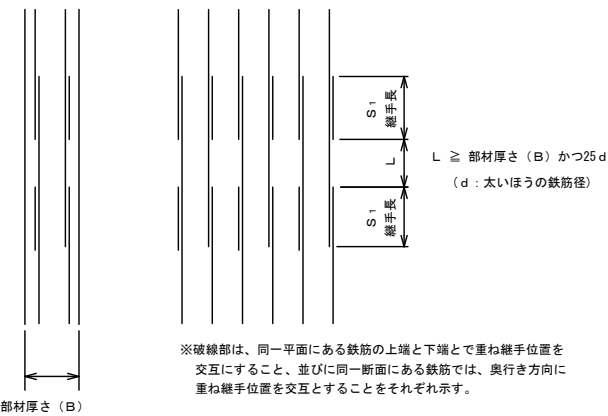


3.5.3図 小梁及びスラブ上端筋の梁内折曲げ定着要領

3.6 隣り合う継手の位置

3.6.1 主鉄筋の重ね継手

- (1) 同一断面での継手の割合(集中度)は1/2以下(相互にずらす)とする。
- (2) 継手長さは、軸方向に相互にずらして設ける。
- (3) ずらす距離(L)は、部材厚(B)、かつ、太いほうの鉄筋径の2.5倍以上とする。
- (4) 前記(1)を確保できない場合は、基本定着長の1.7倍の継手長さとし、横方向の鉄筋で補強する。
- (5) 前記(1)を確保できない場合等は、監督職員の承諾を得て、ガス圧接継手又は機械式継手工法を採用することができる。
- (6) 継手部の鉄筋のあきは、粗骨材の最大寸法以上とする。



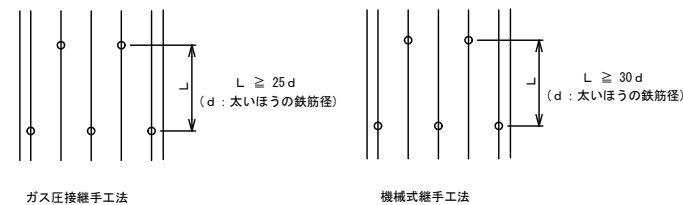
※破線部は、同一平面にある鉄筋の上端と下端とで重ね継手位置を交互にすること、並びに同一断面にある鉄筋では、奥行き方向に重ね継手位置を交互にすることをそれぞれ示す。

3.6.1図 重ね継手工法

3.6.2 主鉄筋のガス圧接および機械式継手

主鉄筋、配力鉄筋のガス圧接継手及び機械式継手は以下のとおりとする。機械式継手は、ねじ節継手工法とし、土木学会「鉄筋継手指針(1982)」による。また、ねじ節継手工法以外の機械式継手を採用する場合は、監督職員の承諾を得ること。

- (1) 同一断面での継手の割合(集中度)は1/2以下とする。
- (2) 継手は軸方向に相互にずらして設ける。
- (3) ガス圧接の場合のずらす距離(L)は、太いほうの鉄筋径の2.5倍以上とする。
- (4) 機械式継手の場合のずらす距離(L)は、太いほうの鉄筋径の3.0倍以上とする。



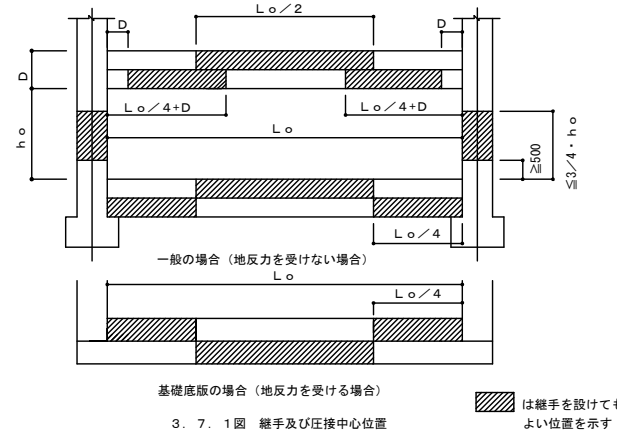
ガス圧接継手工法 機械式継手工法

3.6.2図 各種継手工法

3.7 継手及び圧接中心位置(柱、大梁)

継手及び圧接中心位置は図面にない場合は、3.7.1図による。

- (1) 柱の継手及び圧接中心位置は、梁上端から50cm以上、150cm以下かつ3/4 h_o (h_o は柱の内法高さ)以下とする。
- (2) 梁の継手及び圧接中心位置は下記による。
上端筋 中央：L_o/2以内
下端筋 両端：柱面より梁せい(D)以上離し、L_o/4を加えた範囲以内
- (3) 通常の応力と異なる場合の継手位置は、3.7.1図によらず図面による。

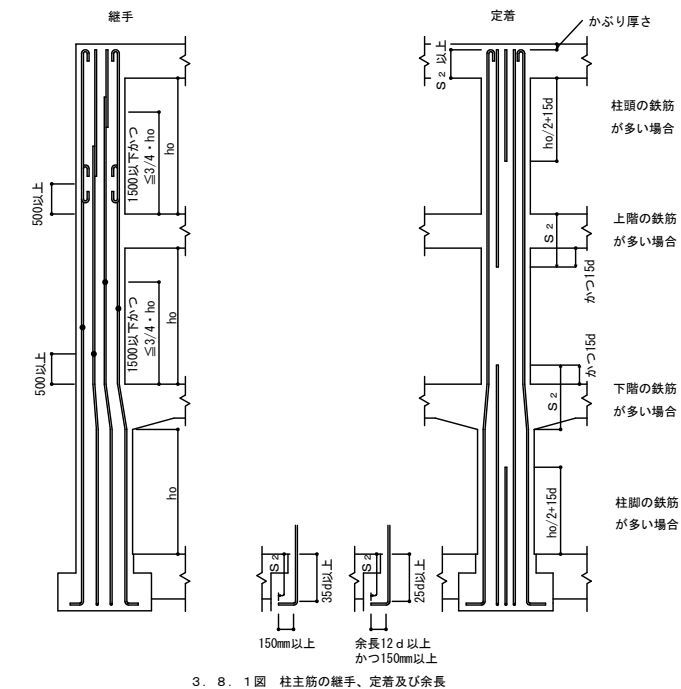


3.7.1図 継手及び圧接中心位置

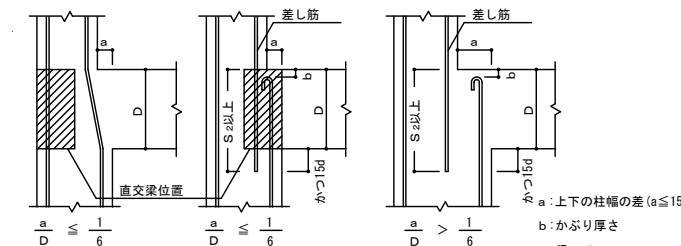
3.8 柱筋の継手及び定着

3.8.1 一般事項

- (1) 継手長さは S_1 とし、定着及び余長は、3.8.1図による。
- (2) 柱頭定着長さ S_3 が確保出来ない場合は、図面による。
- (3) 上下の柱断面が異なる場合の柱主筋の折曲げ及び定着は、3.8.2図による。
- (4) 柱脚定着長さ $25d$ (余長12d以上)または $35d$ が確保出来ない場合は、図面による。



3.8.1図 柱主筋の継手、定着及び余長

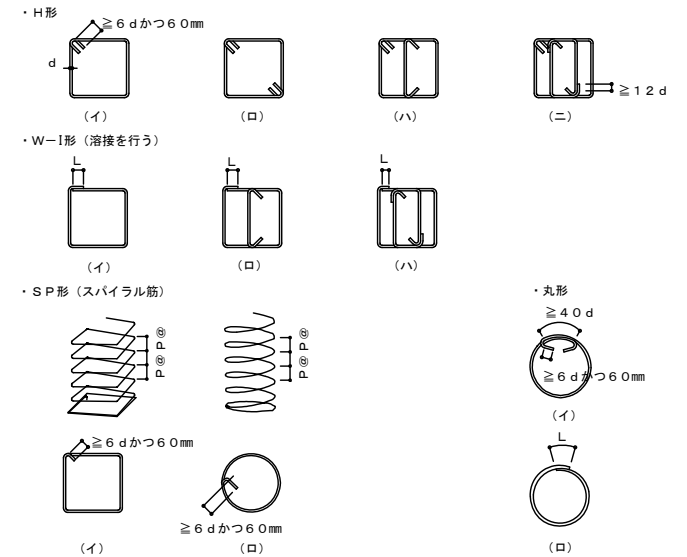


3.8.2図 上下の柱断面が異なる柱主筋の折曲げ及び定着

3.9 帯筋の形状

- (1) 帯筋の形状は、3.9.1図とし、種別は図面による。図面になければ下記による。

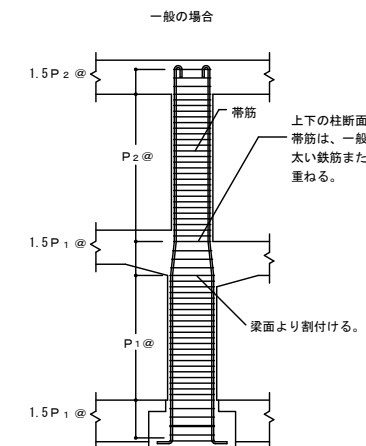
- (a) H形とする。
- (b) H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。
- (c) 溶接する場合の溶接長さLは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とし、組立前に行う。
- (d) S-P形において、柱頭及び柱脚の端部は、1.5巻以上の添巻きを行う。



3.9.1図 帯筋結立の形

3.10 帯筋の割付け

- (1) フック及び継手の位置は交互とし、位置を変える。
- (2) 帯筋の割付けは、3.10.1図による。ただし、図面にある場合は図面による。
- (3) 柱、梁の交差部(パネルゾーン)の帯筋のせん断補強比は、0.2%以上を確保し、ピッチは1.5倍とする。



3.10.1図 帯筋の割付け

柱、梁の交差部の配筋例(0.2%確保)

柱幅(cm)	パネルゾーン
≤45	D13 @150
≤55	D13 @150
≤70	D13 @150
≤80	D13 @150
≤100	D13 @125
≤125	D13 @100
≤130	D16 @150
≤155	D16 @125

※P1、P2のピッチは100以下とする。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

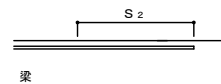
工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	構造細目共通図(2)
縮尺	— 図面番号 30/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課

3 土木工事

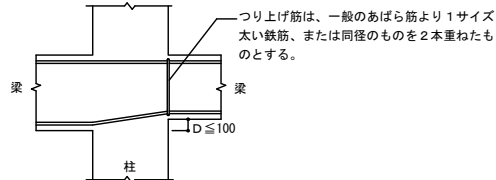
3.1.1 大梁筋の継手及び定着

3.1.1.1 一般事項

- 継ぎ手長さ、定着長さ及び余長は、3.1.1.1図から3.1.1.10図による。
- 梁主筋は、連続端で柱に接する梁の主筋が同数のときは柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、3.1.1.1図のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部等では折り曲げて定着する。
- 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。
上端筋：曲げ下ろす
下端筋：原則として曲げ上げる。
梁主筋のみ込み長さは、柱せいの3/4倍以上かつ20d以上を確保する。(※1)
- 梁にハンチをつける場合、その傾斜は図面による。図面になければ1:4とする。
- 印は、継ぎ手及び余長を示す。
- 破線は柱内定着の場合を示す。
- 3.2異形鉄筋の末端部で定めた鉄筋にはフックをつける。
- 段違い梁は3.1.1.2図による。



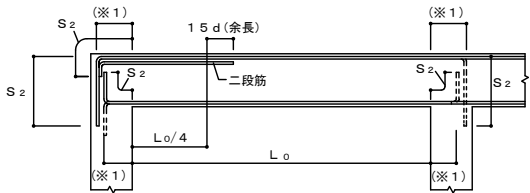
3.1.1.1図 梁主筋を柱内定着



3.1.1.2図 段違い梁

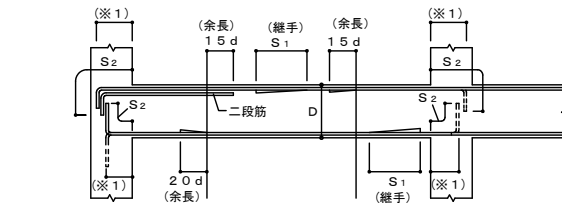
3.1.1.2 ハンチのない場合

(1) 最上階の場合

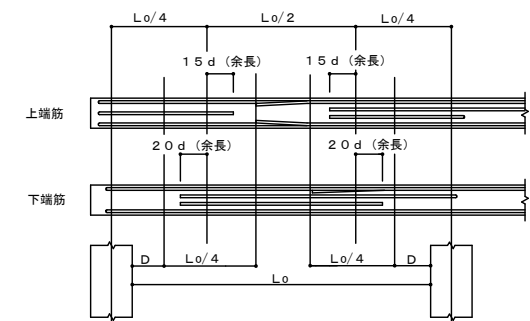


3.1.1.3図 大梁の重ね継手、定着及び余長（最上階）

(2) 一般階の場合



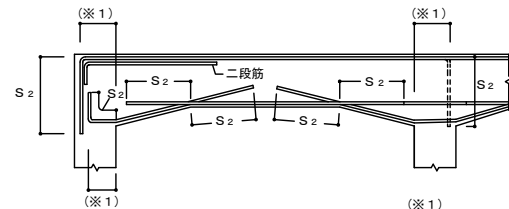
3.1.1.4図 大梁の重ね継手、定着及び余長（一般階その1）



3.1.1.5図 大梁の重ね継手、定着及び余長（一般階その2）

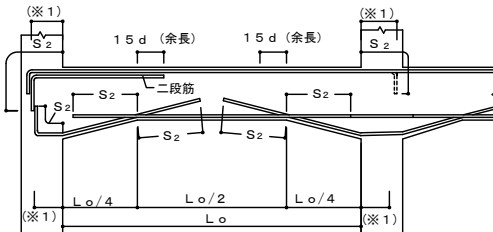
3.1.1.3 ハンチのある場合

(1) 最上階の場合



3.1.1.6図 ハンチのある大梁の定着及び余長（最上階）

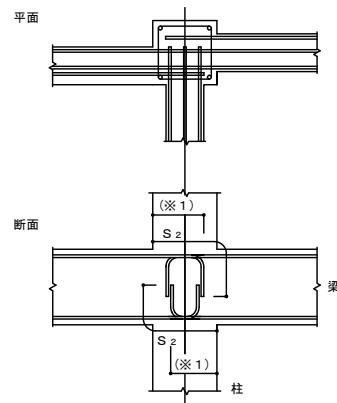
(2) 一般階の場合



3.1.1.7図 ハンチのある大梁の定着及び余長（一般階）

3.1.1.4 水平段差のある場合

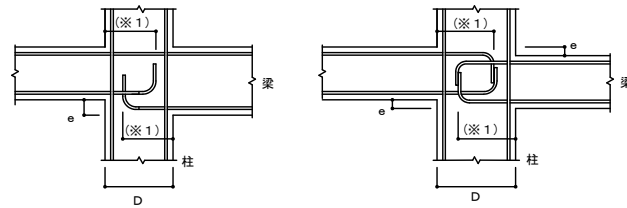
(1) 水平段差のある場合



3.1.1.8図 大梁の定着及び余長（水平段差のある場合）

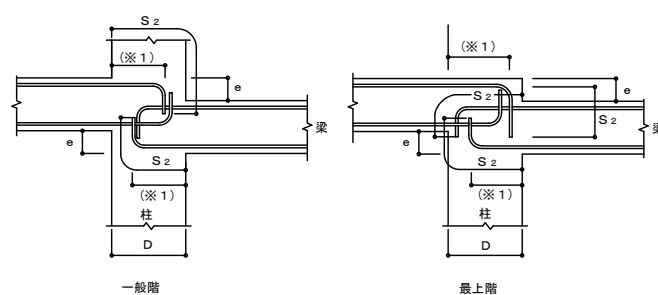
3.1.1.5 鉛直段差(e)のある場合

(1) e/D ≤ 1/6 の場合



3.1.1.9図 鉛直段差(e)のある場合（その1）

(2) e/D > 1/6 の場合



3.1.1.10図 鉛直段差(e)のある場合（その2）

3.1.2 梁のあばら筋、腹筋及び幅止め筋

3.1.2.1 一般事項

- 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。
- 壁梁の場合、腹筋の継手長さはS₁；定着長さをSとする。
- 土圧、水圧を受ける梁は、図面による。
- 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D13-1000mmピッチ程度とする。
- 破線は柱内定着の場合を示す。

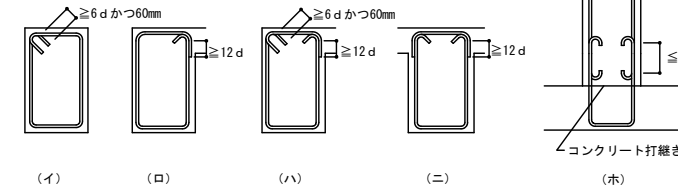
3.1.2.2 あばら筋組立の形及びフックの位置

- 形は、3.1.2.1図(イ)を標準とする。ただし、(イ)によることが出来ない場合は、下記の方法によることが出来る。

- 床版が片側に付く場合は、(ロ)又は(ハ)
- 床版が両側に付く場合は、(ロ)～(ニ)

(2) フックの位置

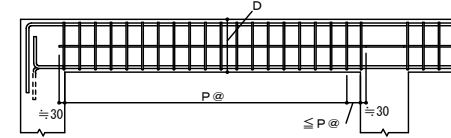
- (イ)の場合は交互とする。
- (ロ)の場合 床版が片側に付く場合は床版の付く側 床版が両側に付く場合は交互
- (ハ)の場合は床版の付く側を90°折曲げる。
- (ホ)は梁の上下にスラブが付く場合で、かつ梁せいが1.5m以上の場合に適用することが出来る。(基礎梁)



3.1.2.1図 あばら筋組立の形及びフックの位置

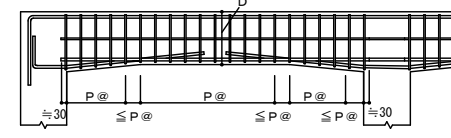
3.1.2.3 あばら筋の割付け

(1) 間隔が一樣でハンチのない場合



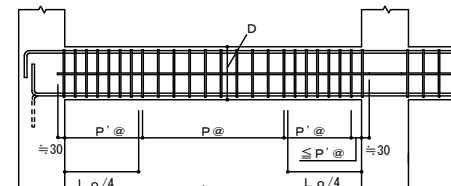
3.1.2.2図 あばら筋の割付け（その1）

(2) 間隔が一樣でハンチのある場合



3.1.2.3図 あばら筋の割付け（その2）

(3) 梁の端部で間隔の異なる場合

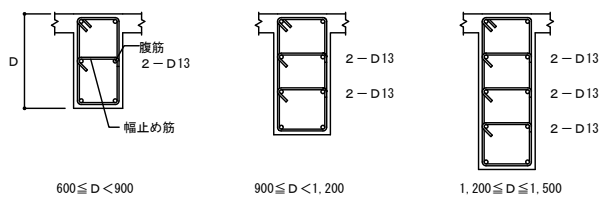


3.1.2.4図 あばら筋の割付け（その3）

3.1.2.4 腹筋及び幅止め筋

(1) 一般の梁

a) 腹筋及び幅止め筋



3.1.2.5図 腹筋及び幅止め筋

(2) 特殊な梁

腹筋及び幅止め筋は、図面による。

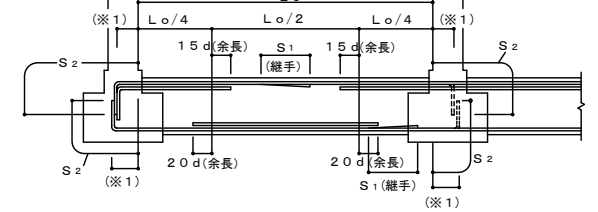
3.1.3 基礎梁及び底版の継手及び定着

3.1.3.1 一般事項

- 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合は反対側の梁に定着する。外端部や隅部等では折り曲げて定着する。
- 梁筋を柱内に定着する場合は、3.1.1.1(3)による。
- 柱幅<梁幅の場合の定着は、3.1.3.3図による。
- 印は、継ぎ手及び余長を示す。
- 破線は柱内定着の場合を示す。

3.1.3.2 基礎梁の場合

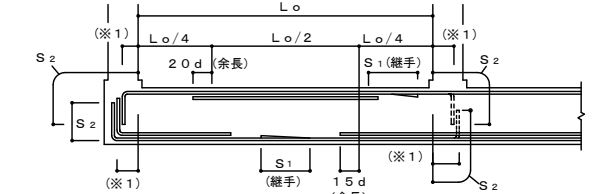
(1) 基礎梁の継手及び定着



3.1.3.1図 主筋の継手、定着及び余長（その1）

3.1.3.3 連続基礎及びべた基礎の場合

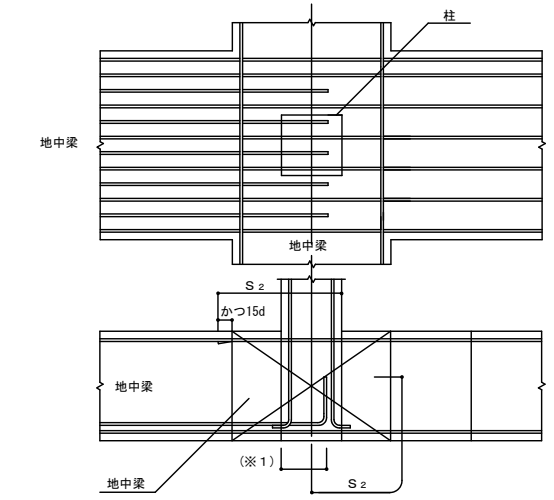
(1) 柱幅 ≥ 梁幅の場合



3.1.3.2図 主筋の継手、定着及び余長（その2）

(2) 柱幅 < 梁幅の場合

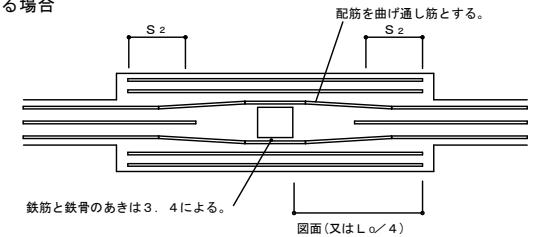
- 交差部のスターラップを設ける場合は、図面による。



3.1.3.3図 主筋の継手、定着及び余長（その3）

3.1.3.4 梁形を設けない場合の基礎底版

- 鉄骨造のBOX柱等が埋め込まれる場合の端部と中央部の断面の異なる場合



3.1.3.4図 主筋の継手、定着及び余長（その4）※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	構造細目共通図 (3)
縮尺	— 図面番号 31/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課

3 土木工事

3.14 小梁及び片持梁の配筋要領

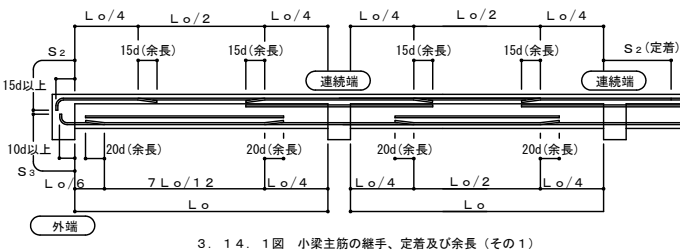
3.14.1 一般事項

- 図面にない事項は大梁、梁のあばら筋、及び基礎梁の項に準ずる。
- 印は、余長位置を示す。

3.14.2 小梁

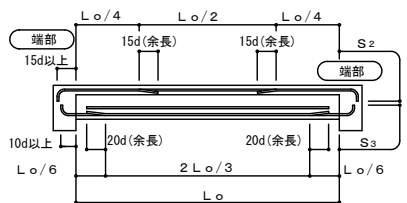
梁内の定着筋において梁せいが小さく垂直で余長が取れない場合、斜めにしてもよい。

(1) 連続小梁の場合



3.14.1 図 小梁主筋の継手、定着及び余長 (その1)

(2) 単独小梁の場合

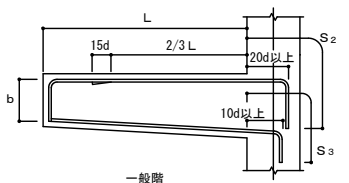


3.14.2 図 小梁主筋の継手、定着及び余長 (その2)

3.14.3 片持梁筋の定着

(1) 先端に小梁のない場合

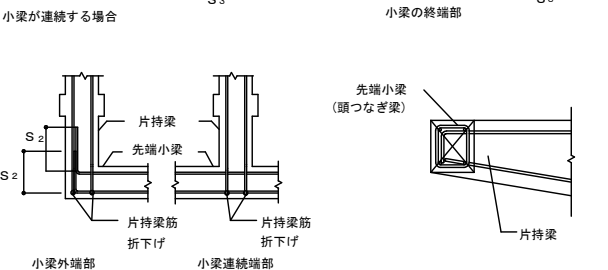
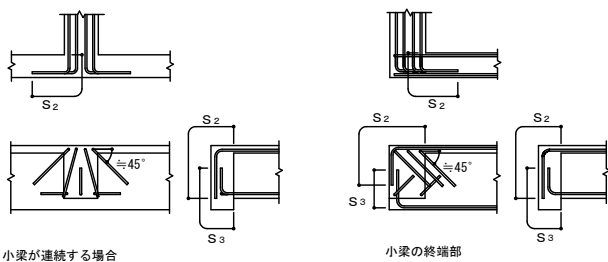
- 先端の折曲げの長さ \$b\$ は、梁せいよりかぶり厚さを除いた長さとする。
- 梁筋を引き通さない場合は、取り合い部材に定着する。ただし、柱に取り合う場合は、全数を引き通すことができる場合でも、上端筋は、2本以上を柱に定着する。



3.14.3 図 片持梁主筋の定着及び余長 (先端に小梁がない場合)

(2) 先端に小梁がある場合

- 上端筋は、先端小梁内に斜めに定着する。
- 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
- 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

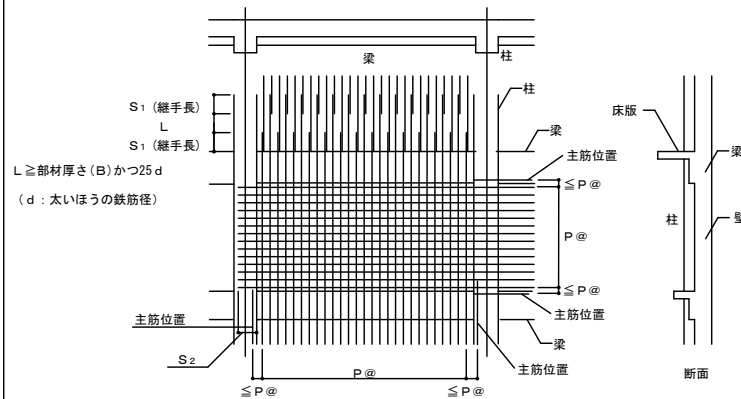


3.14.4 図 片持梁主筋の定着

3.15 壁の配筋要領

3.15.1 一般事項

- 壁配筋の継手長さを \$S_1\$、定着の長さは、\$S_2\$ とする。
- 土圧及び水圧などを受ける壁及び耐震壁として、図面に示されたものは、継手長さを \$S_1\$、定着長さを \$S_2\$ とする。
- 幅止め筋は、縦、横とも \$D13-@1000\$mm を標準とする。
- 一般部壁筋は、3.15.1 図によることとし、隣接する壁の鉄筋と重ね継手を設ける場合は、3.6 項に従うものとする。



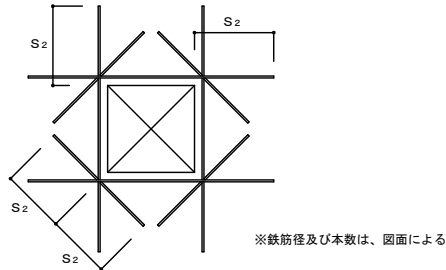
3.15.1 図 壁の配筋

3.15.2 耐震壁の開口

- 耐震壁等の開口は、図面以外は設けてはならない。
- やむを得ず開口をあける場合は、構造上安全であることを構造計算によって確認すること。

3.15.3 壁開口部の補強

- 壁開口部の補強は、図面による。補強筋の長さ及び位置は、3.15.2 図を標準とする。



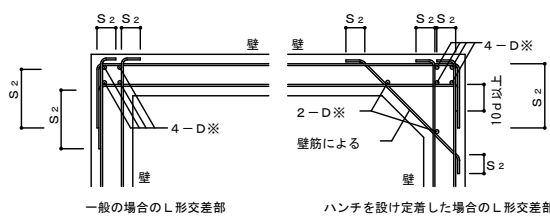
3.15.2 図 壁開口部の補強要領

- 開口寸法が配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来る場合は、補強筋を省略することができる。

3.15.4 壁の交差部及び端部

- 壁と壁の交差部は3.15.3 図による。

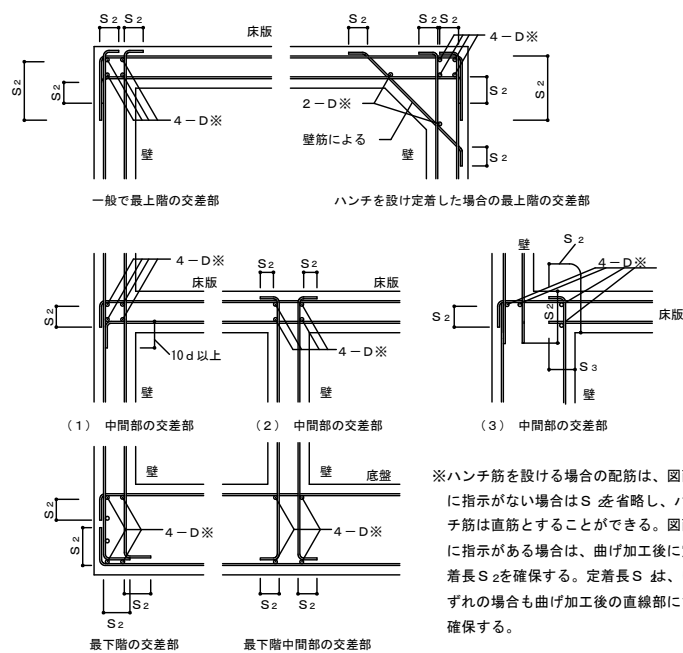
a. 交差部補強筋径 \$D\$ は \$D16\$ 以上、かつ壁配力筋と同径とする。



3.15.3 図 壁と壁の交差部及び端部の配筋

- 壁と床版の交差部は3.15.4 図による。

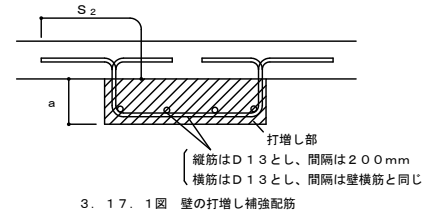
a. 交差部補強筋径 \$D\$ は \$D16\$ 以上、かつ壁配力筋と同径とする。



3.15.4 図 壁と床の交差部及び端部の配筋

3.17 壁の打増し要領

- コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、特記によるほか、配管等での壁の打増し補強筋は、3.17.1 図による。打増し厚さの \$a\$ が \$50\$mm 以上、\$200\$mm 以下に適用する。\$200\$mm を越える場合は、特記による。

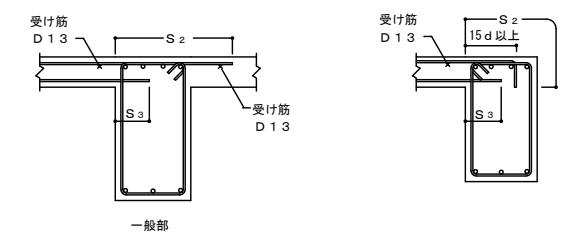


3.17.1 図 壁の打増し補強配筋

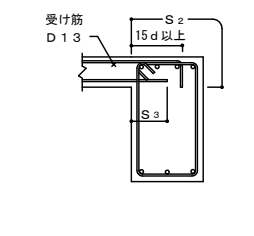
3.18 床の配筋要領

3.18.1 一般事項

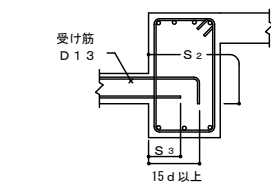
- 鉄筋の継手長さは、\$S_2\$ とする。
- 定着長さ及び受け筋は、3.18.1 図による。ただし、引き通すことができない場合は、3.18.2 図、3.18.3 図により梁内に定着する。
- 基礎梁と床版を一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合の補強は図面による。図面になければ3.20.5 図による。



3.18.1 図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その1)



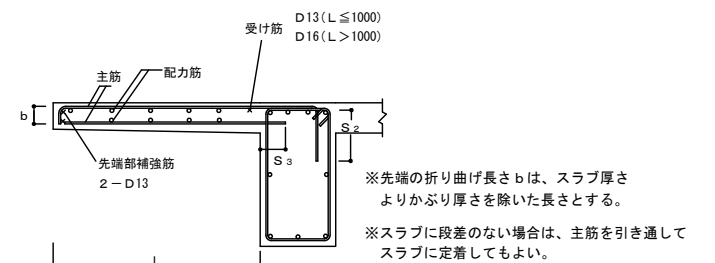
3.18.2 図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その2)



3.18.3 図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その3)

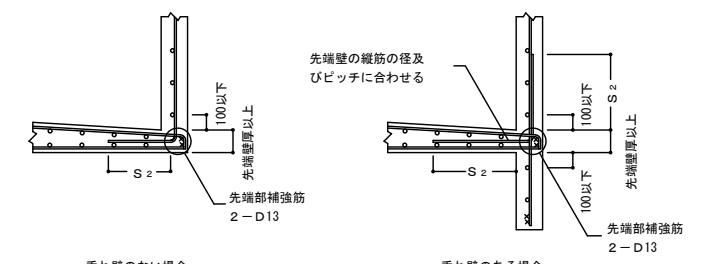
3.18.2 片持スラブ

(1) 片持スラブの配筋



3.18.4 図 片持スラブの配筋

(2) 先端に小梁がなく壁が取り付け場合



3.18.5 図 先端に壁が付く場合の配筋

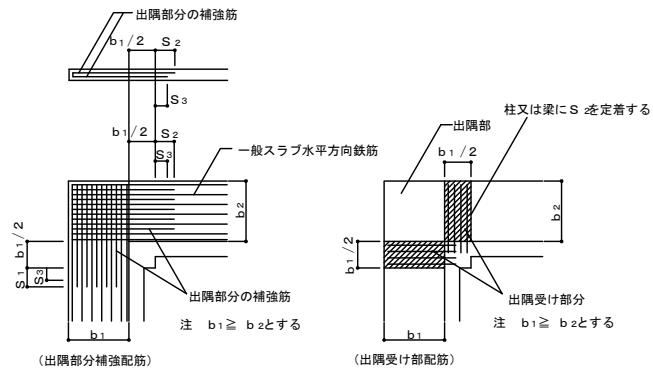
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補維第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	構造細目共通図 (4)
縮尺	— 図面番号 32/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課

3 土木工事

3.18.3 出隅部の配筋方法

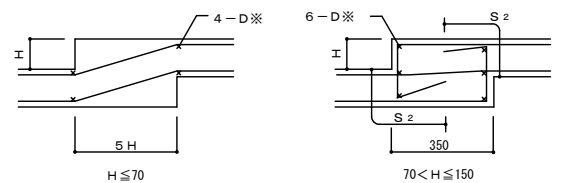
- 補強の配筋は図面による。配筋方法は、3.18.6図による。特記にない場合は、D13@100ダブル程度とする。
- 出隅受け部分(図のハッチ部分)の配筋は、図面(幅は $b/2$ とする)による。



3.18.6図 片持スラブ出隅部の補強配筋

3.18.4 段差床版の補強

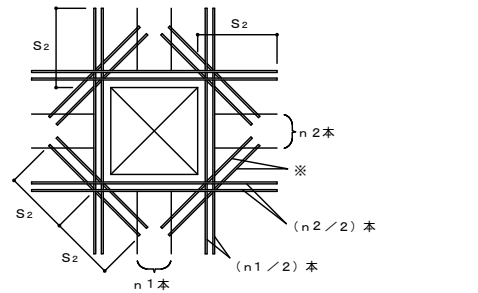
- 同一床版に段差がある場合、3.18.7図の補強を行う。ただし、 $H > 150$ の場合は、小梁を設ける事を原則とする。



3.18.7図 段差のある床版の補強配筋

3.18.5 床版開口部の補強

- 開口の最大径 ≤ 700 の場合は、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には、斜め方向に主筋径以上の鉄筋2本を上下筋の内側に配筋する。(3.18.8図) 開口の最大径 > 700 の場合は図面による。

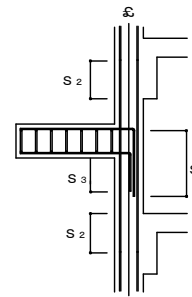


3.18.8図 床版開口部の補強配筋

- 開口寸法が配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来る場合は、補強筋を省略することができる。

3.19 階段の配筋要領

- 壁配筋は、図面による。
- 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に曲げ降ろす。

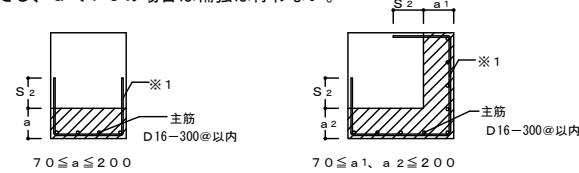


3.19.1図 片持スラブ形階段配筋の定着

3.20 柱及び梁の増し打ち要領

3.20.1 柱

- 増し打ちコンクリートの補強は、3.20.1図による。ただし、 $a < 70$ の場合は補強は行わない。

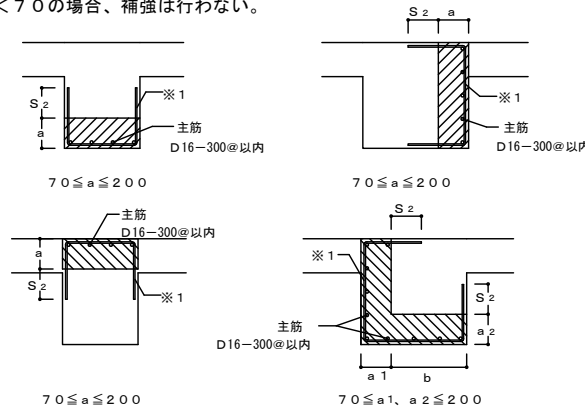


※1. 帯筋と同径・同ピッチとする。
3.20.1図 柱の増し打ち補強配筋

- 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。
- 増し打ち部分の帯筋の定着長さは、 S 以上とする。
- 増し打ち部分主筋の定着、重ね長さは、柱の主筋による。

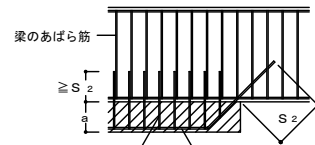
3.20.2 梁

- 増し打ちコンクリートの補強は、3.20.2図による。ただし、 $a < 70$ の場合、補強は行わない。



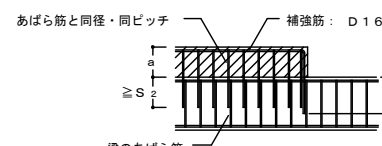
※1. あばら筋と同径・同ピッチとする。
3.20.2図 梁の増し打ち補強配筋

- 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。
- 増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、 S 以上とする。
- 増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、梁の主筋による。
- 梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合。



3.20.3図 梁の上下の増し打ち配筋補強(途中で終わる場合)

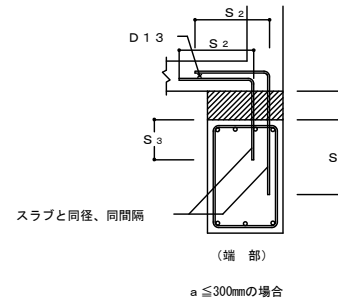
- 梁の側面の増し打ちが途中で終わる場合。



3.20.4図 梁の側面の増し打ち補強配筋(途中で終わる場合)

3.20.3 土間スラブの打継ぎ補強

- 基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合。

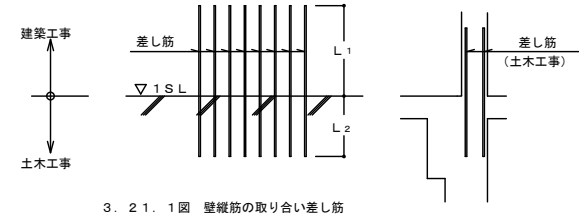


3.20.5図 土間スラブの打継ぎ補強配筋(ダブル)

3.21 土木部分と建築部分の取り合い

3.21.1 壁鉄筋の取り合い

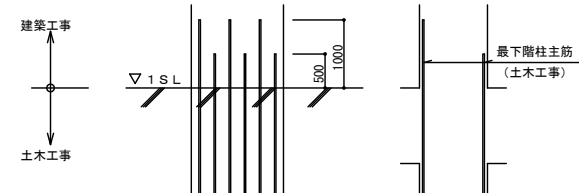
- 差し筋の仕様は建築工事仕様とする。(径は図面による)
- L_1 及び L_2 は4.5.1表による。



3.21.1図 壁鉄筋の取り合い差し筋

3.21.2 柱主筋の取り合い

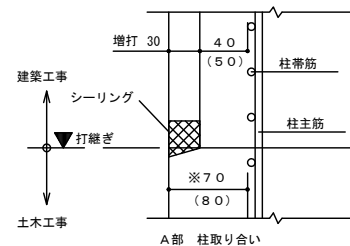
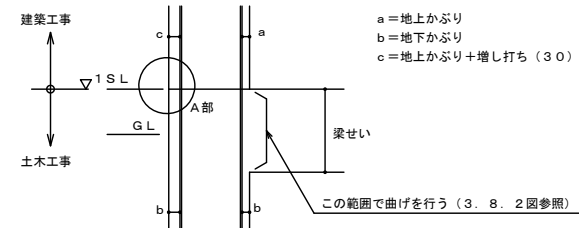
- 最上部の柱主筋は、1階建築部分の柱断面に応じ、3.21.2図の圧接位置まで延ばすこと。



3.21.2図 柱主筋の取り合い差し筋

3.21.3 柱主筋かぶり厚の取り合い

- 土木工事の外壁に面する柱主筋のかぶり厚は、3.3.1表によらず、3.21.3図による。



※ かぶり厚さ70(80)mmは、柱部材の外壁に面する部分のみに適用する。
()内は、塩害対策地域に適用する。

3.21.3図 柱主筋かぶり厚の取り合い

※本図面はA1サイズを原寸とする。

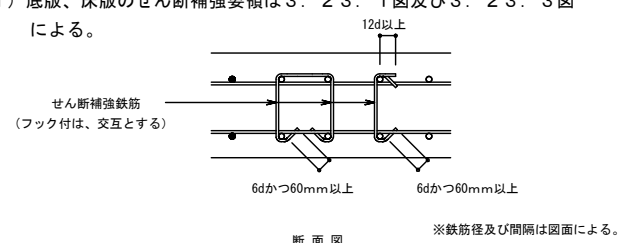
工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	構造細目共通図 (5)
縮尺	— 図面番号 33/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課

3 土木工事

3.23 せん断補強鉄筋

3.23.1 底版、床版

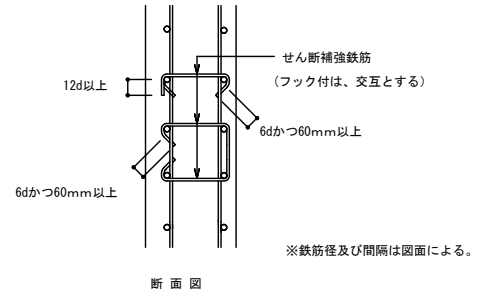
(1) 底版、床版のせん断補強要領は3.23.1図及び3.23.3図による。



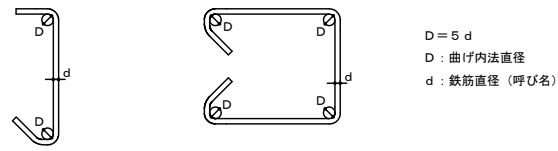
3.23.1 底版、床版のせん断補強要領図

3.23.2 壁

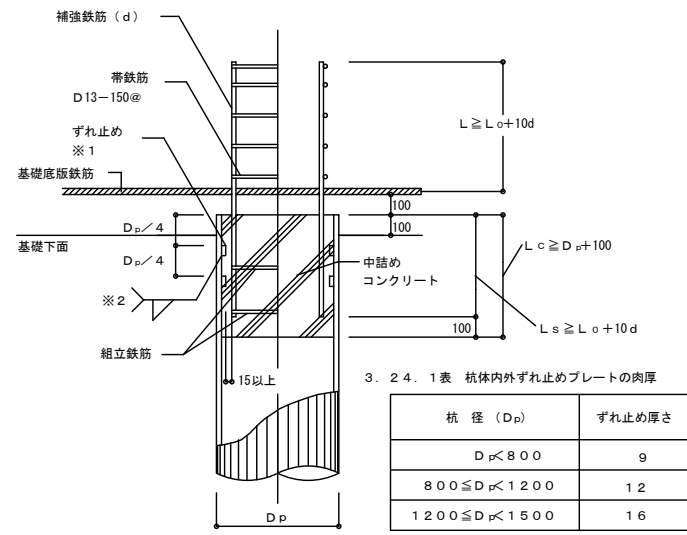
(1) 壁のせん断補強要領は3.23.2図及び3.23.3図による。



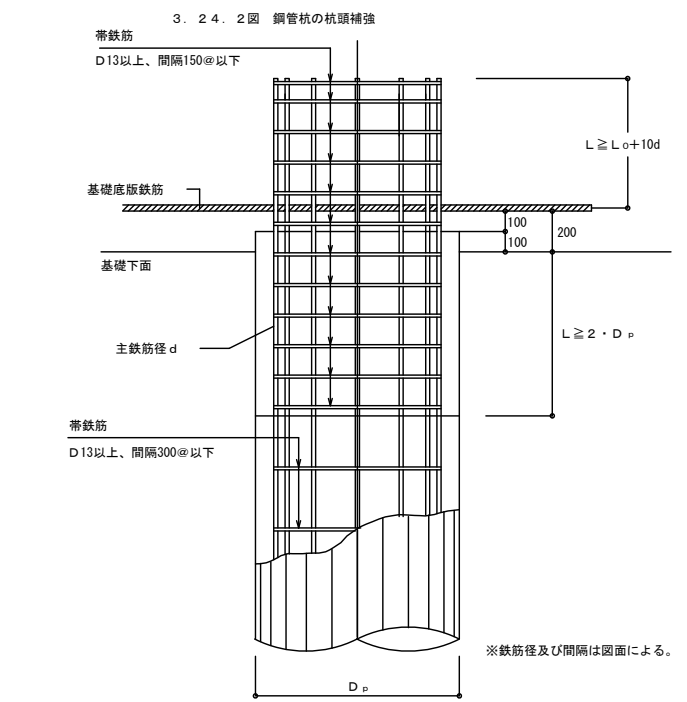
3.23.2 壁のせん断補強要領図



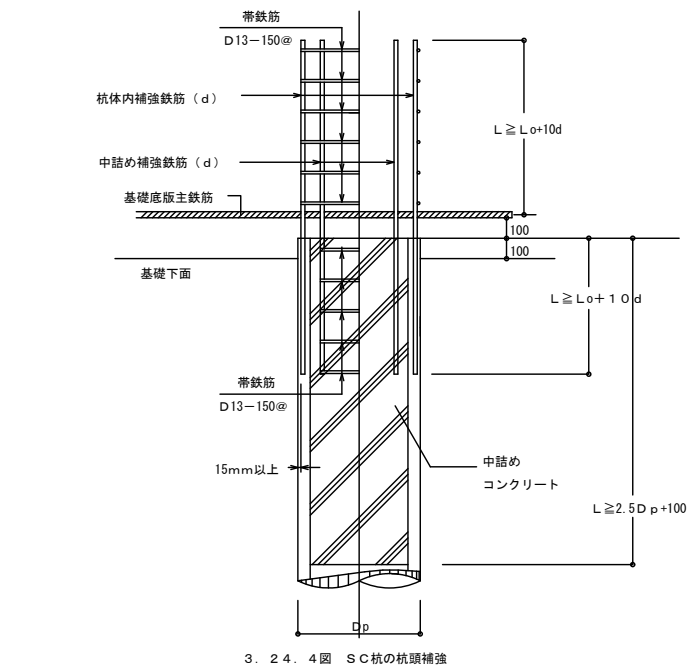
3.23.3 せん断補強加工要領図



※1: ずれ止めの大きさは、3.24.1表による。
※2: 全周現場すみ肉溶接



3.24.2 鋼管杭の杭頭補強



3.24.3 場所打ち杭の杭頭補強

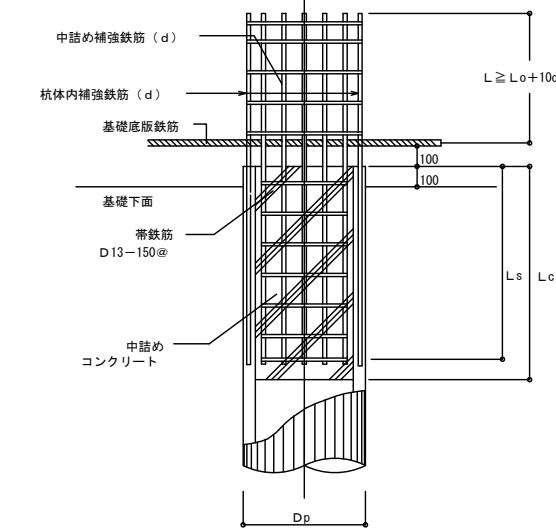


3.24.4 SC杭の杭頭補強

3.24 杭基礎の補強

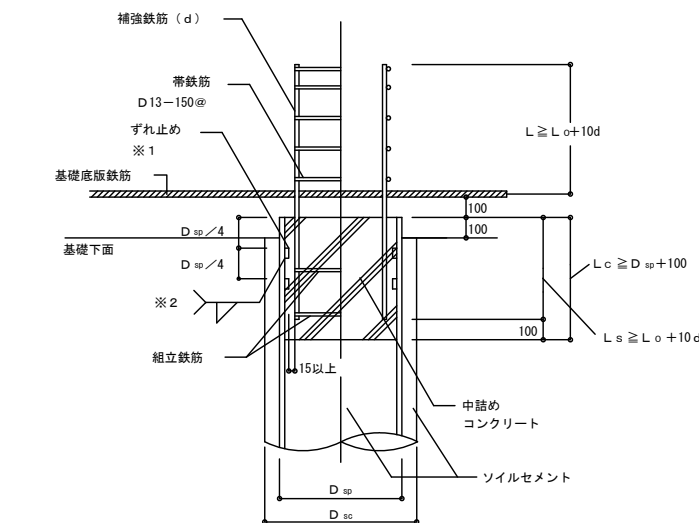
3.24.1 一般事項

- 補強鉄筋にSD390またはSD490を用いる場合、中詰めコンクリート及び補強鉄筋が定着する基礎底版コンクリートの設計基準強度を30N/mm以上とする。
- 鉄筋種別、径・本数は、図面による。
- 杭基礎の補強鉄筋の定着長Lは、35d以上とする。
- 杭頭補強鉄筋が底版厚より長くなる場合は、3.24.6図による。
- 杭体内補強鉄筋は必要に応じ配置する。



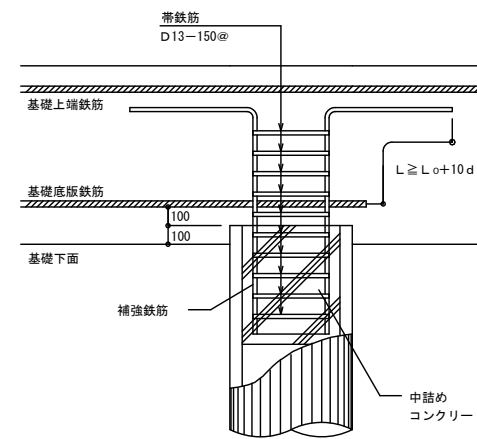
杭頭処理形態	部材寸法	
カットオフする場合	鉄筋	Ls ≥ 50φ + Lo + 10d
	コンクリート	Lc ≥ 2.5Dp + 100、かつ50φ + Lo + (振り100)
カットオフしない場合	鉄筋	Ls ≥ Lo + 10d
	コンクリート	Lc ≥ 2.5Dp + 100、かつLo + (振り100)

注1. φは、PC鋼棒径とする。
3.24.1 図 PHC杭の杭頭補強



※1: ずれ止めの大きさは、3.24.1表による。
※2: 全周現場すみ肉溶接

3.24.5 鋼管ソイルセメント杭の杭頭補強

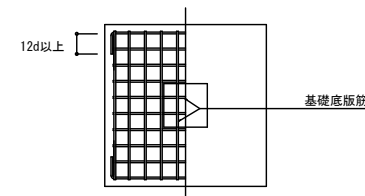
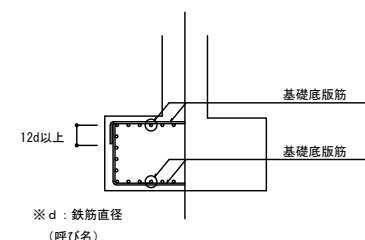


3.24.6 杭頭補強筋が底版厚より長くなる場合の杭頭補強

3.25 独立基礎の補強

3.25.1 フーチングの補強

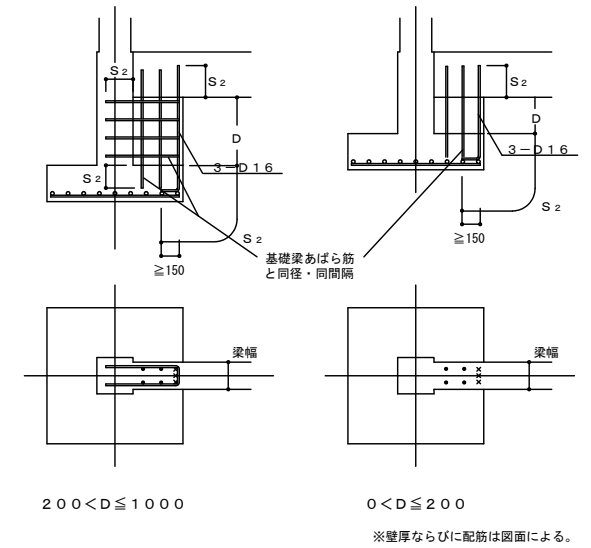
(1) 補強方法は図面による。



3.25.1 独立基礎の補強配筋

(2) 基礎底版筋の配筋は、図面による。

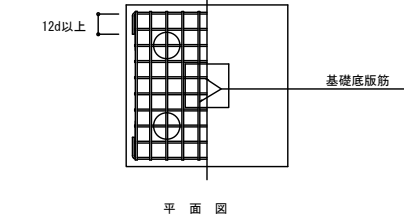
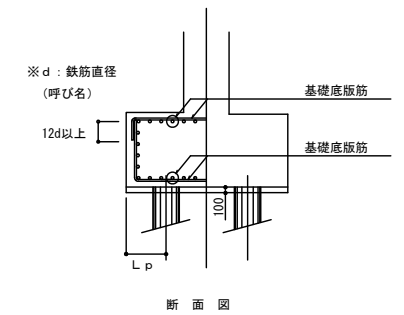
3.25.2 基礎接合部の補強



3.25.2 基礎接合部の補強配筋

3.25.3 杭基礎の場合のフーチング配筋方法

- 杭基礎の場合のフーチング配筋方法は、3.25.3図とする。
- 杭頭処理の方法は、3.24項に基づくものとする。
- 杭芯とフーチング外端面との距離(Lp)は、場所打ち杭、打ち込み杭、埋め込み杭は1.0D (Dは杭径)以上とする。



3.25.3 杭基礎の場合のフーチング配筋方法

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	構造細目共通図 (6)		
縮尺	—	図面番号	34/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

4 建築工事

4.1 鉄筋の曲げ加工

鉄筋の曲げ加工は、4.1.1表及び4.1.2表を標準とする。

- (1) Dは、曲げ内法直径を示す。
- (2) dは、鉄筋直径（呼び名）を示す。

4.1.1表 末端部

曲げ 角度 折 曲 げ 図	すべてのコンクリート SD295A SD345	使用箇所	すべてのコンクリート	
			D16 以下	D19 ~D38
180° 	D	柱、梁の主筋 杭基礎のベース筋 D16以上の鉄筋	3d以上	4d以上
135° 	D	D13以下の鉄筋 あばら筋、帯筋、 スパイラル筋	3d以上	4d以上
90° 	D	T形及びL形の梁の あばら筋	3d以上	4d以上
135° 90° 	D	幅止め筋	3d以上	4d以上

- (注) 1. 片保ちスラブ先端、壁筋の自由端側先端で90°フック又は135°フックを用いる場合は、余長を4dとする。
- 2. 90°未満の折曲げの内法直径は図面による。

4.1.2表 中間部

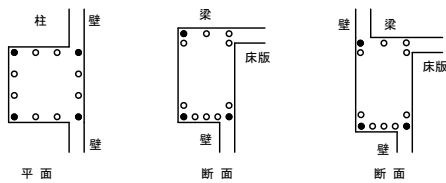
曲げ 角度 折 曲 げ 図	すべてのコンクリート SD295A SD345	使用箇所	すべてのコンクリート		
			D16 以下	D19 ~D25	D29 ~D38
90° 	D	あばら筋、帯筋 スパイラル筋	3d以上	4d以上	-
90° 以下 	D	その他の鉄筋	4d以上	6d以上	8d以上

4.2 異形鉄筋の末端部

異形鉄筋の末端部には、4.2.1表によりフックを設ける。

4.2.1表 フックを設ける位置

部 位	継手方式		備 考
	重ね継手	圧接継手	
柱	四隅の主筋 1) 最上階の柱頭 2) 継手部	1) 最上階の柱頭	4.2.1 図の●印 4.7.1 図参照
	上下階の柱 断面が異なる 場合	1) 下階の柱主筋を 引き通す事が 出来ない柱頭部	4.2.1 図の●印 4.7.1 図参照
	帯筋(HOOP) 1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	4.8.1 図参照
梁	主筋 1) 出隅及び下端筋 の両端 (基礎梁は除く)	-	4.2.1 図の●印
	あばら筋 (STP) 1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	4.11.1 図参照
煙突の鉄筋	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	壁の一部となる 場合を含む
幅止め筋	-	-	4.1.1 表参照



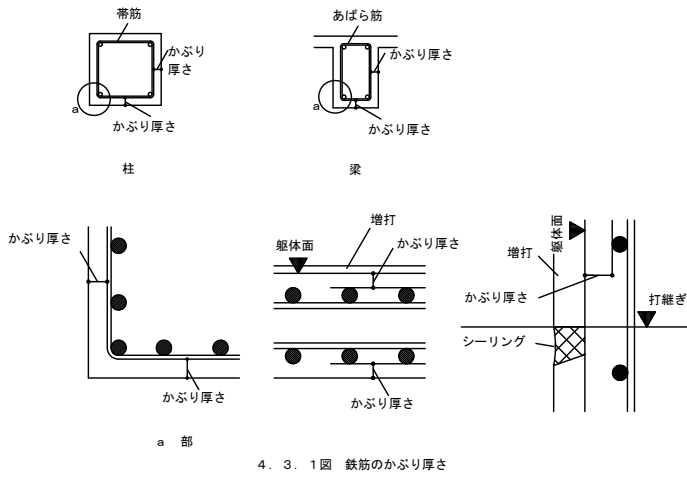
4.2.1図 異形鉄筋の末端部

4.3 鉄筋のかぶり及び間隔

4.3.1 かぶり厚さ

かぶり厚さとは、一番外側の鉄筋（幅止め筋、組立筋を除く）の外側から駆対面までの距離（4.3.1図）をいう。

鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上を確保し、最小かぶり厚に許容施工誤差10mmを加えた厚さ以内に納めるものとする。



4.3.1図 鉄筋のかぶり厚さ

4.3.2 最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは、4.3.1表による。

- (1) 床版、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含まない。
- (2) 柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保して最小かぶり厚さを定める。
- (3) 溶接金網にも適用する。

4.3.1表 鉄筋の最小かぶり厚さ(mm)

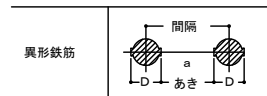
構造部分の種類	通常の施工の場合		塩害対策を 必要とする場合	
	床、耐力壁以外の壁	柱、梁、耐力壁	床版	柱、梁、床、壁
一般	30	40	40	50
土、水に 接する部分	柱、梁、床、壁	40	40	50
	床版、基礎	60	60	70
煙突等高温を受ける部分	60	60	60	70

1: 打継目地部分は目地底より最小かぶり厚さを確保する。
2: 仕上なしの場合を標準とする。
3: 塩害対策地域区分は、建築工事特記仕様書による。

4.4 鉄筋相互のあき

鉄筋相互のあきは、下記の最大値のもの以上とする。ただし、特殊な鉄筋継手の場合のあきは、図面による。

- (1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
- (2) 最小のあき25mm
- (3) 異形鉄筋の直径（呼び名の数値）の1.5倍以上



(注) D: 鉄筋の外径 d: 鉄筋直径（呼び名）

4.4.1図 鉄筋のあき

4.4.1表 鉄筋径と鉄筋間隔の関係一覧

鉄筋径 (mm)	鉄筋相互のあき: a			最小鉄筋芯間隔 a+D
	(1) 粗骨材径×1.25	(2) 最小あき	(3) 鉄筋径×1.5	
D10	11	25mm	15mm	42mm
D13	14		20mm	45mm
D16	18		24mm	49mm
D19	21		29mm	52mm
D22	25		33mm	58mm
D25	28		38mm	66mm
D29	33		44mm	77mm

粗骨材
最大径
25mm
の場合

4.5 継手及び定着

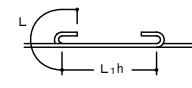
4.5.1 鉄筋の重ね継手

- (1) 鉄筋の重ね継手の長さは、4.5.1表による。
- (2) 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
- (3) 主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、40d（軽量コンクリートの場合は50d）と4.5.1表の重ね継手長さのうち大きい値とする。

4.5.1表 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の 種類	コンクリートの 設計基準強度 Fc (N/mm ²)	L ₁ (フックなし)		L _{1h} (フックあり)	
		小梁	スラブ	小梁	スラブ
SD295A	21	40d	35d	30d	25d
	24 27	35d	30d	25d	20d
	30	35d	30d	25d	20d
SD345	21	45d	30d	30d	25d
	24 27	40d	35d	30d	25d
	30	35d	30d	25d	20d

- (注) 1. L₁、L_{1h}: フックなし重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ
- 2. フックありの場合のL_{1h}は、4.5.1図に示すようにフック部分L₁を含まない。



4.5.1図

4.5.2 継手の特記事項

- (1) 継手は、極力応力の小さい位置に設ける。
- (2) 異径径の鉄筋をガス圧接する場合は、鉄筋径の直近の範囲内とする。

4.5.3 鉄筋の定着

- (1) 鉄筋の定着の長さは、4.5.2表による。
柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さは、40d（軽量コンクリートの場合は50d）と4.5.2表の定着の長さのうち大きい値とする。

4.5.2表 鉄筋の定着の長さ

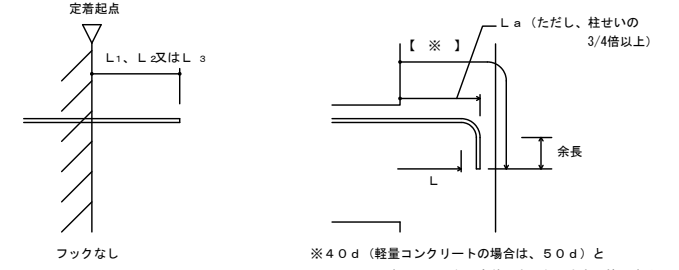
鉄筋の 種類	コンクリートの 設計基準強度 Fc (N/mm ²)	フックなし				フックあり			
		L ₁		L ₂		L ₃		L _{3h}	
		小梁	スラブ	小梁	スラブ	小梁	スラブ	小梁	スラブ
SD295A	21	40d	35d	20d かつ 150mm 以上	30d	25d	10d	-	
	24 27	35d	30d		25d	20d			
	30	35d	30d		25d	20d			
SD345	21	45d	35d	30d	25d	20d	-		
	24 27	40d	35d	30d	25d	20d			
	30	35d	30d	25d	20d				

4.5.4 定着の方法

定着の方法は4.5.2図による。

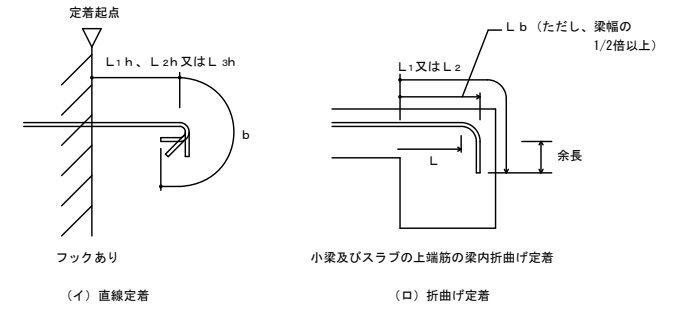
なお、(口)折曲げ定着の梁主筋の柱内折曲げ定着において、仕口内に縦に折曲げて定着する鉄筋の定着長さsが、4.5.2表のフックあり定着の長さsを確保できない場合は、全長を4.5.2表に示すフックなし定着長さsとし、かつ、余長を8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを4.5.3表に示す長さs（かつ、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3/4倍以上、小梁の場合は1/2以上）をのみ込ませる。

- (注) 1. L_a、L_bは、4.5.3表の鉄筋の投影定着長さを示す。



※40d（軽量コンクリートの場合は、50d）と4.5.2表のフックなし定着長さのうち大きい値とする

梁主筋の柱内曲げ定着



4.5.2図 定着の方法

4.5.3表 鉄筋の投影定着長さ

鉄筋の 種類	コンクリートの 設計基準強度 Fc (N/mm ²)	L _a		L _b	
		小梁	スラブ	小梁	スラブ
SD295A	21	15d	15d	15d	15d
	24 27	15d	15d	15d	15d
	30	15d	15d	15d	15d
SD345	21	20d	20d	20d	20d
	24 27	20d	15d	15d	15d
	30	15d	15d	15d	15d

- (注) 1. L_a: 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ

(基礎梁、片持ちスラブを含む。)

- 2. L_b: 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ

(片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。)

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	構造細目共通図 (7)		
縮 尺	-	図面番号	35/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

建築工事

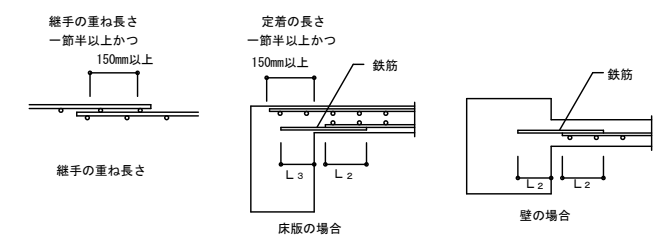
4. 5. 5 隣り合う継手の位置及び定着

隣り合う継ぎ手の位置は、4. 5. 4表により、a寸法を守ること。
ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合を除く。

4. 5. 4表 隣り合う継手の位置

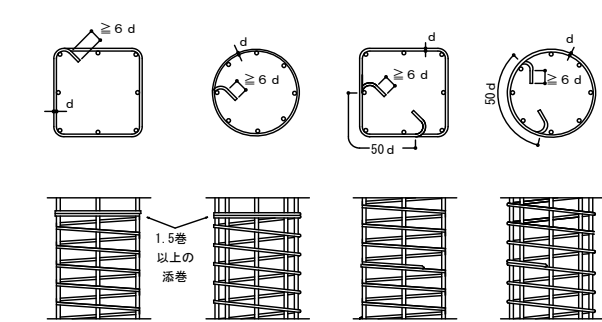
条件	重ねる場合	離す場合
重ね継手	フック有りの場合 	$a \geq 0.5 L_1 h$
	フックなしの場合 	$a \geq 0.5 L_1$
圧接継手		$a \geq 400\text{mm}$

(1) 溶接金網の継手及び定着



4. 5. 3図 溶接金網の継手及び定着要領

(2) スパイラル筋の継手及び定着



4. 5. 4図 スパイラル筋の継手及び定着要領

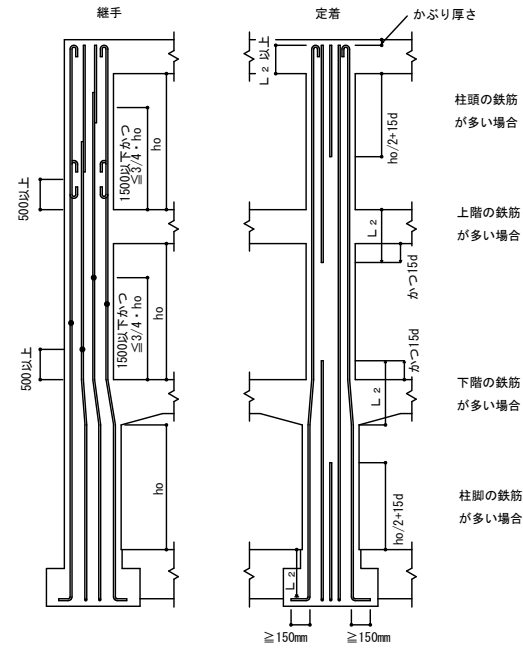
4. 6 継手及び圧接中心位置 (柱)

柱の継手及び圧接中心位置は、梁上端から50cm以上、150cm以下かつ $3/4 h_o$ (h_o は柱の内法高さ) 以下とする。

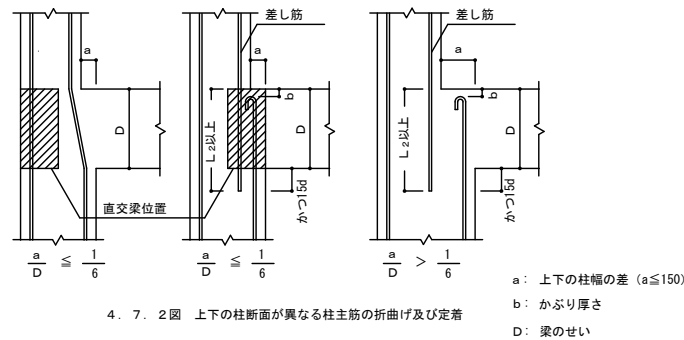
4. 7 柱筋の継手及び定着

4. 7. 1 隣り合う継手の位置及び定着

- 継手長さは L_1 とし、定着及び余長は、4. 7. 1図による。
- 柱頭定着長さ L_2 が確保出来ない場合は、図面による。
- 上下の柱断面が異なる場合の柱主筋の折曲げ及び定着は、4. 7. 2図による。



4. 7. 1図 柱主筋の継手、定着及び余長

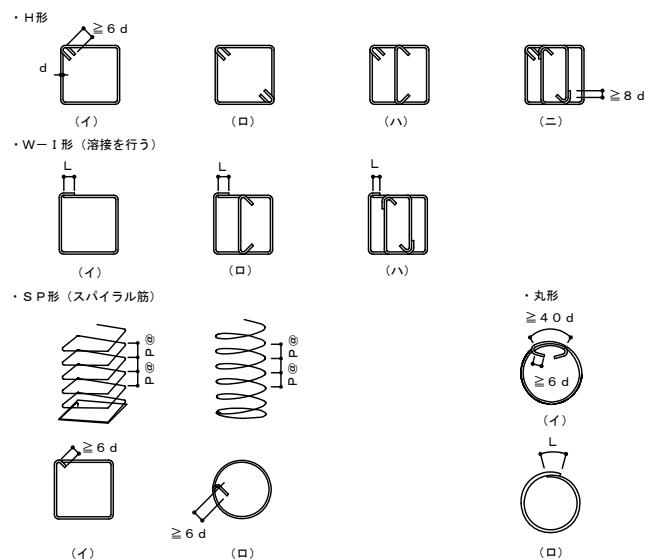


4. 7. 2図 上下の柱断面が異なる柱主筋の折曲げ及び定着

4. 8 帯筋の形状

(1) 帯筋の形状は、4. 8. 1図とし、種別は図面による。図面になければ下記による。

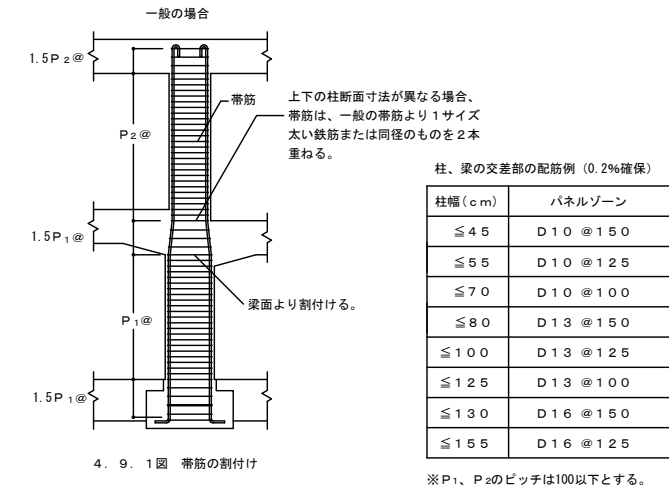
- H形とする。
- H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。
- 溶接する場合の溶接長さ L は、両面フレア溶接の場合は $5d$ 以上、片面フレア溶接の場合は $10d$ 以上とし、組立前に行う。
- S-P形において、柱頭及び柱脚の端部は、1.5巻以上の添巻きを行う。



4. 8. 1図 帯筋組立の形

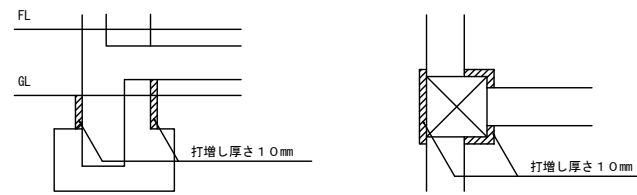
4. 9 帯筋の割付け

- フック及び継手の位置は交互とし、位置を変える。
- 帯筋の割付けは、4. 9. 1図による。ただし、図面にある場合は図面による。
- 柱、梁の交差部 (パネルゾーン) の帯筋のせん断補強比は、0. 2%以上を確保し、ピッチは1.5倍とする。



※P1、P2のピッチは100以下とする。

(4) 土に接する柱周囲の打増しは4. 9. 2図による。



4. 9. 2図 柱打増し部

4. 10 大梁筋の継手及び定着

4. 10. 1 大梁 (基礎梁以外の大梁に限る) 主筋の継手、定着及び余長

(1) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項

- 梁主筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことが出来ない場合は、b. により柱内に定着することができる。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、4. 10. 1図による。

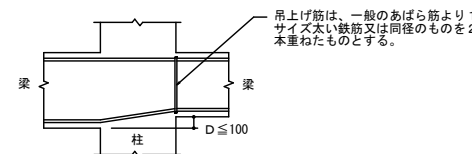


※40d (軽量コンクリートの場合は、50d) と
4. 5. 2表のフックなし直線定着長さのうち大きい値とする

b. 梁主筋を、柱内に折曲げて定着する場合は次による。

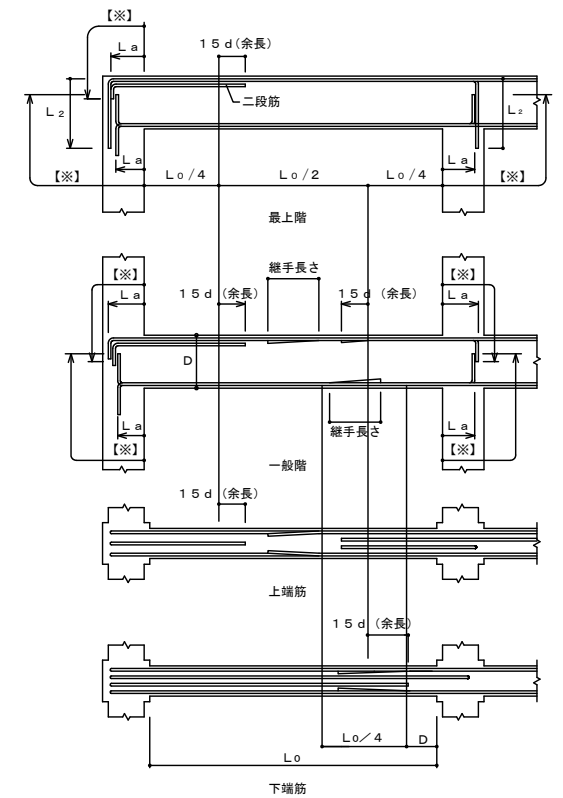
- なお、定着の方法は、4. 5. 4による。
- 上端筋：曲げ下ろす。
下端筋：原則として曲げ上げる。

c. 段違い梁は4. 10. 2図による。



4. 10. 2図 段違い梁

4. 10. 2 ハンチのない場合

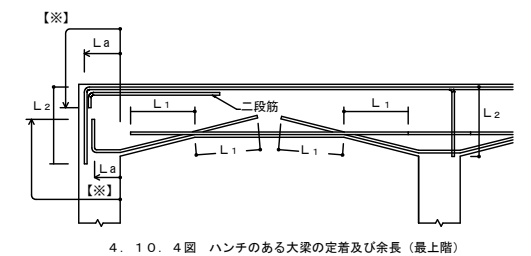


- (注) 1. 継手中心位置は次による。
上端筋：中央 $L_o/2$ 以内
下端筋：柱より梁せい (D) 以上離し、 $L_o/4$ を加えた範囲以内
- 異形鉄筋の末端部 (2) で定めた鉄筋には、フックを付ける。
 - 印は、継手及び余長を示す。
 - 破線は、柱内定着の場合を示す。
- ※40d (軽量コンクリートの場合は、50d) と4. 5. 2表フックなし定着長さのうち大きい値とする。

4. 10. 3図 大梁の重ね継手、定着及び余長

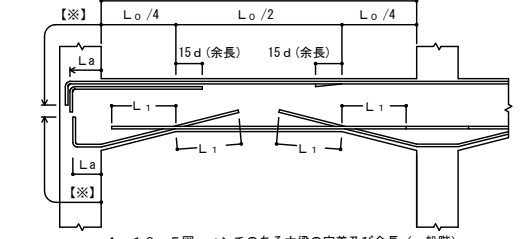
4. 10. 3 ハンチのある場合

(1) 最上階の場合



4. 10. 4図 ハンチのある大梁の定着及び余長 (最上階)

(2) 一般階の場合



4. 10. 5図 ハンチのある大梁の定着及び余長 (一般階)

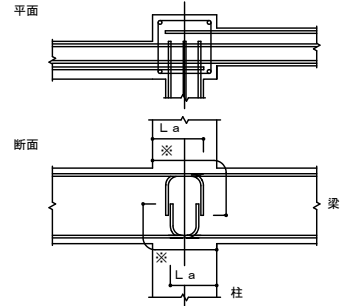
- (注) 1. 異形鉄筋の末端部 (2) で定めた鉄筋には、フックを付ける。
2. 印は、継手及び余長を示す。
3. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは、のように引き通すことができる。
4. 破線は、梁内定着の場合を示す。
※40d (軽量コンクリートの場合は50d) と6. 2表 ※本図面はA1サイズを原寸とする。
のフックなし定着長さのうち大きい値とする

工事名	平成29年度 下建公補第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	構造細目共通図 (8)
縮尺	— 図面番号 36/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課

4 建築工事

4.10.4 水平段差のある場合

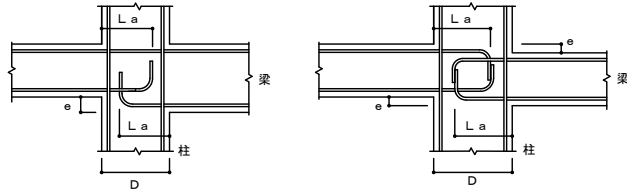
(1) 水平段差のある場合



4.10.6図 大梁の定着及び余長（水平段差のある場合）

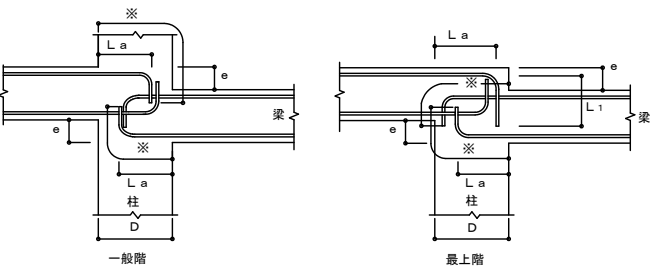
4.10.5 鉛直段差（e）のある場合

(1) $e/D \leq 1/6$ の場合



定着の長さは、4.10.2図に準ずる
4.10.7図 鉛直段差梁（その1）

(2) $e/D > 1/6$ の場合



4.10.8図 鉛直段差梁（その2）

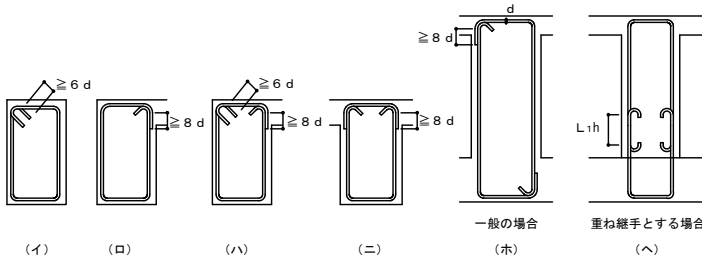
4.11 梁のあばら筋、腹筋及び幅止め筋

4.11.1 一般事項

- 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。
- 壁梁の場合、腹筋の定着長さ及び継手長さは、L とする。
- 土圧、水圧を受ける梁は、図面による。
- 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1000mmピッチ程度とする。

4.11.2 あばら筋組立の形及びフックの位置

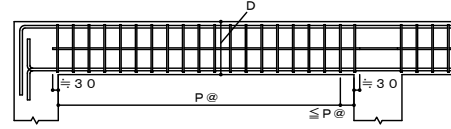
- 形は、11.1図（イ）を標準とする。
ただし、（イ）によることが出来ない場合は、下記の方法による事が出来る。
 - 床版が片側に付く場合は、（ロ）又は（ハ）
 - 床版が両側に付く場合は、（ロ）～（ニ）
- フックの位置
 - （イ）の場合は交互とする。
 - （ロ）の場合 床版が片側に付く場合は床版の付く側
床版が両側に付く場合は交互
 - （ハ）の場合は床版の付く側を90°折曲げ、8d確保する。
 - （ホ）（ヘ）の場合は梁の上下にスラブが付く場合でかつ、梁せいが1.5m以上の場合に適用する事ができる。（基礎梁）



4.11.1図 あばら筋組立の形及びフックの位置

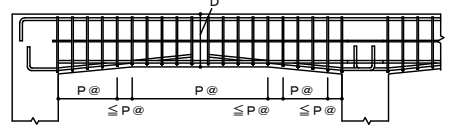
4.11.3 あばら筋の割付け

(1) 間隔が一樣でハンチのない場合



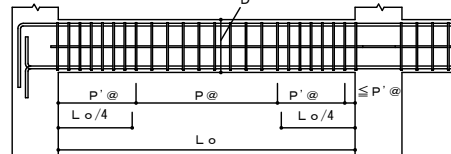
- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割付ける。
2. 図中のP@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。
4.11.2図 あばら筋の割付け（その1）

(2) 間隔が一樣でハンチのある場合



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置及びハンチに切り替わる位置から割付ける。
2. 図中のP@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。
4.11.3図 あばら筋の割付け（その2）

(3) 梁の端部で間隔の異なる場合

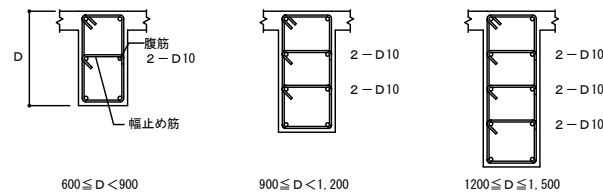


- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割付ける。
2. 図中のP@、P\'@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。
4.11.4図 あばら筋の割付け（その3）

4.11.4 腹筋及び幅止め筋

(1) 一般の梁

a) 腹筋及び幅止め筋



4.11.5図 腹筋及び幅止め筋

(2) 特殊な梁

腹筋及び幅止め筋は、図面による。

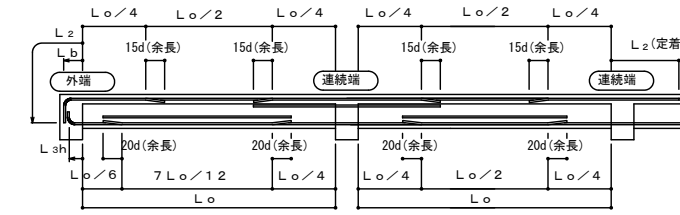
4.12 小梁及び片持梁の配筋要領

4.12.1 一般事項

- 図面にない事項は大梁、梁のあばら筋の項に準ずる。
- 印は、継手及び余長を示す。

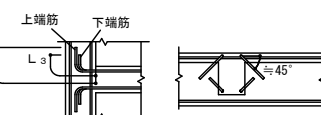
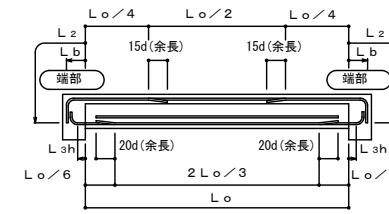
4.12.2 小梁

(1) 連続小梁の場合



4.12.1図 小梁主筋の継手、定着及び余長（その1）

(2) 単独小梁の場合



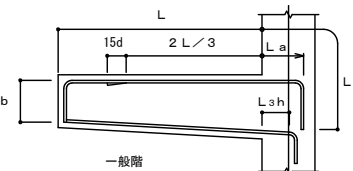
4.12.2図 小梁主筋の継手、定着及び余長（その2）

- (注) 1. 印は、継手及び余長を示す。
2. 梁内の定着筋において梁せいが小さく垂直で余長がとれない場合、斜めにしてもよい。
3. 図示のない事項は、4.10に準ずる。

4.12.3 片持梁筋の定着

(1) 先端に小梁のない場合

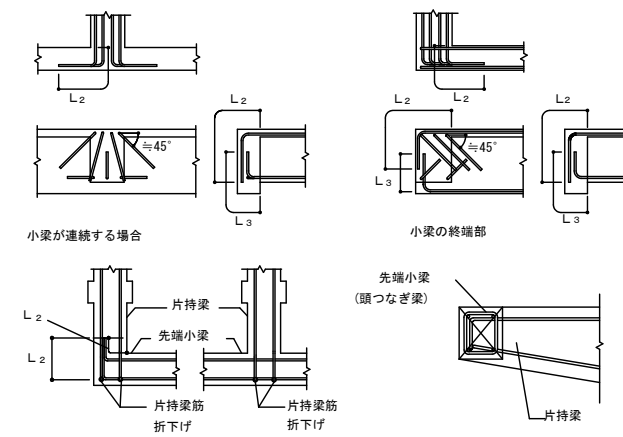
- 先端の折曲げの長さbは、梁せいよりかぶり厚さを除いた長さとする。
- 梁筋を引き通さない場合は、取り合い部材に定着する。ただし、柱に取り合う場合は、全数を引き通すことができる場合でも、上端筋は、2本以上を柱に定着する。



4.12.3図 片持梁主筋の定着及び余長（先端に小梁のない場合）

(2) 先端に小梁がある場合

- 上端筋は、先端小梁内に斜めに定着する。
- 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
- 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

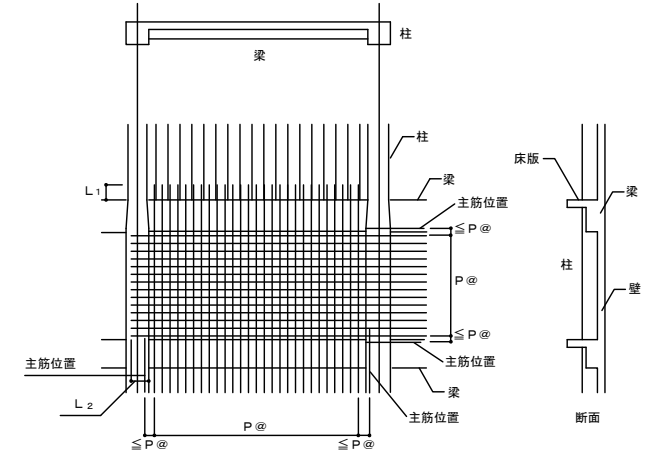


4.12.4図 片持梁主筋の定着

4.13 壁の配筋要領

4.13.1 一般事項

- 壁配筋の継手の長さはL1及び定着の長さは、L とする。
- 土圧及び水圧などを受ける壁及び耐震壁として、図面に示されたものは、継手長さをL1、定着長さはL とする。ただし、耐力壁の重ね継手の長さは、40dと4.5.2表のフックなし重ね継手長さのうち大きい値とする。
- 幅止め筋は、縦、横ともD10-@1000を標準とする。
- 一般部壁筋は、4.13.1図による。



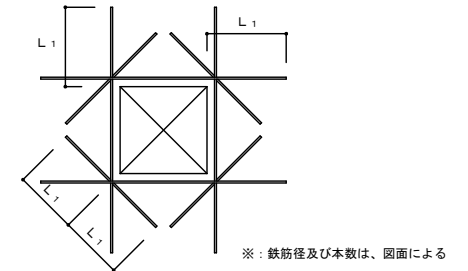
4.13.1図 壁の配筋

4.13.2 耐震壁の開口

- 耐震壁等の開口は、図面に示すもの以外は設けてはならない。
- やむを得ず開口をあける場合は、H19国土交通省告示593号の規定を満足することを構造計算によって確認すること。

4.13.3 壁開口部の補強

- 壁開口部の補強は、図面による。補強筋の長さ及び位置は、4.13.3図を標準とする。



4.13.3図 壁開口部の補強の定着長さ

- 壁開口部の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来る場合は、補強筋を省略することができる。

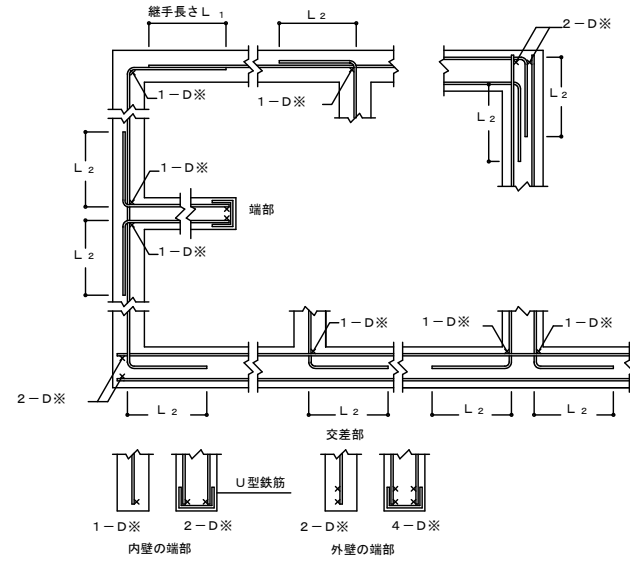
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	構造細目共通図 (9)
縮尺	— 図面番号 37/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課

4 建築工事

4.13.4 壁の交差部及び端部

- (1) 壁と壁の交差部は、4.13.4図による。
- 交差部補強筋D※はD13以上、かつ壁主筋と同径とする。
 - ()内は、土圧、水圧及び耐震壁等の継手長さを示す。
 - 壁の端部にU型鉄筋を使用する場合の径及び間隔は、壁筋と同径及び同間隔とする。

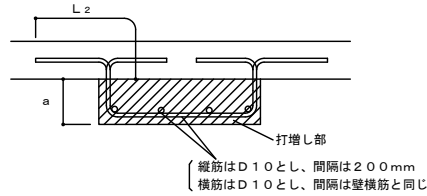


4.13.4図 壁の交差部及び端部の配筋

※壁構造の場合は、「壁構造配筋指針」（建築学会）に基づき図面による。

4.14 壁の打増し要領

- (1) コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、特記によるほか、配管等での壁の打増し補強筋は、4.14.1図による。打増し厚さのaが50mm以上、200mm以下に適用する。200mmを超える場合は、特記による。

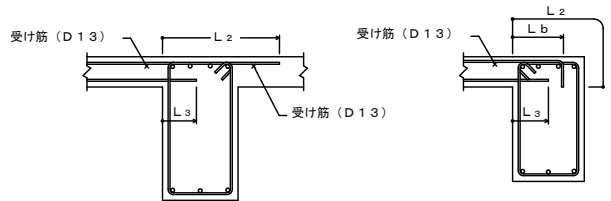


4.14.1図 壁の打増し補強配筋

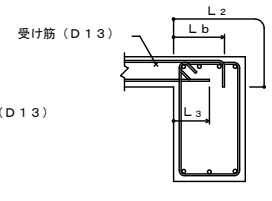
4.15 床の配筋要領

4.15.1 一般事項

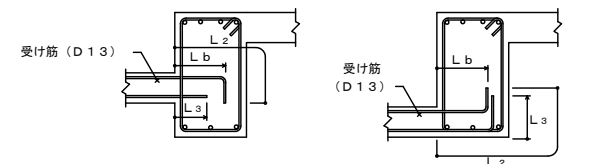
- 鉄筋の継手長さは、Lとする。
- 定着長さ及び受け筋は、4.15.1図による。ただし、引き通すことができる場合は、4.15.2図、4.15.3図により梁内に定着する。
- 基礎梁と床版を一体打ちとし、打ち継ぎを設ける場合の補強は図面による。



4.15.1図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その1）



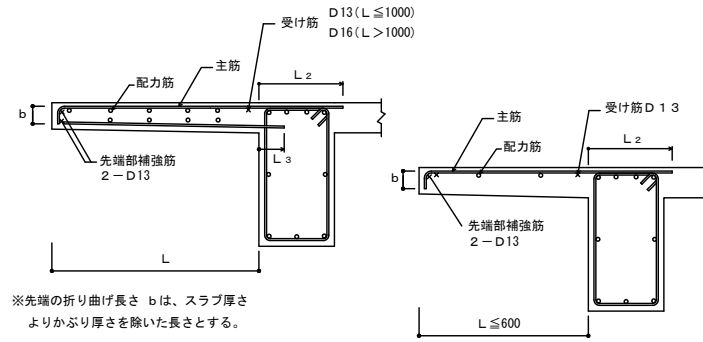
4.15.2図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その2）



4.15.3図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その3）

4.15.2 片持スラブ

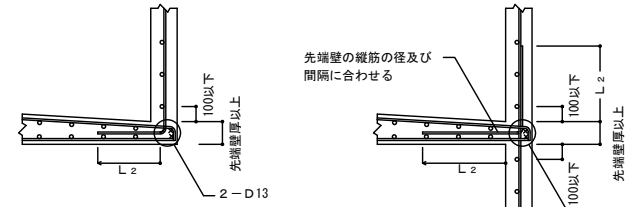
(1) 片持スラブの配筋



4.15.4図 片持スラブの配筋

※先端の折り曲げ長さbは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

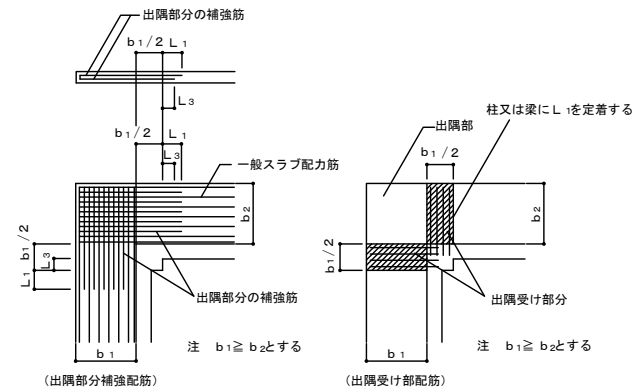
(2) 先端に小梁がなく壁が取り付けの場合



4.15.5図 先端に壁が付く場合の配筋

4.15.3 出隅部の配筋方法

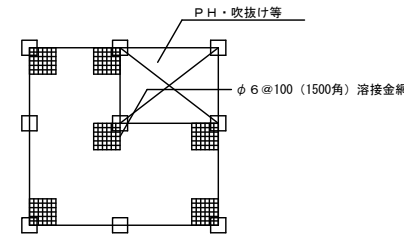
- 補強の配筋は図面による。配筋方法は、4.15.6図による。特記にない場合は、D10@100ダブルとする。
- 出隅受け部分（図のハッチ部分）の配筋は、図面（幅はb/2とする）による。



4.15.6図 片持スラブ出隅部の補強配筋

4.15.4 地上部最上階の屋根床版

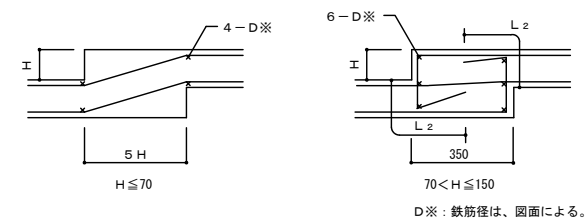
- 出隅及び入隅部分には、4.15.7図により、補強筋（溶接金網）を上端筋の下側に配筋する。
- 陸屋根、勾配屋根共通とする。



4.15.7図 出隅及び入隅部分の補強配筋

4.15.5 段差床版の補強

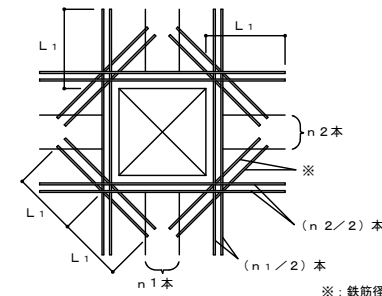
- (1) 同一床版に段差がある場合、4.15.8図の補強を行う。ただし、H>150の場合は、小梁を設ける事を原則とする。



4.15.8図 段差のある床版の補強配筋

4.15.6 床版開口部の補強

- (1) 開口の最大径≤700の場合は、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には、斜め方向に主筋径以上の鉄筋2本を上下筋の内側に配筋する。（4.15.9図）
開口の最大径>700の場合は図面による。

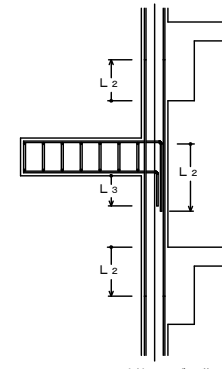


4.15.9図 床版開口部の補強配筋

- (2) 床版開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることで開口部を避けて配筋できる場合は、補強筋を省略することができる。

4.17 階段の配筋要領

- 壁配筋は、図面による。
- 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に曲げ降ろす。

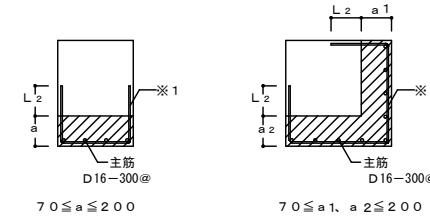


4.17.1図 片持スラブ形階段配筋の定着

4.18 柱及び梁の増し打ち要領

4.18.1 柱

- (1) 増し打ちコンクリートの補強は、4.18.1図による。ただし、a<70mmの場合は補強は行わない。

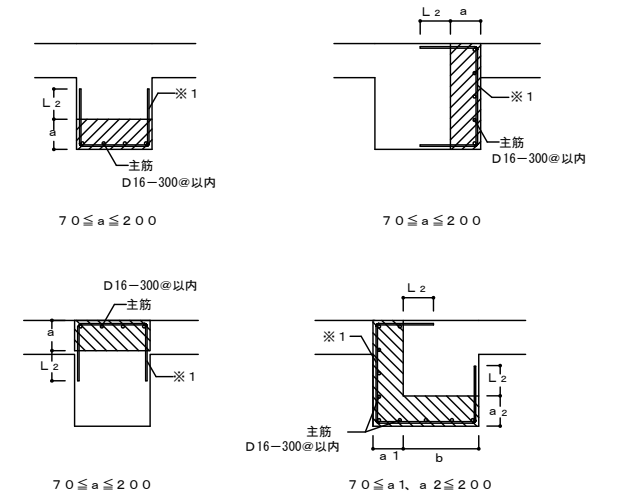


4.18.1図 柱の増し打ち補強配筋

- 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。
- 増し打ち部分の帯筋の定着長さは、L以上とする。
- 増し打ち部分主筋の定着、重ね長さは、柱の主筋による。

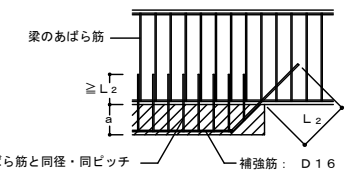
4.18.2 梁

- (1) 増し打ちコンクリートの補強は、4.18.2図による。ただし、a<70mmの場合、補強は行わない。



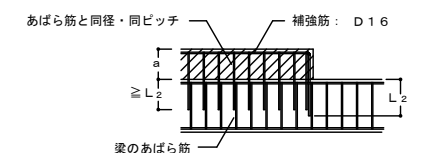
4.18.2図 梁の増し打ち補強配筋

- 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。
- 増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、L以上とする。
- 増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、梁の主筋による。
- 梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合



4.18.3図 梁の上下の増し打ち配筋補強（途中で終わる場合）

(6) 梁の側面の増し打ちが途中で終わる場合



4.18.4図 梁の側面の増し打ち補強配筋（途中で終わる場合）

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補維第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	構造細目共通図 (10)
縮尺	— 図面番号 38/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課

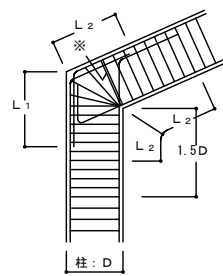
4 建築工事

4.19 勾配屋根の取り合い

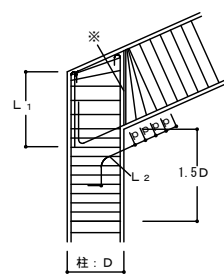
4.19.1 斜め柱・斜め梁の取り合い

- (1) ※印の鉄筋は、同径以上とし、かつダブル巻きとする。
- (2) 1.5Dの範囲の柱の帯筋は一段太いものか、またはダブル巻きとし@100以下とする。
- (3) 柱の取合い部における斜め梁のせん断補強筋中心間隔は、当該梁部材のせん断補強筋中心間隔p以下とする。

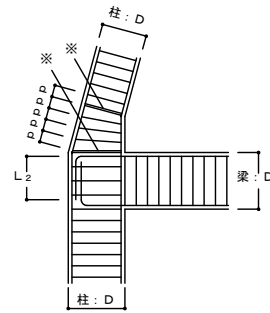
a) 柱幅と斜材（柱又は梁）幅が同一



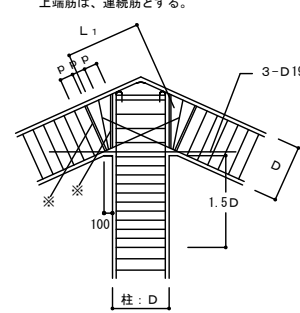
b) 柱幅と斜材幅が異なる



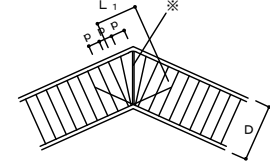
c) 柱脚で斜材となる



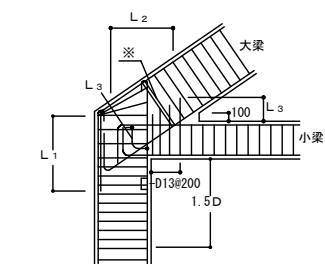
d) 柱頭で斜材となる
上端筋は、連続筋とする。



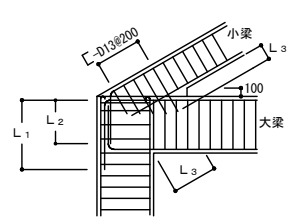
e) 梁が斜材となる
上端筋は、連続筋とする。



f) 斜め大梁に小梁が接する場合
柱筋はa). b)に倣う。



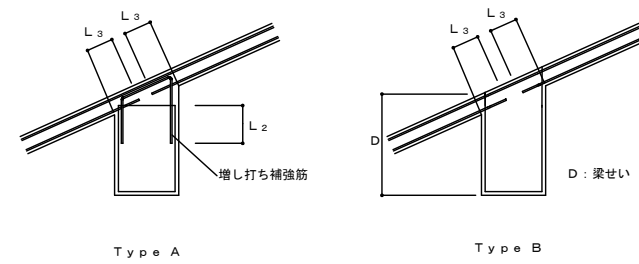
g) 大梁に斜め小梁が接する場合



4.19.1図 斜め柱・斜め梁の取り合い配筋

4.19.2 梁と床版の取り合い

増し打ち補強要領は、16.2による。



4.19.2図 梁と床版の取り合い配筋

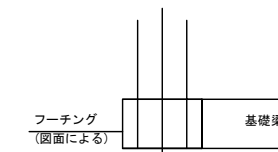
4.19.3 円柱の取り合い

(1) 円柱と梁の取り合い



1) 柱頭部で柱芯に梁が
取り付く場合

2) 柱頭部で柱外面に梁が
取り付く場合

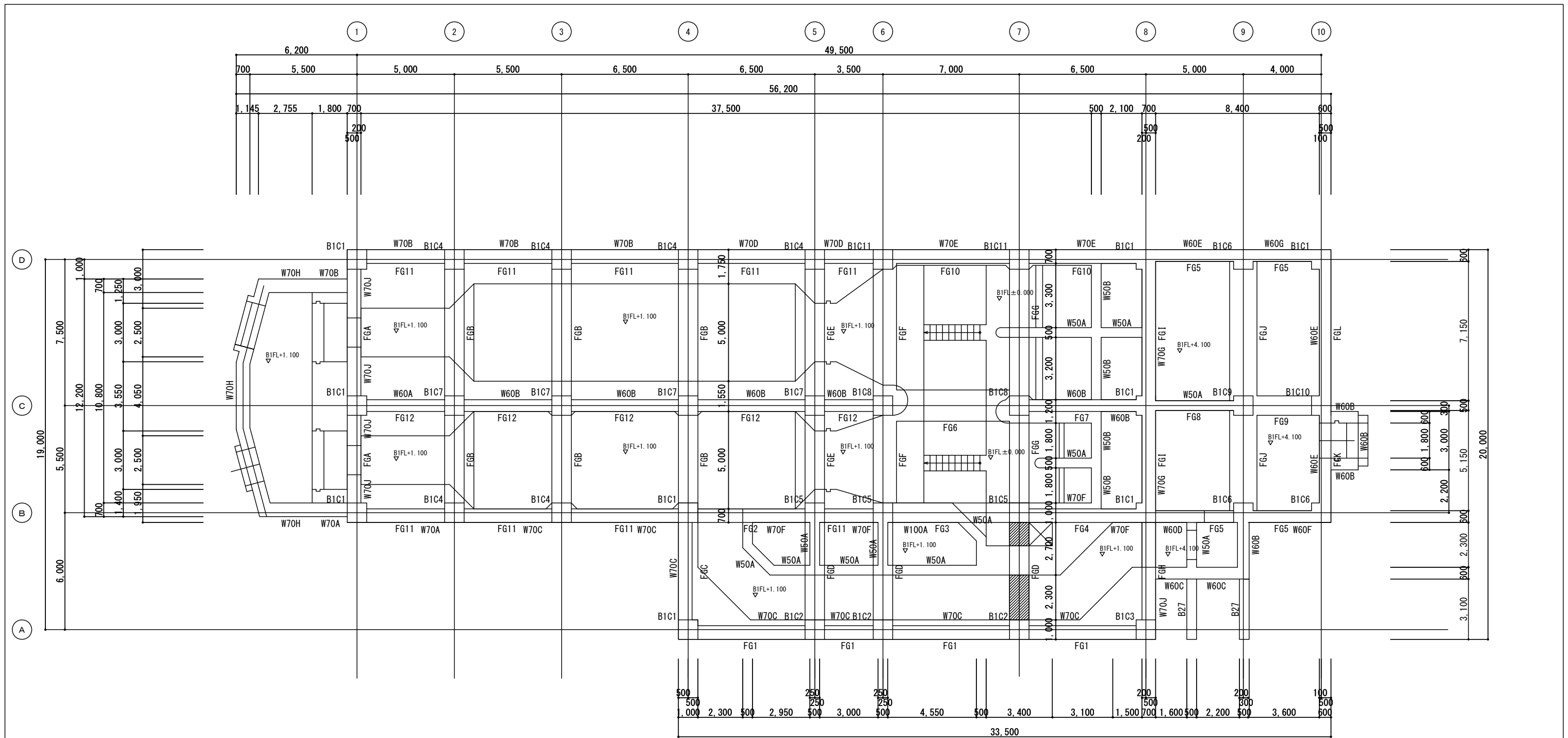


3) 柱脚部の円柱と基礎との
取合い


4.19.3図 円柱の取り合い配筋

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	構造細目共通図 (11)		
縮尺	—	図面番号	39/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

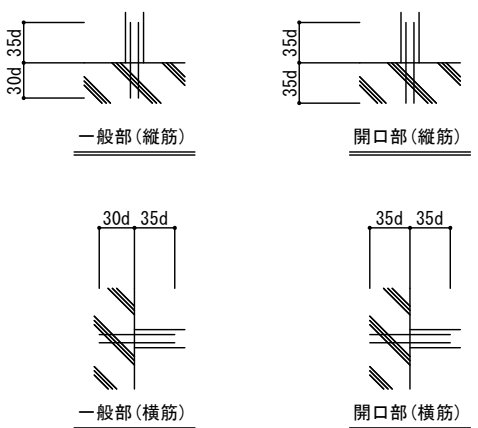
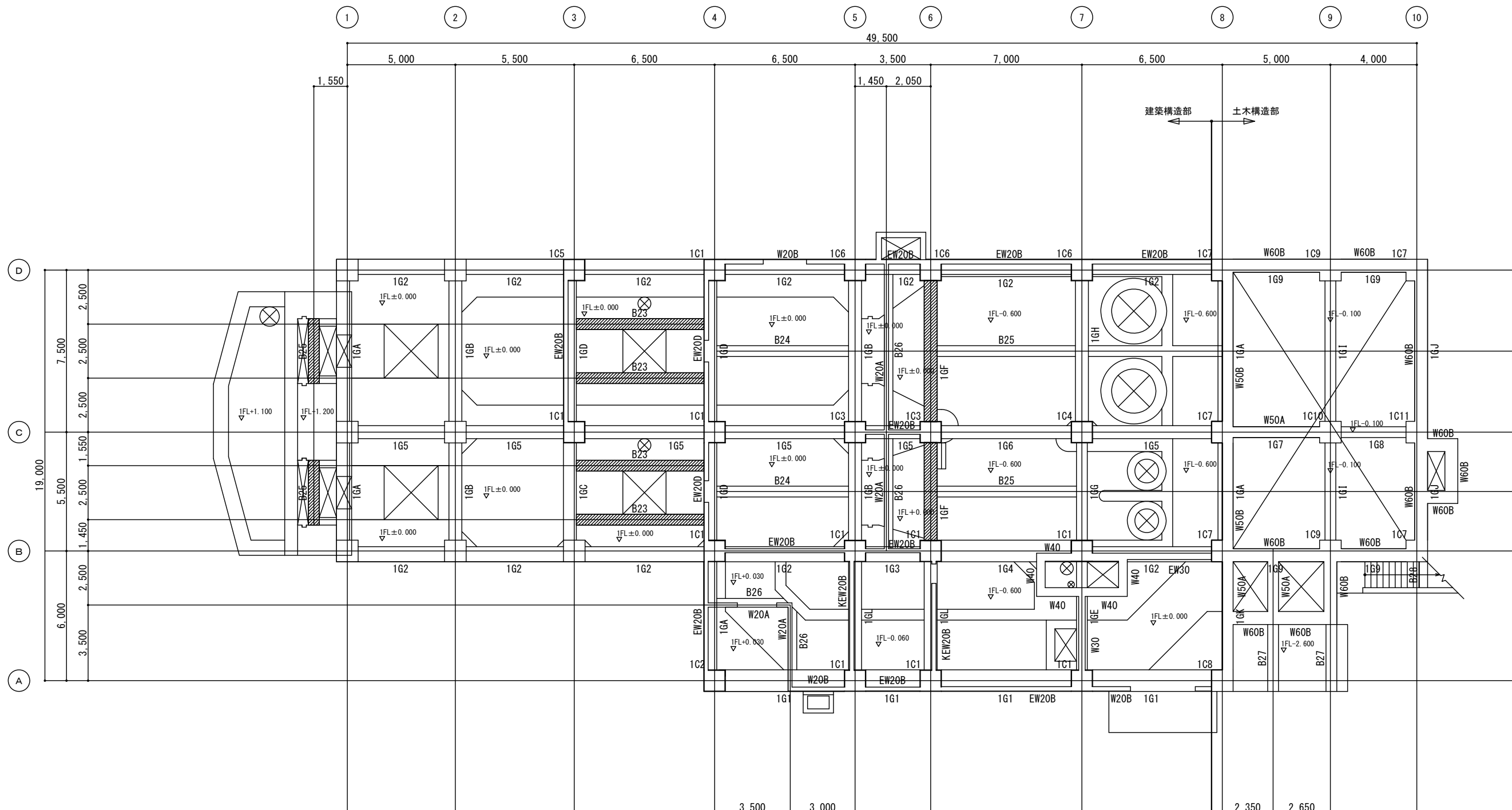


水路部 伏図 S=1/100

- 共通事項 (特記なき限り)
1. B1FL=-5.500
 2.  は打増しを示す

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	水路部伏図		
縮尺	1/100	図面番号	40/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



差し筋要領図

特記なき限り (共通事項)

- 開口位置は、建築図を参照。
- 建築壁符号及び配筋は「小梁・壁・床版リスト」参照。

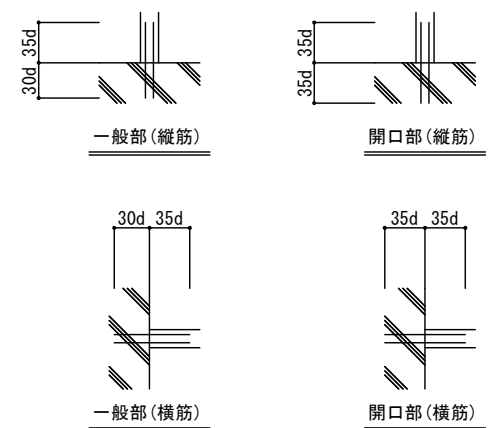
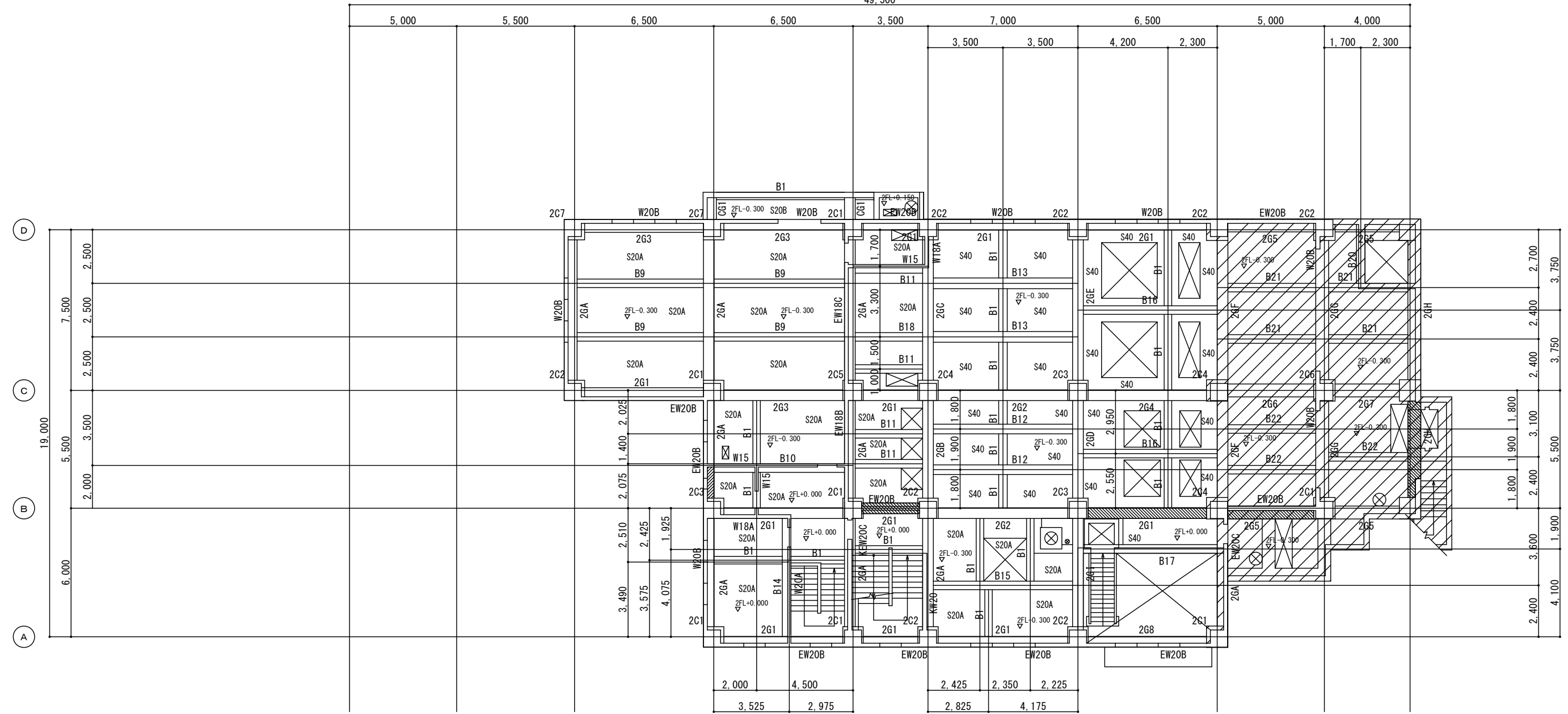
1階 伏図 S=1/100

- 共通事項 (特記なき限り)
1. IFL = +2.500
 2. は打増しを示す
 3. 3通り~8通り柱・壁面までの範囲でISLより上部は建築構造部とする。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	1階伏図		
縮尺	1/100	図面番号	41/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
49,500



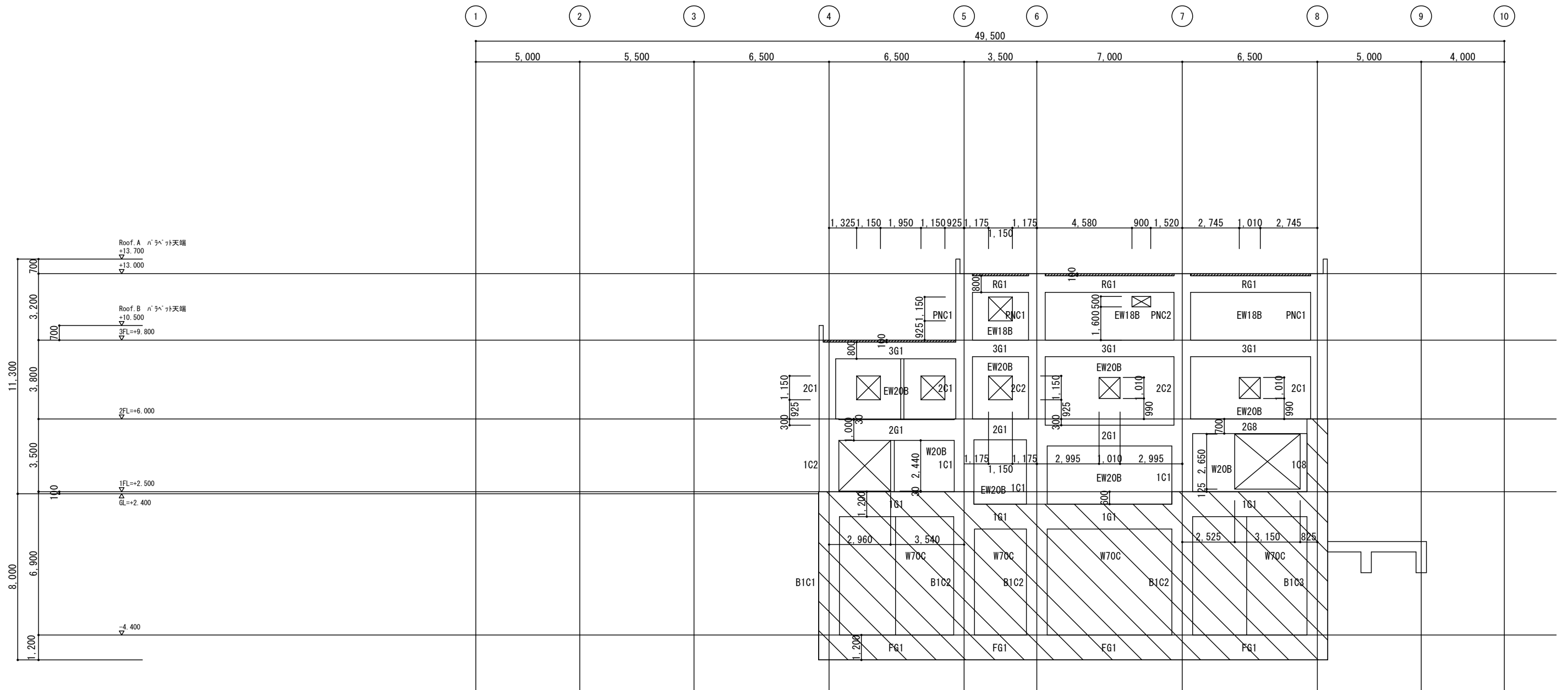
差し筋要領図
特記なき限り(共通事項)
1. 開口位置は、建築図を参照。
2. 建築壁符号及び配筋は「小梁・壁・床版リスト」参照。

2階 伏図 S=1/100

- 共通事項 (特記なき限り)
- 2FL=+6.000
 - 斜線は土木構造部を示す。
 - 斜線は打増しを示す。

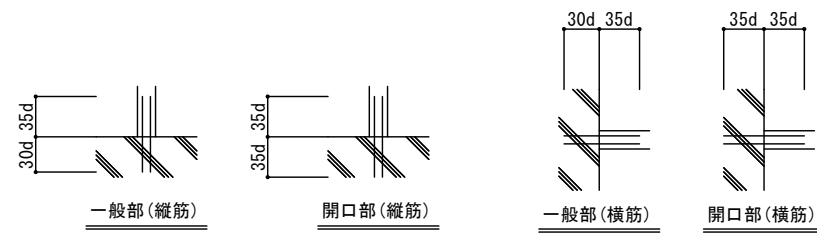
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	2階伏図
縮尺	1/100 図面番号 42/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課



A通り軸組図 S=1/100

- 共通事項 (特記なき限り)
- 斜線は打増しを示す
 - 点線は土木構造部を示す

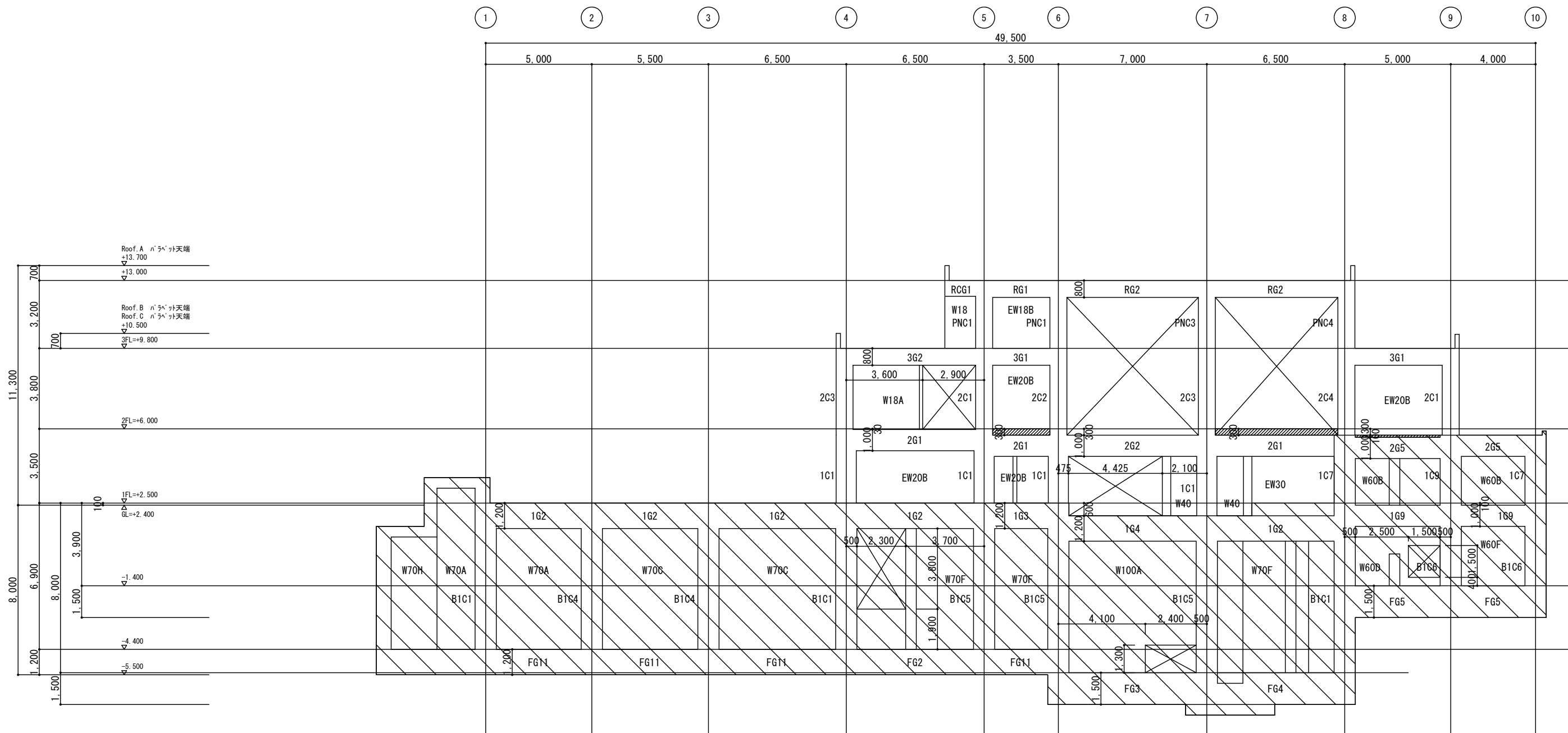


差し筋要領図

- 特記なき限り (共通事項)
- 開口位置は、建築図を参照。
 - 建築壁符号及び配筋は「小梁・壁・床版リスト」参照。

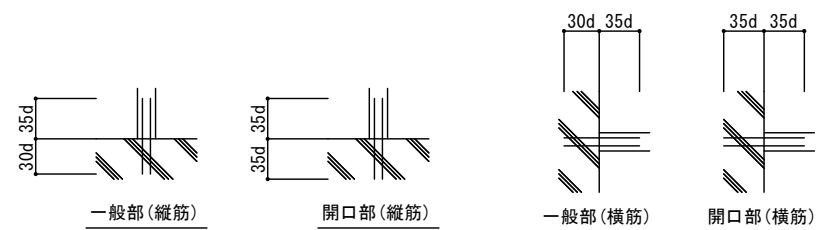
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	A通り軸組図		
縮尺	1/100	図面番号	43/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



B通リ軸組図 S=1/100

- 共通事項 (特記なき限り)
1. は打増しを示す
 2. は土木構造部を示す

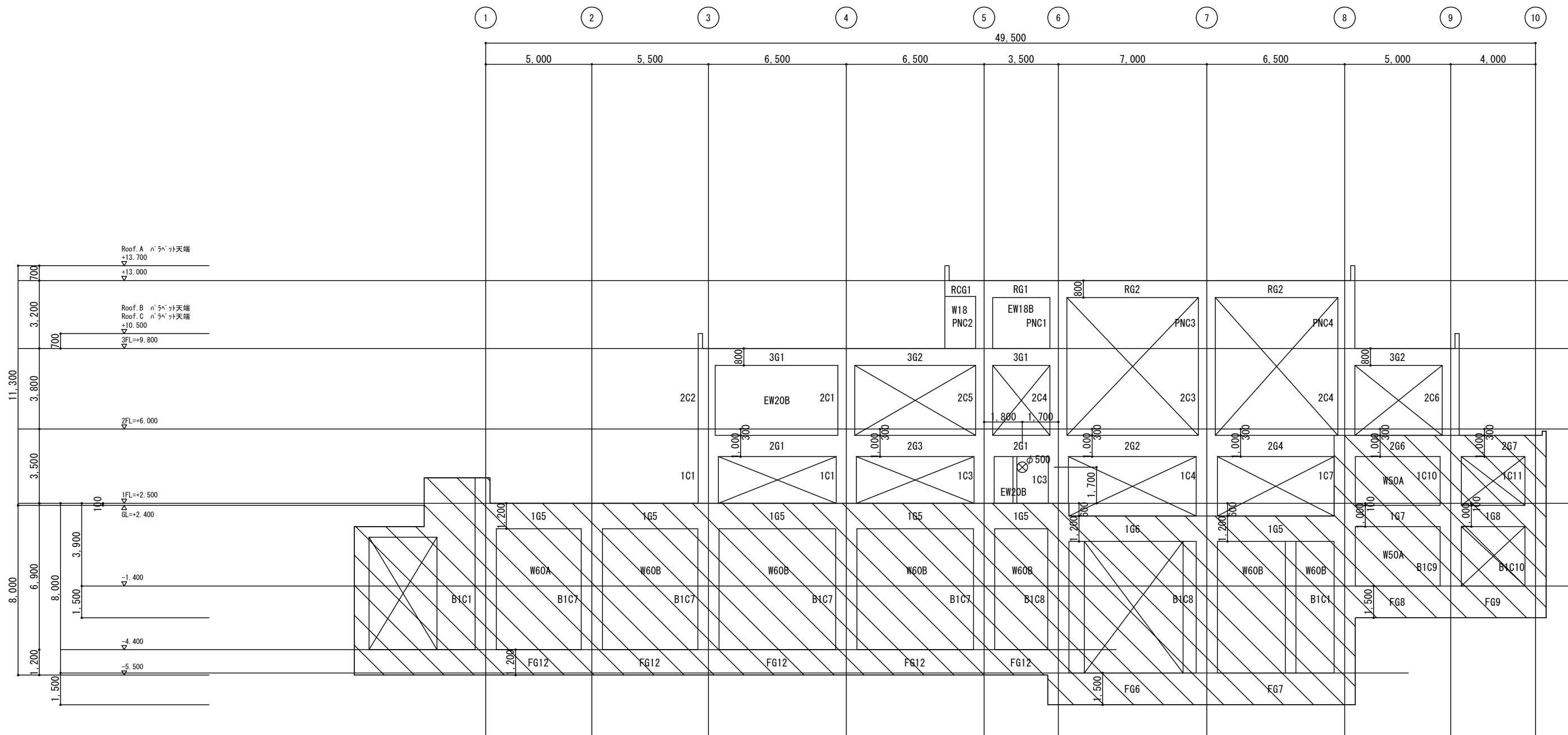


差し筋要領図

- 特記なき限り (共通事項)
1. 開口位置は、建築図を参照。
 2. 建築壁符号及び配筋は「小梁・壁・床版リスト」参照。

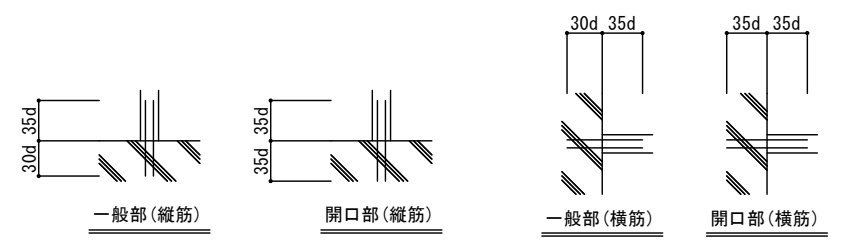
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	B通リ軸組図		
縮尺	1/100	図面番号	44/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



C通り軸組図 S=1/100

共通事項 (特記なき限り)
 1. 〰️は土木構造部を示す

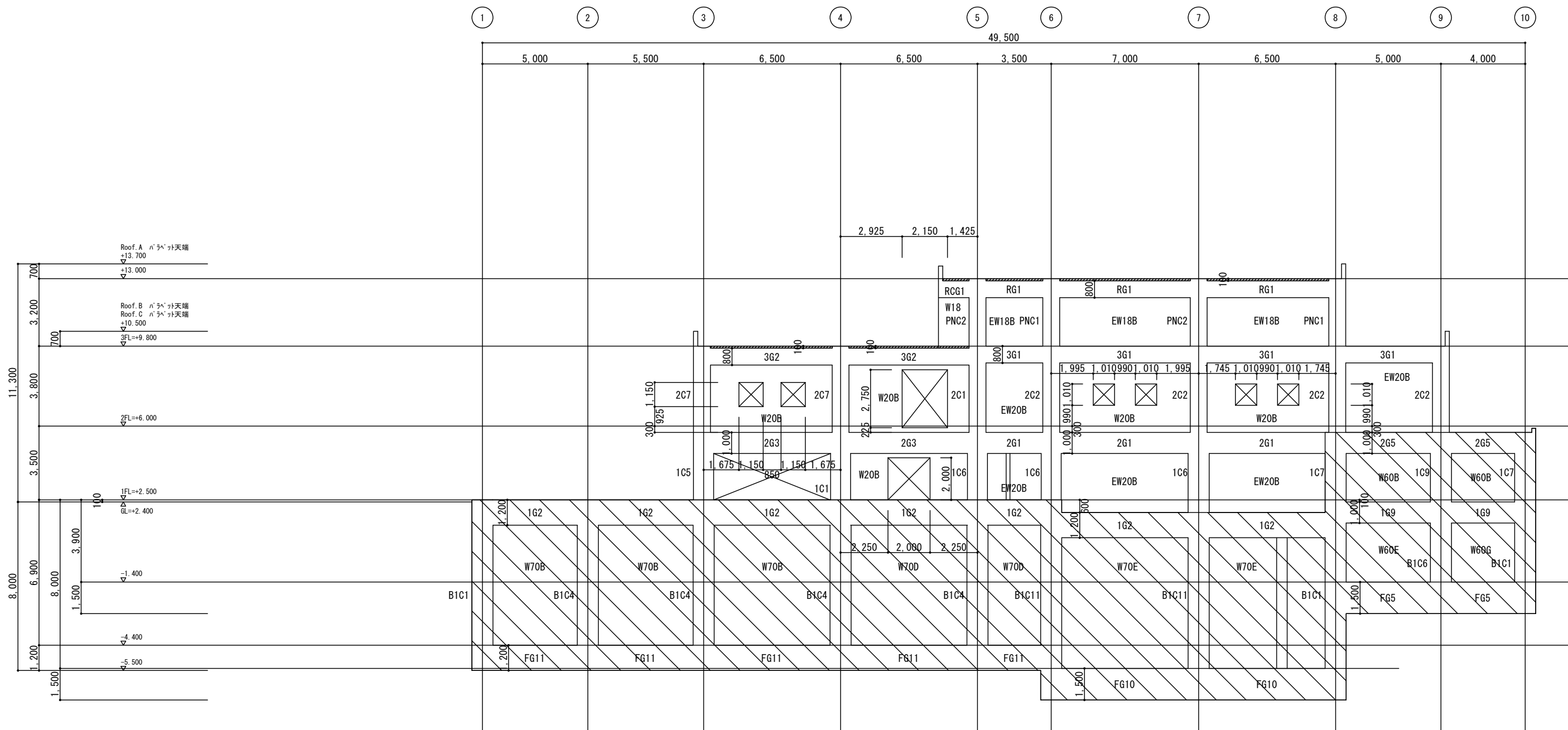


差し筋要領図

特記なき限り (共通事項)
 1. 開口位置は、建築図を参照。
 2. 建築壁符号及び配筋は「小梁・壁・床版リスト」参照。

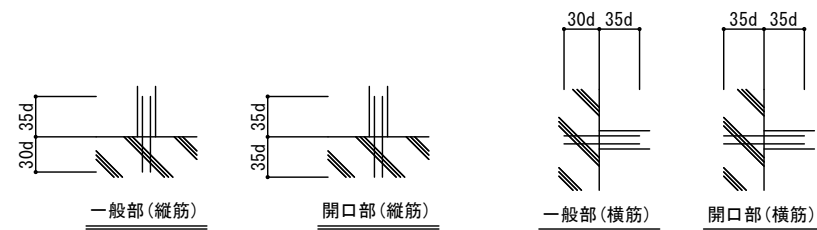
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	C通り軸組図		
縮尺	1/100	図面番号	45/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



D通り軸組図 S=1/100

- 共通事項 (特記なき限り)
1. 斜線は打増しを示す
 2. 網線は土木構造部を示す

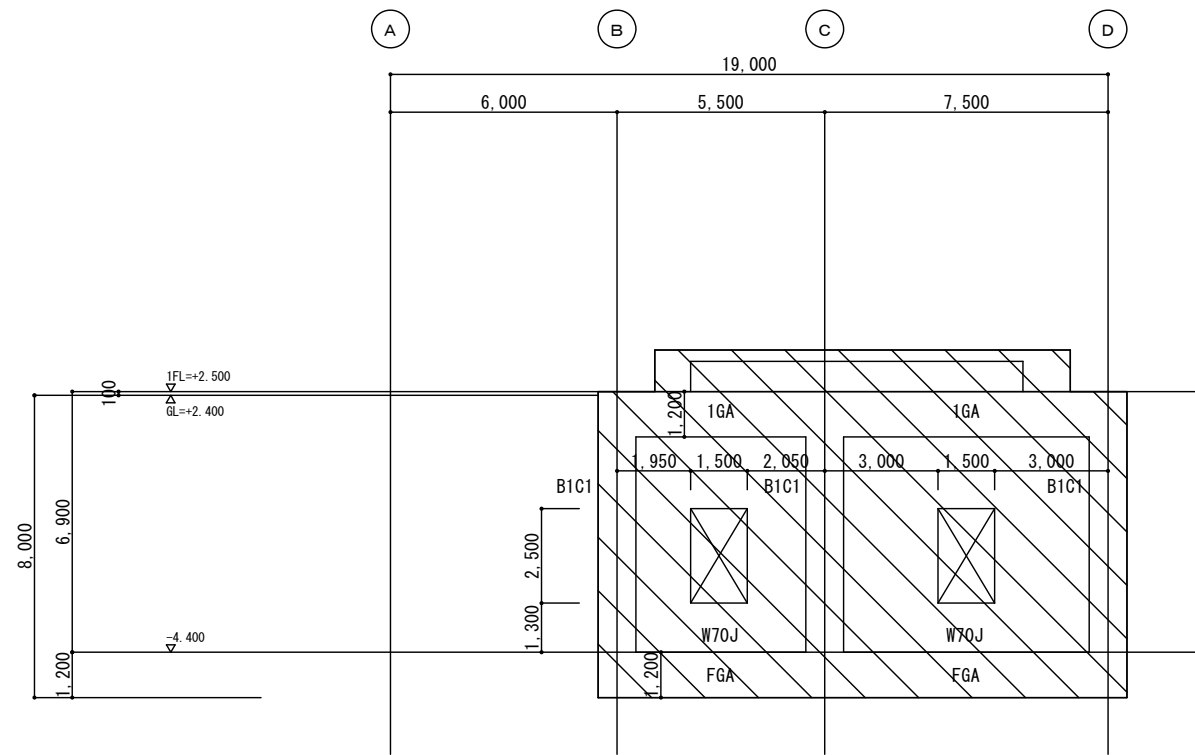


差し筋要領図

- 特記なき限り (共通事項)
1. 開口位置は、建築図を参照。
 2. 建築壁符号及び配筋は「小梁・壁・床版リスト」参照。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

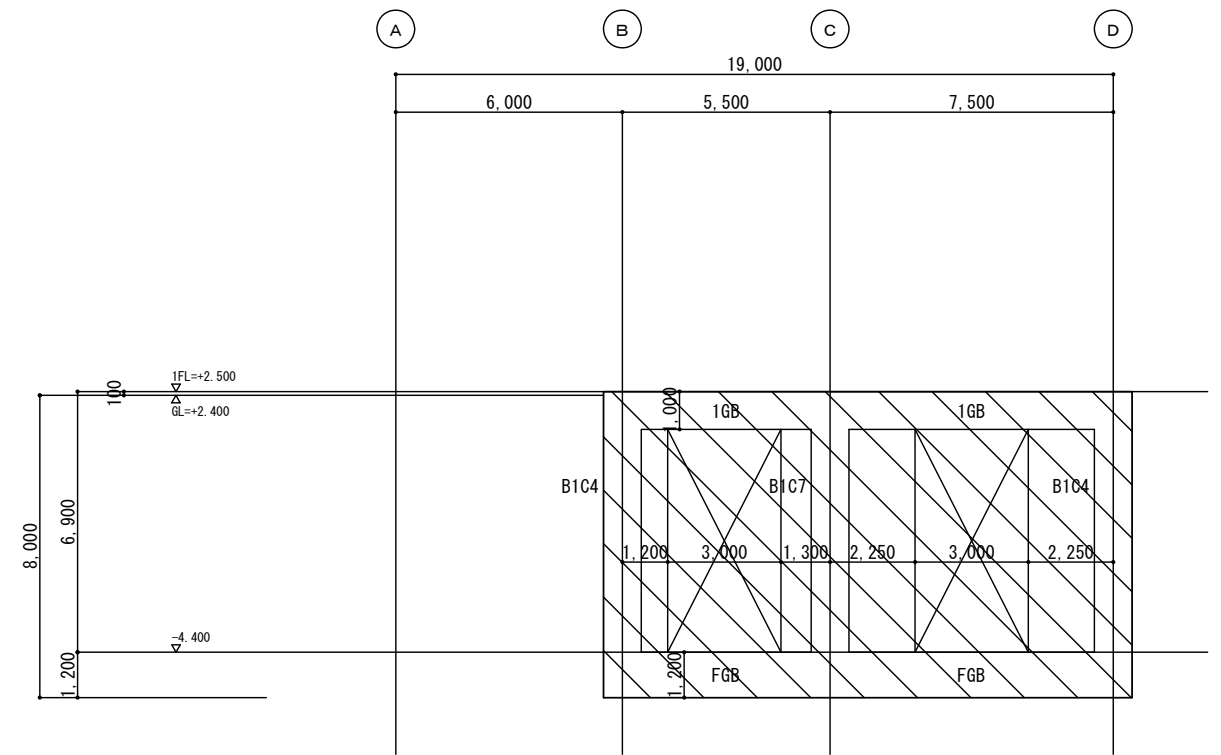
工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	D通り軸組図		
縮尺	1/100	図面番号	46/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



1通り軸組図 S=1/100

共通事項 (特記なき限り)

1. は土木構造部を示す



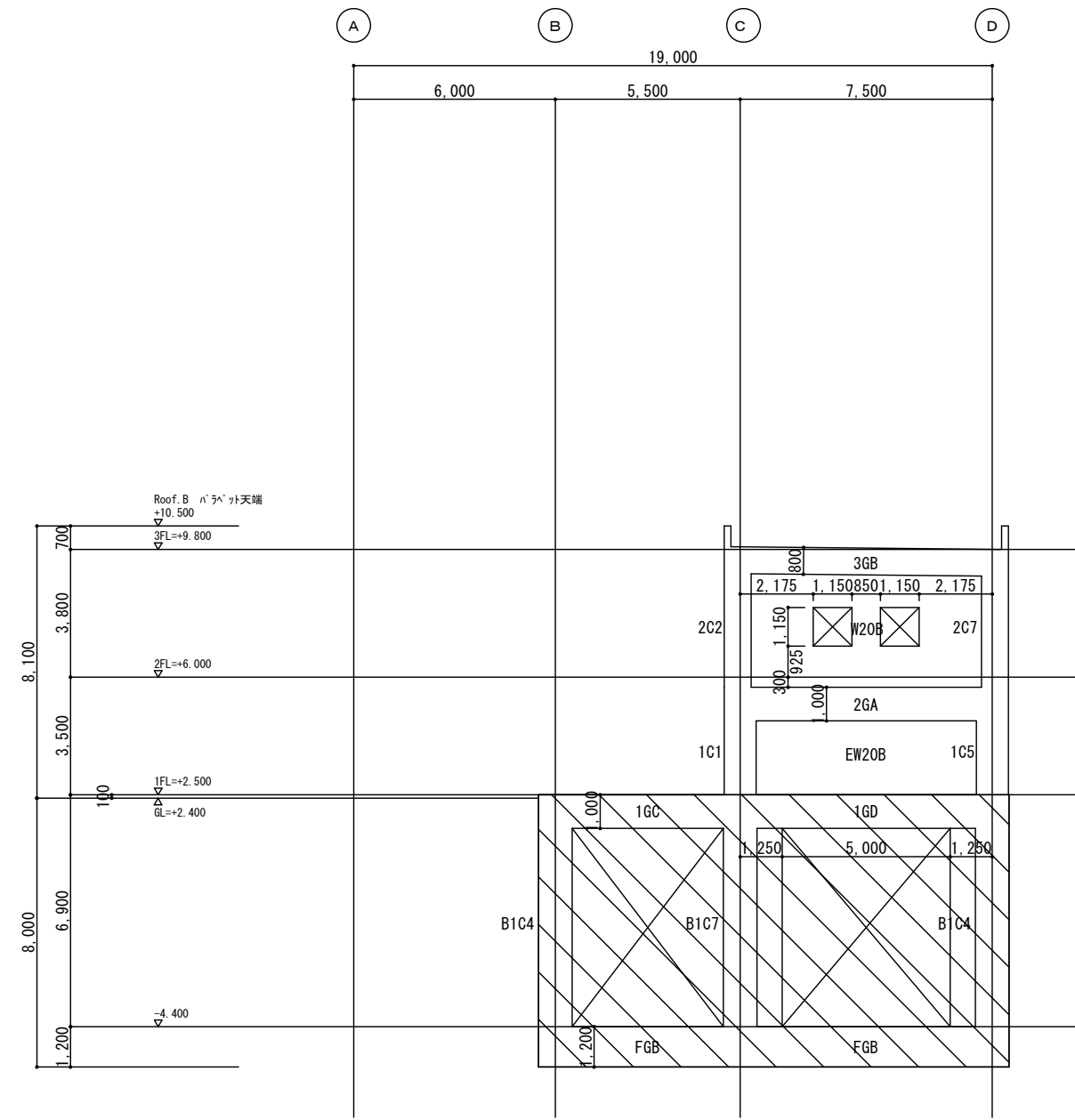
2通り軸組図 S=1/100

共通事項 (特記なき限り)

1. は土木構造部を示す

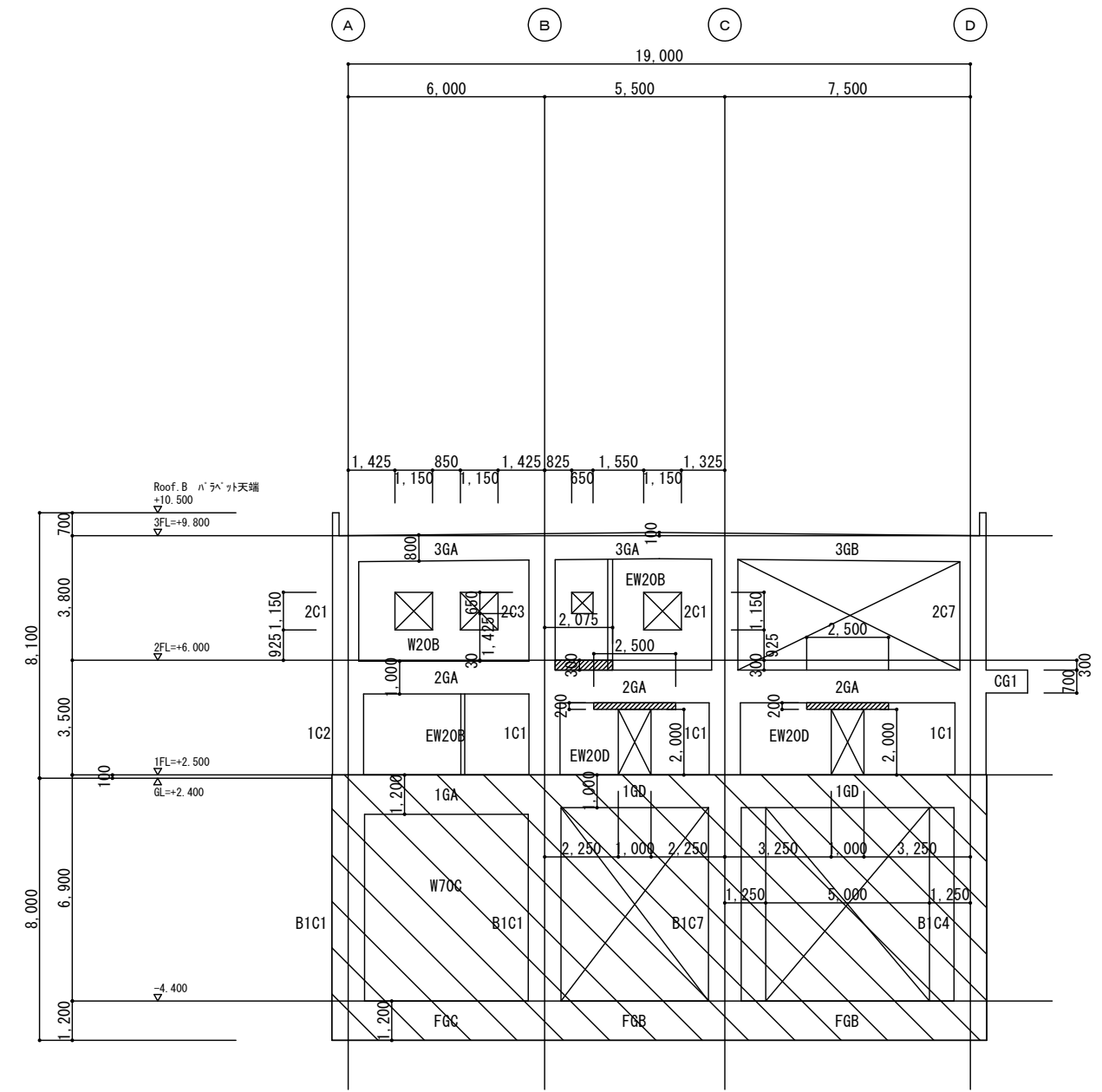
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	1通り・2通り軸組図		
縮尺	1/100	図面番号	47/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



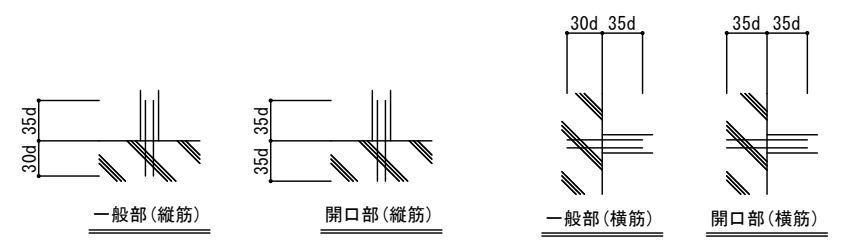
3通り軸組図 S=1/100

共通事項 (特記なき限り)
 1. は土木構造部を示す



4通り軸組図 S=1/100

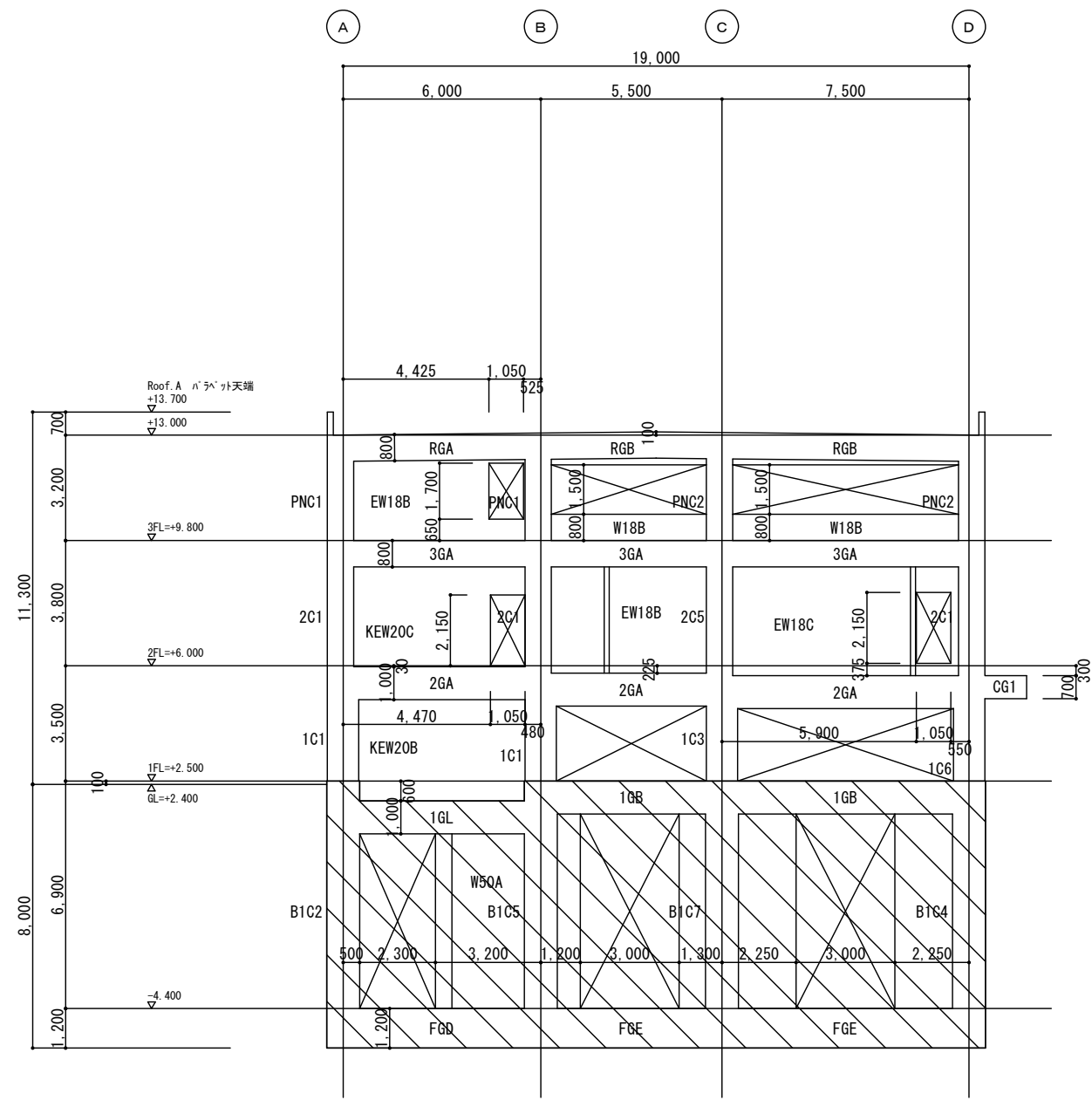
共通事項 (特記なき限り)
 1. は打増しを示す
 2. は土木構造部を示す



差し筋要領図
 特記なき限り (共通事項)
 1. 開口位置は、建築図を参照。
 2. 建築壁符号及び配筋は「小梁・壁・床版リスト」参照。

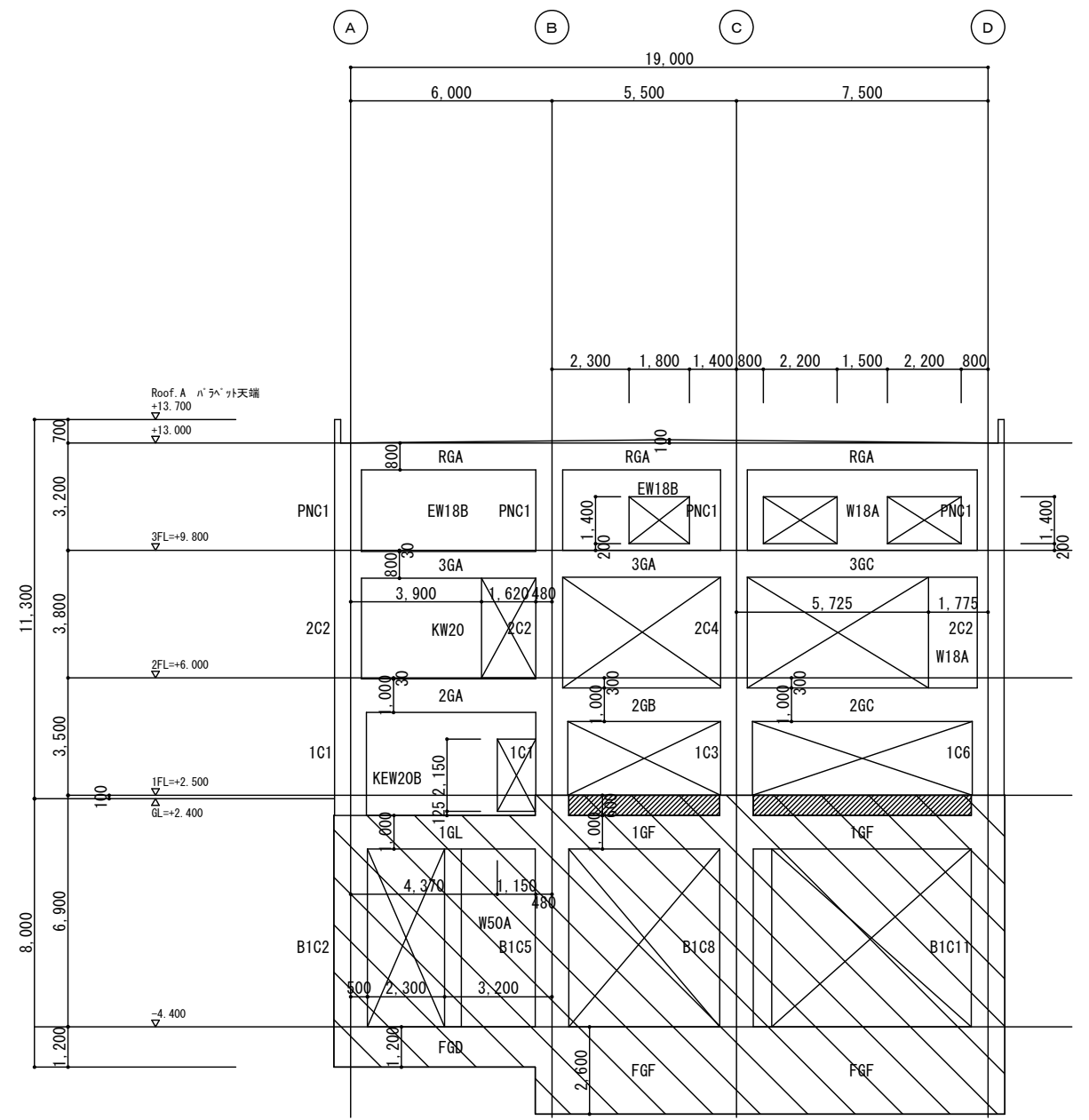
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	3通り・4通り軸組図
縮尺	1/100 図面番号 48/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課



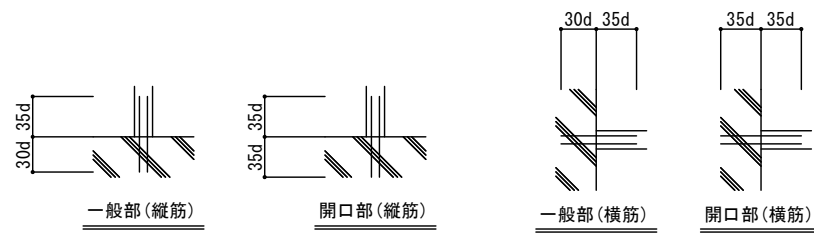
5通り軸組図 S=1/100

- 共通事項 (特記なき限り)
1. 〰️は土木構造部を示す



6通り軸組図 S=1/100

- 共通事項 (特記なき限り)
1. 〰️は打増しを示す
 2. 〰️は土木構造部を示す

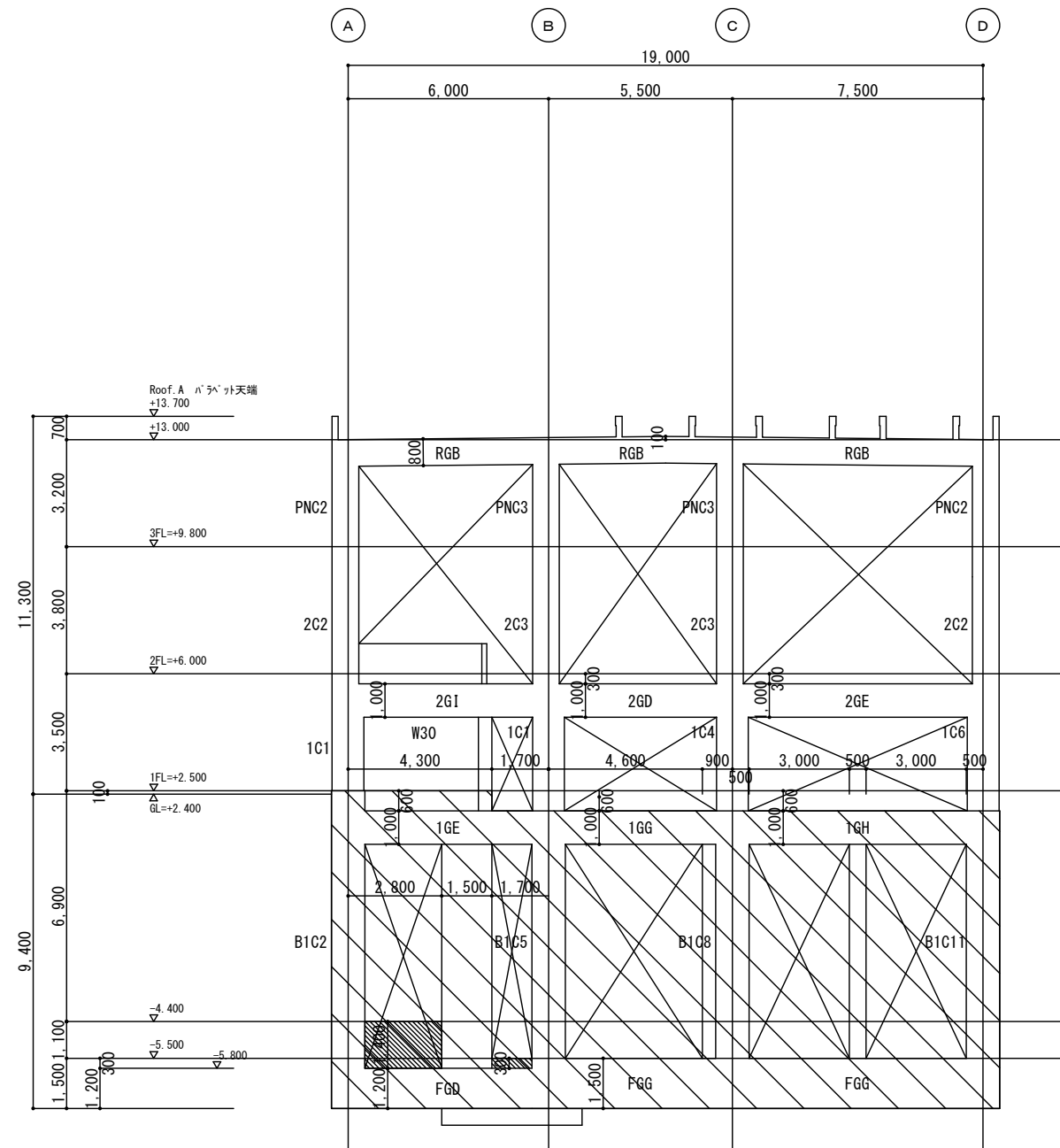


差し筋要領図

- 特記なき限り (共通事項)
1. 開口位置は、建築図を参照。
 2. 建築壁符号及び配筋は「小梁・壁・床版リスト」参照。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

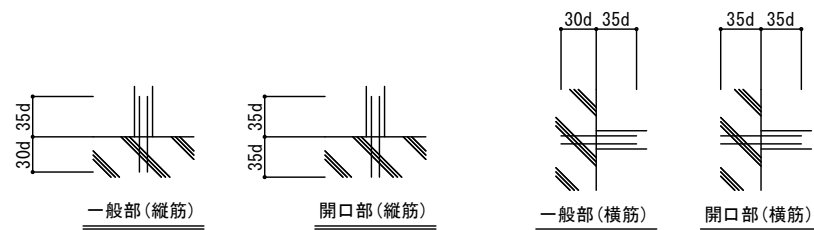
工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	5通り・6通り軸組図		
縮尺	1/100	図面番号	49/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



7通り軸組図 S=1/100

共通事項 (特記なき限り)

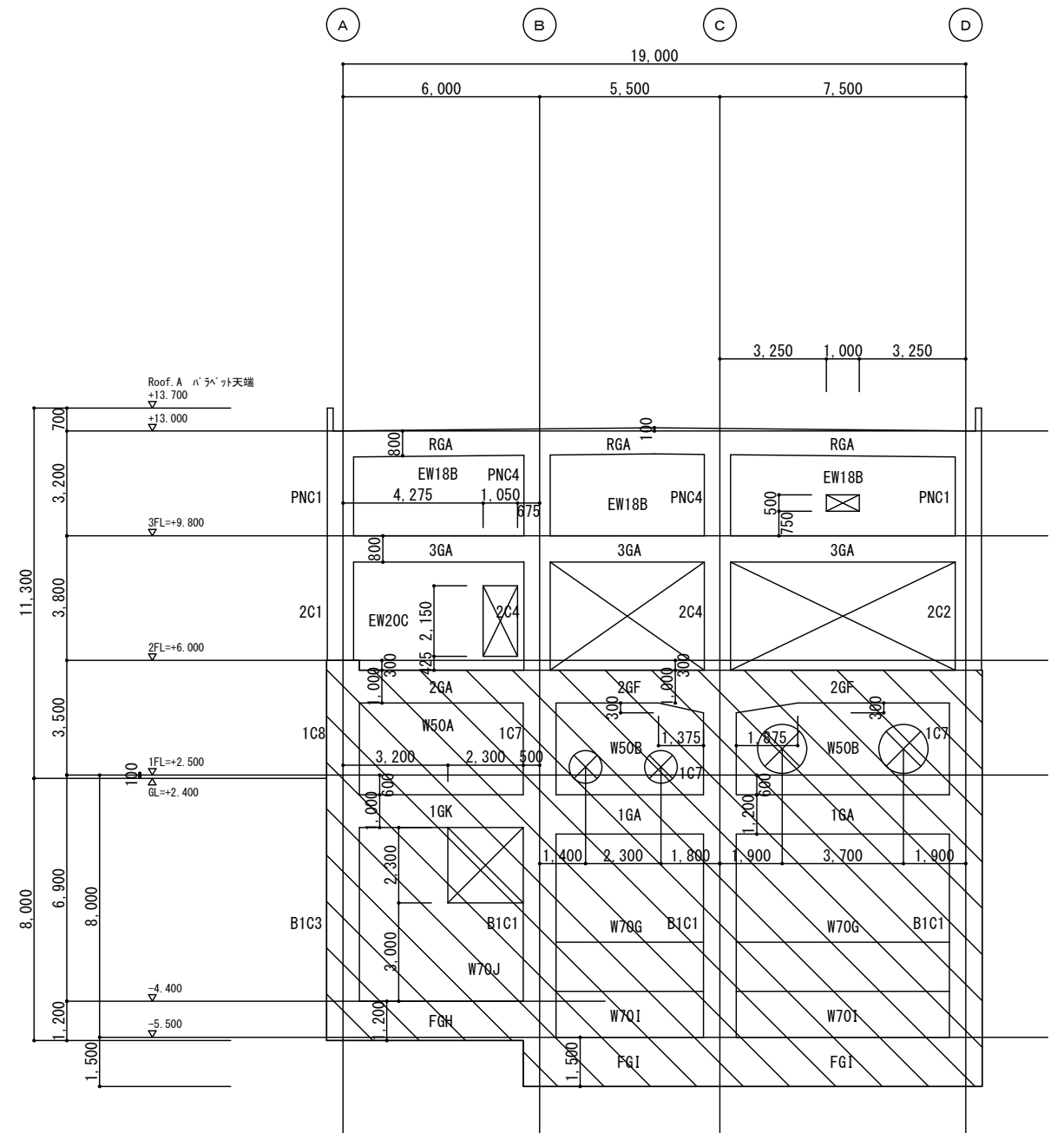
1. は打増しを示す
2. は土木構造部を示す



差し筋要領図

特記なき限り (共通事項)

1. 開口位置は、建築図を参照。
2. 建築壁符号及び配筋は「小梁・壁・床版リスト」参照。



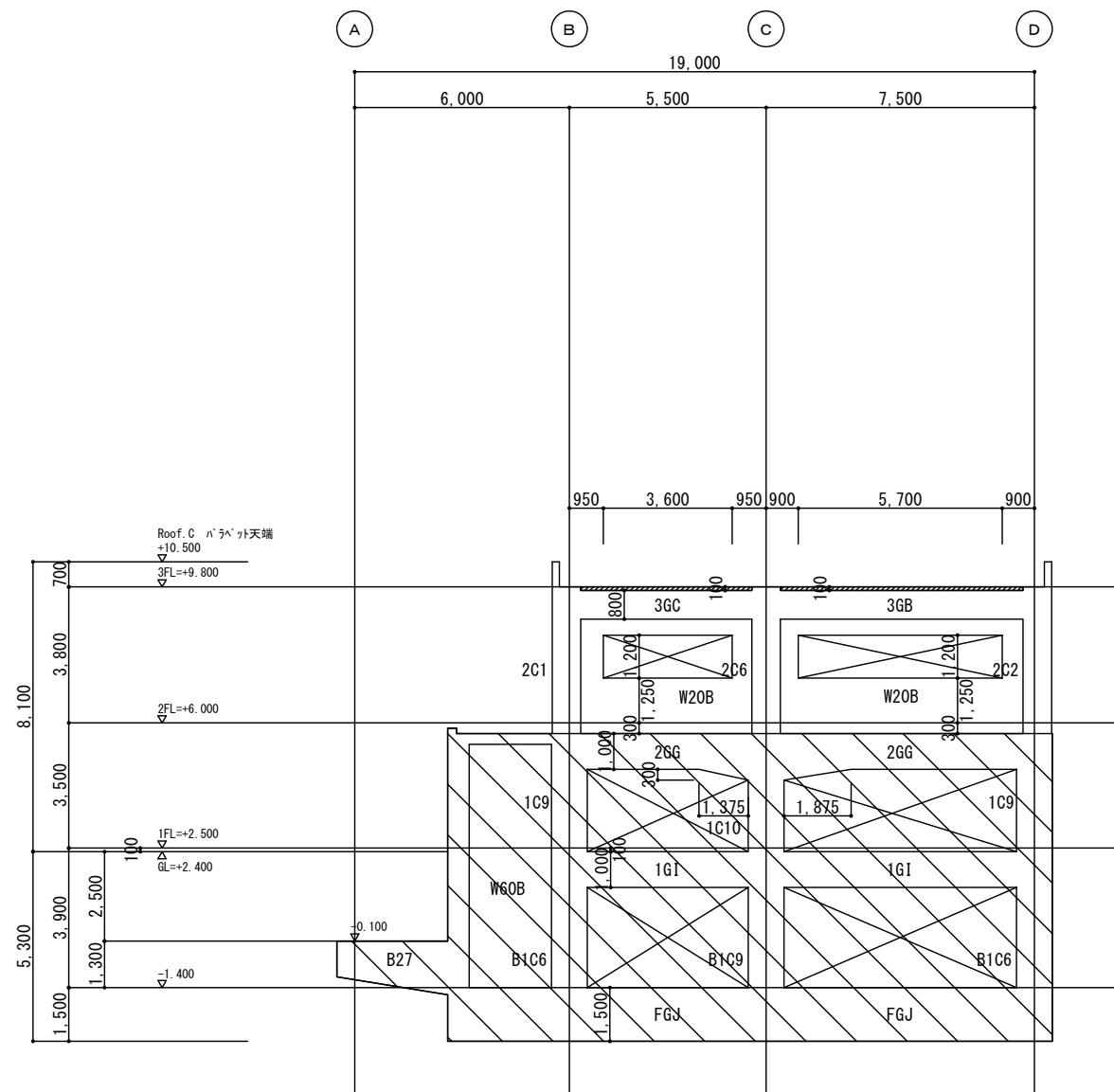
8通り軸組図 S=1/100

共通事項 (特記なき限り)

1. は土木構造部を示す

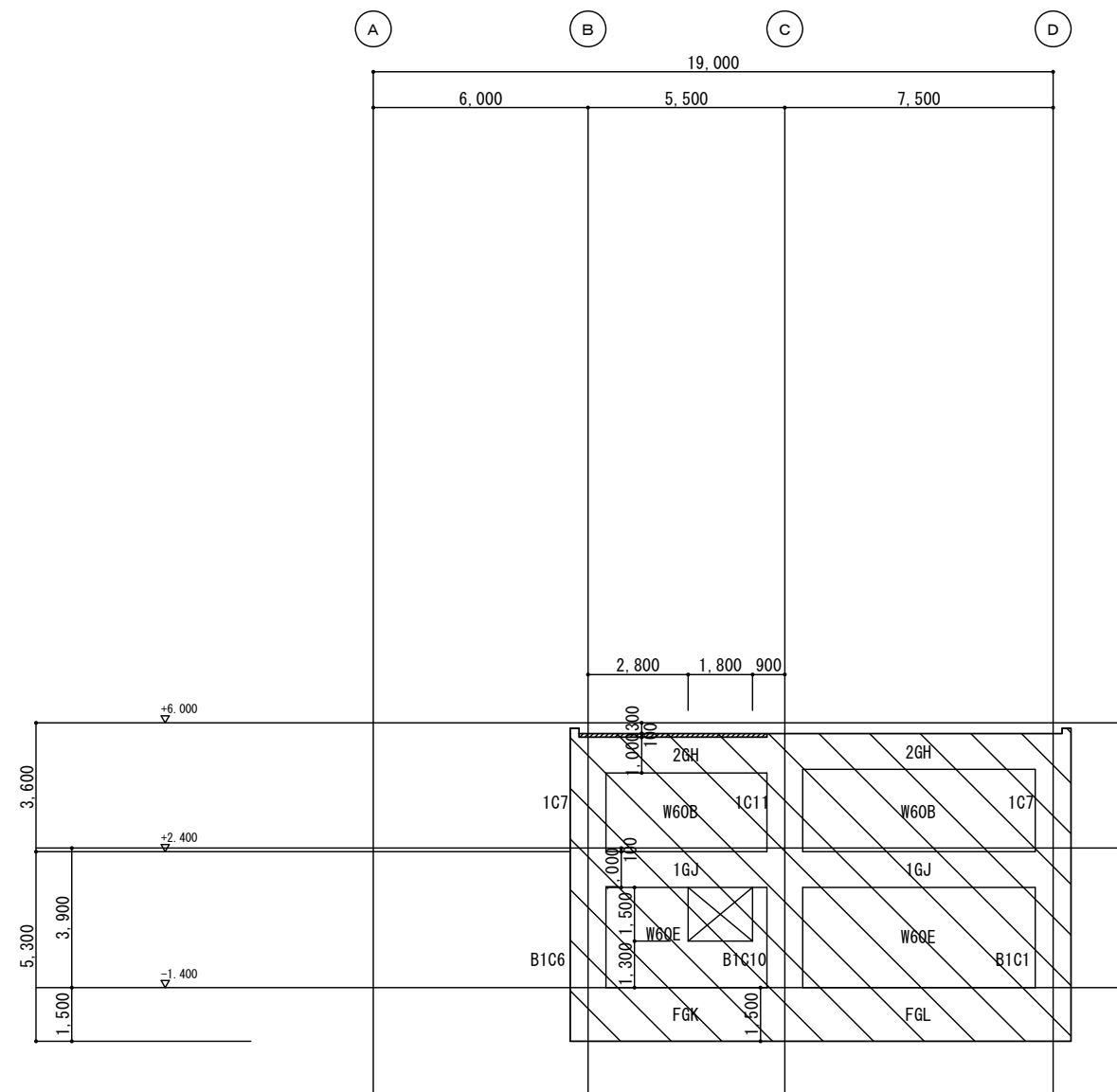
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	7通り・8通り軸組図		
縮尺	1/100	図面番号	50/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



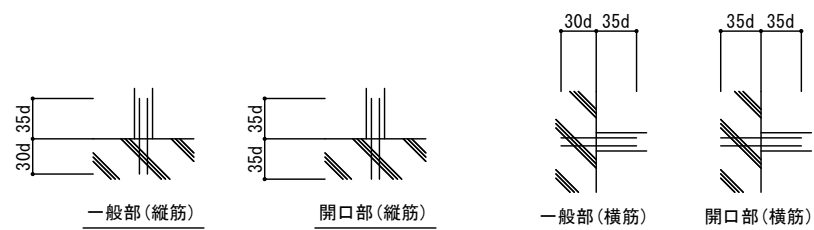
9通り軸組図 S=1/100

- 共通事項 (特記なき限り)
1. は打増しを示す
 2. は土木構造部を示す



10通り軸組図 S=1/100

- 共通事項 (特記なき限り)
1. は打増しを示す
 2. は土木構造部を示す

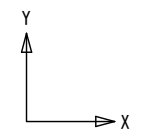
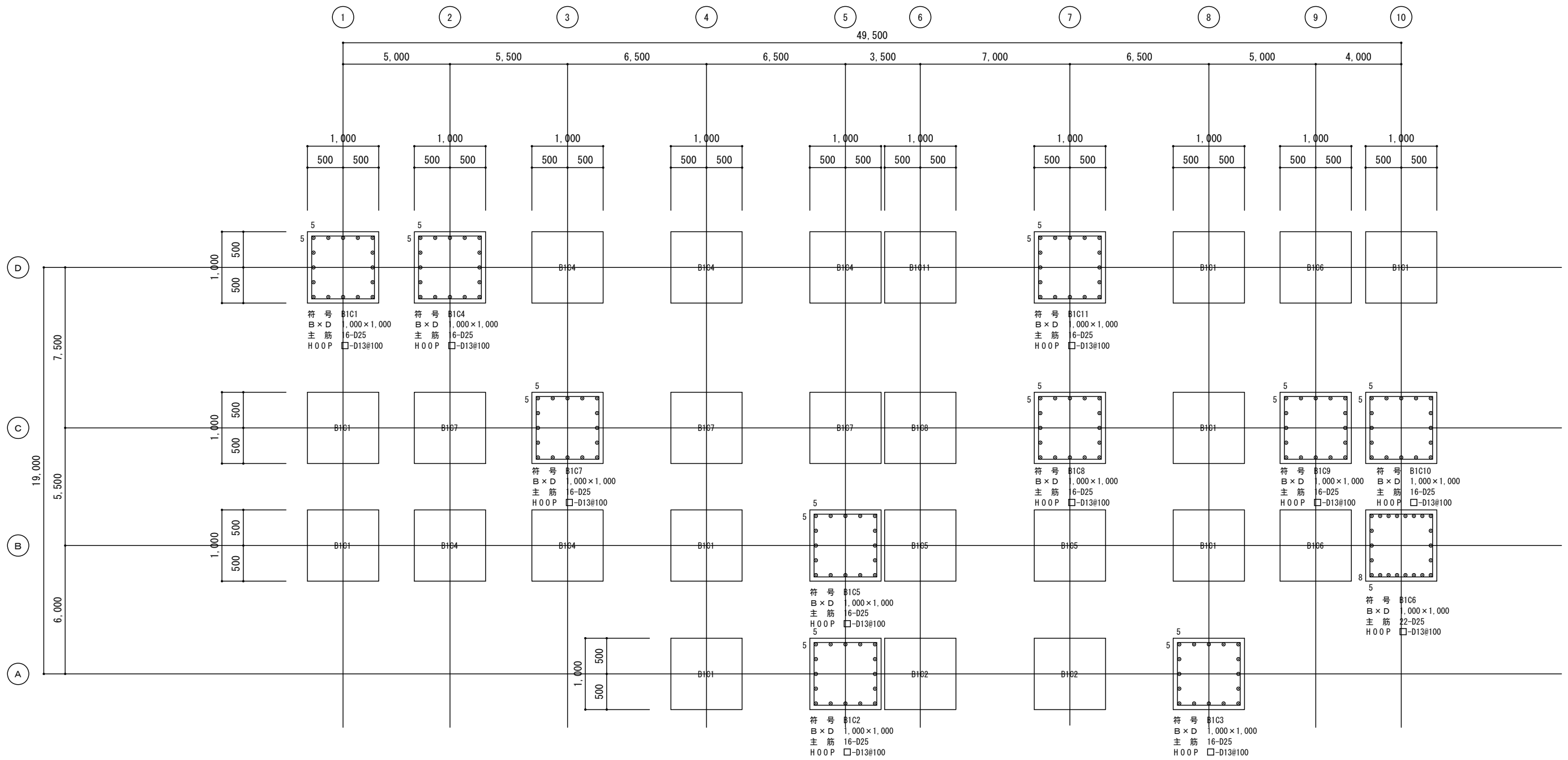


差し筋要領図

- 特記なき限り (共通事項)
1. 開口位置は、建築図を参照。
 2. 建築壁符号及び配筋は「小梁・壁・床版リスト」参照。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

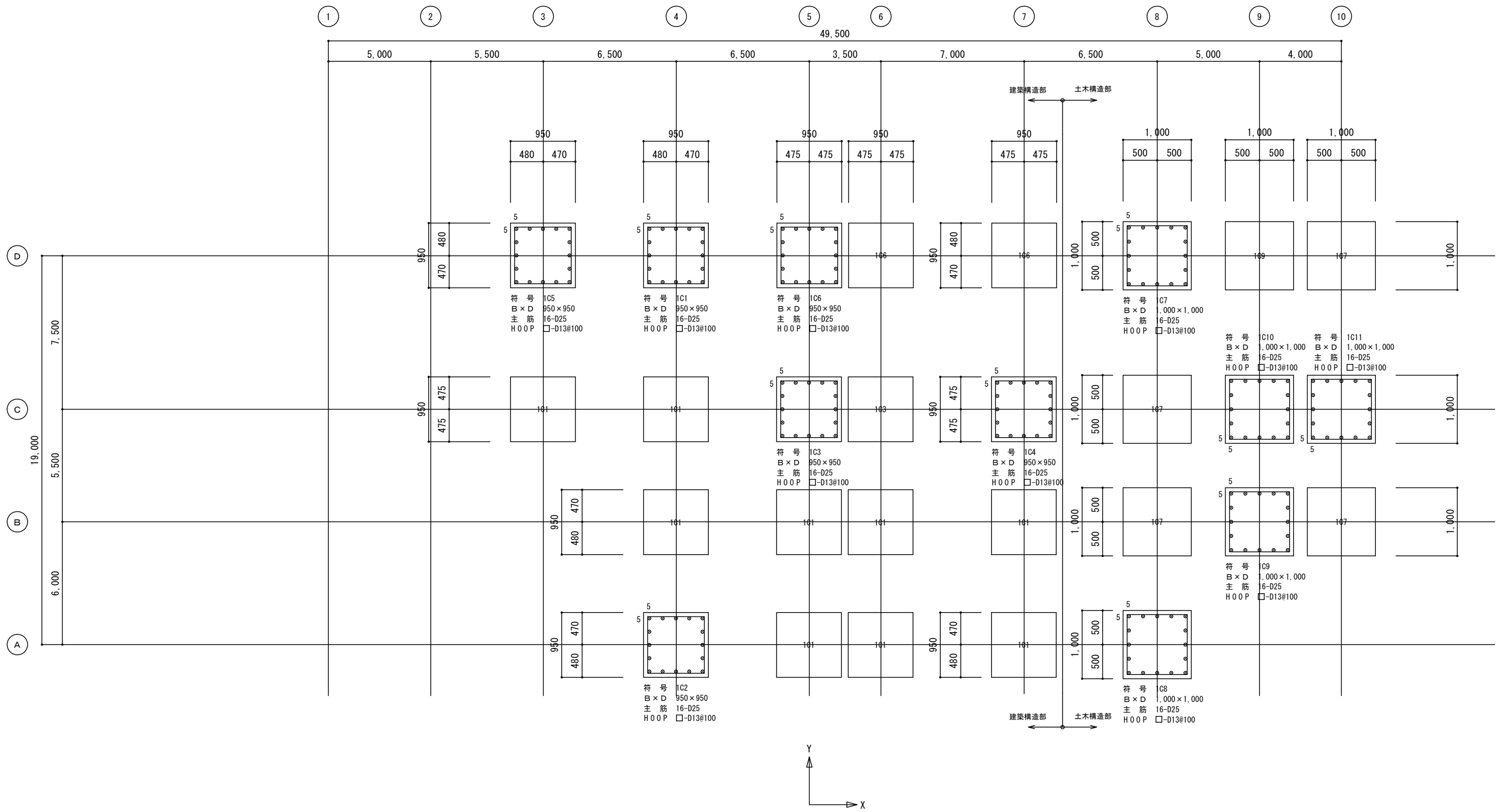
工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	9通り・10通り軸組図		
縮尺	1/100	図面番号	51/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



水路部柱リスト 1/30

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	水路部 柱リスト		
縮尺	1/30	図面番号	52/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	1階 柱リスト		
縮尺	1/30	図面番号	53/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

階	符 号	RG1	RG2		RGA	RGB	RCG1				
		全断面	両端部	中央部	全断面	全断面	全断面				
RF	断 面										
	B × D	400 × 800	400 × 800		400 × 800	400 × 800	400 × 800				
	上 端 筋	3-D25	5-D25	3-D25	3-D25	4-D25	3-D25				
	下 端 筋	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	4-D25	3-D25				
	スタ-ラップ	□2-D13@200	□2-D13@200		□2-D13@200	□2-D13@200	□2-D13@200				
	腹 筋	2-D10	2-D10		2-D10	2-D10	2-D10				
幅 止 筋	↗-D10@1,000	↗-D10@1,000		↗-D10@1,000	↗-D10@1,000	↗-D10@1,000					
PN	符 号	3G1	3G2	3GA	3GB	3GC					
	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面					
	断 面										
	B × D	400 × 800	400 × 800	400 × 800	400 × 800	400 × 800					
	上 端 筋	3-D25	4-D25	3-D25	5-D25	3-D25					
	下 端 筋	3-D25	3-D25	3-D25	4-D25	3-D25					
スタ-ラップ	□2-D13@200	□2-D13@200	□2-D13@200	□2-D13@200	□2-D13@200						
腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10						
幅 止 筋	↗-D10@1,000	↗-D10@1,000	↗-D10@1,000	↗-D10@1,000	↗-D10@1,000						
2F	符 号	2G1	2G2	2G3	2G4	2G5	2G6	2G7			
	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面			
	断 面										
	B × D	500 × 1,000	500 × 1,000	500 × 1,000	500 × 1,000	600 × 1,000	500 × 1,000	500 × 1,000			
	上 端 筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	4-D25	4-D25			
	下 端 筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	4-D25	4-D25			
	スタ-ラップ	□2-D13@200	□2-D13@200	□2-D13@200	□2-D13@200	□2-D13@200	□2-D13@200	□2-D13@200			
	腹 筋	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D13	4-D13	4-D13			
	幅 止 筋	↗-D10@1,000	↗-D10@1,000	↗-D10@1,000	↗-D10@1,000	↗-D13@1,000	↗-D13@1,000	↗-D13@1,000			
	符 号	2G8	2GA	2GB	2GC	2GD	2GE				
	位 置	全断面	全断面	全断面	C端部	中央部・D端部	B端部	中央部	C端部	C端部	中央部・D端部
	断 面										
	B × D	400 × 700	500 × 1,000	500 × 1,000	700 × 1,000		500 × 1,000		700 × 1,000		
	上 端 筋	3-D25	4-D25	6-D25	9-D29	7-D29	6-D25	4-D25	8-D25	9-D29	7-D29
下 端 筋	3-D25	4-D25	4-D25	6-D29	6-D29	4-D25	4-D25	4-D25	6-D29	6-D29	
スタ-ラップ	□2-D13@200	□2-D13@200	□2-D13@200	□2-D13@100		□2-D13@200		□2-D13@100			
腹 筋	2-D13	4-D10	4-D10	4-D10		4-D10		4-D10			
幅 止 筋	↗-D13@1,000	↗-D10@1,000	↗-D10@1,000	↗-D10@1,000		↗-D10@1,000		↗-D10@1,000			

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	大梁リスト 1		
縮 尺	1/30	図面番号	54/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

階	符 号	2GF		2GG			2GH	2GI	CG1		
		B, D端部	C端部	B, D端部	中央部	C端部	全断面	全断面	元端	先端、中央部	
2F	断 面										
	B × D	500 × 1,000	500 × 1,300	500 × 1,000		500 × 1,300	600 × 1,000	500 × 1,000	500 × 700		
	上 端 筋	8-D25	8-D25	7-D25	5-D25	7-D25	5-D25	5-D25	7-D22	5-D22	
	下 端 筋	5-D25	5-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	4-D25	3-D22	3-D22	
	スタ-ラップ	■3-D13@100		□2-D13@100			□2-D13@200	□2-D13@200	□2-D13@200		
	腹 筋	4-D13		4-D13			4-D13	4-D13	2-D10		
幅 止 筋	↗-D13@1,000		↗-D13@1,000			↗-D13@1,000	↗-D13@1,000	↗-D10@1000			
1F	符 号	1G1		1G2			1G3	1G4	1G5	1G6	1G7
	位 置	全断面		全断面			全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
	断 面										
	B × D	700 × 1,200		700 × 1,200			700 × 1,200	1,000 × 1,200	600 × 1,200	600 × 1,200	500 × 1,000
	上 端 筋	7-D25		7-D25			7-D25	10-D25	6-D25	4-D25	4-D25
	下 端 筋	7-D25		7-D25			7-D25	10-D25	6-D25	3-D25	4-D25
	スタ-ラップ	■3-D13@200		■3-D13@200			■3-D13@200	□2-D13@100	□2-D13@200	□2-D13@200	□2-D13@200
	腹 筋	6-D13		6-D13			6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	4-D13
	幅 止 筋	↗-D13@1,000		↗-D13@1,000			↗-D13@1,000	↗-D13@1,000	↗-D13@1,000	↗-D13@1,000	↗-D13@1,000
	符 号	1G8		1G9			1GA	1GB	1GC	1GD	1GE
	位 置	全断面		全断面			全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
	断 面										
	B × D	500 × 1,000		600 × 1,000			700 × 1,200	600 × 1,000	600 × 1,000	600 × 1,000	500 × 1,000
	上 端 筋	3-D25		5-D25			7-D25	6-D25	4-D25	5-D25	7-D29
	下 端 筋	3-D25		5-D25			7-D25	5-D25	3-D25	5-D25	5-D29
	スタ-ラップ	□2-D13@200		□2-D13@200			■3-D13@200	■3-D13@100	■3-D13@200	□2-D13@200	■4-D13@100
	腹 筋	4-D13		4-D13			6-D13	4-D13	4-D13	4-D13	4-D13
	幅 止 筋	↗-D13@1,000		↗-D13@1,000			↗-D13@1,000	↗-D13@1,000	↗-D13@1,000	↗-D13@1,000	↗-D13@1,000
符 号	1GF		1GG			1GH		1GI	1GJ	1GK	1GL
位 置	全断面		全断面			両端部	中央部	全断面	全断面	全断面	全断面
断 面											
B × D	600 × 1,000		600 × 1,000			700 × 1,000		600 × 1,000	600 × 1,000	700 × 1,000	500 × 1,000
上 端 筋	6-D25		6-D25			9-D29	7-D29	3-D25	5-D25	6-D25	4-D25
下 端 筋	5-D25		5-D25			6-D29	8-D29	3-D25	5-D25	6-D25	4-D25
スタ-ラップ	■3-D13@200		□2-D13@100			■3-D13@100		□2-D13@200	□2-D13@200	■3-D13@200	□2-D13@200
腹 筋	4-D13		4-D13			4-D13		4-D13	4-D13	4-D13	4-D13
幅 止 筋	↗-D13@1,000		↗-D13@1,000			↗-D13@1,000		↗-D13@1,000	↗-D13@1,000	↗-D13@1,000	↗-D13@1,000

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事	
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内	
図面の種類	大梁リスト2	
縮 尺	1/30	図面番号 55/120
事 業 所 名	津市下水道局下水道建設課	

階	符 号	FG1	FG2	FG3	FG4	FG5	FG6	
		全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	両端部	中央部
B1F	断 面							
	B × D	700 × 1,200	700 × 1,200	1,000 × 1,500	700 × 1,500	600 × 1,500	1,600 × 1,500	
	上 端 筋	6-D29	6-D29	10-D29	7-D29	6-D29	14-D29	14-D29
	下 端 筋	6-D29	6-D29	10-D29	7-D29	6-D29	23-D29	19-D29
	スタ-ラップ	□2-D13@100	■4-D13@100	□2-D13@100	■3-D13@200	□2-D13@200	■14-D13@100	
	腹 筋	6-D13	6-D13	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	
	幅 止 筋	↖-D13@1,000	↖-D13@1,000	↖-D13@1,000	↖-D13@1,000	↖-D13@1,000	↖-D13@1,000	
	符 号	FG7	FG8	FG9	FG10	FG11	FG12	FGA
	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
	断 面							
	B × D	600 × 1,500	500 × 1,500	1,000 × 1,500	700 × 1,500	700 × 1,200	600 × 1,200	700 × 1,200
	上 端 筋	6-D29	5-D29	5-D29	7-D29	6-D29	5-D29	6-D29
	下 端 筋	6-D29	5-D29	5-D29	7-D29	6-D29	5-D29	6-D29
	スタ-ラップ	□2-D13@200	□2-D13@200	■3-D13@100	□2-D13@100	□2-D13@100	□2-D13@200	□2-D13@100
腹 筋	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	3-D13	6-D13	6-D13	
幅 止 筋	↖-D13@1,000	↖-D13@1,000	↖-D13@1,000	↖-D13@1,000	↖-D13@1,000	↖-D13@1,000	↖-D13@1,000	
符 号	FGB	FGC	FGD	FGE	FGF	FGG	FGH	
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	
断 面								
B × D	1,000 × 1,200	700 × 1,200	1,000 × 1,200	1,000 × 1,200	1,200 × 2,600	1,000 × 1,500	700 × 1,200	
上 端 筋	4-D29	6-D29	4-D29	4-D29	10-D29	5-D29	6-D29	
下 端 筋	6-D29	6-D29	7-D29	7-D29	10-D29	9-D29	6-D29	
スタ-ラップ	■3-D13@100	□2-D13@100	□2-D13@100	■3-D13@100	■6-D13@200	■4-D13@200	□2-D13@100	
腹 筋	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	14-D13	8-D13	6-D13	
幅 止 筋	↖-D13@1,000	↖-D13@1,000	↖-D13@1,000	↖-D13@1,000	↖-D13@1,000	↖-D13@1,000	↖-D13@1,000	
符 号	FGI	FGJ	FGK	FGL				
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面				
断 面								
B × D	700 × 1,500	1,400 × 1,500	600 × 1,500	600 × 1,500				
上 端 筋	7-D29	14-D29	6-D29	6-D29				
下 端 筋	7-D29	18-D29	6-D29	6-D29				
スタ-ラップ	□2-D13@100	■9-D13@100	□2-D13@200	□2-D13@200				
腹 筋	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13				
幅 止 筋	↖-D13@1,000	↖-D13@1,000	↖-D13@1,000	↖-D13@1,000				

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	大梁リスト3		
縮 尺	1/30	図面番号	56/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

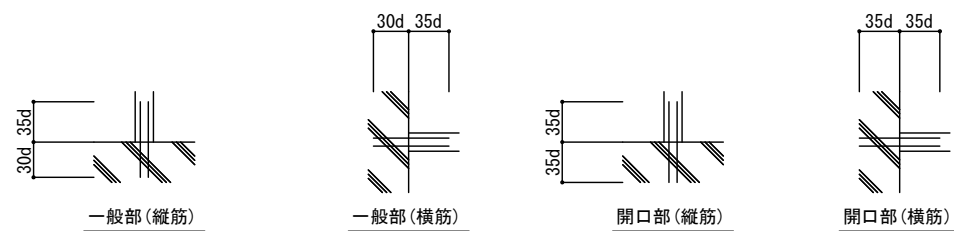
符 号	B1		B2		B3		B4			B5		B6		B7	
位 置	全断面		全断面		B端部・中央部	C端部	C端部	中央部	D端部	内端部	外端部・中央部	3.5端部・中央部	4端部	全断面	
断 面															
B × D	350 × 600		400 × 750		400 × 750		400 × 750			350 × 600		400 × 750		300 × 600	
上 端 筋	3-D19		3-D22		3-D22	4-D22	4-D22	3-D22	3-D22	4-D19	3-D19	3-D22	4-D22	3-D19	
下 端 筋	3-D19		3-D22		3-D22	3-D22	3-D22	5-D22	3-D22	3-D19	3-D19	3-D22	3-D22	3-D19	
ス タ ー ラ ッ プ	□2-D10@200		□2-D13@200		□2-D13@200		□2-D13@200			□2-D10@200		□2-D13@200		□2-D10@200	
腹 筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10			2-D10		2-D10		2-D10	
幅 止 筋	┌-D10@1000		┌-D10@1000		┌-D10@1000		┌-D10@1000			┌-D10@1000		┌-D10@1000		┌-D10@1000	
符 号	B8		B9		B10		B11			B12		B13		B14	
位 置	全断面		全断面		両端部	中央部	5端部・中央部	6端部		6端部	中央部	7端部	6端部	中央部	7端部
断 面															
B × D	400 × 700		400 × 900		400 × 900		400 × 900			450 × 900		500 × 900		400 × 800	
上 端 筋	3-D22		4-D22		3-D25	3-D25	3-D25	6-D25		7-D25	5-D25	5-D25	8-D25	4-D25	4-D25
下 端 筋	3-D22		4-D22		3-D25	5-D25	3-D25	3-D25		5-D25	7-D25	5-D25	4-D25	7-D25	4-D25
ス タ ー ラ ッ プ	□2-D13@200		□2-D13@200		□2-D13@200		□2-D13@200			□3-D13@200		□3-D13@200		□2-D13@200	
腹 筋	2-D10		4-D10		4-D10		4-D10			4-D10		4-D10		2-D10	
幅 止 筋	┌-D10@1000		┌-D10@1000		┌-D10@1000		┌-D10@1000			┌-D10@1000		┌-D10@1000		┌-D10@1000	
符 号	B15		B16		B17		B18			B19		B20		B21	
位 置	両端部	中央部	両端部	中央部	全断面		中央部・5端部	6端部		両端部	中央部	全断面		全断面	
断 面															
B × D	400 × 900		400 × 900		400 × 600		400 × 900			400 × 700		400 × 600		400 × 800	
上 端 筋	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D19		4-D25	6-D25		3-D25	3-D25	3-D19		3-D22	
下 端 筋	3-D25	5-D25	3-D25	6-D25	3-D19		4-D25	4-D25		3-D25	4-D25	3-D19		3-D22	
ス タ ー ラ ッ プ	□2-D13@200		□2-D13@200		□2-D13@200		□2-D13@200			□2-D13@200		□2-D13@200		□2-D13@200	
腹 筋	4-D10		4-D10		2-D10		2-D10			2-D10		2-D13		2-D13	
幅 止 筋	┌-D10@1000		┌-D10@1000		┌-D10@1000		┌-D10@1000			┌-D10@1000		┌-D13@1000		┌-D13@1000	
符 号	B22		B23		B24		B25			B26		CG1			
位 置	全断面		両端部	中央部	両端部	中央部	両端部	中央部		全断面		D端部	中央部・先端		
断 面															
B × D	400 × 800		500 × 900		500 × 900		500 × 900			400 × 800		500 × 700			
上 端 筋	3-D22		3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	4-D25	4-D25		3-D19		7-D22	5-D22		
下 端 筋	4-D22		3-D25	4-D25	3-D25	5-D25	4-D25	7-D25		3-D19		3-D22	3-D22		
ス タ ー ラ ッ プ	□2-D13@200		□2-D13@200		□2-D13@200		□2-D13@200			□2-D13@200		□2-D13@200			
腹 筋	2-D13		4-D13		4-D13		4-D13			2-D13		2-D10			
幅 止 筋	┌-D13@1000		┌-D13@1000		┌-D13@1000		┌-D13@1000			┌-D13@1000		┌-D10@1000			

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工 事 名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施 工 箇 所 名	津市高茶屋小森上野町地内		
図 面 の 種 類	小梁リスト		
縮 尺	1/30	図 面 番 号	57/120
事 業 所 名	津市下水道局下水道建設課		

壁リスト 1/30

符 号	W15	W18A	W18B	EW18B	EW18C
断 面					
壁 厚	150	180	180	180	180
縦 筋	D10@150シングル	D10@200ダブル	D10@150ダブル	D10@150ダブル	D10@150ダブル
横 筋	D10@150シングル	D10@200ダブル	D10@150ダブル	D10@150ダブル	D10@150ダブル
開口部 補強筋	縦	1-D13	4-D13	4-D13	4-D16
	横	1-D13	4-D13	4-D13	4-D16
	斜め	1-D13	2-D13	2-D13	2-D13
巾止め	-	ㄣ-D10@1000	ㄣ-D10@900	ㄣ-D10@900	ㄣ-D10@900
符 号	W20A	W20B	EW20B	EW20C	EW20D
断 面					
壁 厚	200	200	200	200	200
縦 筋	D10@200ダブル	D10@150ダブル	D10@150ダブル	D10@150ダブル	D10@150ダブル
横 筋	D10@200ダブル	D10@150ダブル	D10@150ダブル	D10@150ダブル	D10@150ダブル
開口部 補強筋	縦	4-D13	4-D13	4-D13	4-D16
	横	4-D13	4-D13	4-D13	4-D16
	斜め	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13
巾止め	ㄣ-D10@1000	ㄣ-D10@900	ㄣ-D10@900	ㄣ-D10@900	ㄣ-D10@900
符 号	KW20	KEW20B	W30	EW30	W40
断 面					
壁 厚	200	200	300	300	400
縦 筋	D13@200ダブル	D13@200ダブル	D16@200ダブル	D16@200ダブル	D16@200ダブル
横 筋	D10@200ダブル	D10@150ダブル	D16@200ダブル	D16@200ダブル	D16@200ダブル
開口部 補強筋	縦	4-D13	4-D13	4-D19	-
	横	4-D13	4-D13	4-D19	-
	斜め	2-D13	2-D13	2-D19	-
巾止め	ㄣ-D10@900	ㄣ-D10@900	ㄣ-D10@1000	ㄣ-D10@1000	ㄣ-D10@1000



差し筋要領図

特記なき限り（共通事項）
 1. 開口部位置は、建築図を参照。
 2. 建築壁符号及び配筋は上記「壁リスト」参照。

小梁リスト 1/30

符 号	B27		側面	
位 置	A端部側	B端部側		
断 面				
B × D	500 × 1000	500 × 1500		
上 端 筋	5-D25	7-D25		
下 端 筋	5-D25	5-D25		
スターラップ	□2-D13@200			
腹 筋	4~8-D13			
幅 止 筋	ㄣ-D13@1000			
符 号	B28			
位 置	全断面			
断 面				
B × D	400 × 700			
上 端 筋	3-D19			
下 端 筋	3-D19			
スターラップ	□2-D13@200			
腹 筋	2-D13			
幅 止 筋	ㄣ-D13@1000			

床版リスト

符 号	版 厚	位 置	短辺方向（主筋）		長辺方向（配力筋）		備 考
			端 部	中央部	端 部	中央部	
S15	150	上端筋	D10D13@200	D10D13@200	D10D13@200	D10D13@200	
		下端筋	D10D13@200	D10D13@200	D10D13@200	D10D13@200	
S20A	200	上端筋	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200	
		下端筋	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200	
S20B	200	上端筋	D13@200	D13@200	D10D13@200	D10D13@200	
		下端筋	D13@200	D13@200	D10D13@200	D10D13@200	
CS15	150	上端筋	D13@200	D13@200	D10D13@200	D10D13@200	
		下端筋	D10D13@200	D10D13@200	D10D13@200	D10D13@200	
S40	400	上端筋	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200	
		下端筋	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200	
S11	300	上端筋	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200	
		下端筋	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200	
S12	700	上端筋	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200	
		下端筋	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200	
S13	400	上端筋	D16@200	D16@200	D16@200	D16@200	
		下端筋	D16@200	D16@200	D16@200	D16@200	
S14	300	上端筋	D16@200	D16@200	D16@200	D16@200	
		下端筋	D16@200	D16@200	D16@200	D16@200	
S50	500	上端筋	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200	
		下端筋	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200	

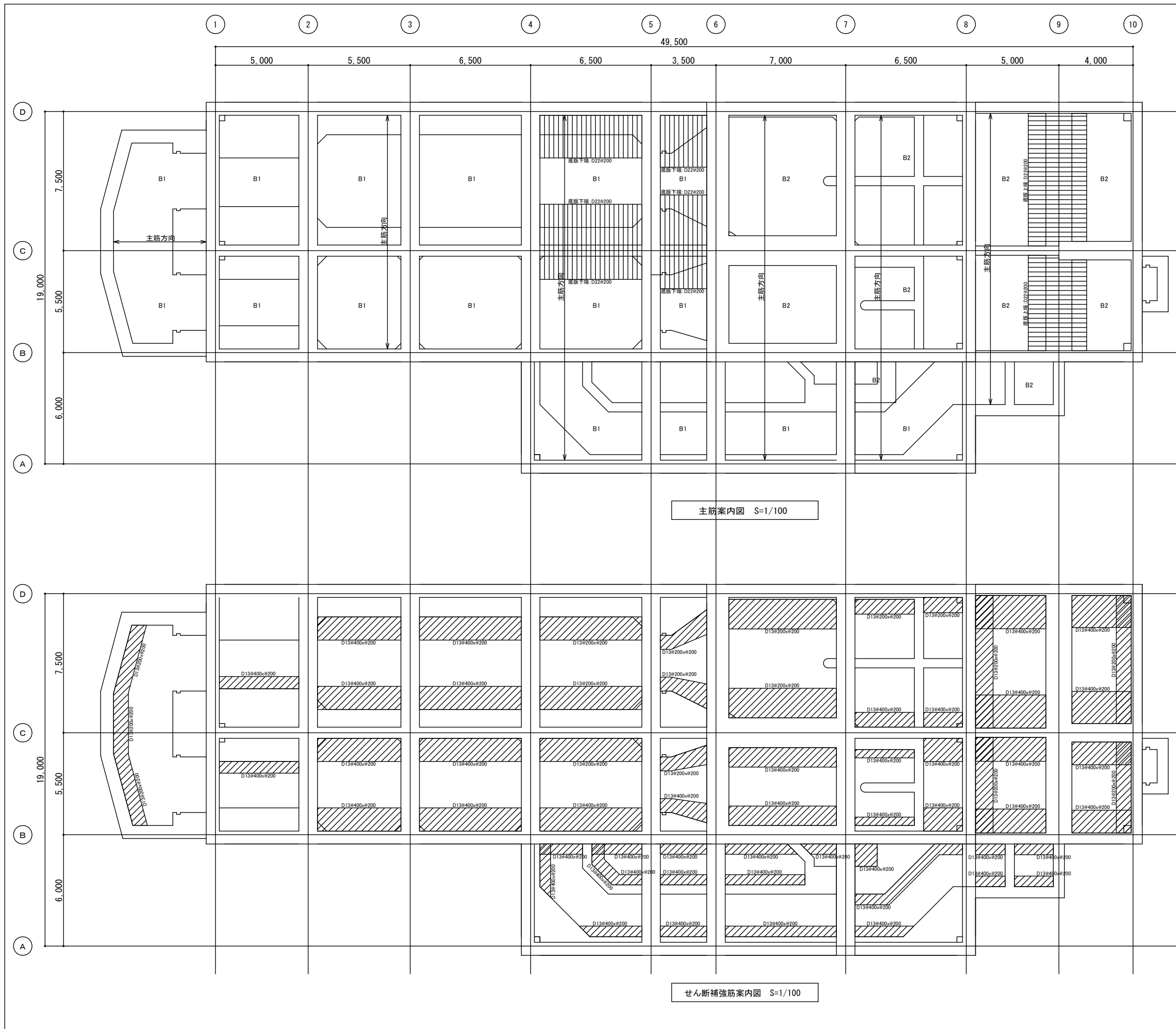
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	小梁・壁・床版リスト		
縮 尺	1/30	図面番号	58/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

符 号	W100A		W50A		W50B											
壁 厚	1,000		500		500											
断 面																
縦 筋	A通側	D25@200		D19@200	D25@200											
	D通側	D25@200		D19@200	D25@200											
横 筋	A通側	D25@200		D19@200	D19@200											
	D通側	D25@200		D19@200	D19@200											
幅 止 筋	┌┐-D13@1,000		┌┐-D13@1,000		┌┐-D13@1,000											
せん断補強筋	縦上	-		-	-											
	縦下	-		-	-											
	横端	-		-	-											
符 号	W70A	W70B	W70C	W70D	W70E	W70F	W70G	W70H	W70I	W70J						
壁 厚	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700						
断 面																
縦 筋	A通側	D22@200	D22@200	上端・中央D22@200 下端D22@100	D22@200	D25@200	D22@200	D25@200	上端・中央D25@200 下端D22@25@100	D25@200	D19@200					
	D通側	D22@200	D22@200	D22@200	上端・中央D22@200 下端D22@25@100	上端・中央D25@200 下端D25@100	D22@200	D25@200	D25@200	上端D22@25@100 中央・下端D25@200	D19@200					
横 筋	A通側	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200					
	D通側	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200					
幅 止 筋	┌┐-D13@1,000		┌┐-D13@1,000		┌┐-D13@1,000		┌┐-D13@1,000		┌┐-D13@1,000		┌┐-D13@1,000		┌┐-D13@1,000		┌┐-D13@1,000	
せん断補強筋	縦上	-	-	-	-	-	-	-	D13@400×200	D13@200×200	-					
	縦下	D13@200×200	D16@200×200	D13@200×200	D13@200×200	D13@200×200	-	-	D13@200×200	D13@200×200	-					
	横端	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
符 号	W60A	W60B	W60C	W60D	W60E	W60F	W60G									
壁 厚	600	600	600	600	600	600	600									
断 面																
縦 筋	A通側	D19@200	D19@200	上端・中央D19@200 下端D19@100	D19@200	上端・中央D19@200 下端D19@100	上端・中央D19@200 下端D16@19@100	上端・中央D19@200 下端D19@22@100								
	D通側	D19@200	D19@200	D19@200	上端・中央D19@200 下端D19@100	上端・中央D19@200 下端D19@100	上端・中央D19@200 下端D19@22@100	上端・中央D19@200 下端D16@19@100								
横 筋	A通側	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200								
	D通側	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200								
幅 止 筋	┌┐-D13@1,000		┌┐-D13@1,000		┌┐-D13@1,000		┌┐-D13@1,000		┌┐-D13@1,000		┌┐-D13@1,000		┌┐-D13@1,000		┌┐-D13@1,000	
せん断補強筋	縦上	-	-	-	-	-	-	-								
	縦下	D13@400×200	-	D13@200×200	-	D13@400×200	D13@400×200	D13@400×200								
	横端	-	-	-	-	-	-	-								

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事	
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内	
図面の種類	地下壁リスト	
縮 尺	1/30	図面番号 59/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課	

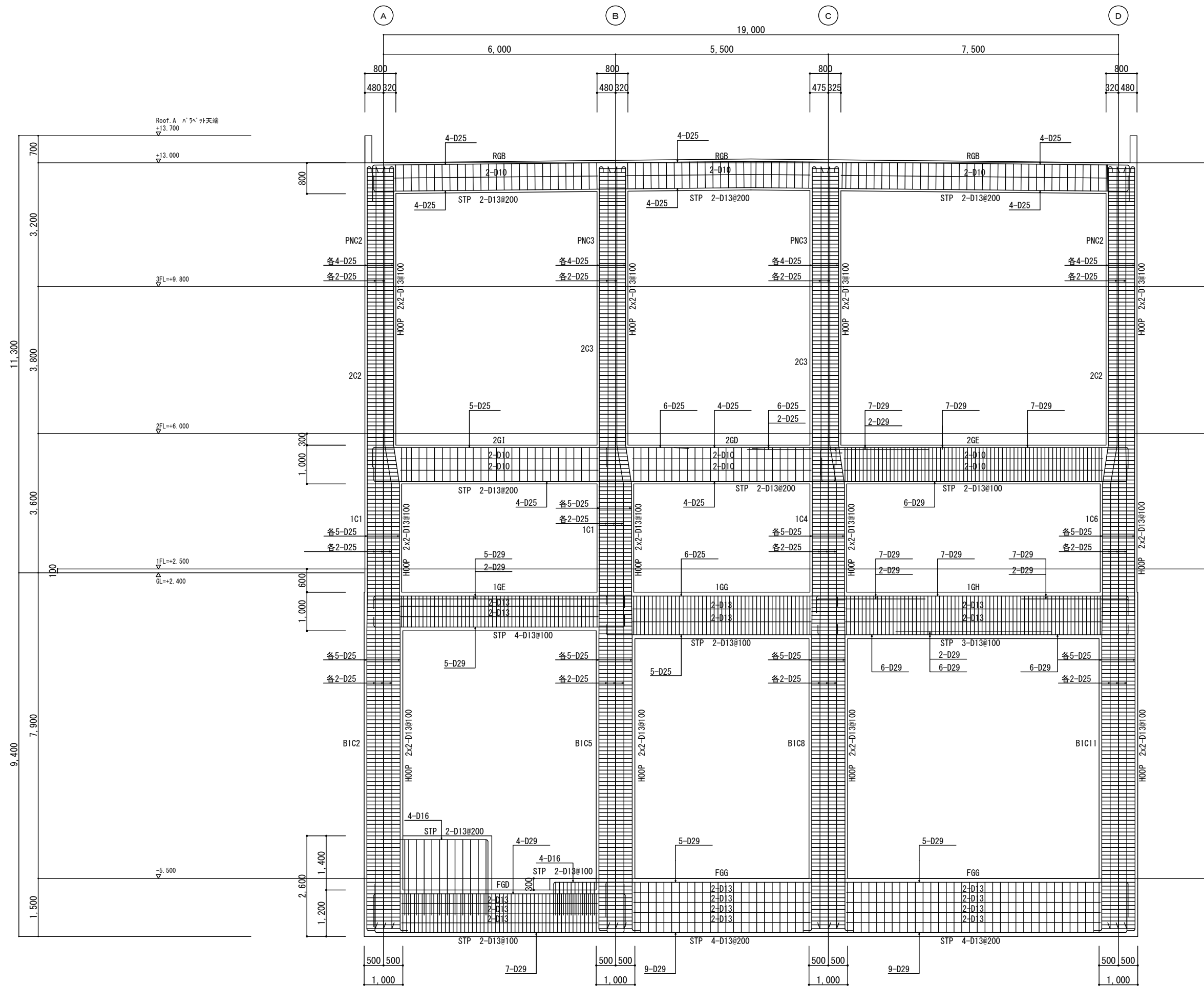


底版リスト

符号	版厚	位置	主筋方向	配力筋方向
B1	1200	上端筋	D25@200	D25@200
		下端筋	D25@200	D25@200
B2	1500	上端筋	D29@200	D29@200
		下端筋	D29@200	D29@200

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	底版リスト		
縮尺	1/100	図面番号	60/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

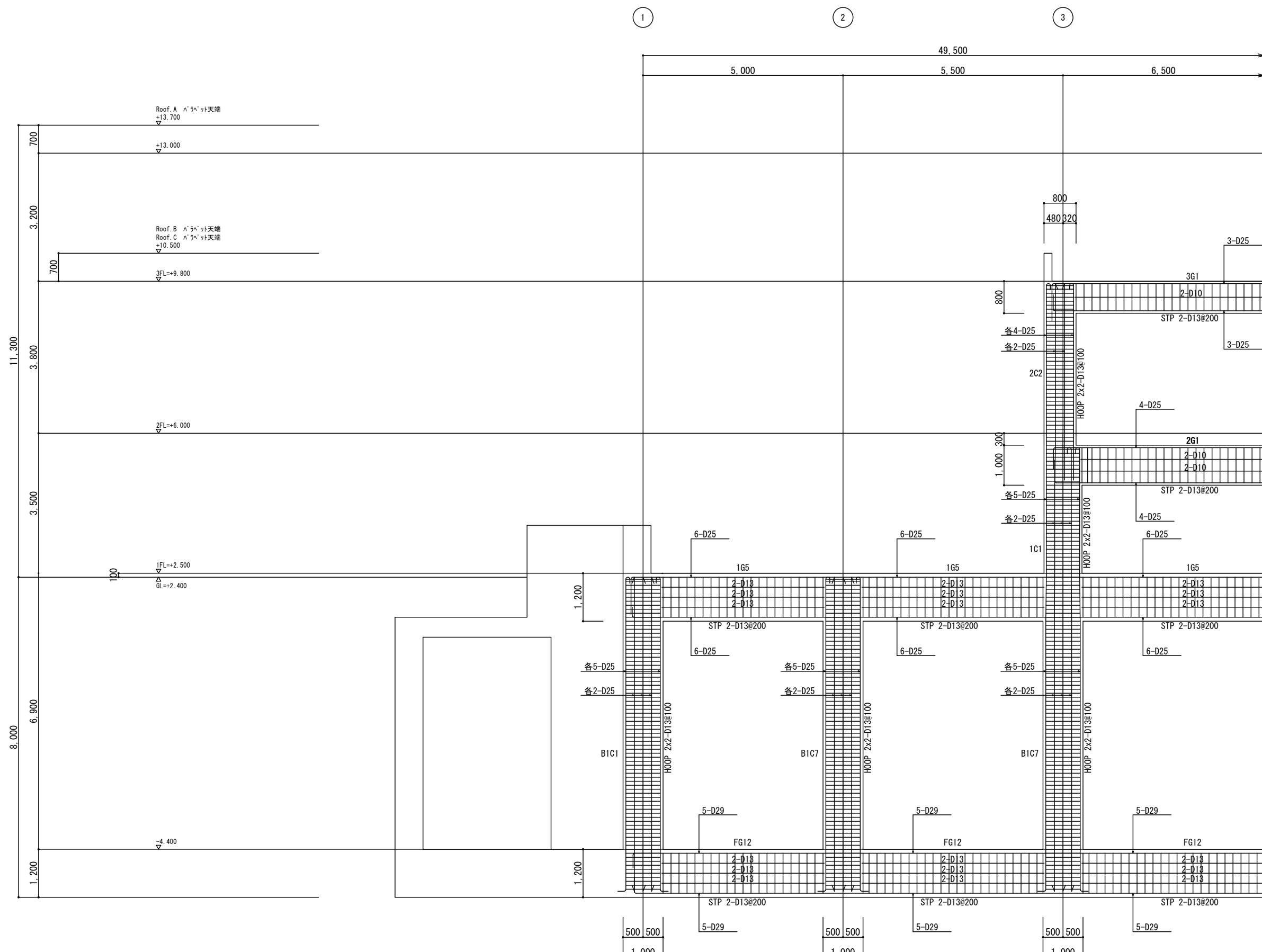


7通りラーメン図 S=1/50

共通事項 (特記なき限り)
 1. 柱主筋のR階柱頭部は全頭フック付とする。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	7通りラーメン図		
縮尺	1/50	図面番号	61/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

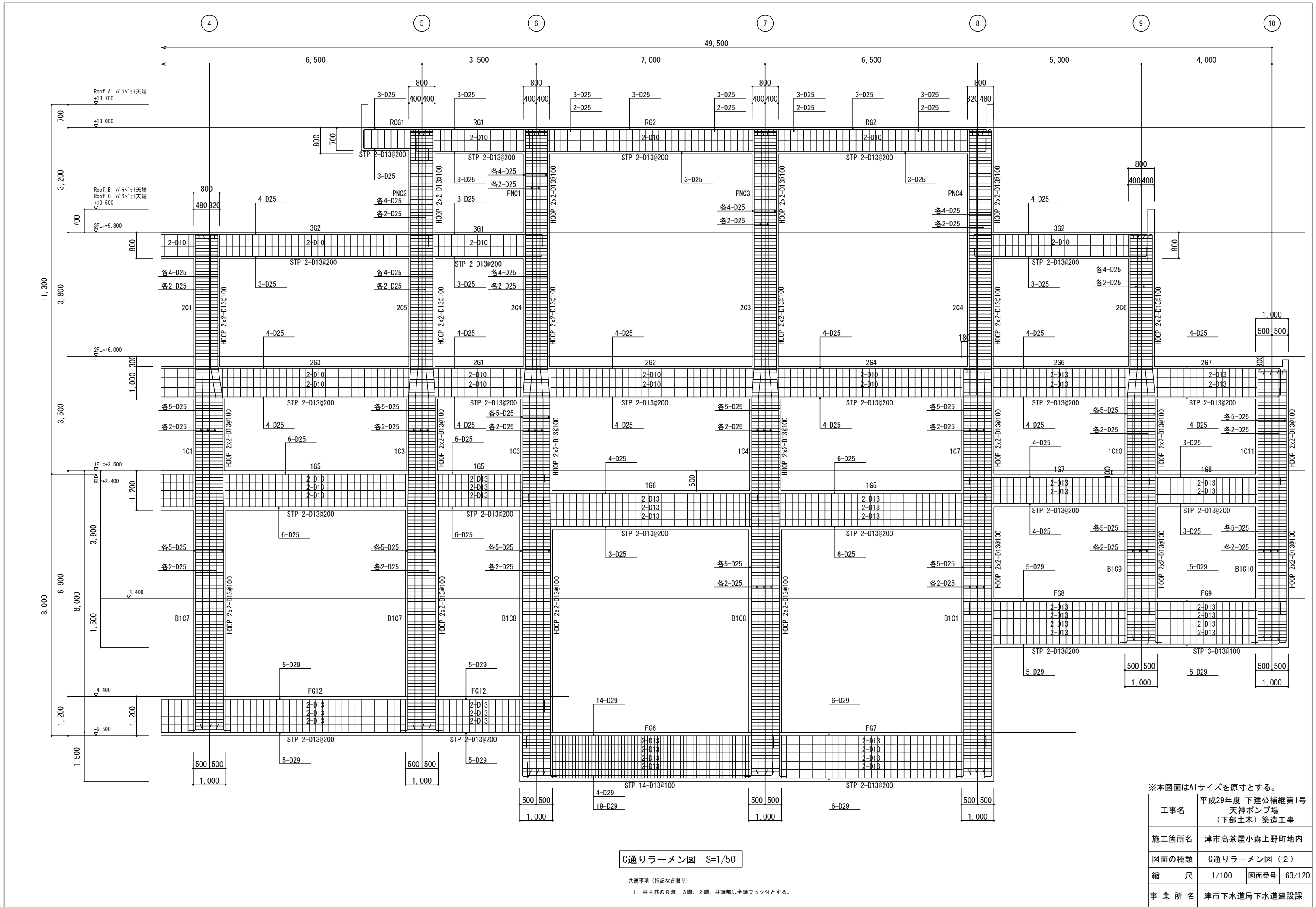


C通りラーメン図 S=1/50

共通事項 (特記なき限り)
 1. 柱主筋の3階柱頭部は全頭フック付とする。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	C通りラーメン図 (1)		
縮尺	1/100	図面番号	62/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



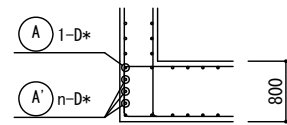
C通りラーメン図 S=1/50

共通事項 (特記なき限り)
 1. 柱主筋のR階、3階、2階、柱頭部は全頭フック付とする。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	C通りラーメン図 (2)
縮尺	1/100 図面番号 63/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課

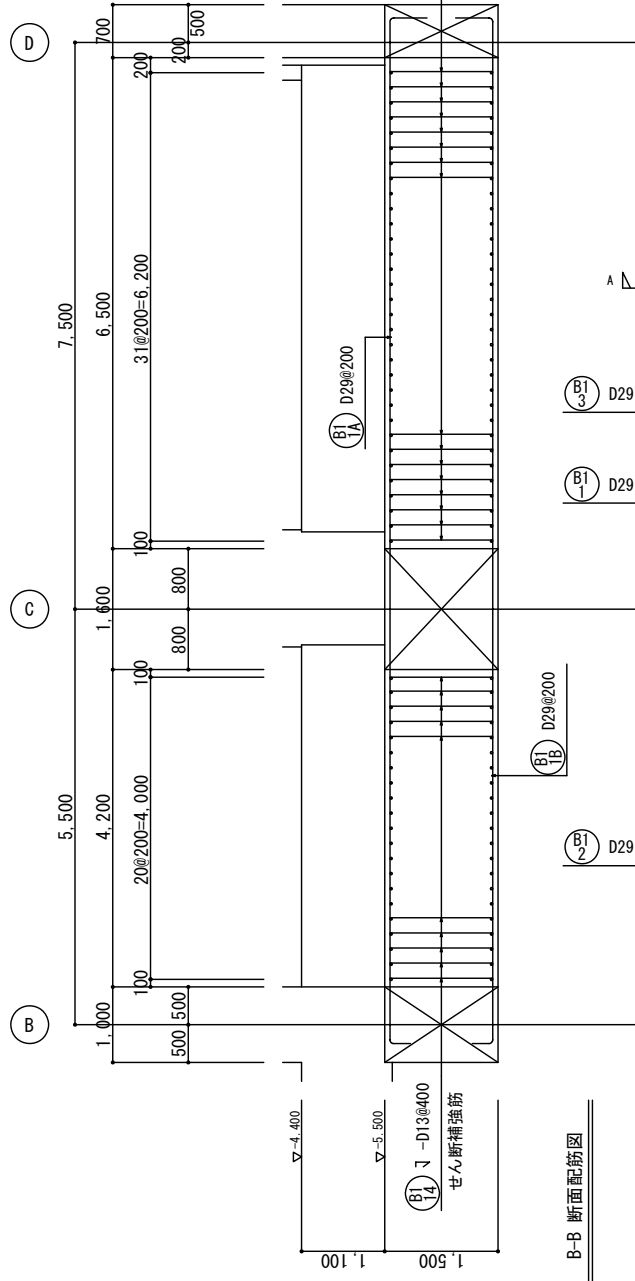
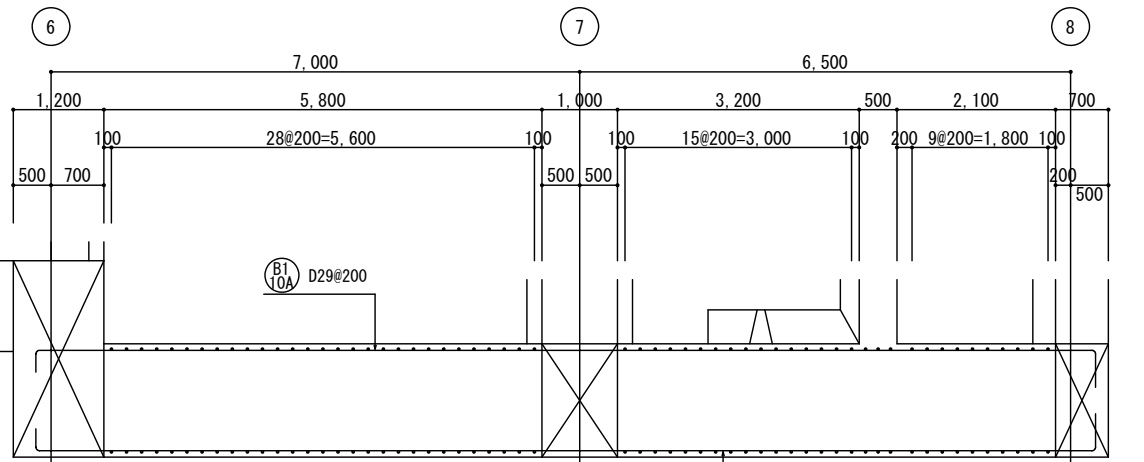
底板端部分
鉄筋番号要領



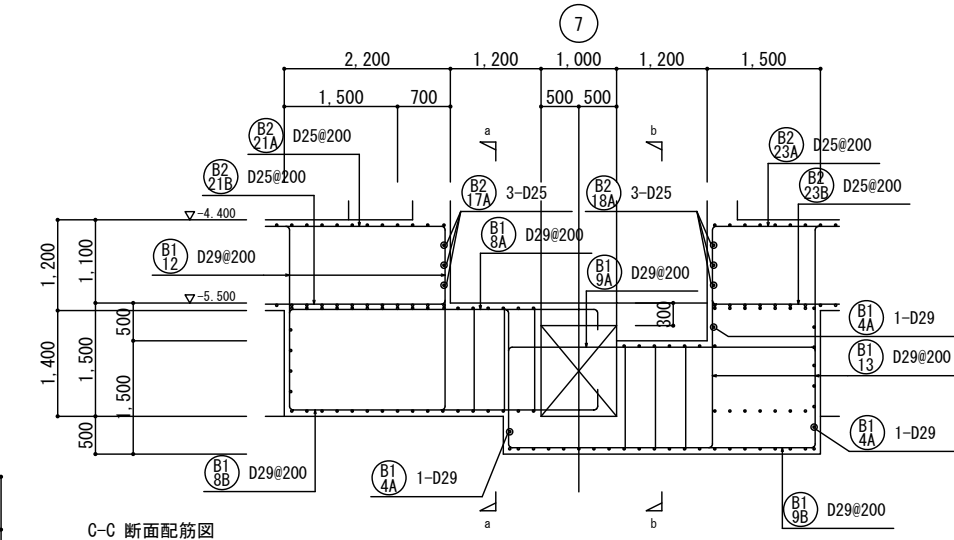
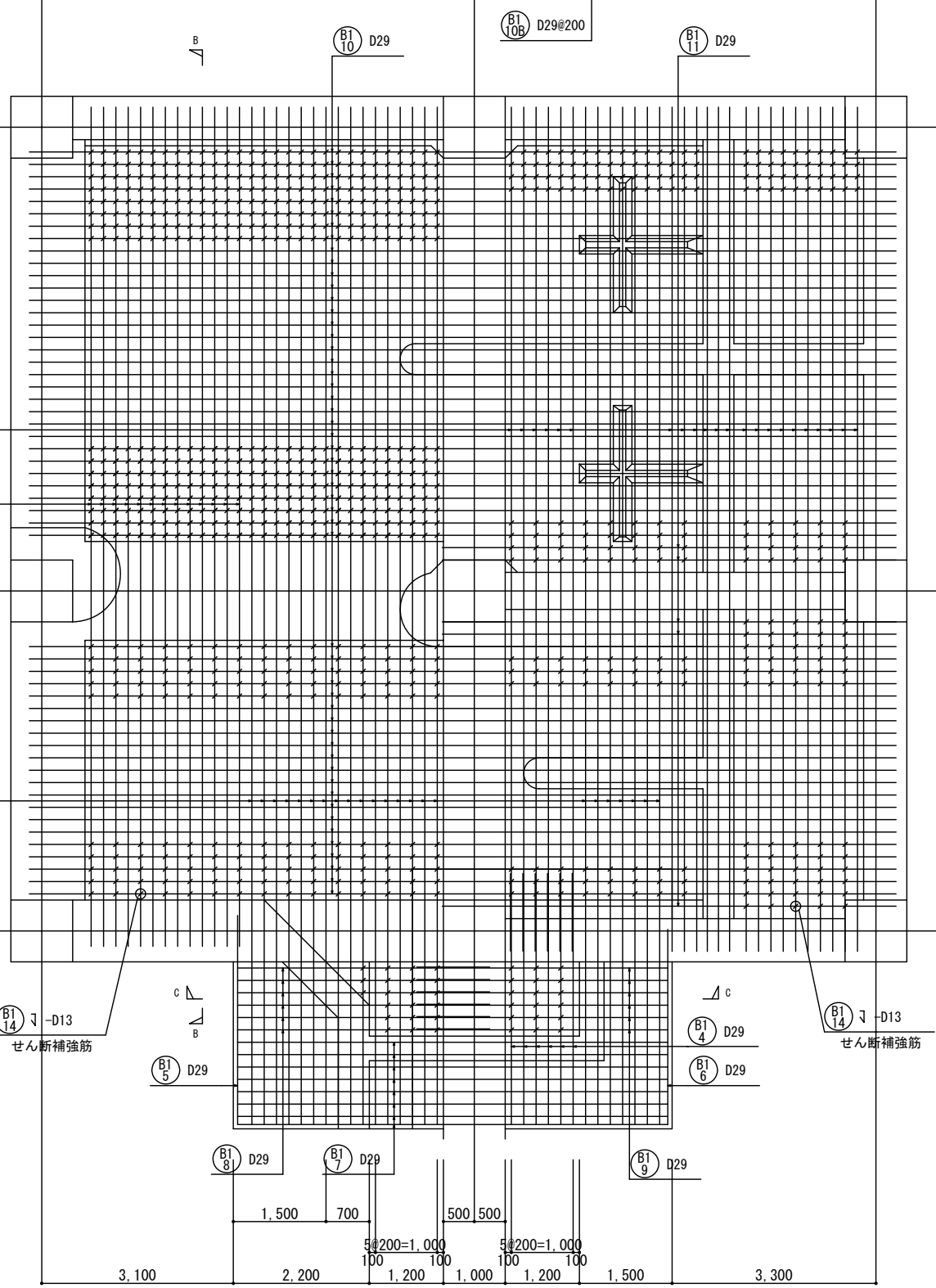
※底板端部に於いて、A'の鉄筋は、
Aの鉄筋径、形状、番号と、同じとする。

t=1500 n=4

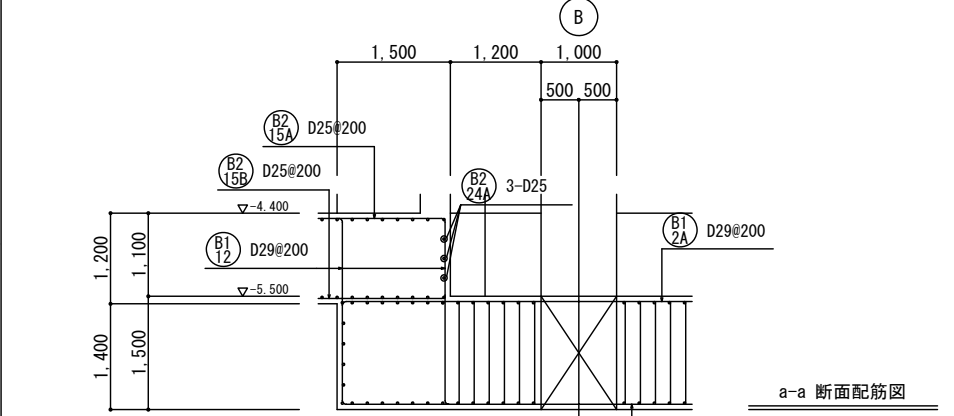
A-A 断面配筋図



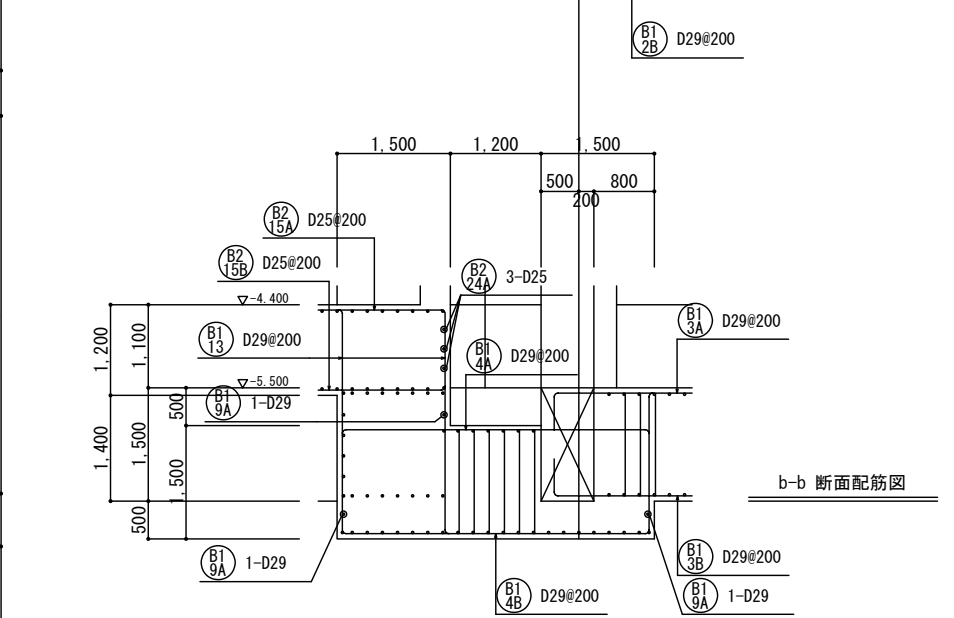
B-B 断面配筋図



C-C 断面配筋図



a-a 断面配筋図



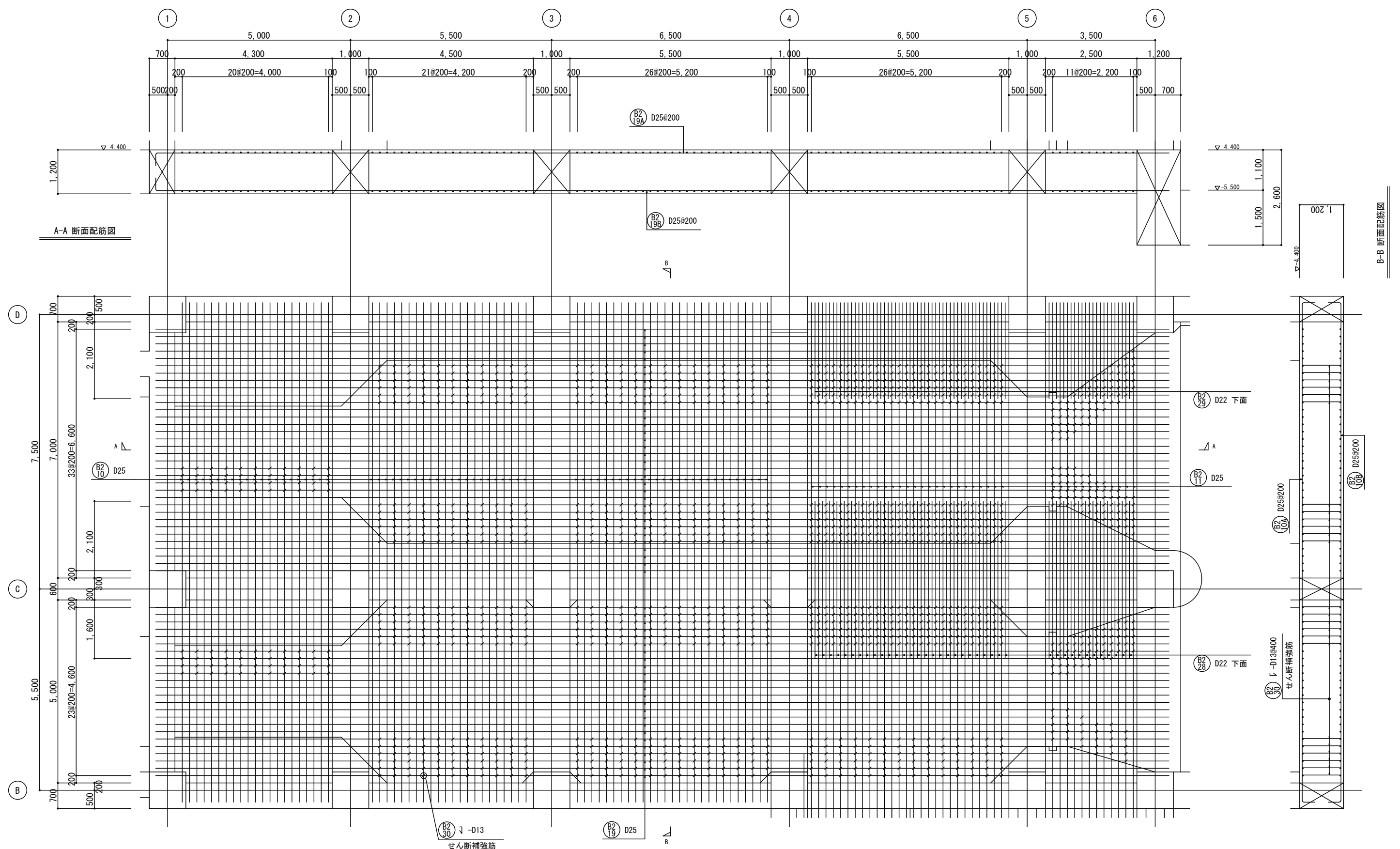
b-b 断面配筋図

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	底板配筋図 (1)		
縮尺	1/50	図面番号	64/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

底板配筋図 1/50 B1

特記なき限り(共通事項)
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
2. 底板組立筋は、JL-D19#1,000×1,000程度とする。



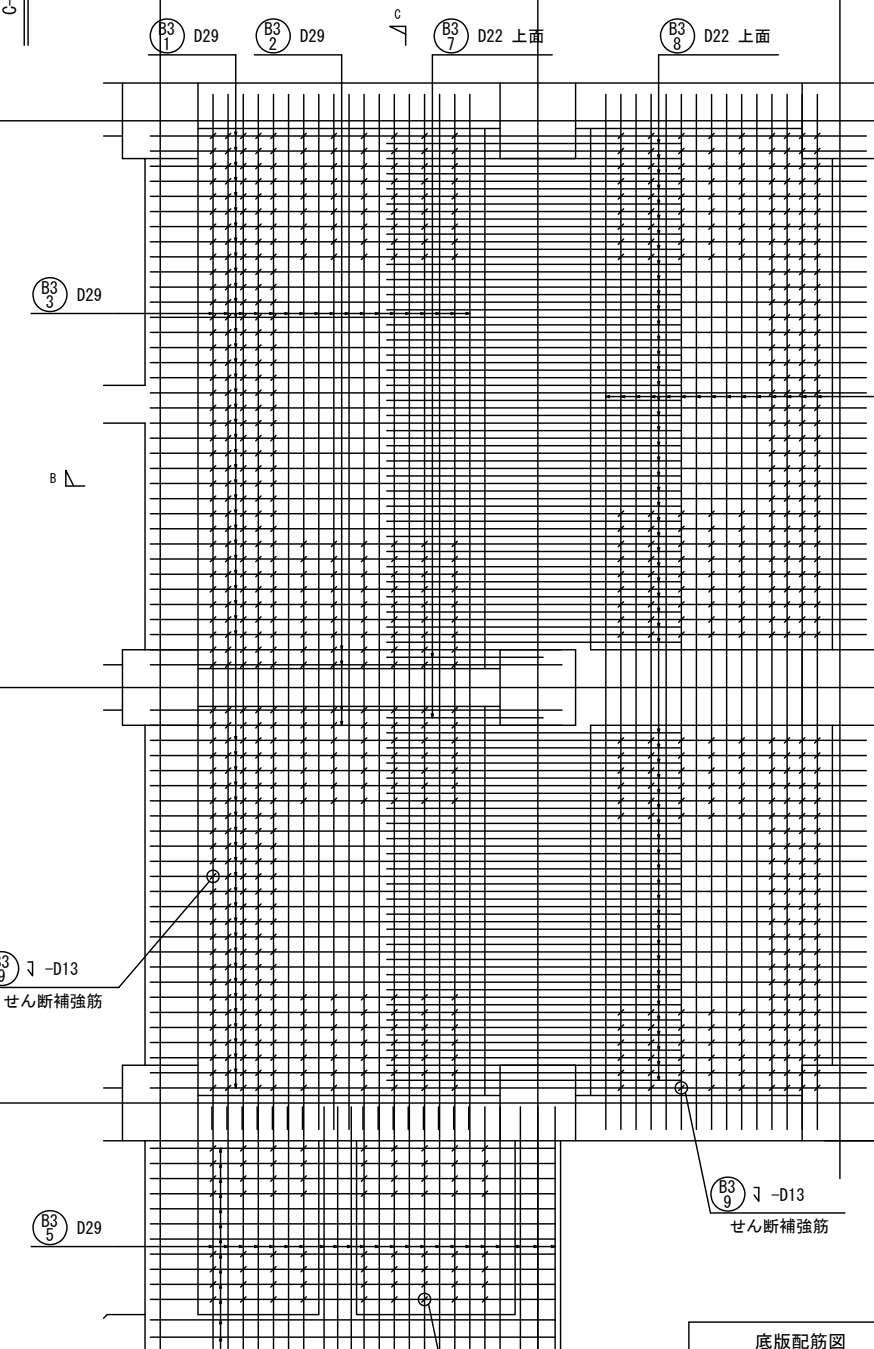
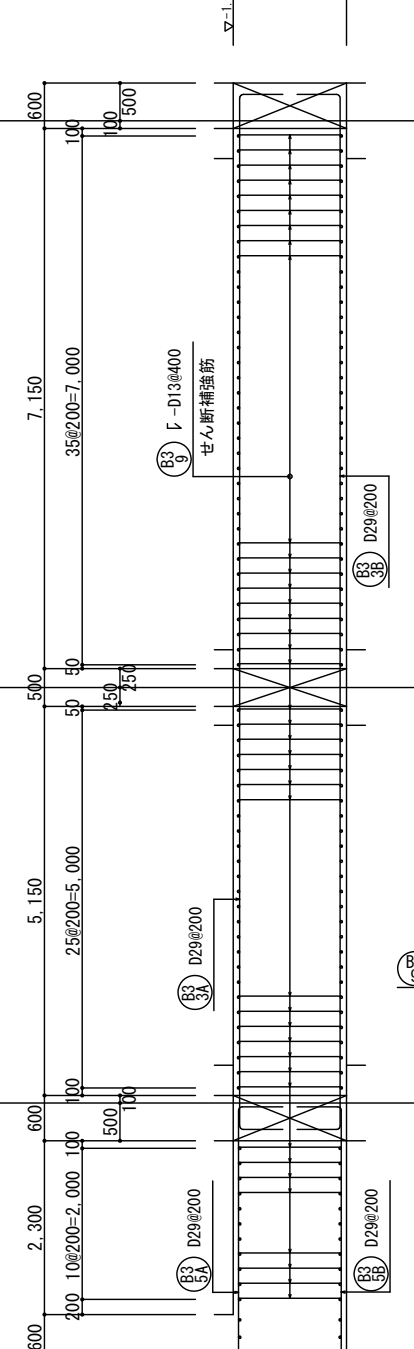
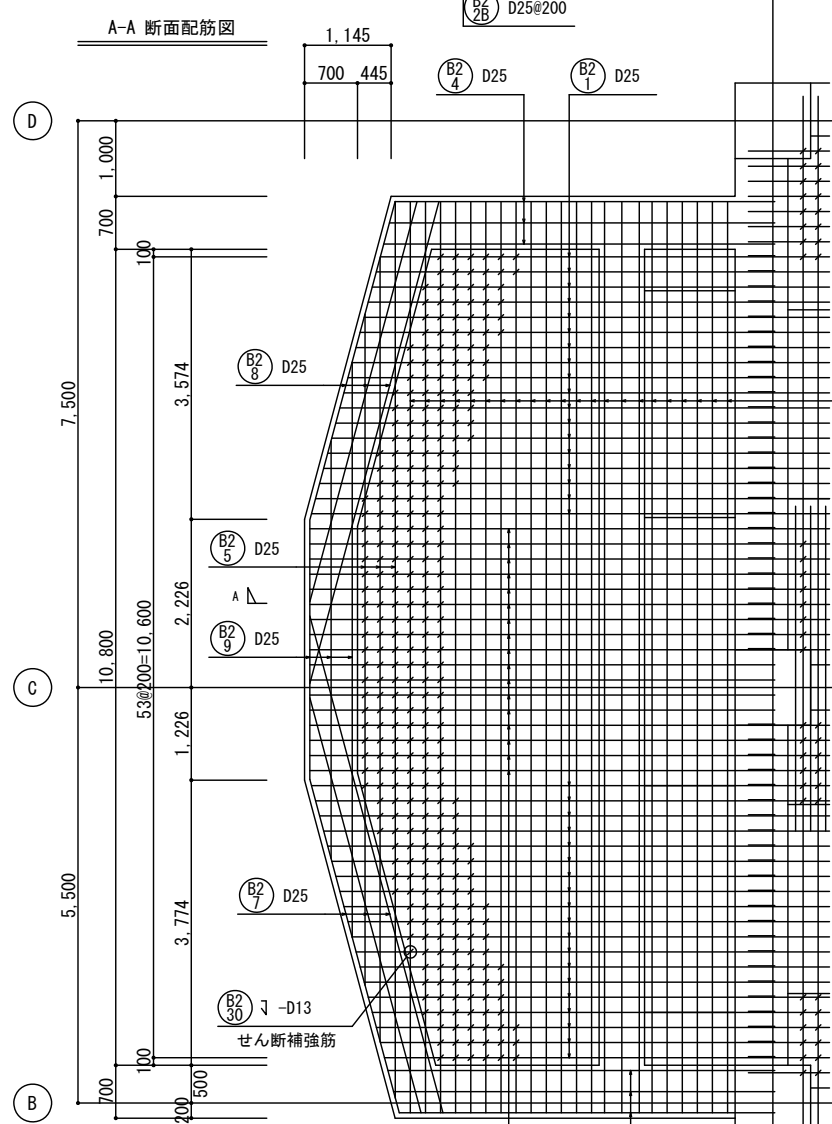
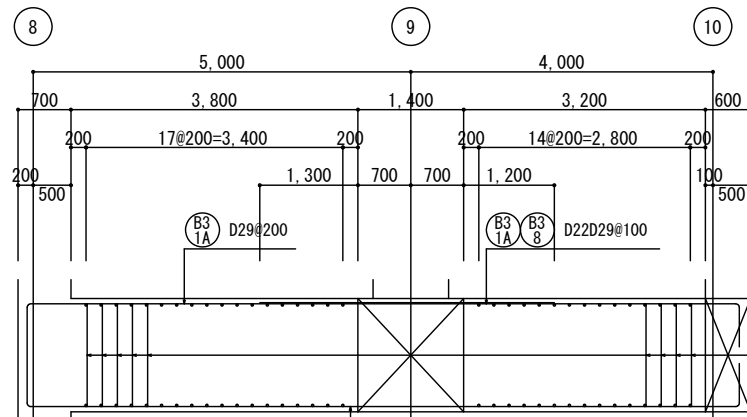
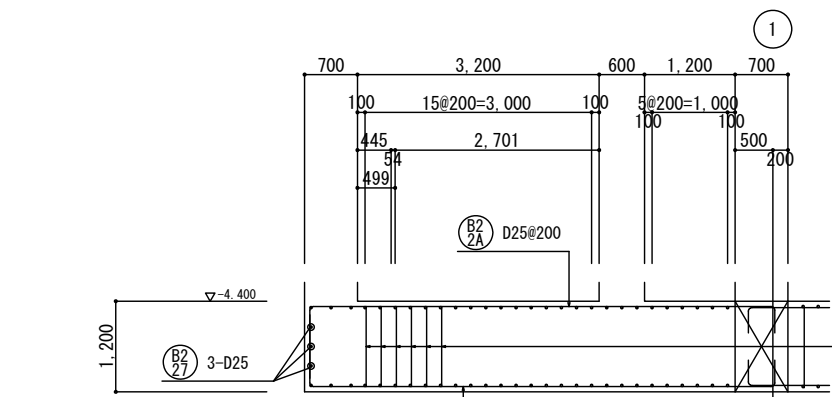
底板配筋図 1/50 B2

特記なき限り（共通事項）
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
 2. 底板組立筋は、JL-D19@1,000×1,000程度とする。

KEY PLAN
 特記なき限り（共通事項）
 1. 斜線の範囲は、せん断補強筋D13@200×200を示す。
 2. 点線の範囲は、せん断補強筋D13@400×200を示す。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補維第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	底板配筋図 (2)		
縮尺	1/50	図面番号	65/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



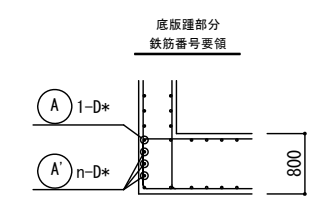
700	499
1,199	

底板配筋図 1/50 B2

特記なき限り(共通事項)
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
 2. 底板組立筋は、JL-D19@1,000×1,000程度とする。

底板配筋図 1/50 B3

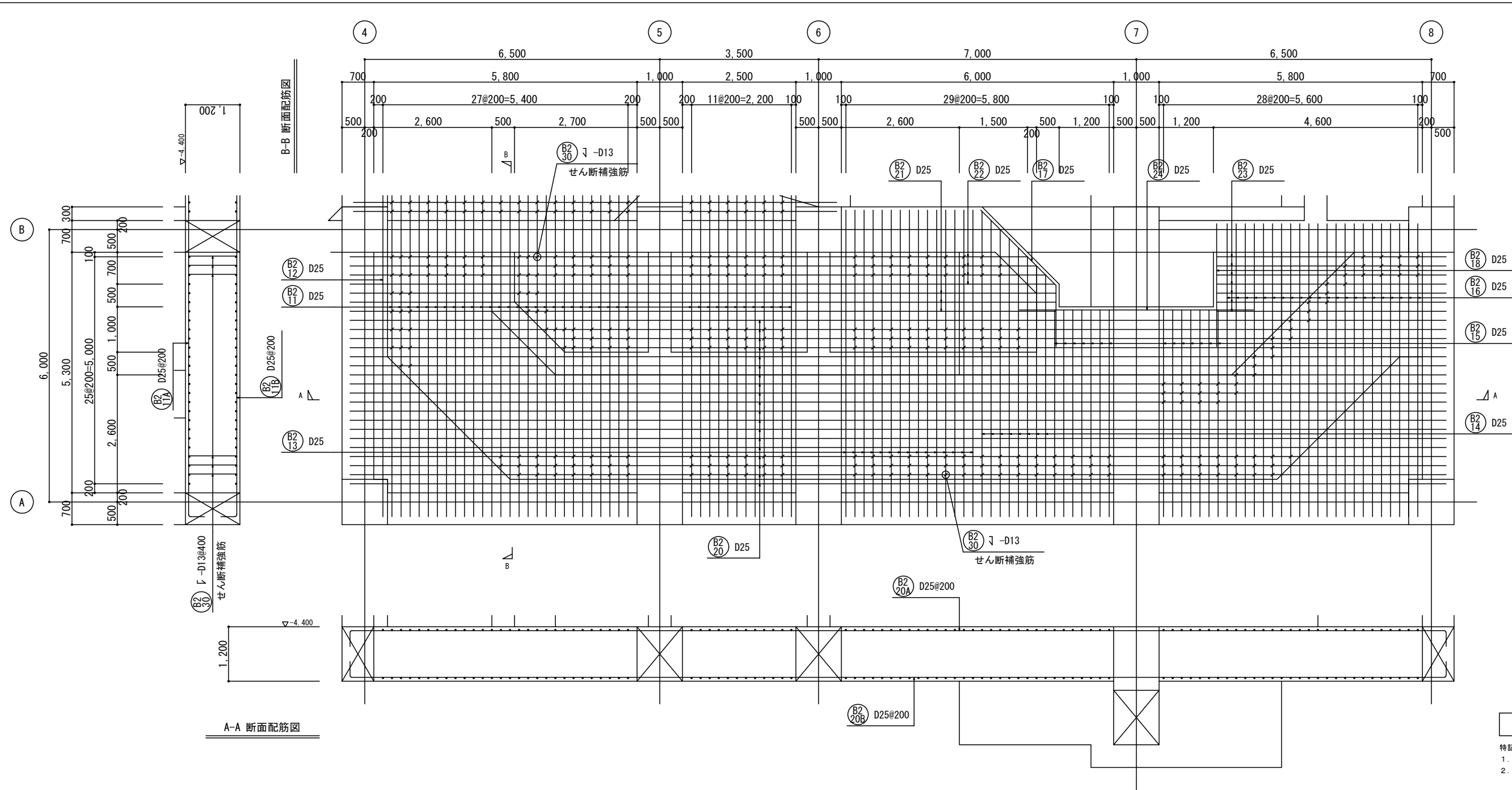
特記なき限り(共通事項)
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
 2. 底板組立筋は、JL-D19@1,000×1,000程度とする。



※底板縁部に於いて、A'の鉄筋は、Aの鉄筋径、形状、番号と、同じとする。
 ・ t = 1200 n = 3
 ・ t = 1500 n = 4

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事	
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内	
図面の種類	底板配筋図 (3)	
縮尺	1/50	図面番号 66/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課	

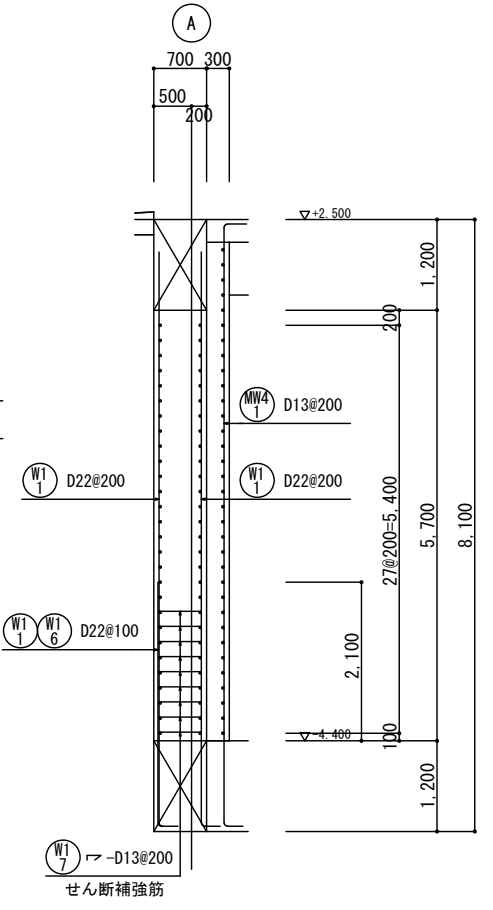
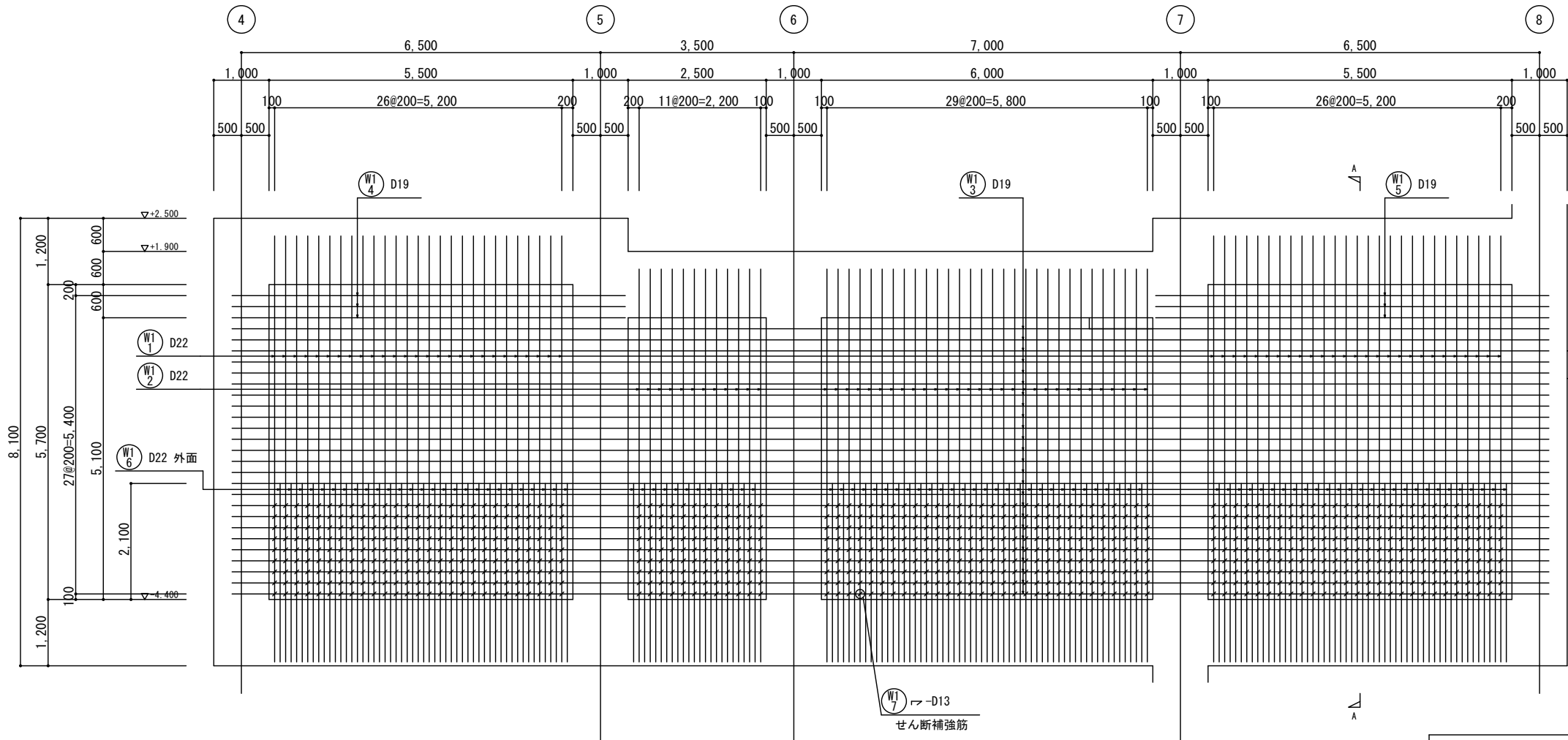


底版配筋図 1/50 B2

特記なき限り（共通事項）
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
 2. 底版組立筋は、JL-D19@1,000×1,000程度とする。

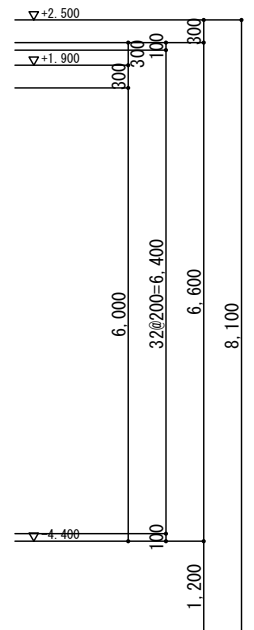
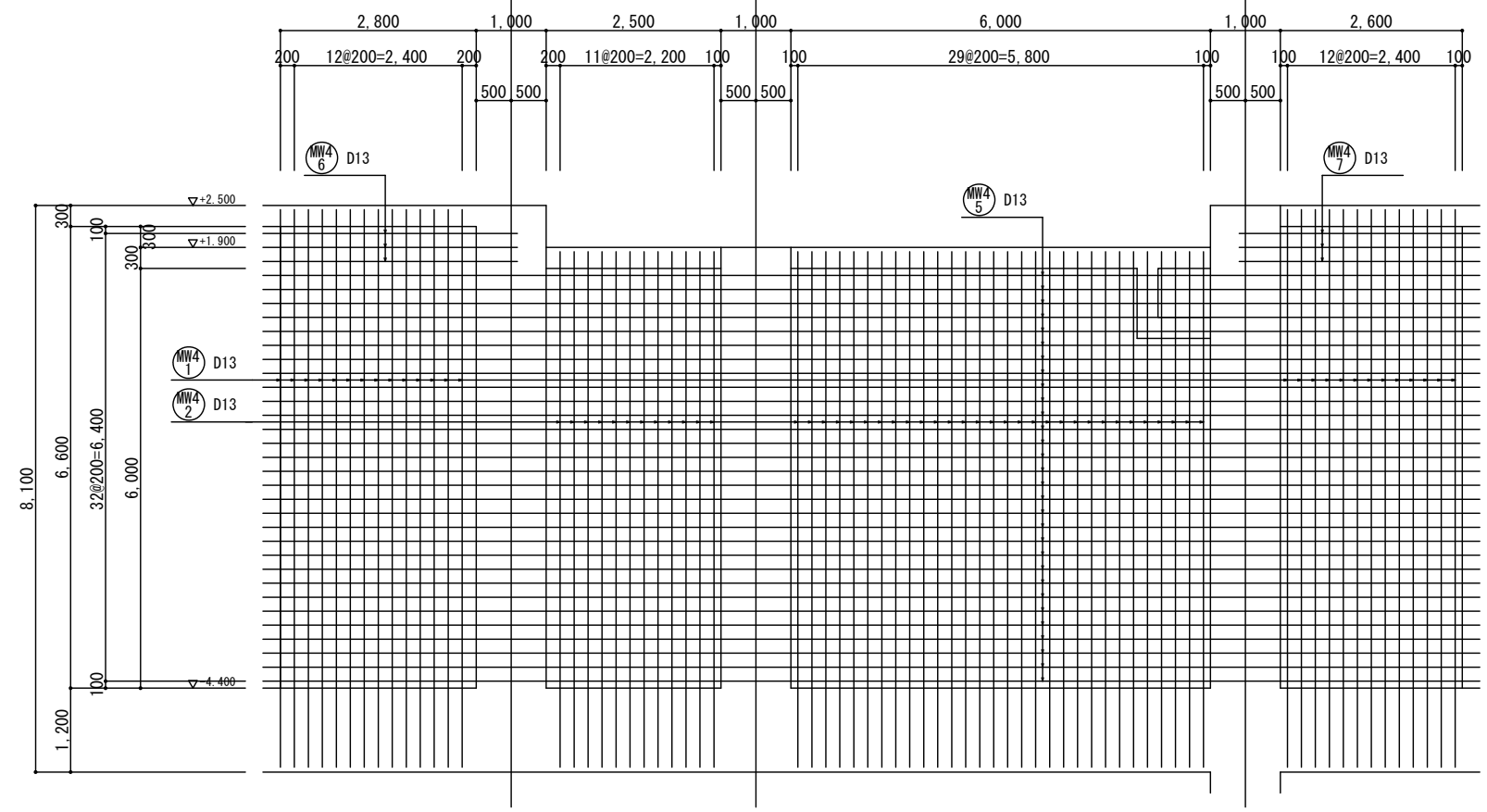
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	底版配筋図 (4)		
縮尺	1/50	図面番号	67/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



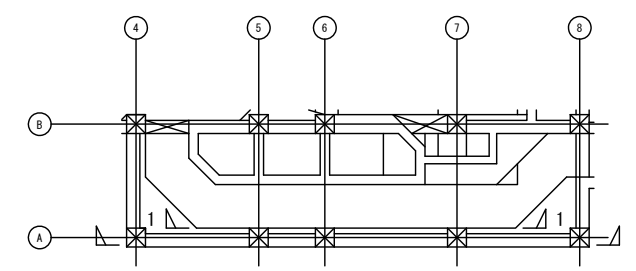
A通 壁配筋図 1/50 W1

特記なき限り (共通事項)
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 2. 壁幅止め筋は、 \curvearrowright -D13@1,000×1,000程度とする。
 但し せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。



1-1 壁配筋図 MW4

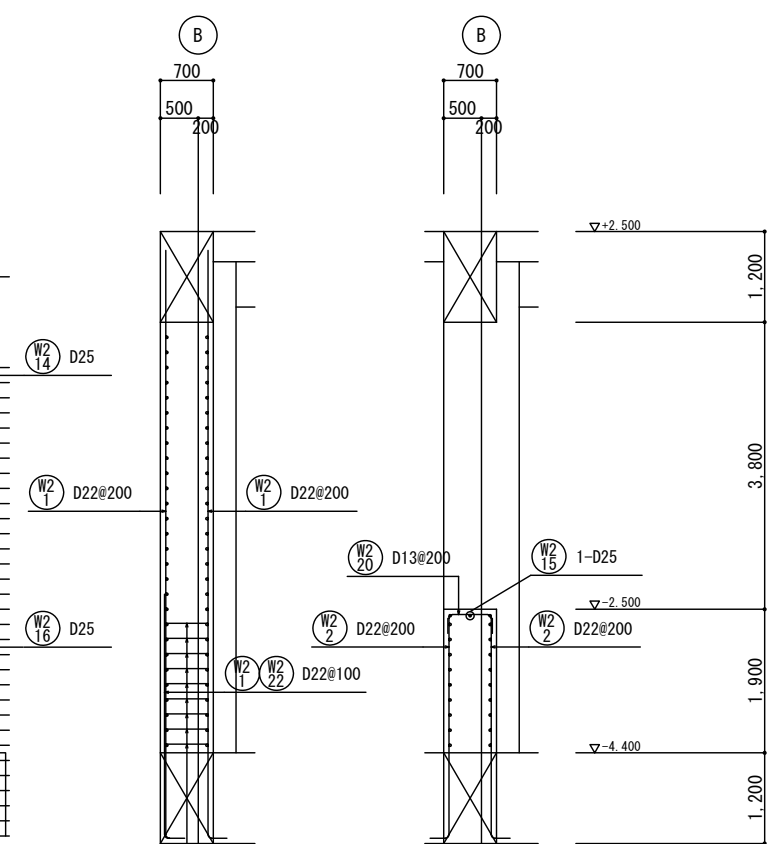
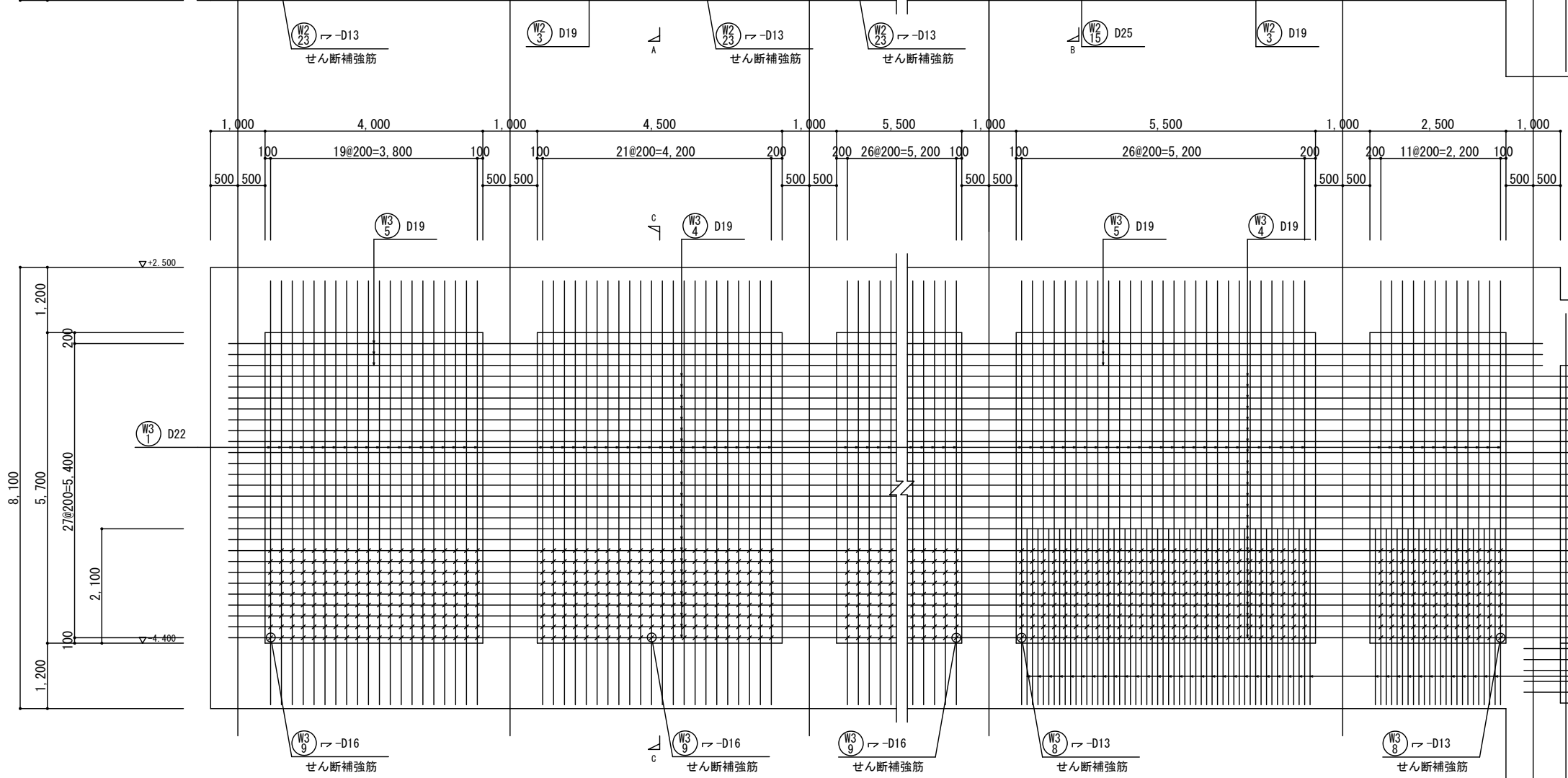
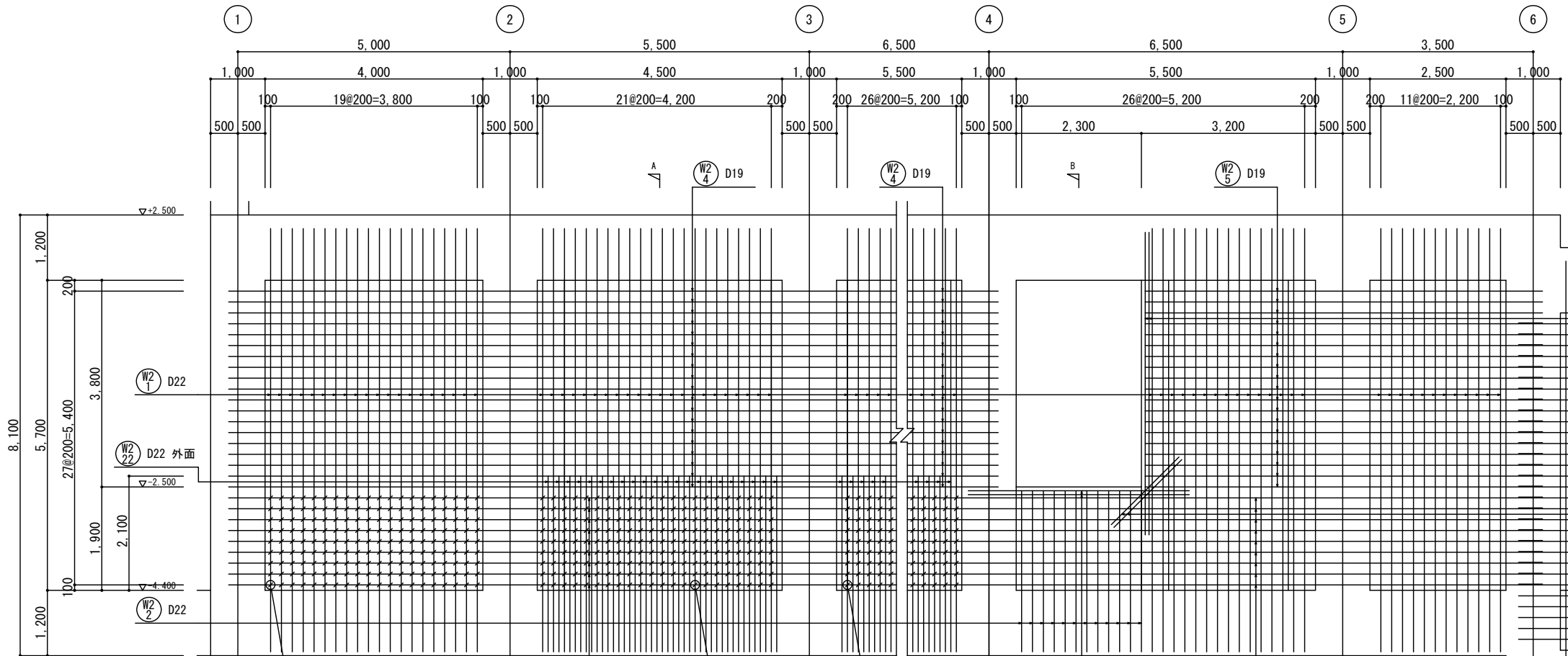
特記なき限り (共通事項)
 1. 鉄筋は、シングル配筋を示す。



KEY PLAN

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	壁配筋図 (1)		
縮尺	1/50	図面番号	68/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

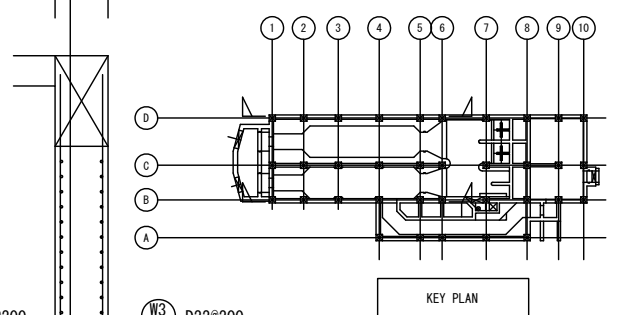


A-A 断面配筋図

B-B 断面配筋図

B通 壁配筋図 1/50 W2

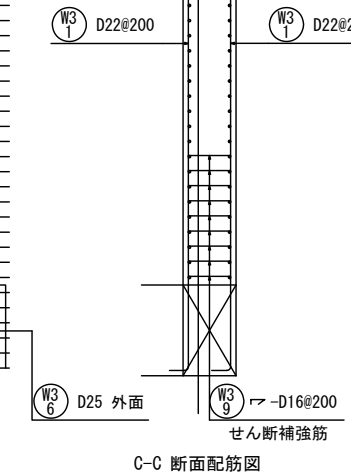
- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 - 壁幅止め筋は、 Γ -D13@1,000×1,000程度とする。但し せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。



KEY PLAN

D通 壁配筋図 1/50 W3

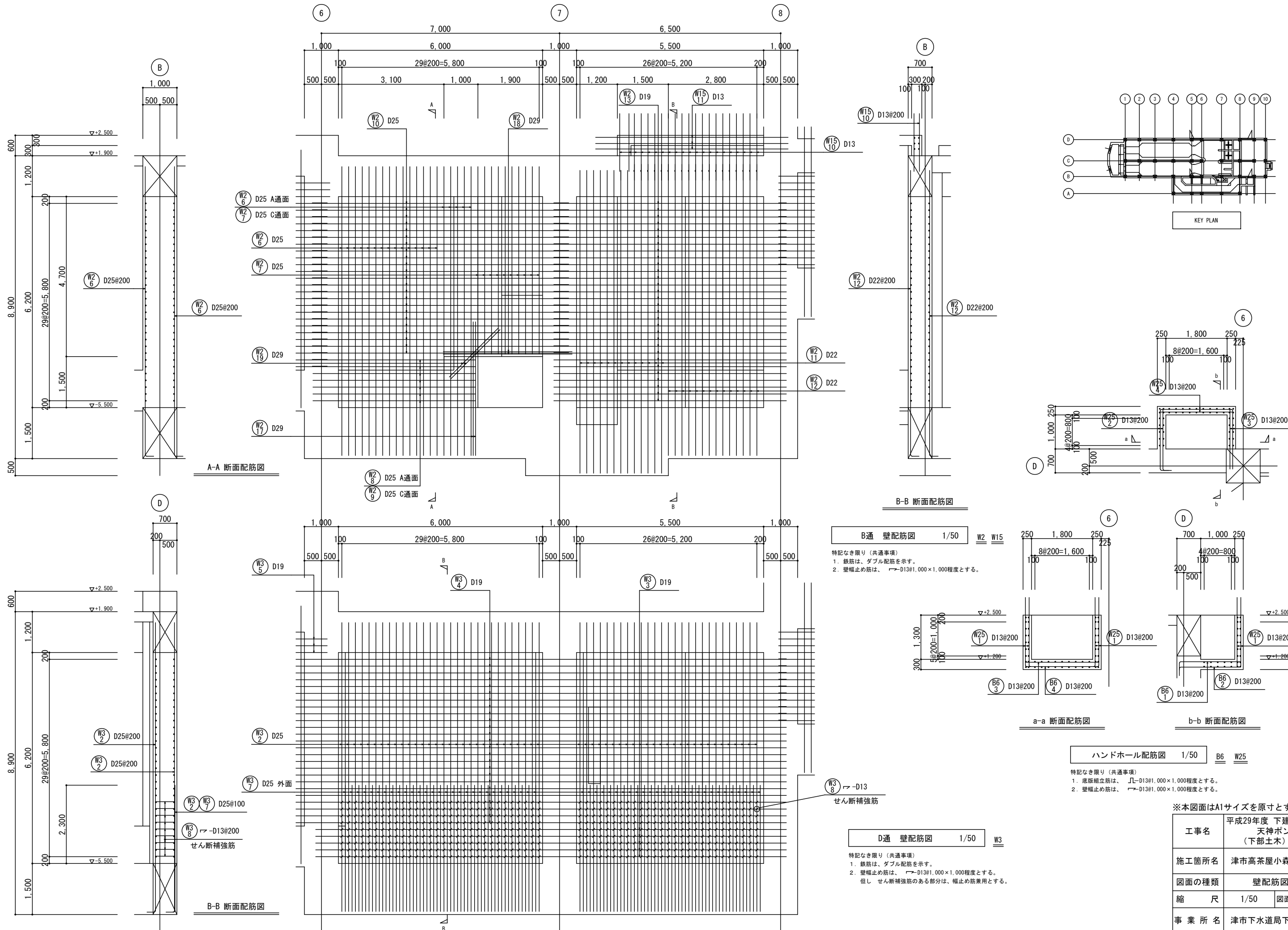
- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 - 壁幅止め筋は、 Γ -D13@1,000×1,000程度とする。但し せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。



C-C 断面配筋図

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	壁配筋図 (2)		
縮尺	1/50	図面番号	69/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



B通 壁配筋図 1/50 W2 W15

特記なき限り（共通事項）
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 2. 壁幅止め筋は、 \curvearrowright -D13@1,000×1,000程度とする。

D通 壁配筋図 1/50 W3

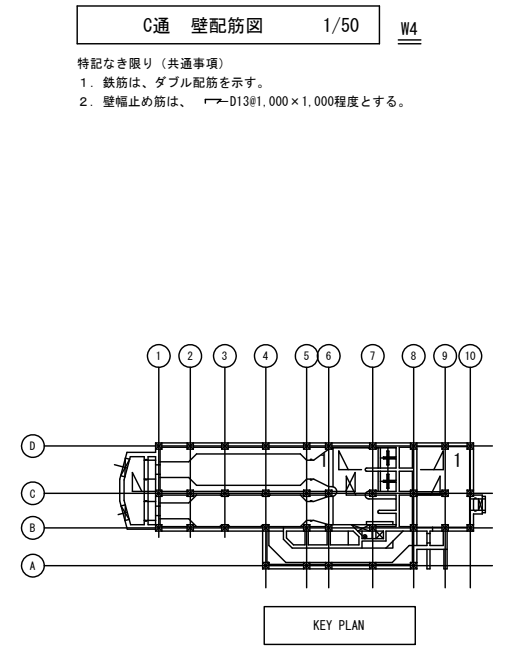
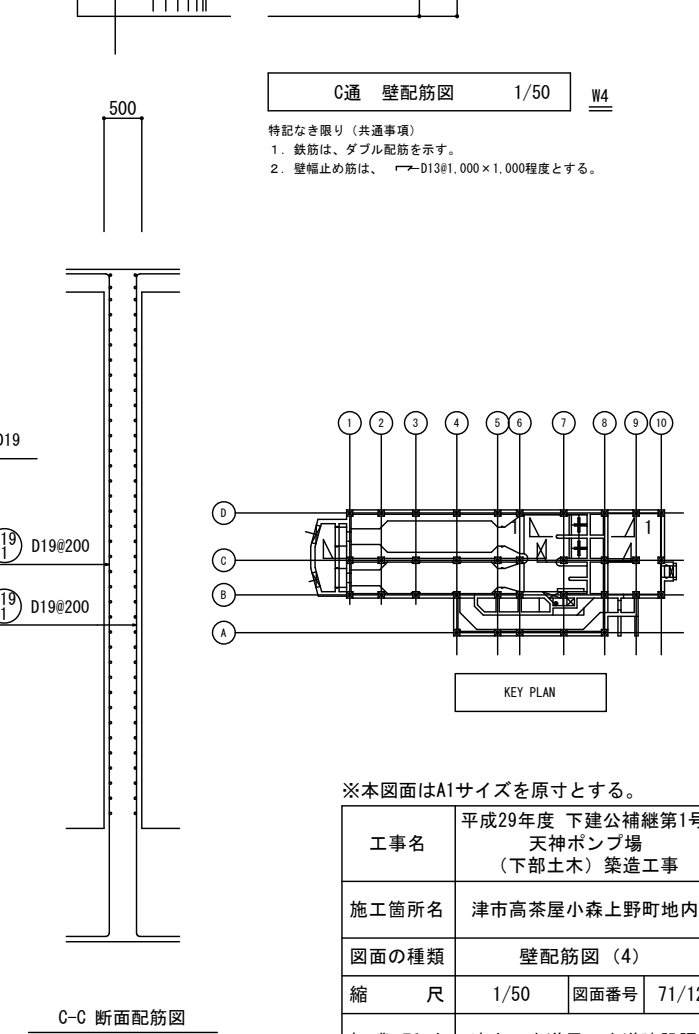
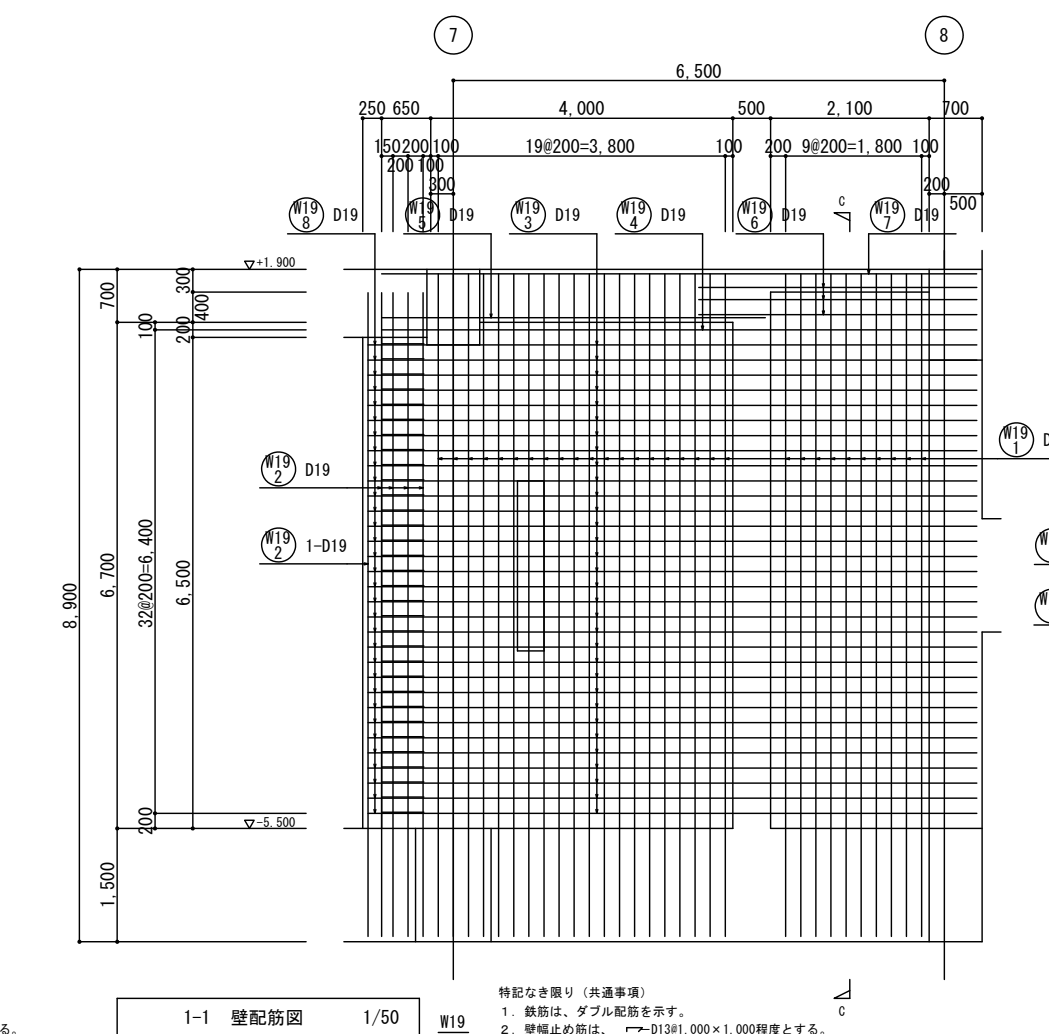
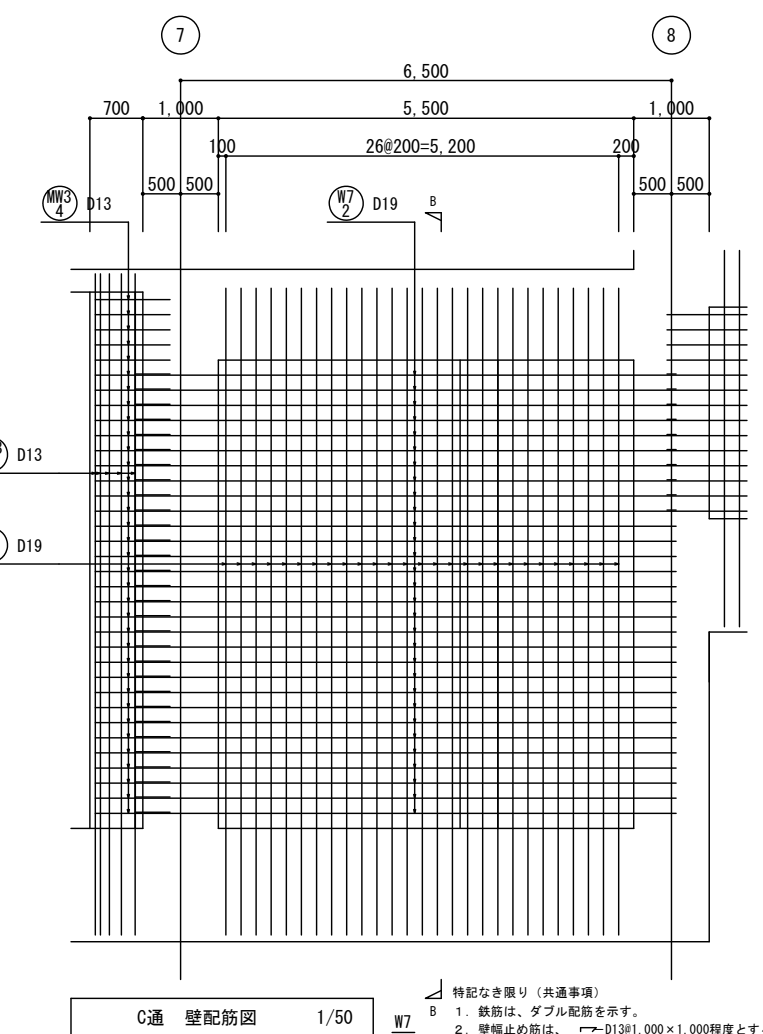
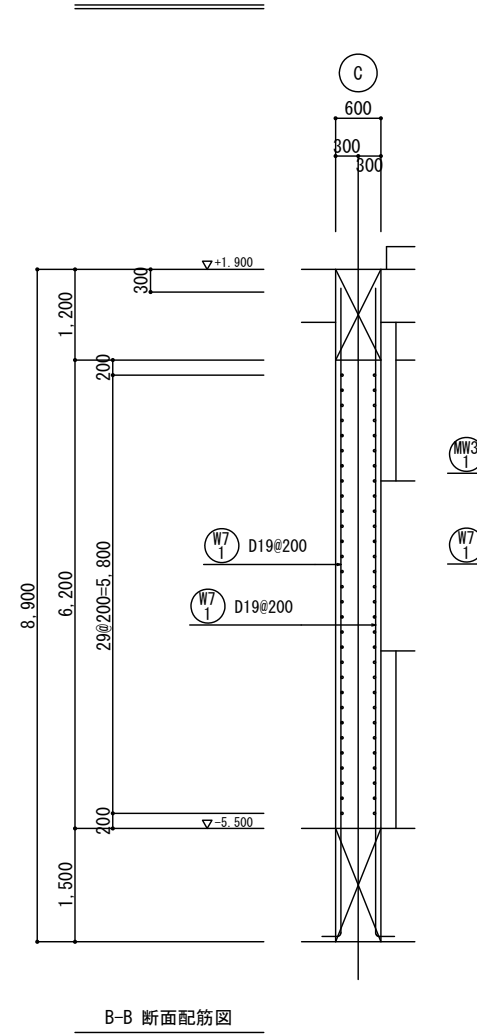
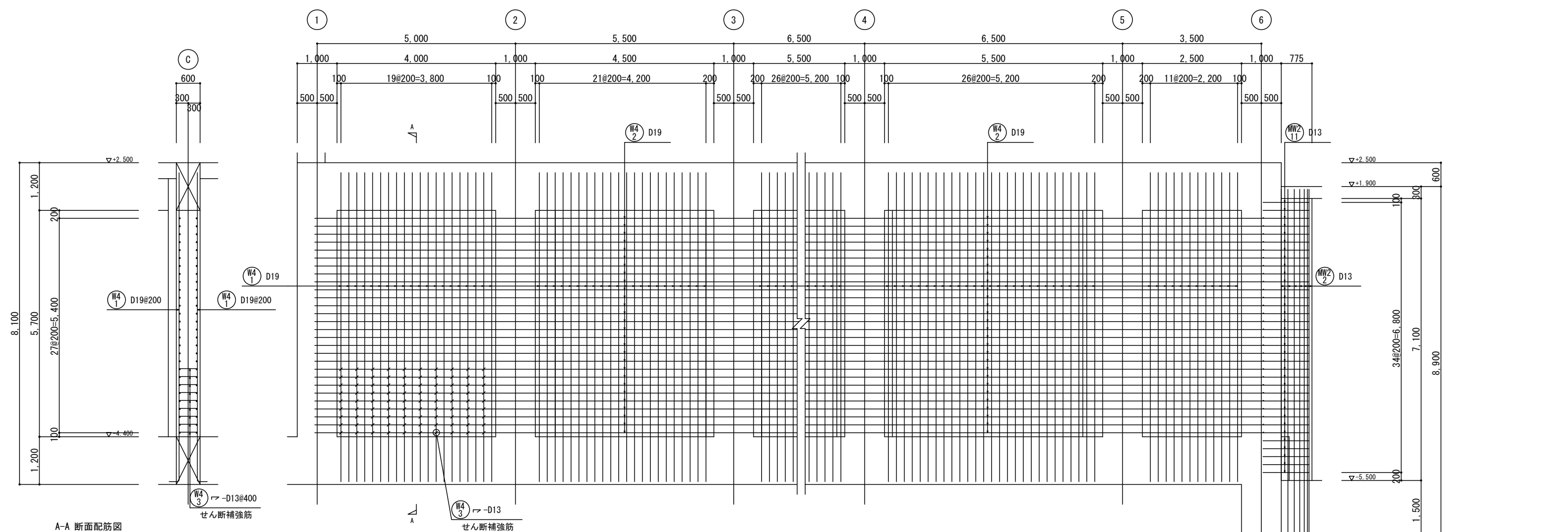
特記なき限り（共通事項）
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 2. 壁幅止め筋は、 \curvearrowright -D13@1,000×1,000程度とする。
 但し せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

ハンドホール配筋図 1/50 B6 W25

特記なき限り（共通事項）
 1. 底版組立筋は、 \perp -D13@1,000×1,000程度とする。
 2. 壁幅止め筋は、 \curvearrowright -D13@1,000×1,000程度とする。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事	
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内	
図面の種類	壁配筋図 (3)	
縮尺	1/50	図面番号 70/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課	



C通 壁配筋図 1/50 W4

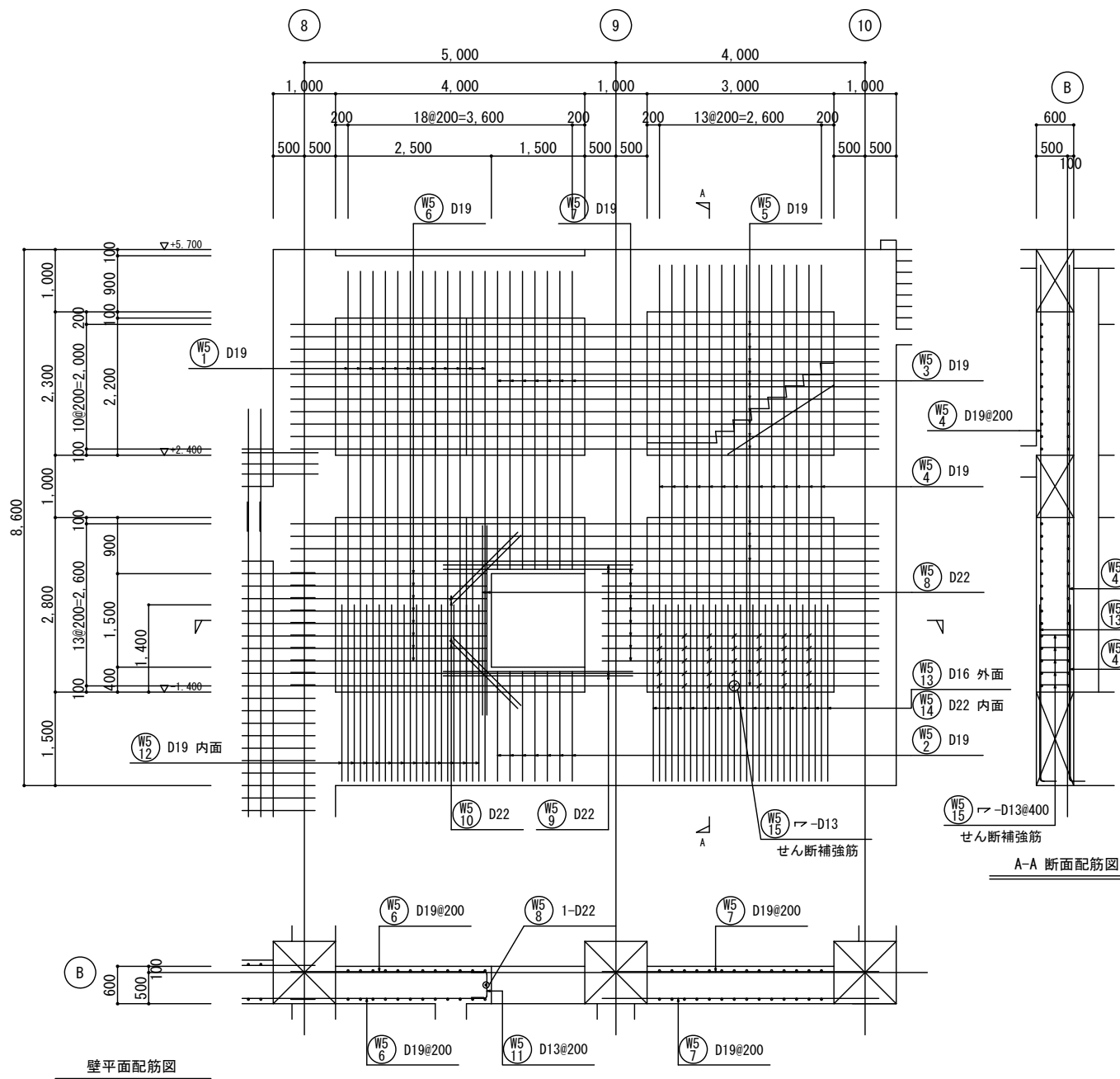
特記なき限り（共通事項）
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 2. 壁幅止め筋は、 \curvearrowright -D13@1,000×1,000程度とする。

特記なき限り（共通事項）
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 2. 壁幅止め筋は、 \curvearrowright -D13@1,000×1,000程度とする。

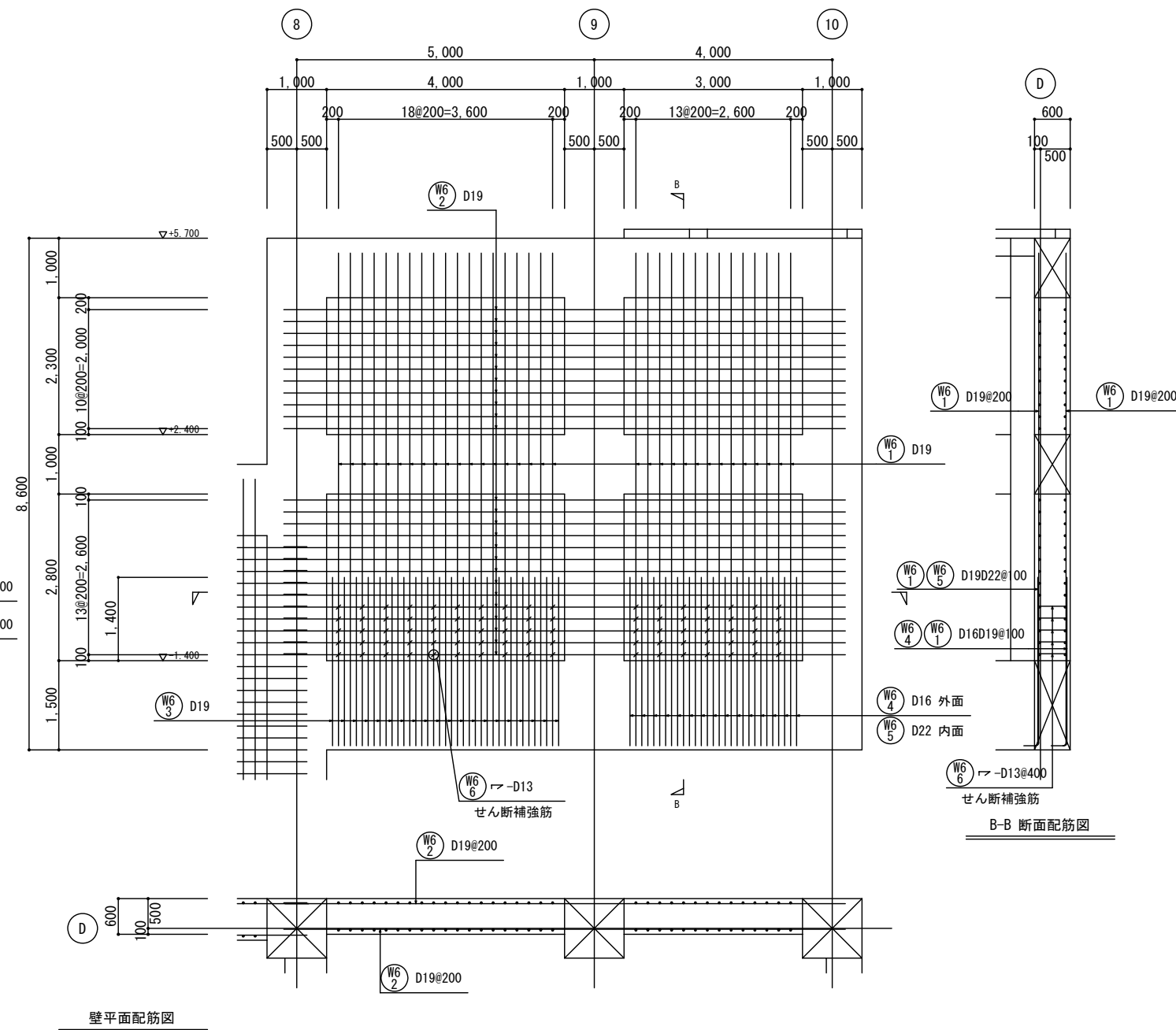
特記なき限り（共通事項）
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 2. 壁幅止め筋は、 \curvearrowright -D13@1,000×1,000程度とする。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	壁配筋図 (4)		
縮尺	1/50	図面番号	71/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



A-A 断面配筋図



B-B 断面配筋図

壁平面配筋図

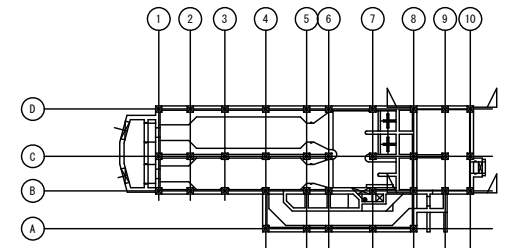
壁平面配筋図

B通 壁配筋図 1/50 W5

D通 壁配筋図 1/50 W6

特記なき限り（共通事項）
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 2. 壁幅止め筋は、 \curvearrowright -D13@1,000×1,000程度とする。
 但し、せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

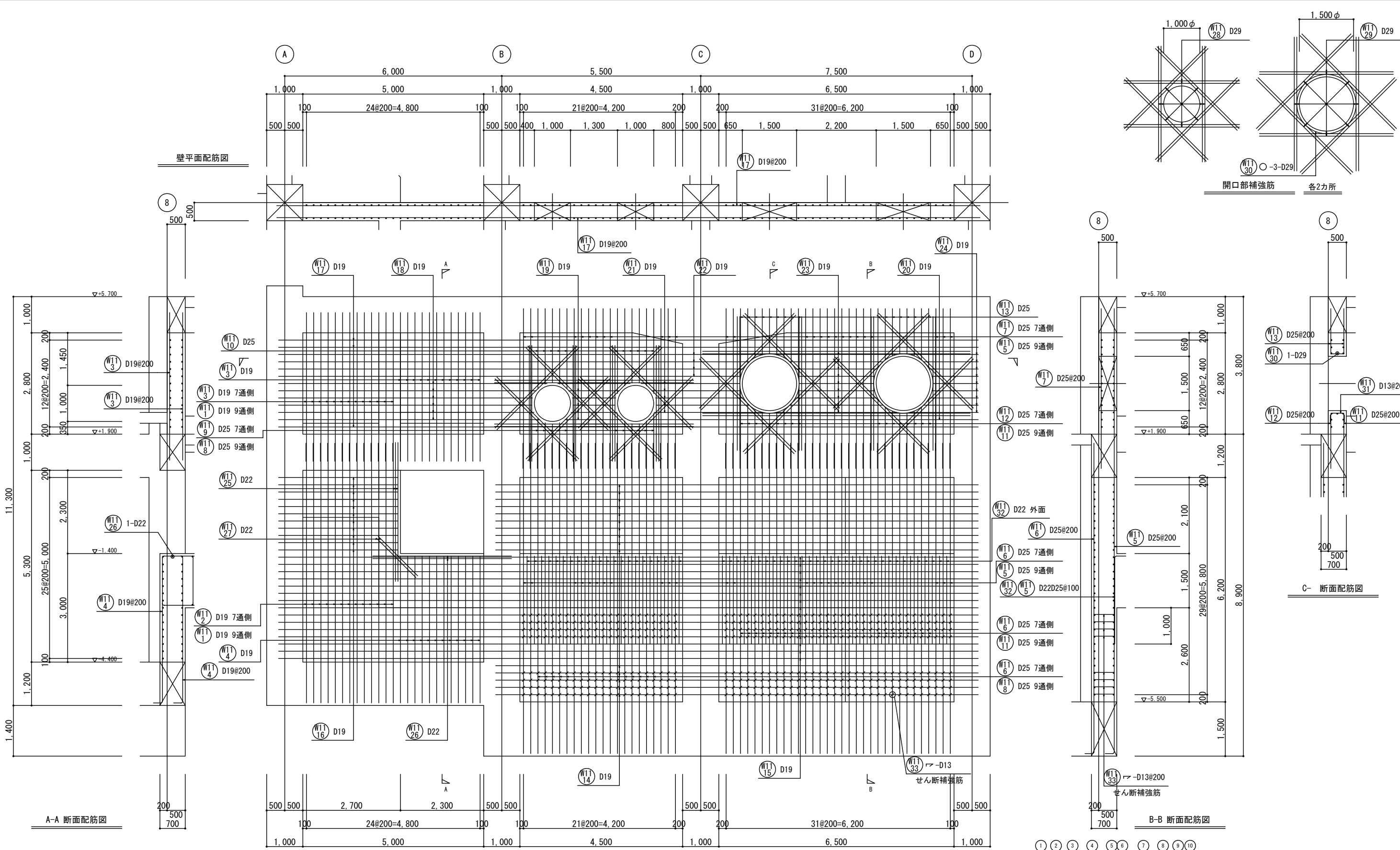
特記なき限り（共通事項）
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 2. 壁幅止め筋は、 \curvearrowright -D13@1,000×1,000程度とする。
 但し、せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。



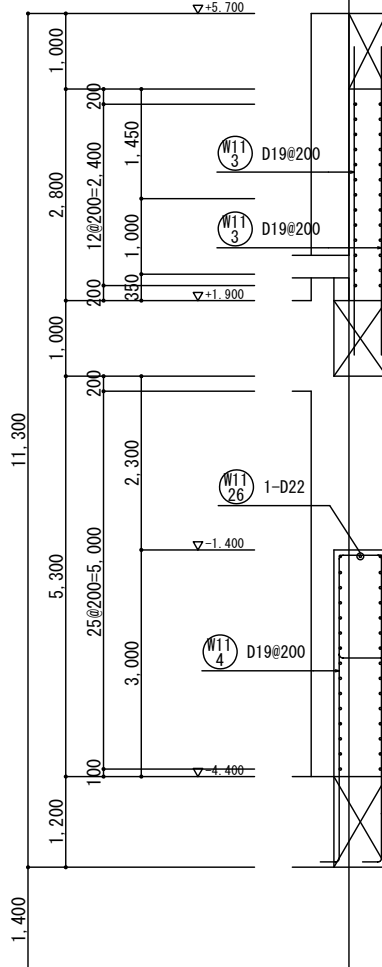
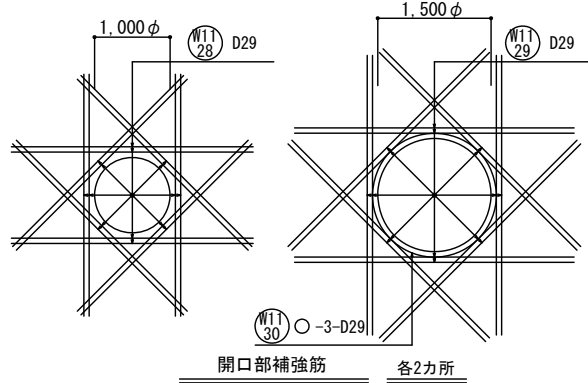
KEY PLAN

※本図面はA1サイズを原寸とする。

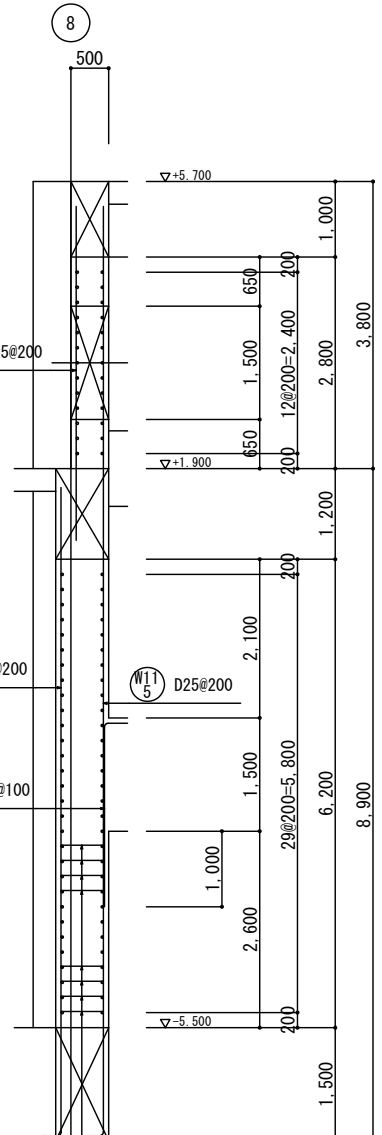
工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	壁配筋図 (5)		
縮尺	1/50	図面番号	72/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



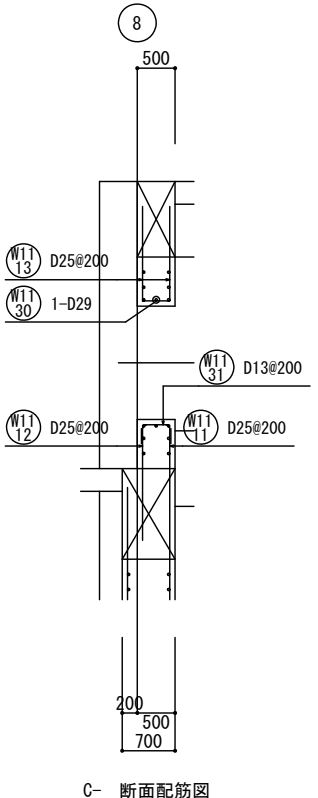
壁平面配筋図



A-A 断面配筋図



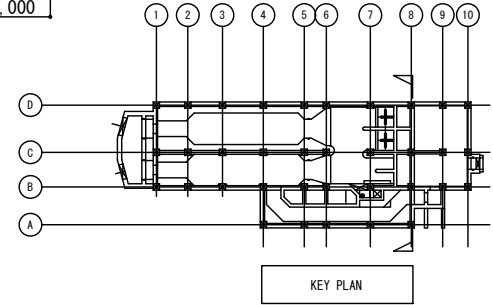
B-B 断面配筋図



C- 断面配筋図

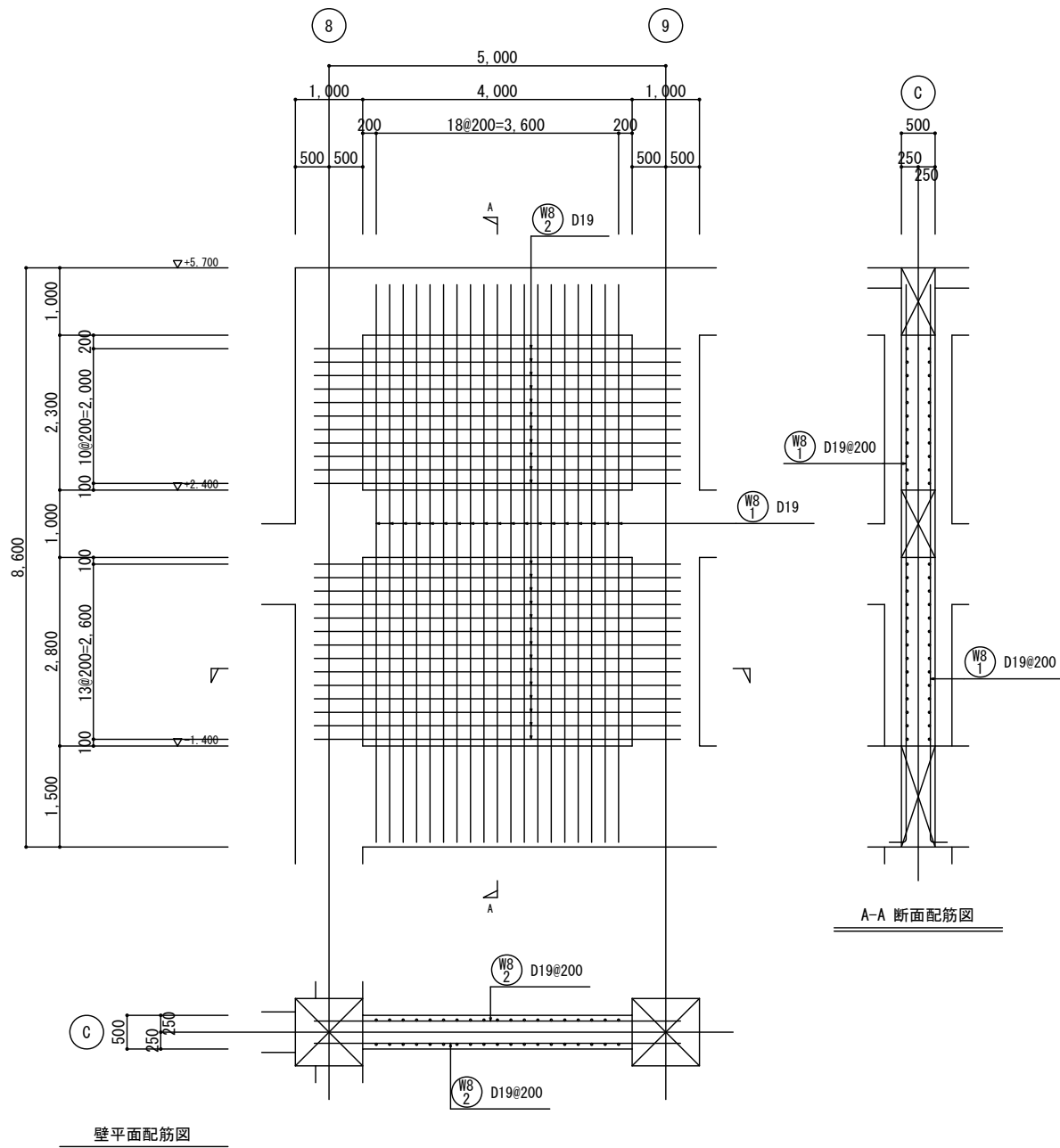
8通 壁配筋図 1/50 W11

- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 - 壁幅止め筋は、 ∇ -D13@1,000×1,000程度とする。但し、せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。



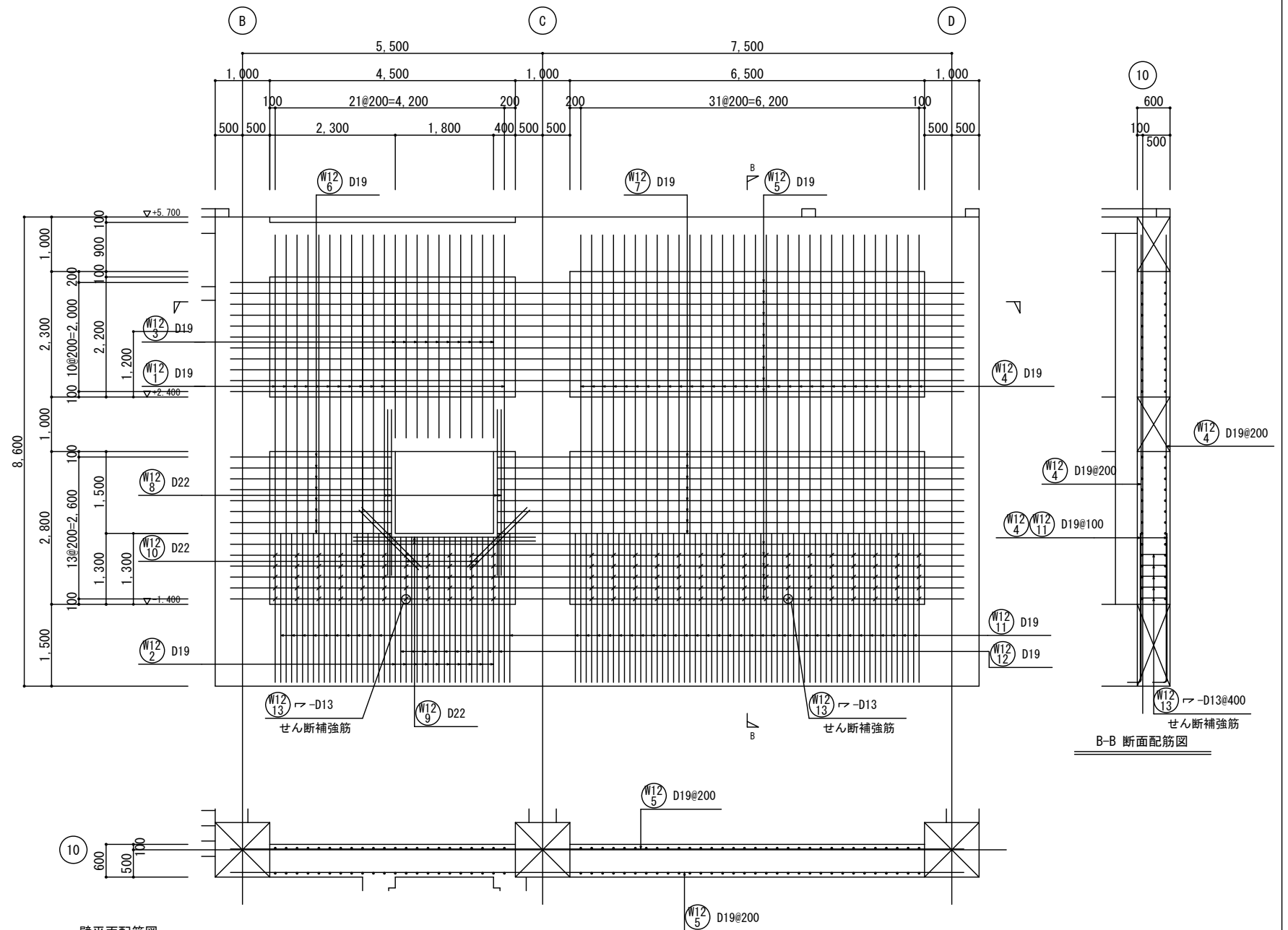
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	壁配筋図 (7)		
縮尺	1/50	図面番号	74/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



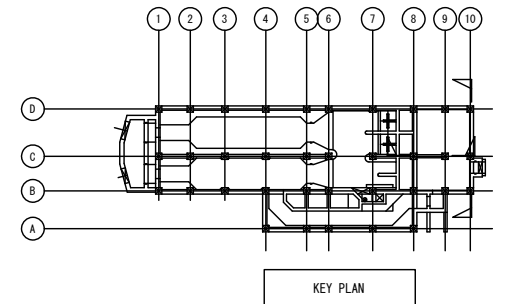
C通 壁配筋図 1/50 W8

特記なき限り(共通事項)
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 2. 壁幅止め筋は、 \curvearrowright -D13@1,000×1,000程度とする。



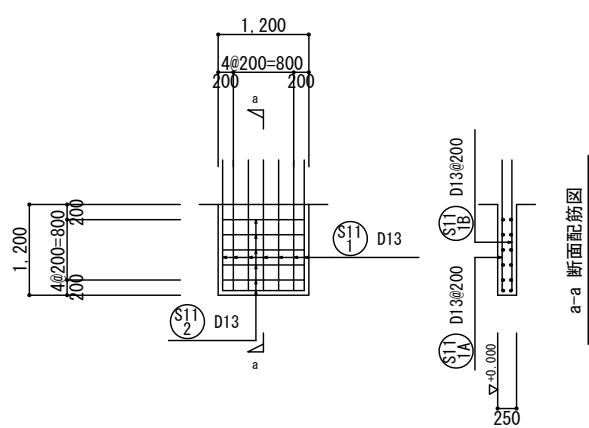
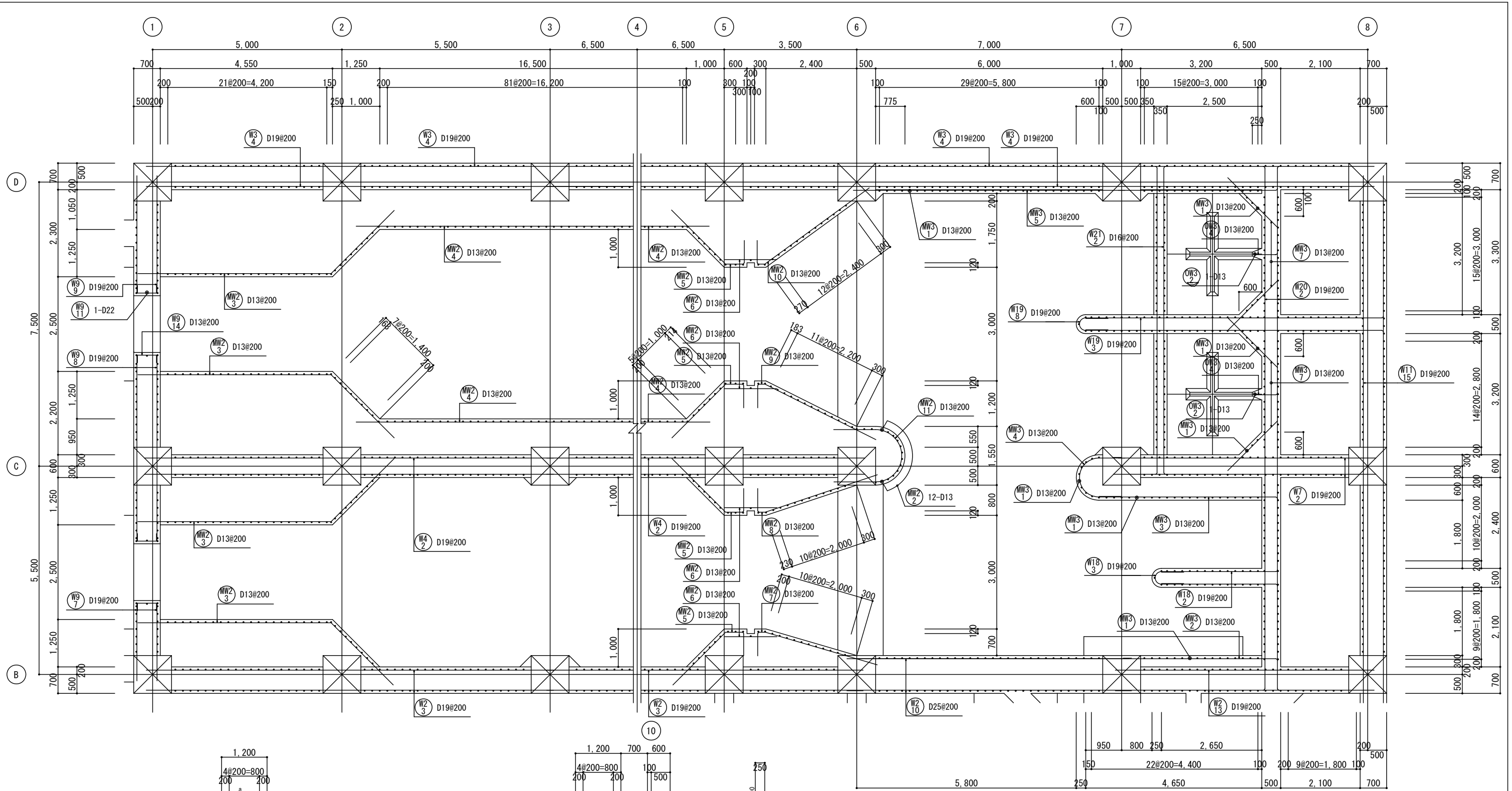
10通 壁配筋図 1/50 W12

特記なき限り(共通事項)
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 2. 壁幅止め筋は、 \curvearrowright -D13@1,000×1,000程度とする。
 但し、せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。



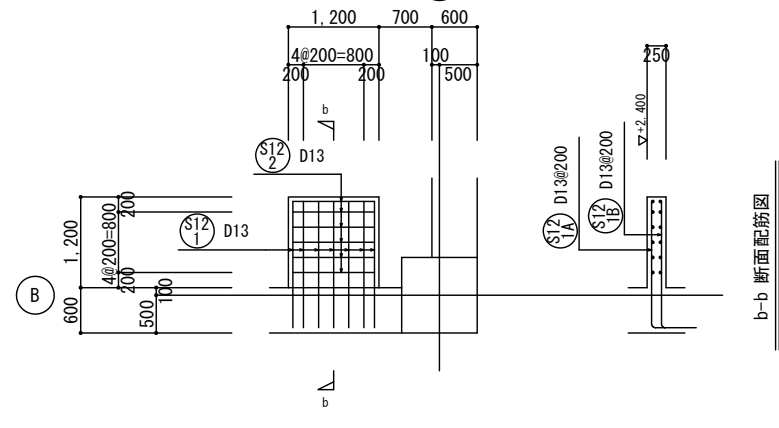
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	壁配筋図 (8)		
縮尺	1/50	図面番号	75/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



沈砂池ステージ配筋図 1/50 S11 2カ所

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。



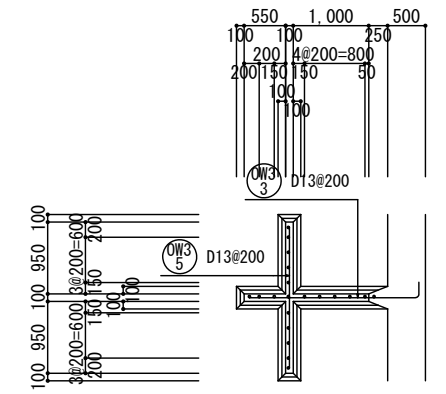
吐出井ステージ配筋図 1/50 S12 1カ所

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。

沈砂池廻り壁配筋図 1/50

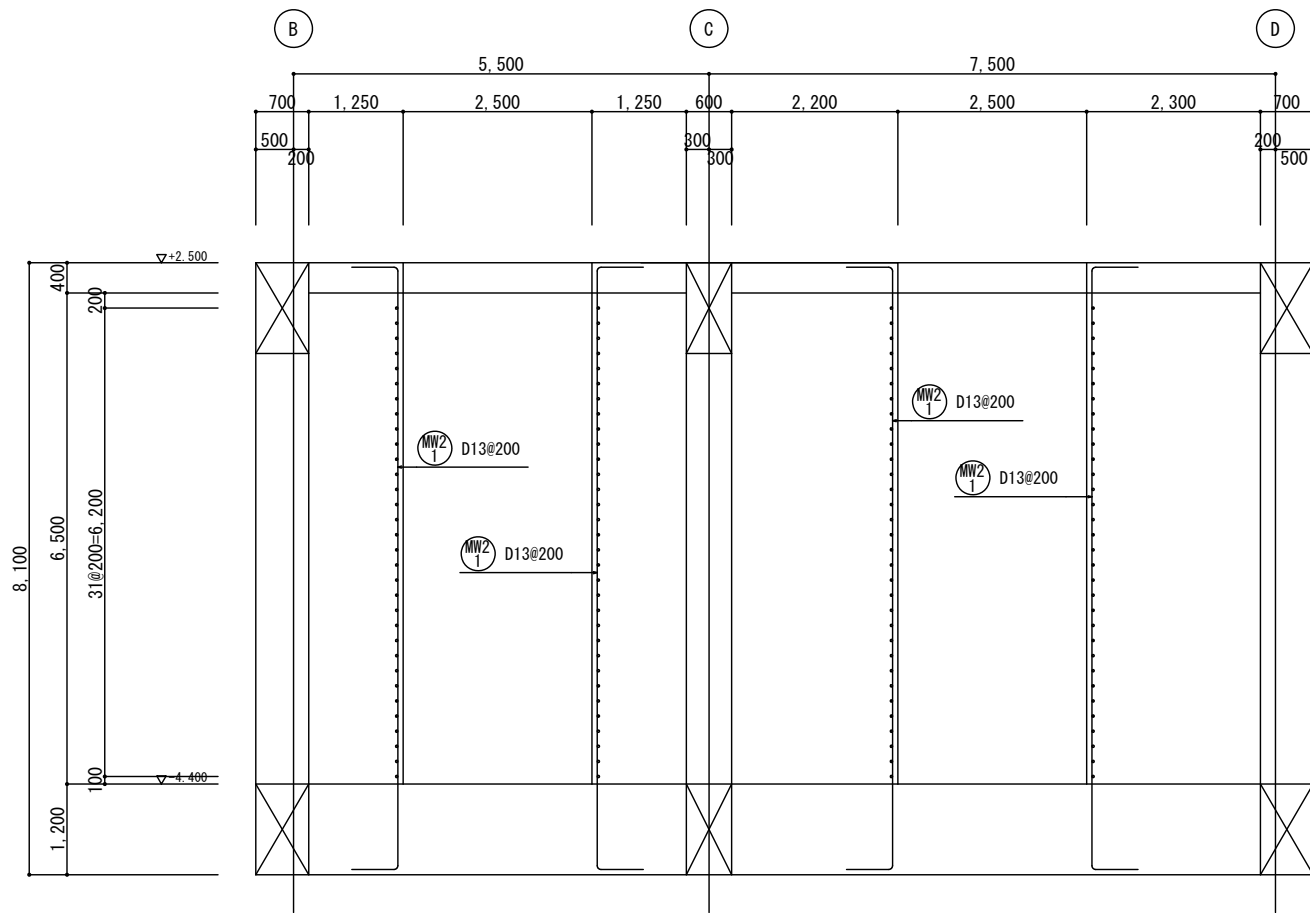
特記なき限り（共通事項）
1. 壁幅止め筋は、 ∇ -D13@1,000×1,000程度とする。

過流防止壁配筋図 1/50

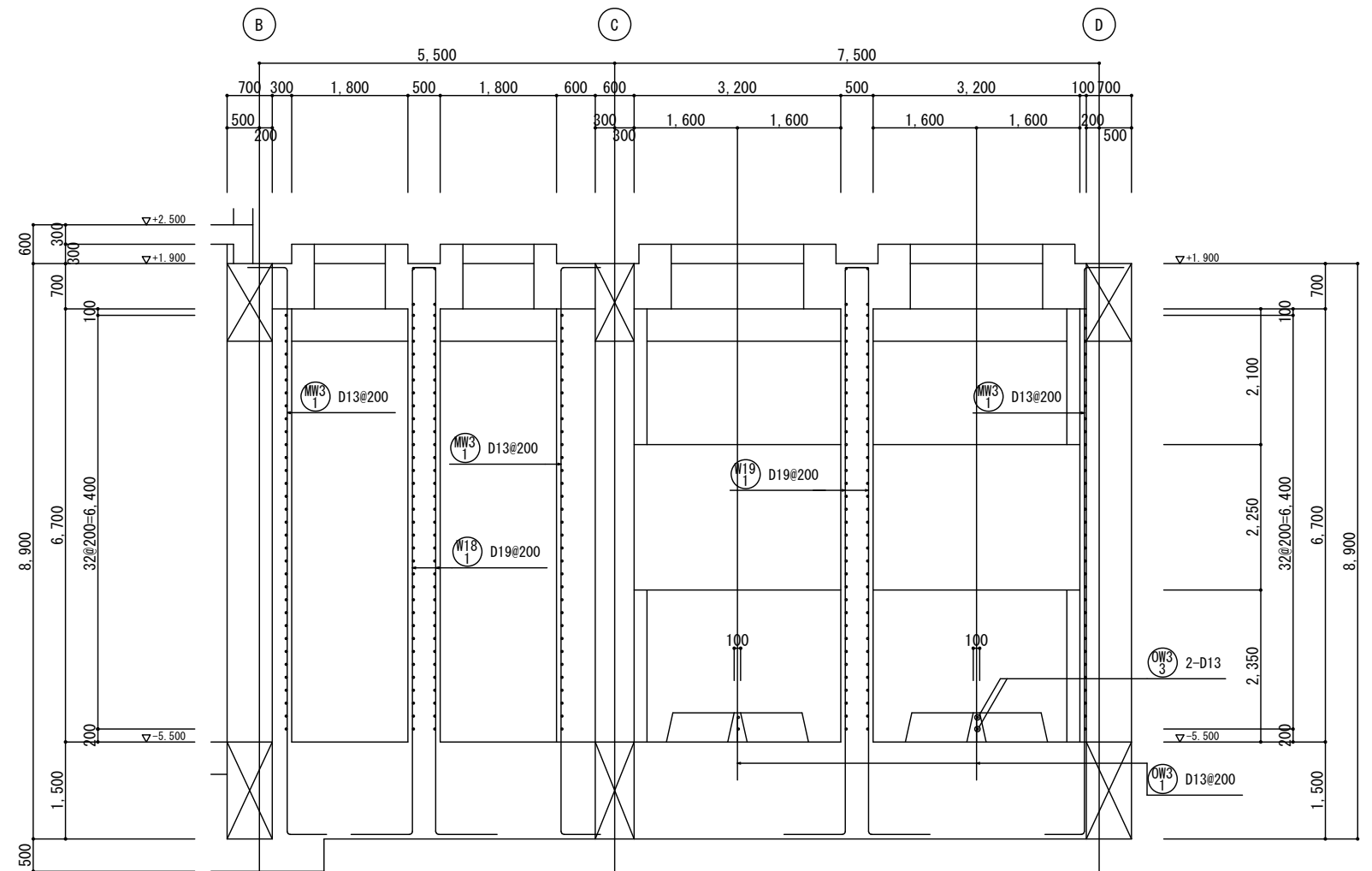


※本図面はA1サイズを原寸とする。

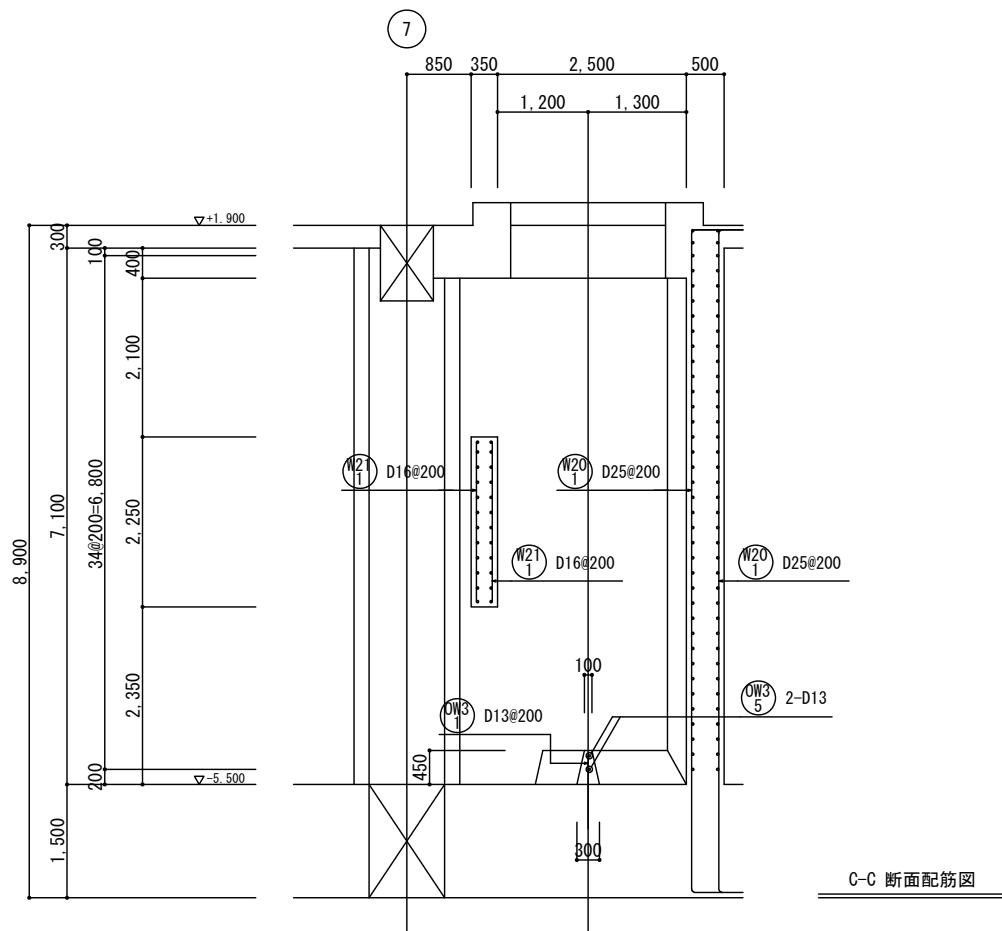
工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	壁配筋図 (9)
縮尺	1/50 図面番号 76/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課



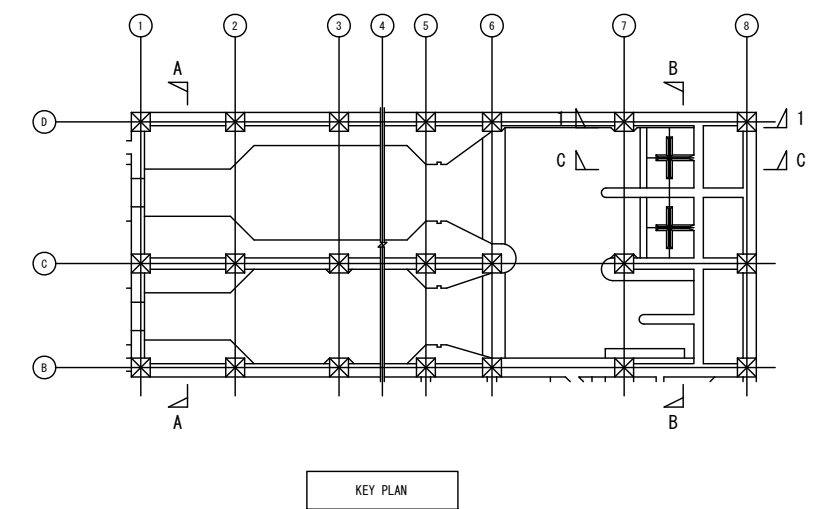
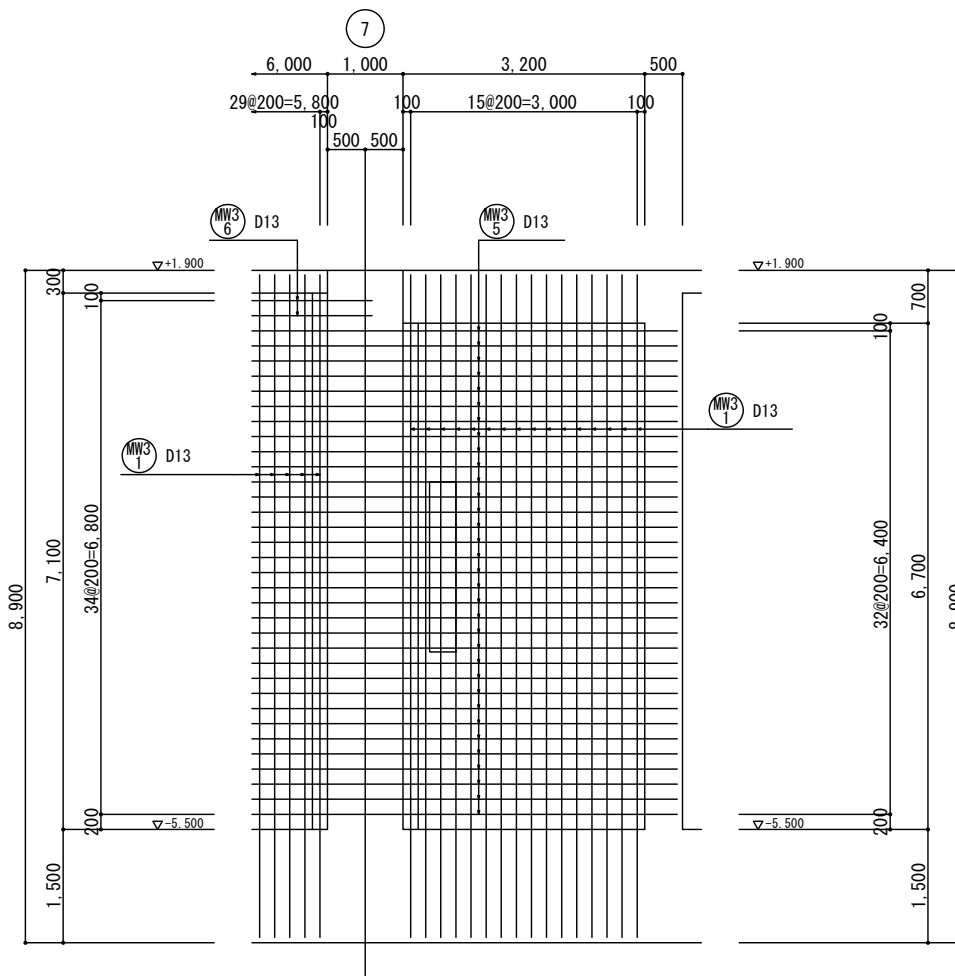
A-A 断面配筋図



B-B 断面配筋図



C-C 断面配筋図

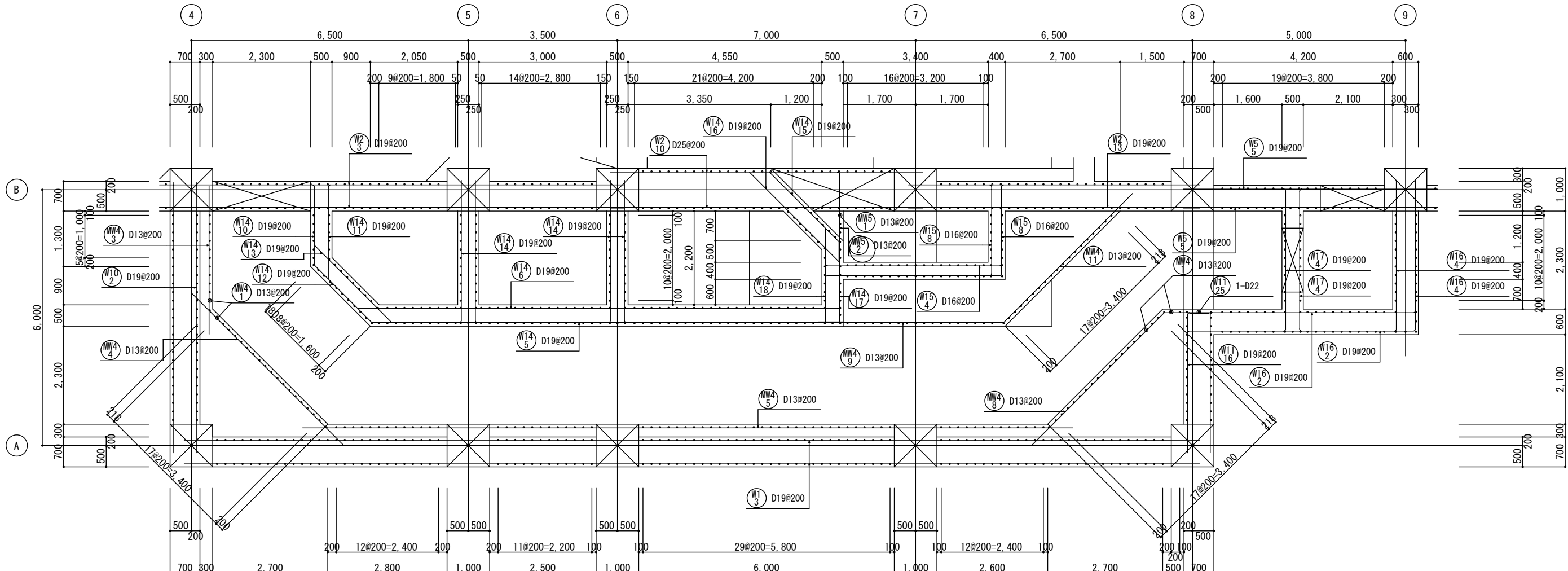


1-1 壁配筋図 MW3

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、シングル配筋を示す。

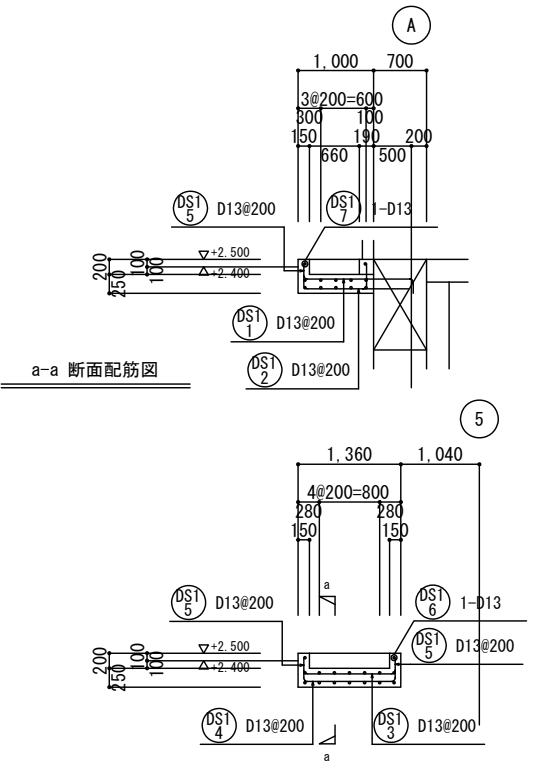
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	壁配筋図 (10)		
縮尺	1/50	図面番号	77/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



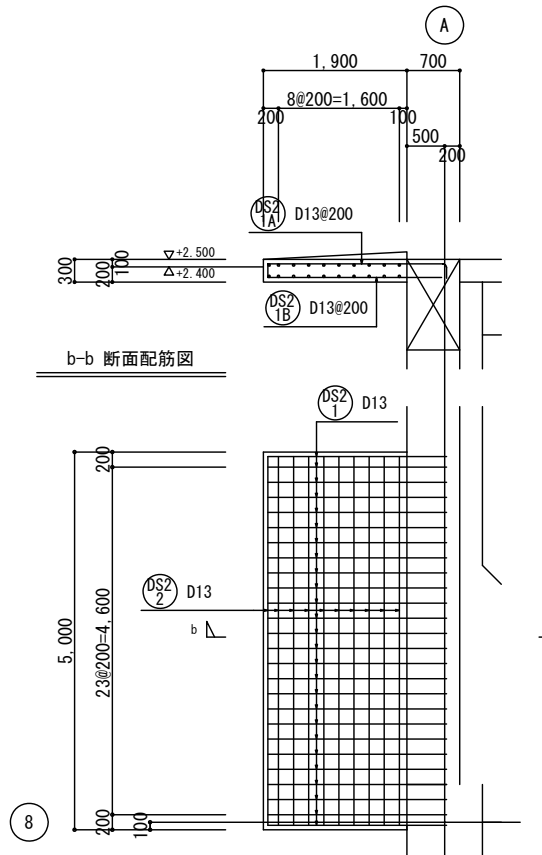
水路廻り壁配筋図 1/50

特記なき限り（共通事項）
 1. 壁幅止め筋は、 \curvearrowright -D13#1,000×1,000程度とする。



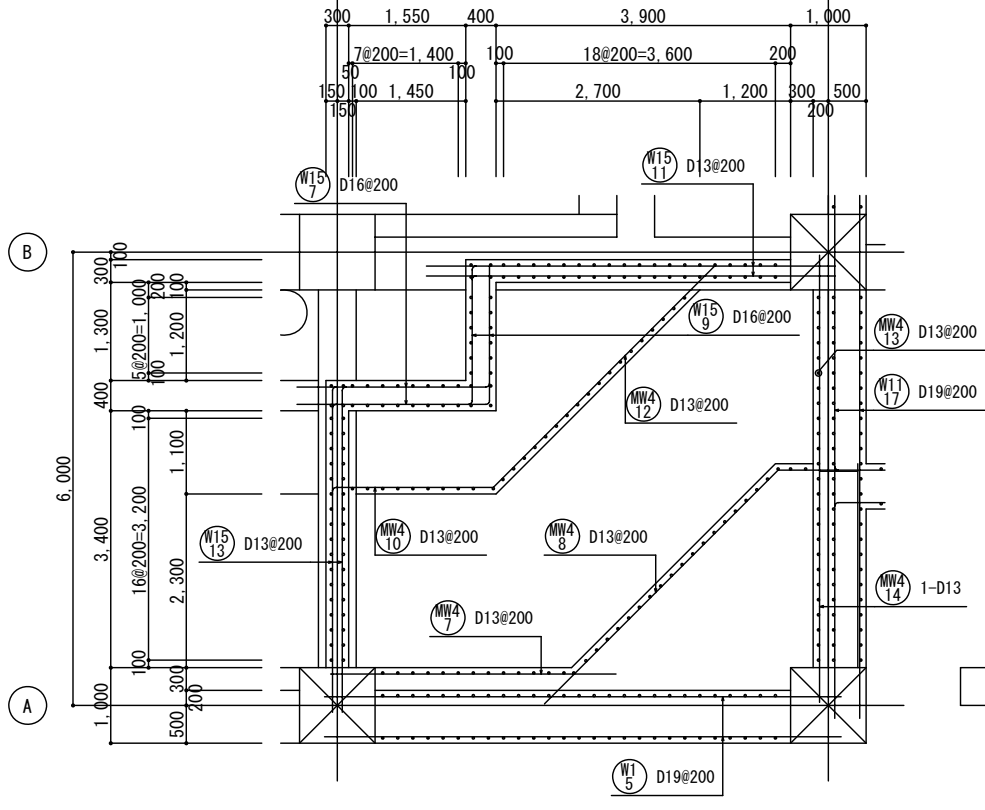
くつ洗い流し配筋図 1/50

特記なき限り（共通事項）
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
 2. 底板組立筋は、 \perp -D13#1,000×1,000程度とする。



出入口土間配筋図 1/50

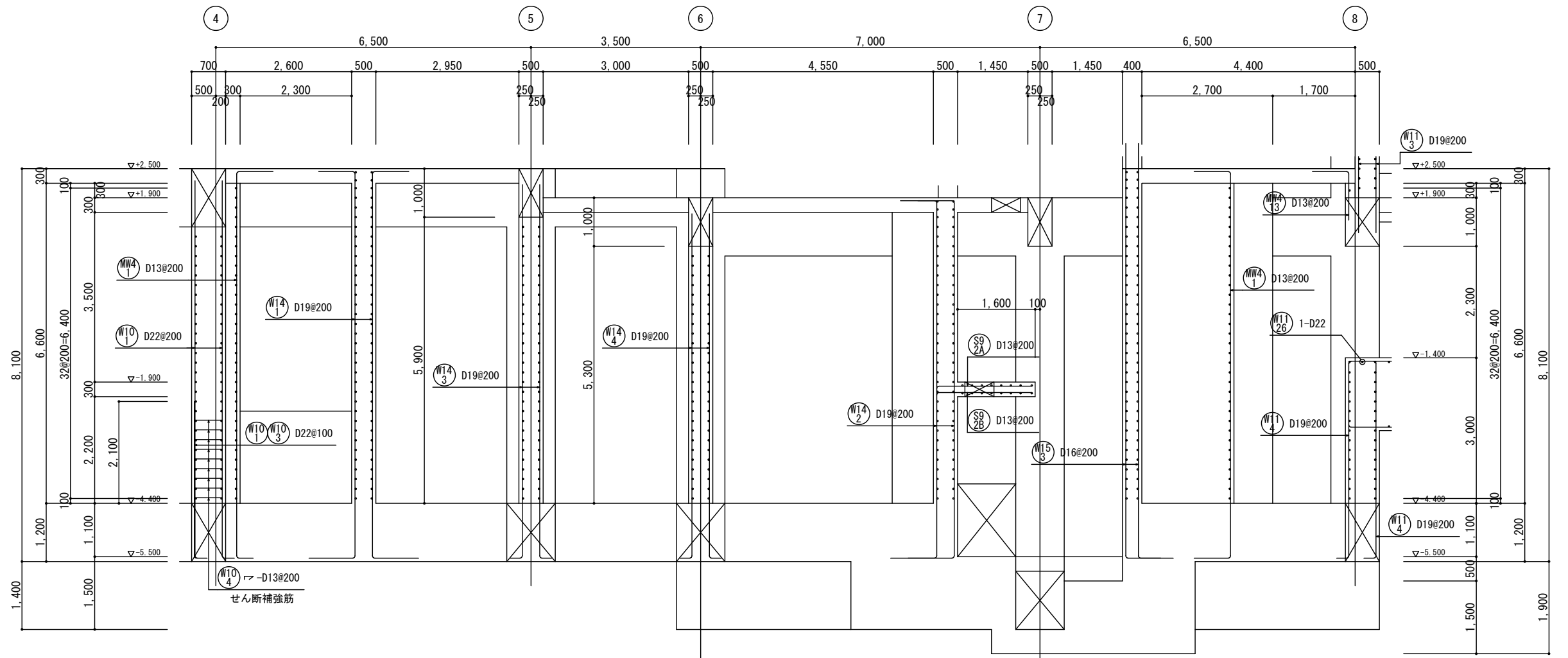
特記なき限り（共通事項）
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
 2. 底板組立筋は、 \perp -D13#1,000×1,000程度とする。



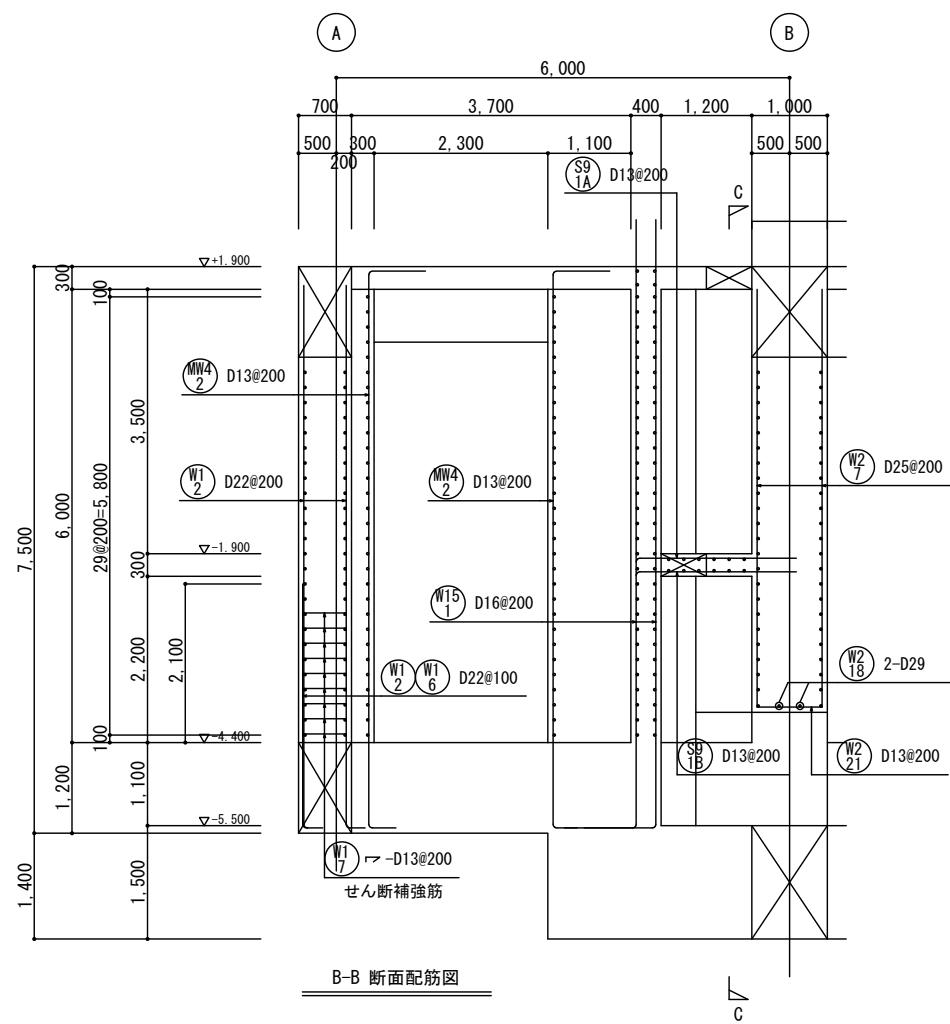
水路（上部）壁配筋図 1/50

※本図面はA1サイズを原寸とする。

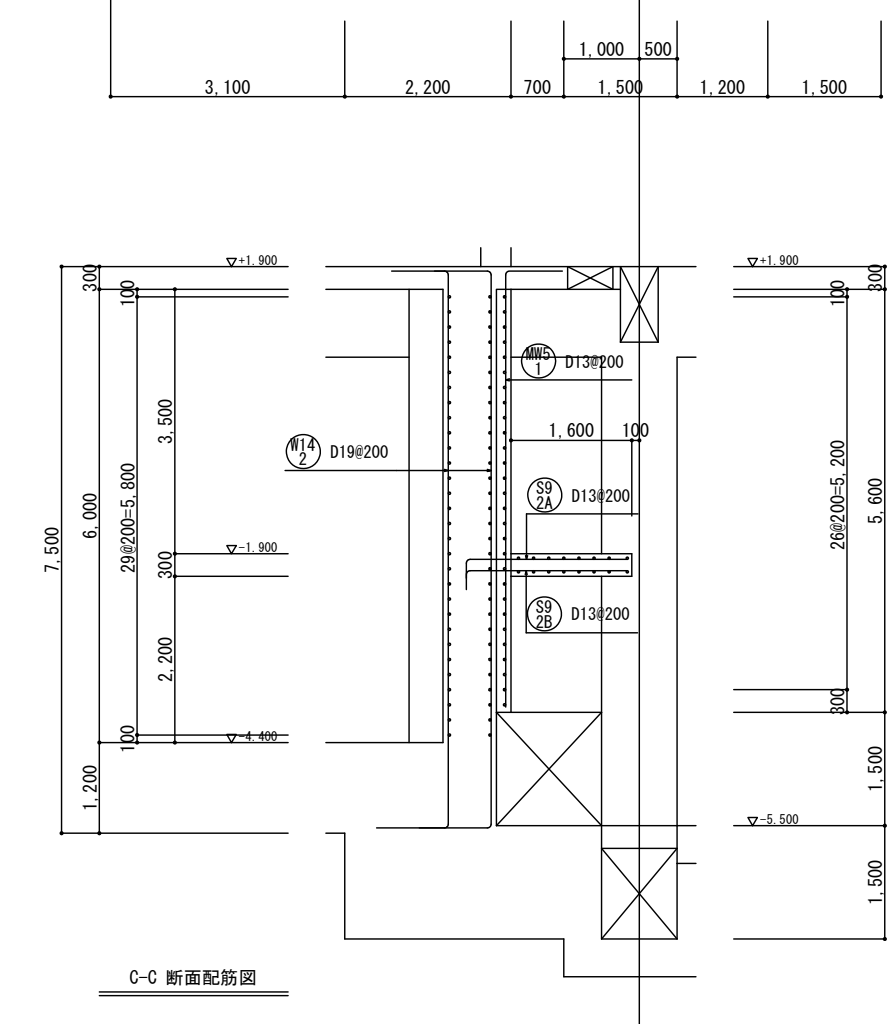
工事名	平成29年度 下建公補維第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事	
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内	
図面の種類	壁配筋図 (11)	
縮尺	1/50	図面番号 78/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課	



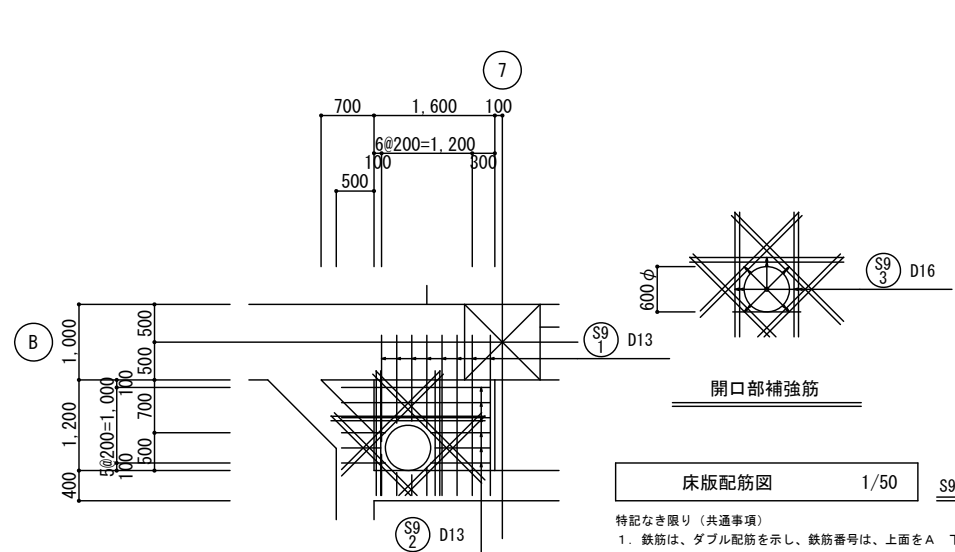
A-A 断面配筋図



B-B 断面配筋図



C-C 断面配筋図

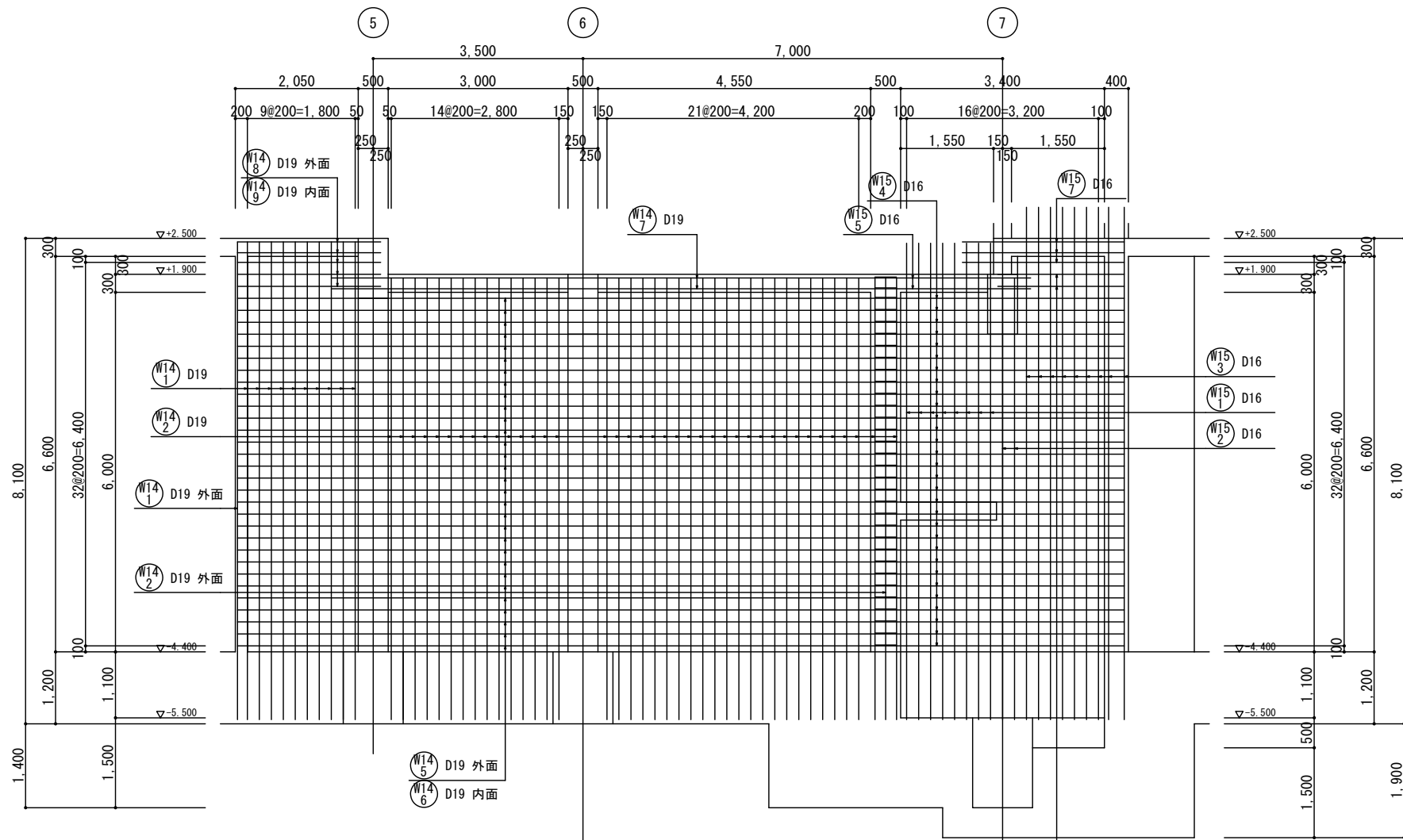


床版配筋図 1/50 S9

特記なき限り(共通事項)
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA、下面をBとする。
 2. 床版組立筋は、□-D13#1,000×1,000程度とする。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

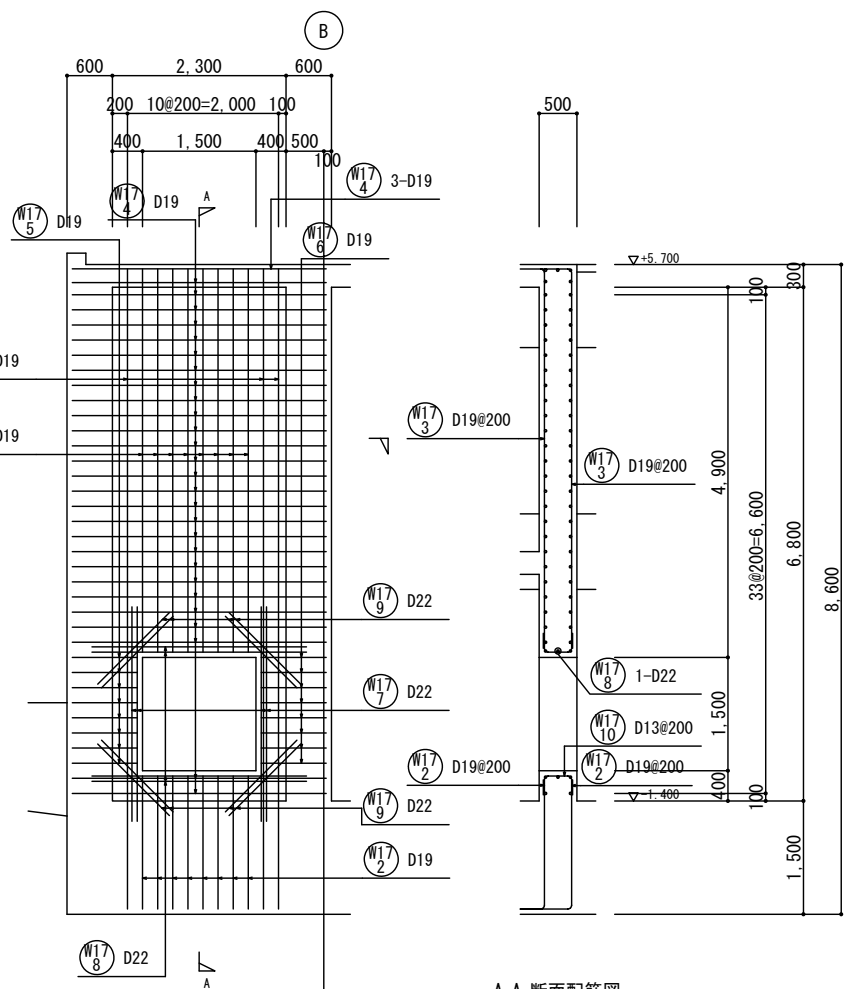
工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	壁配筋図 (12)		
縮尺	1/50	図面番号	79/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



1-1 壁配筋図 W14 W15

特記なき限り（共通事項）
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 2. 壁幅止め筋は、 \curvearrowright -D13@1,000×1,000程度とする。

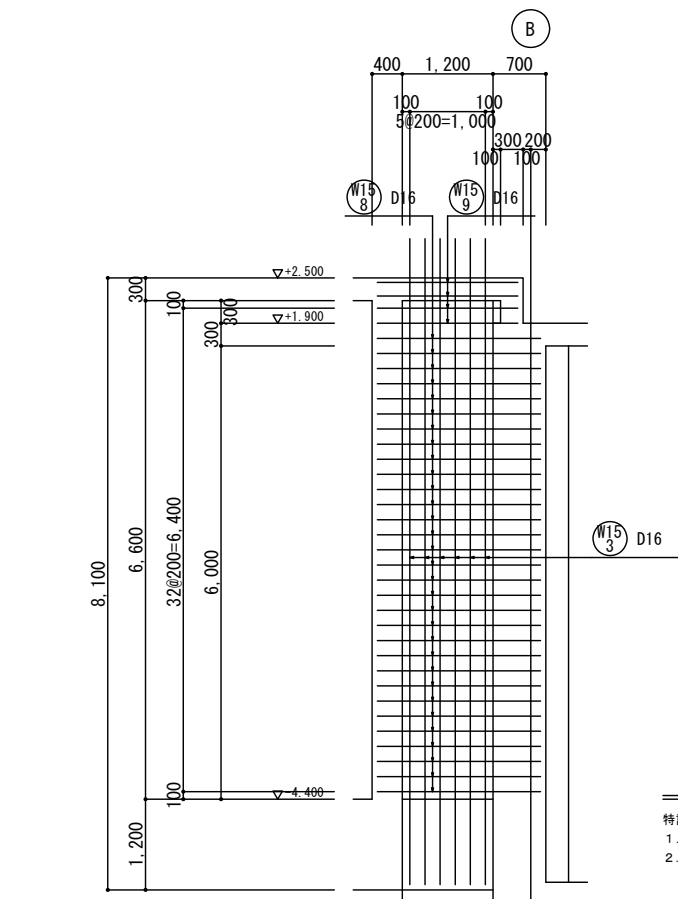
壁平面配筋図



A-A 断面配筋図

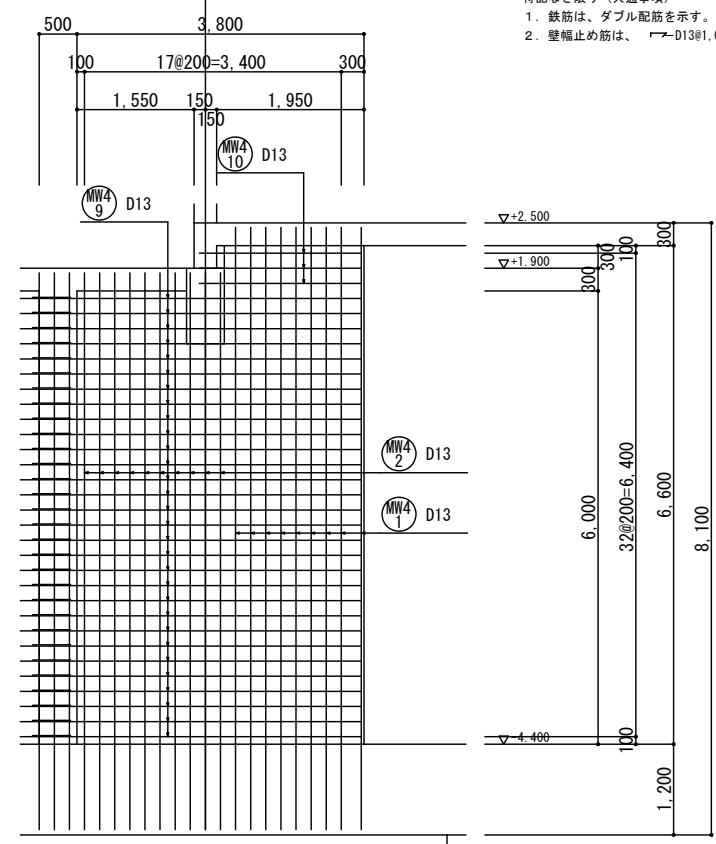
3-3 壁配筋図 W17

特記なき限り（共通事項）
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 2. 壁幅止め筋は、 \curvearrowright -D13@1,000×1,000程度とする。



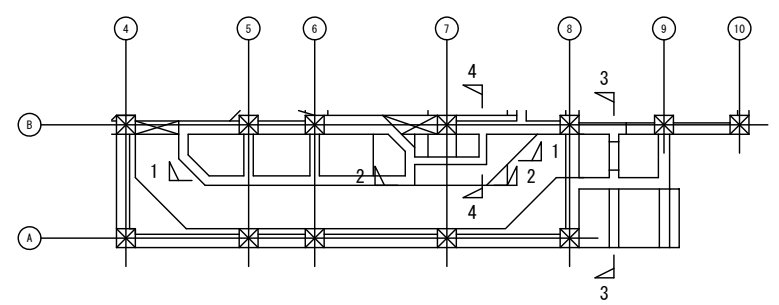
4-4 壁配筋図 W15

特記なき限り（共通事項）
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 2. 壁幅止め筋は、 \curvearrowright -D13@1,000×1,000程度とする。



2-2 壁配筋図 MW4

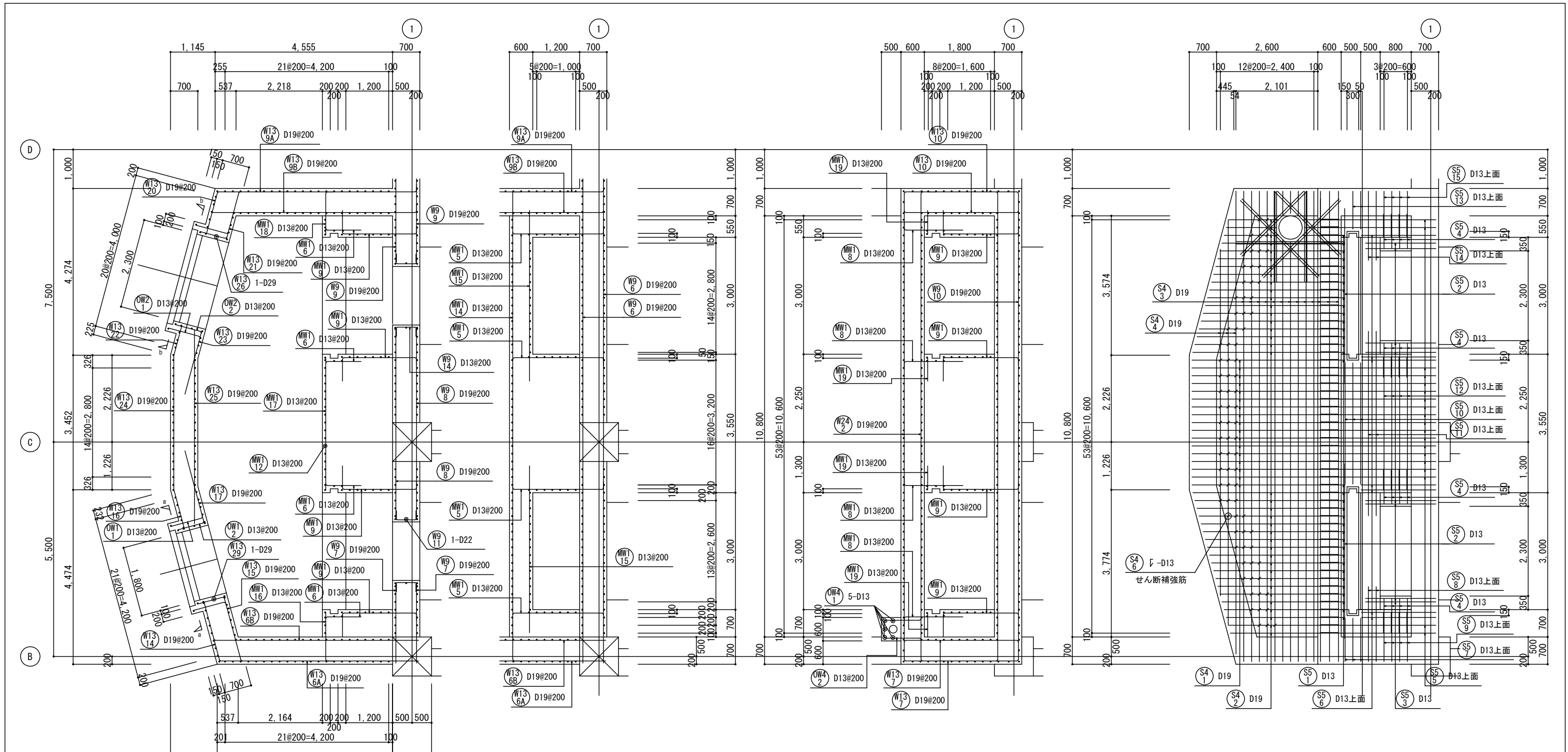
特記なき限り（共通事項）
 1. 鉄筋は、シングル配筋を示す。



KEY PLAN

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	壁配筋図 (13)		
縮尺	1/50	図面番号	80/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



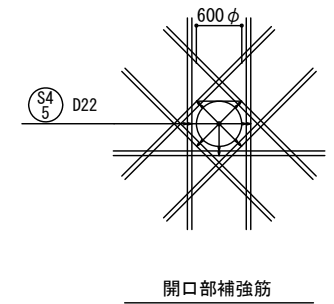
壁平面配筋図

壁平面（下部）配筋図

壁平面（上部）配筋図

床版配筋図 S4 S5

流入ゲート 配筋図 1/50



開口部補強筋

a-a 断面配筋図

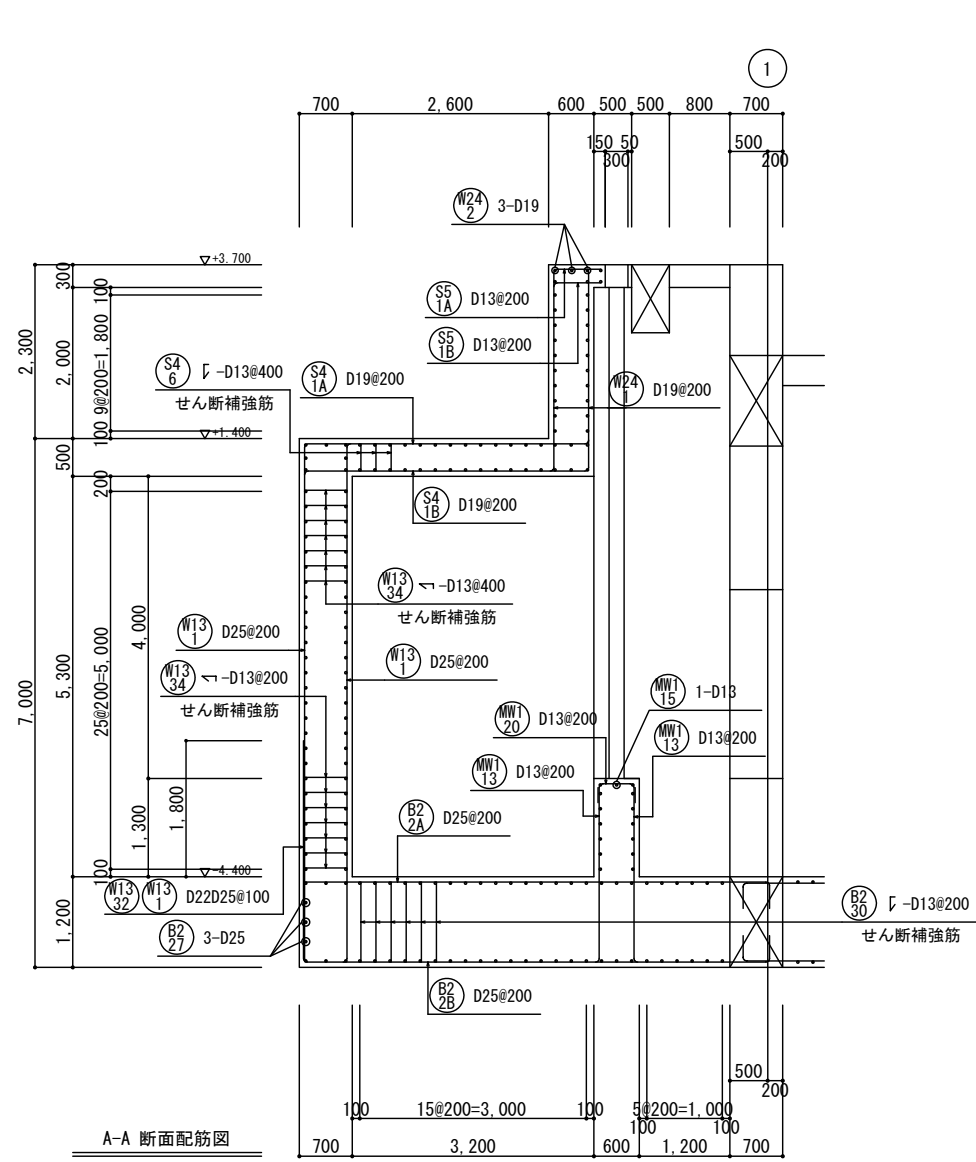
b-b 断面配筋図

- 特記なき限り（共通事項）
- 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
 - 床版組立筋は、□-D13@1,000×1,000程度とする。
但し せん断補強筋のある部分は、組立筋兼用とする。

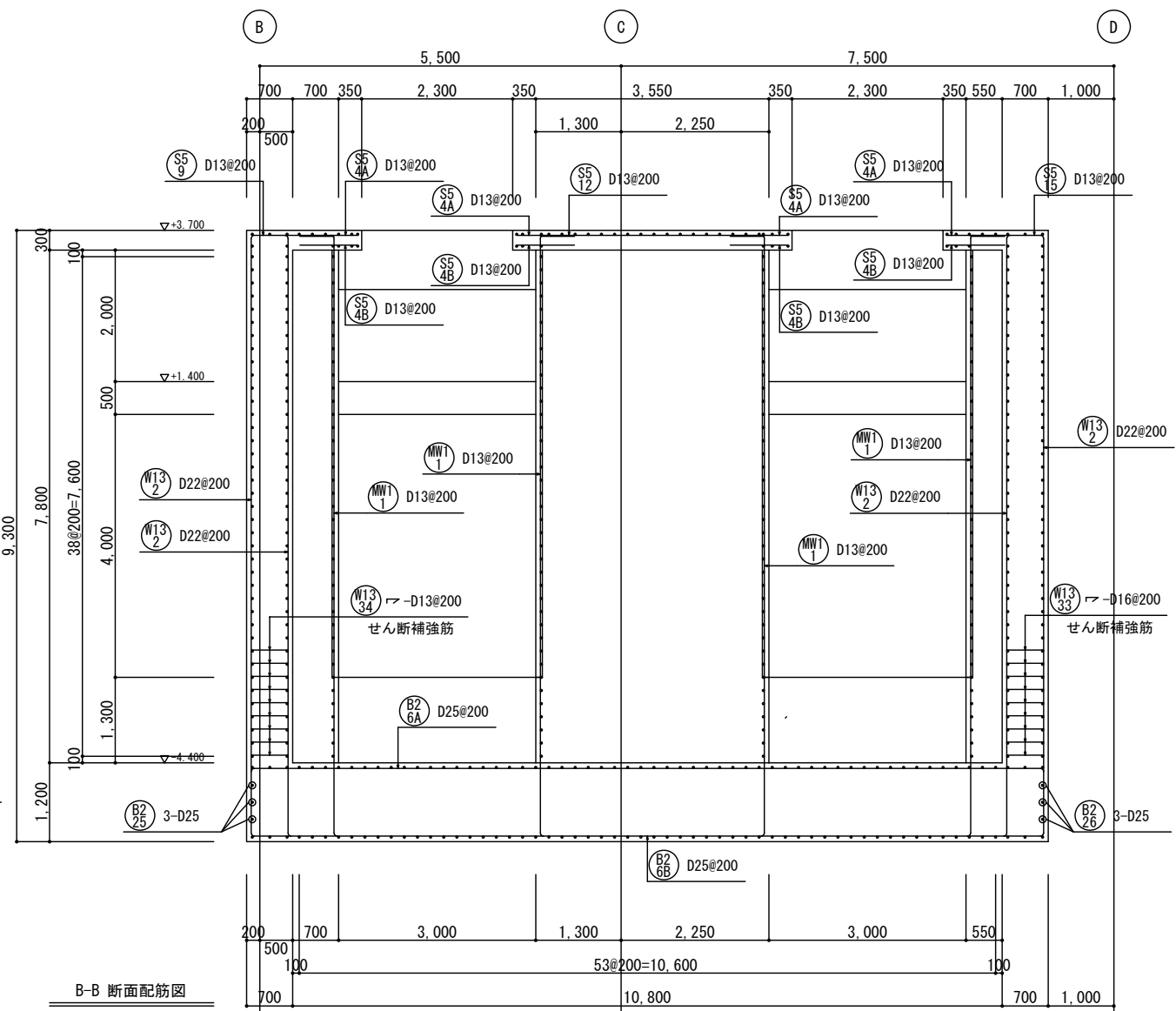
- 特記なき限り（共通事項）
- 壁幅止め筋は、□-D13@1,000×1,000程度とする。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

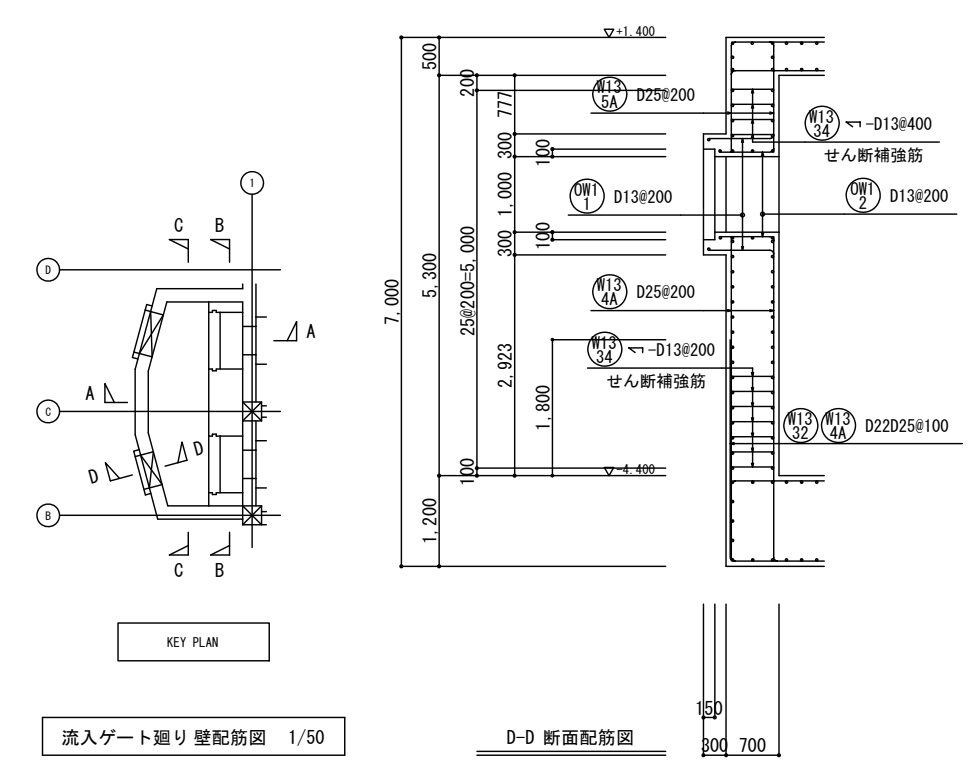
工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事	
施工箇所名	津市高茶屋小森下野町地内	
図面の種類	壁配筋図 (14)	
縮尺	1/50	図面番号 81/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課	



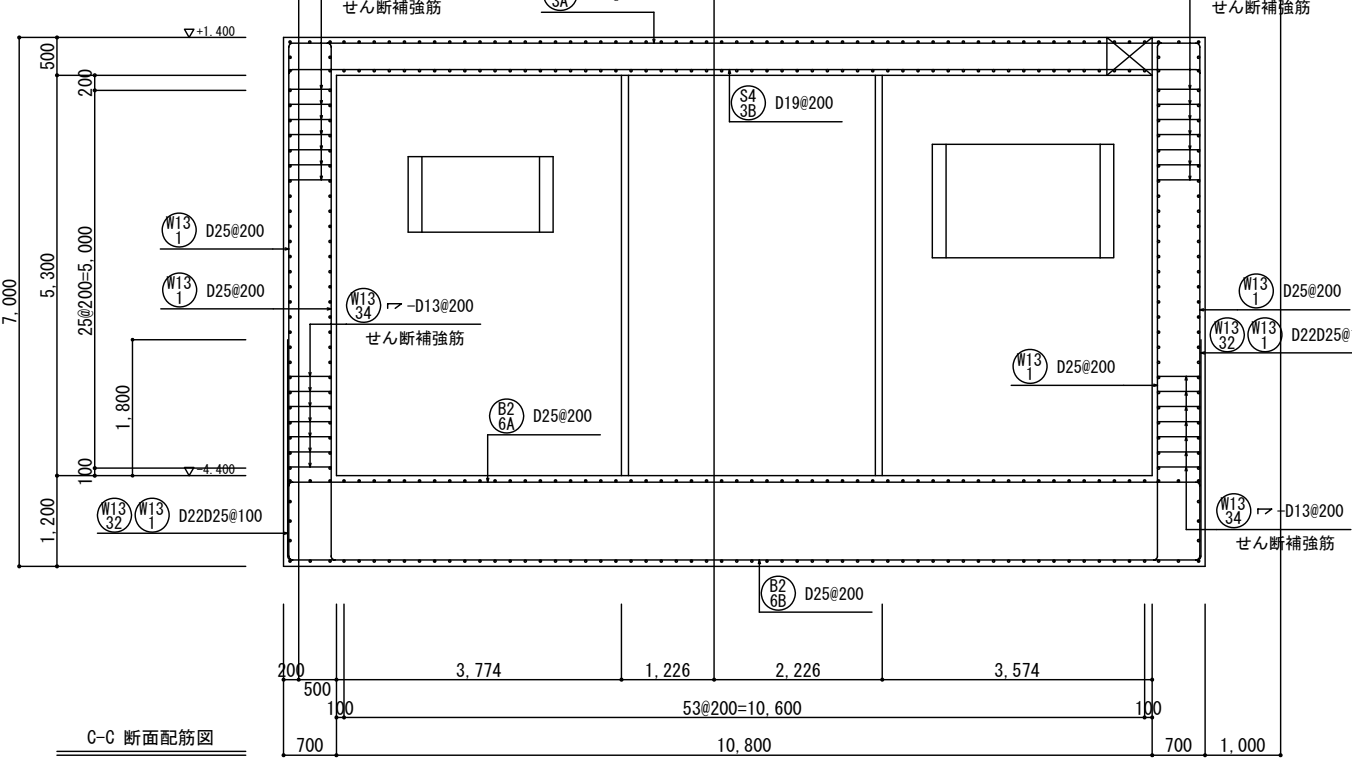
A-A 断面配筋図



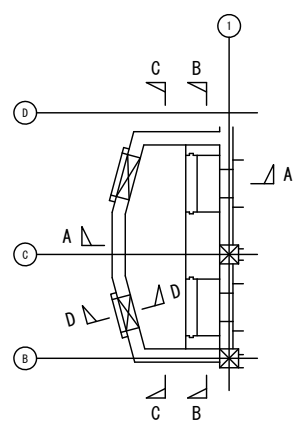
B-B 断面配筋図



D-D 断面配筋図



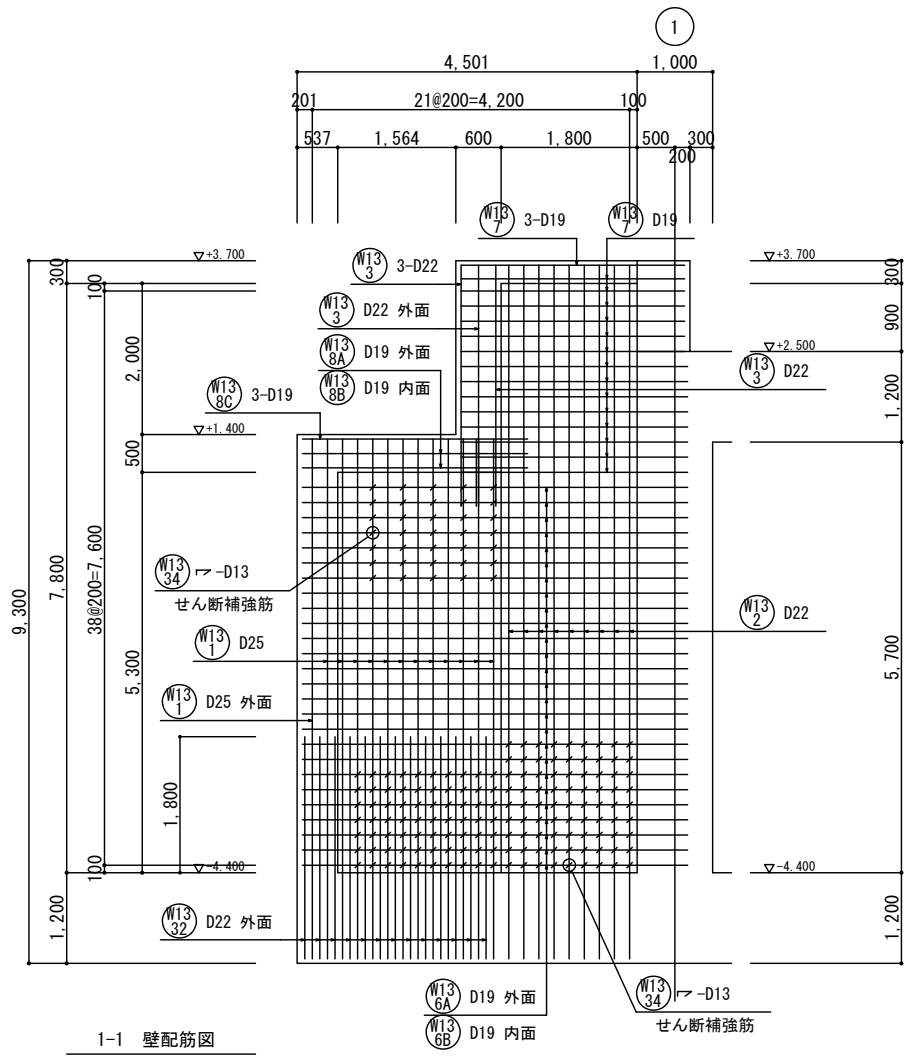
C-C 断面配筋図



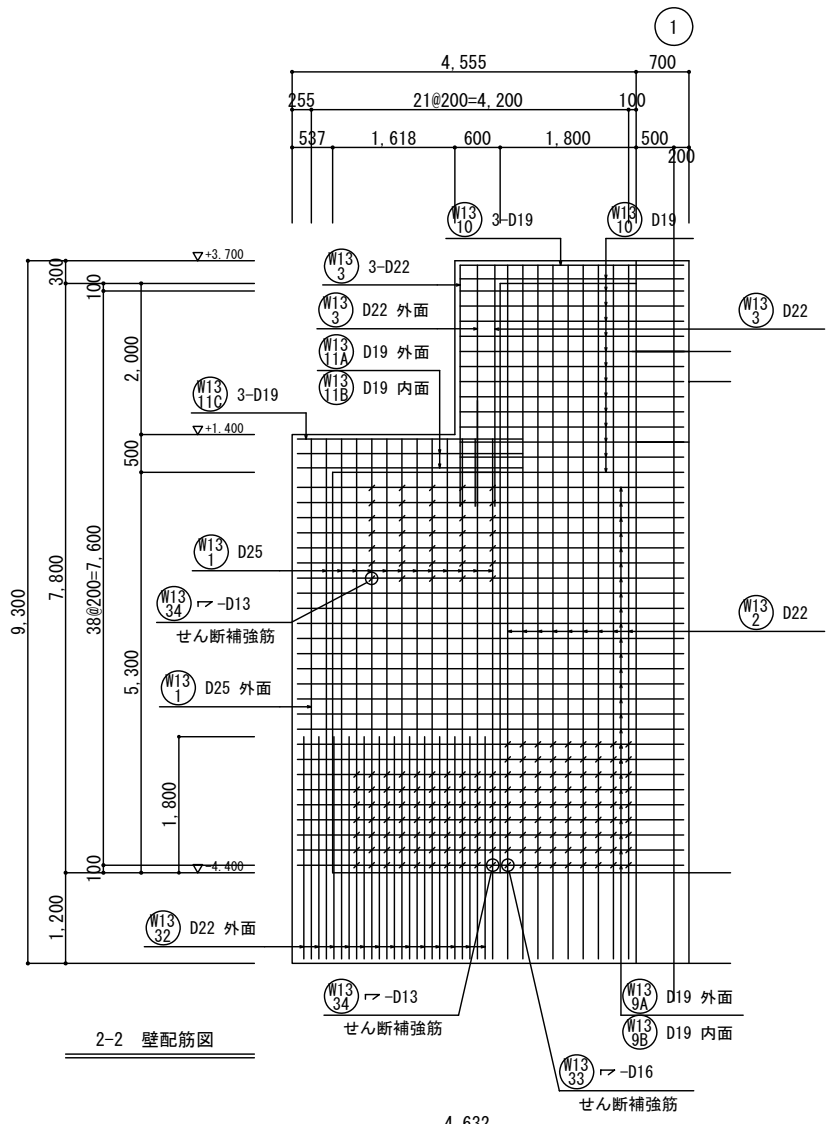
流入ゲート廻り壁配筋図 1/50

※本図面はA1サイズを原寸とする。

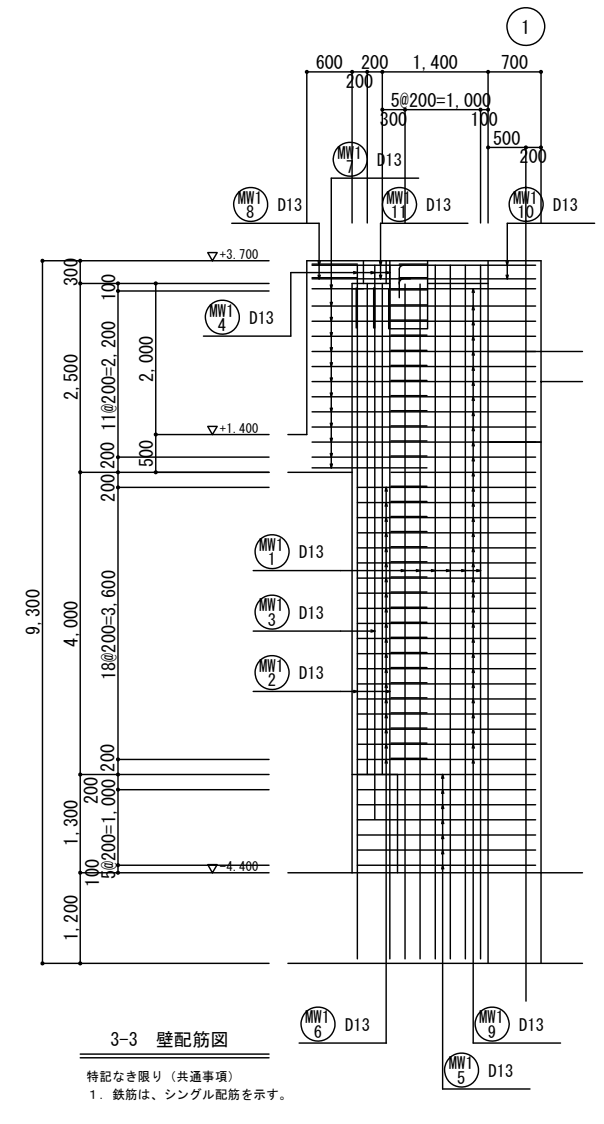
工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	壁配筋図 (15)
縮尺	1/50 図面番号 82/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課



1-1 壁配筋図

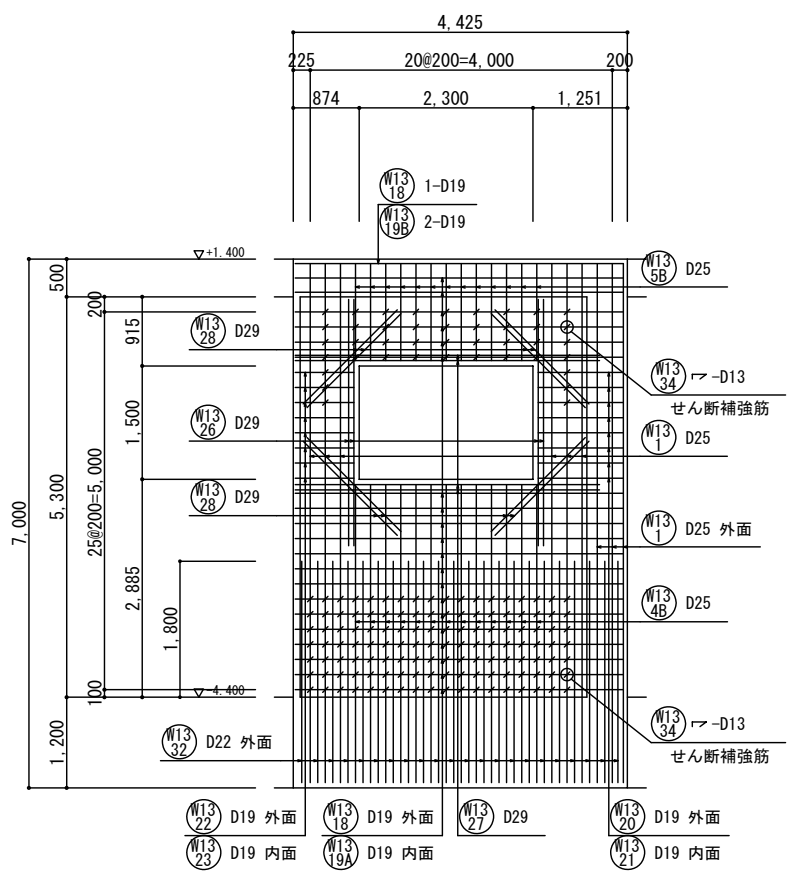


2-2 壁配筋図

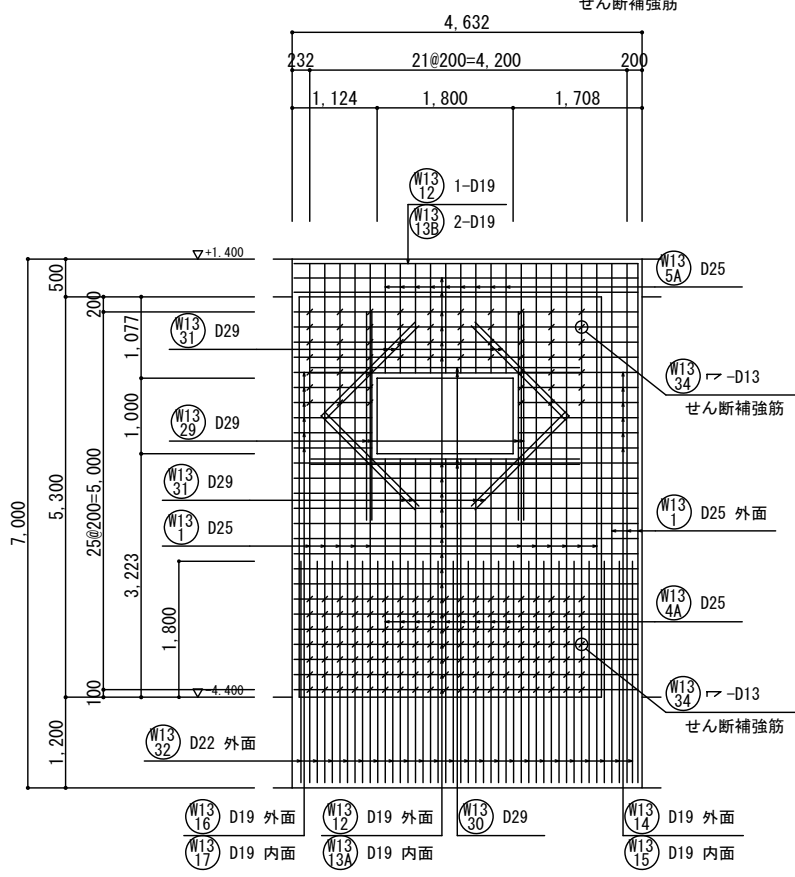


3-3 壁配筋図

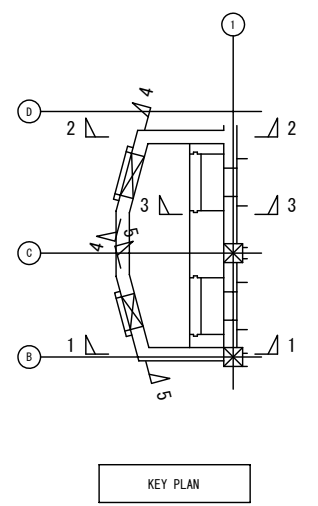
特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、シングル配筋を示す。



4-4 壁配筋図



5-5 壁配筋図

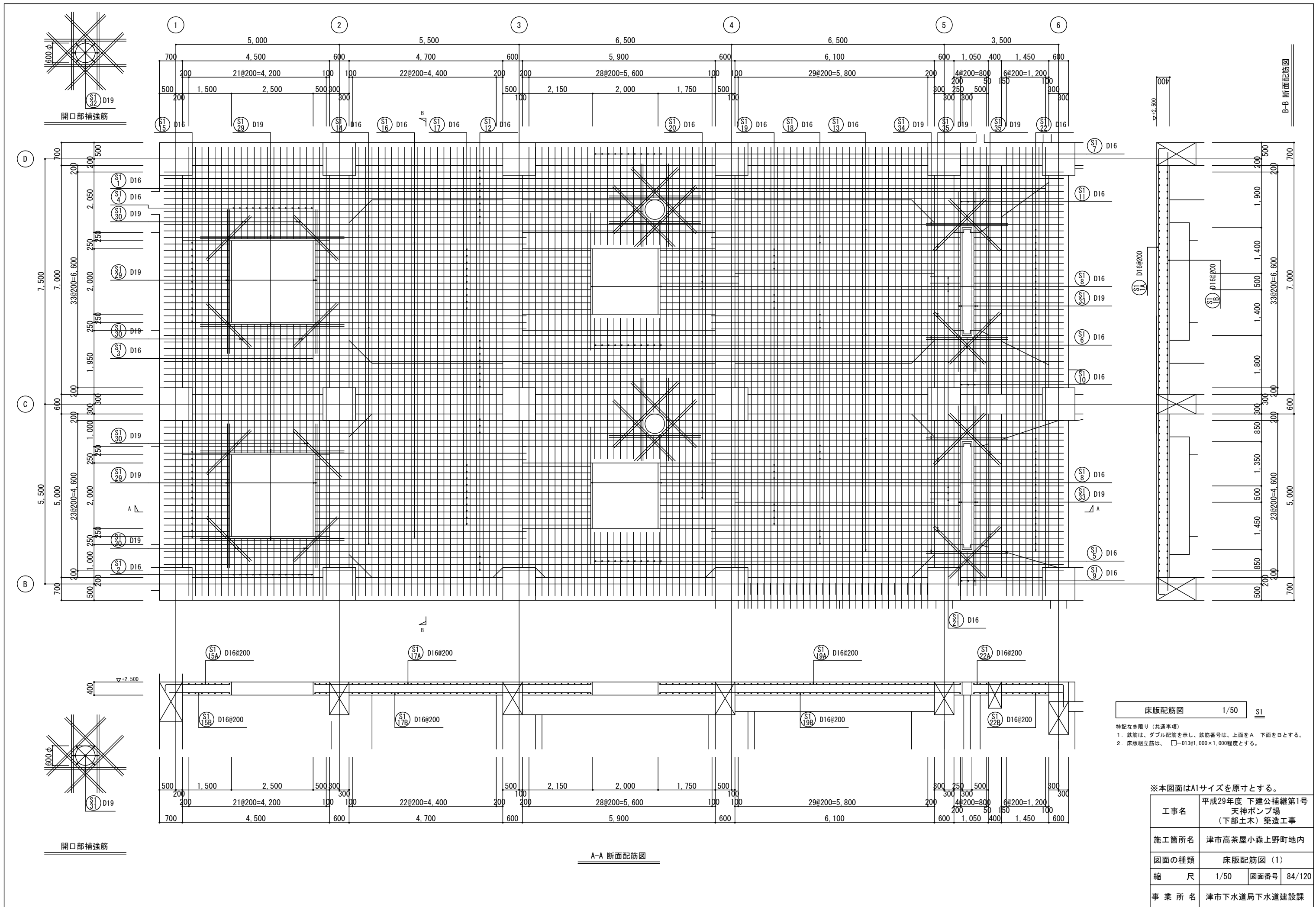


流入ゲート廻り壁配筋図 1/50 W13 MW1

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 \curvearrowright -D13@1,000×1,000程度とする。
但し、せん断補強筋のある部分は、幅止め筋兼用とする。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	壁配筋図 (16)		
縮尺	1/50	図面番号	83/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

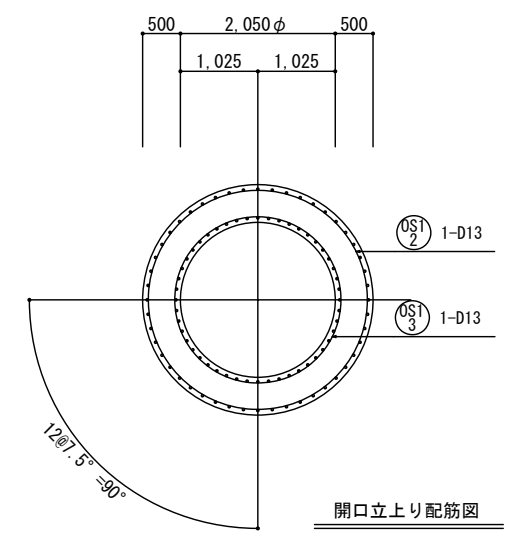
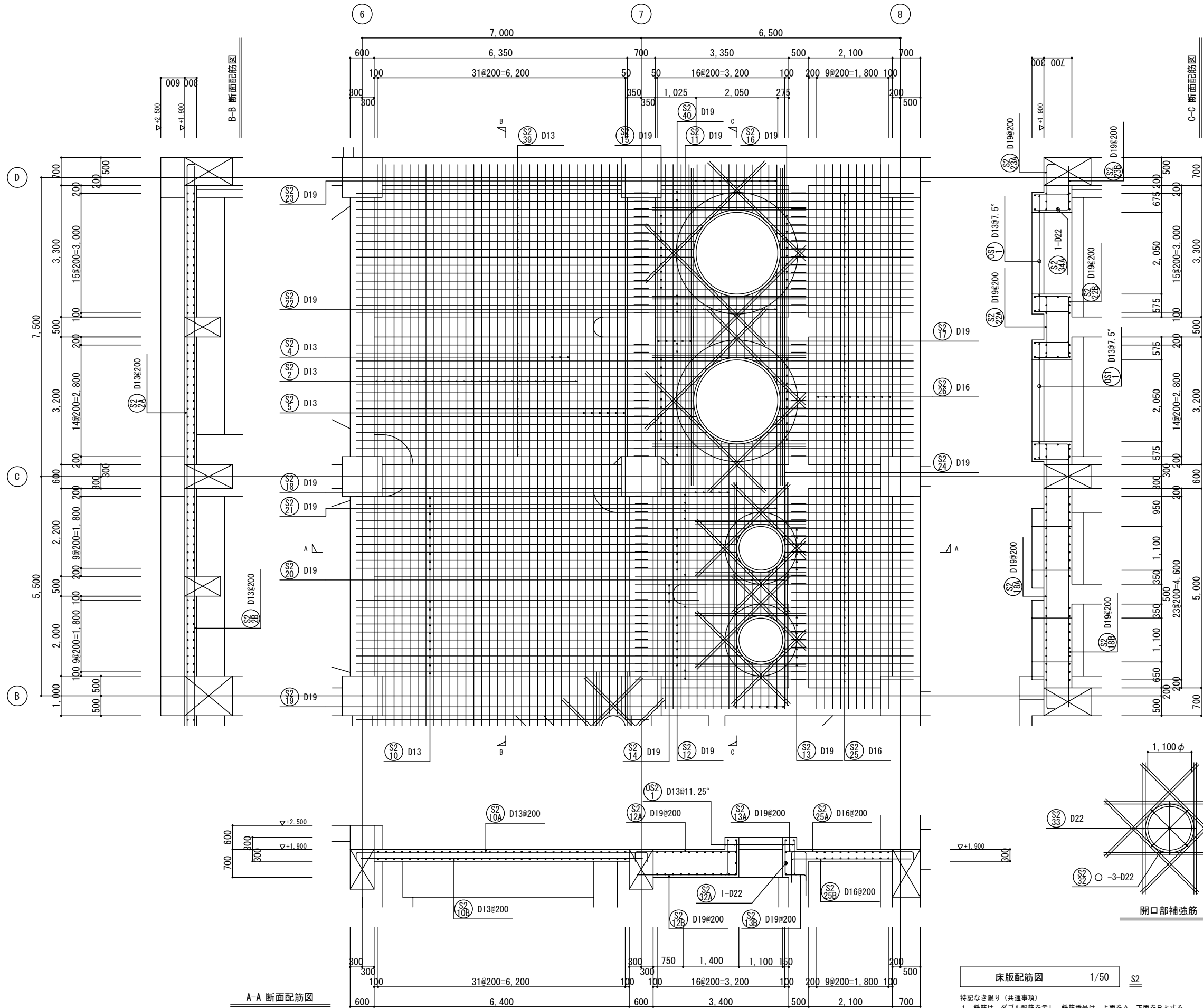


床版配筋図 1/50 S1

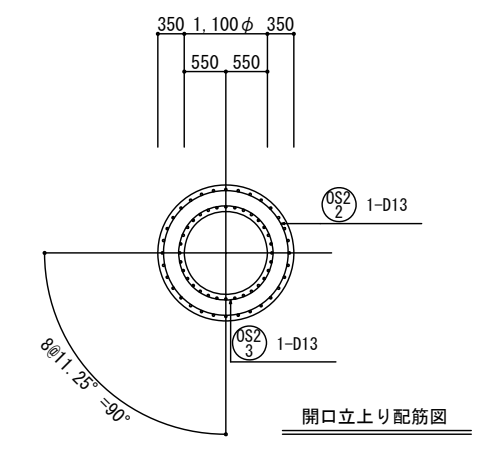
- 特記なき限り(共通事項)
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
 2. 床版組立筋は、□-D13@1,000×1,000程度とする。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

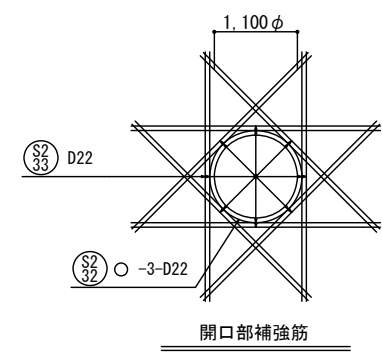
工事名	平成29年度 下建公補維第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	床版配筋図 (1)		
縮尺	1/50	図面番号	84/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



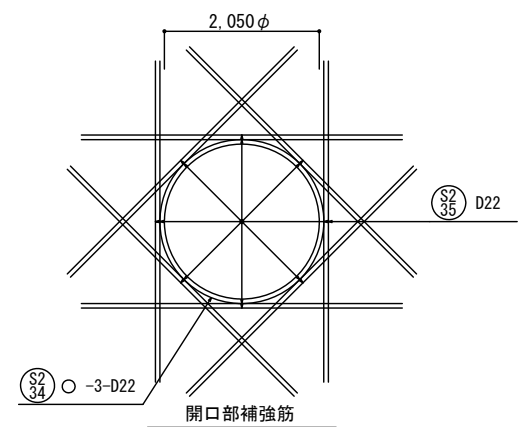
開口立上り配筋図



開口立上り配筋図



開口部補強筋



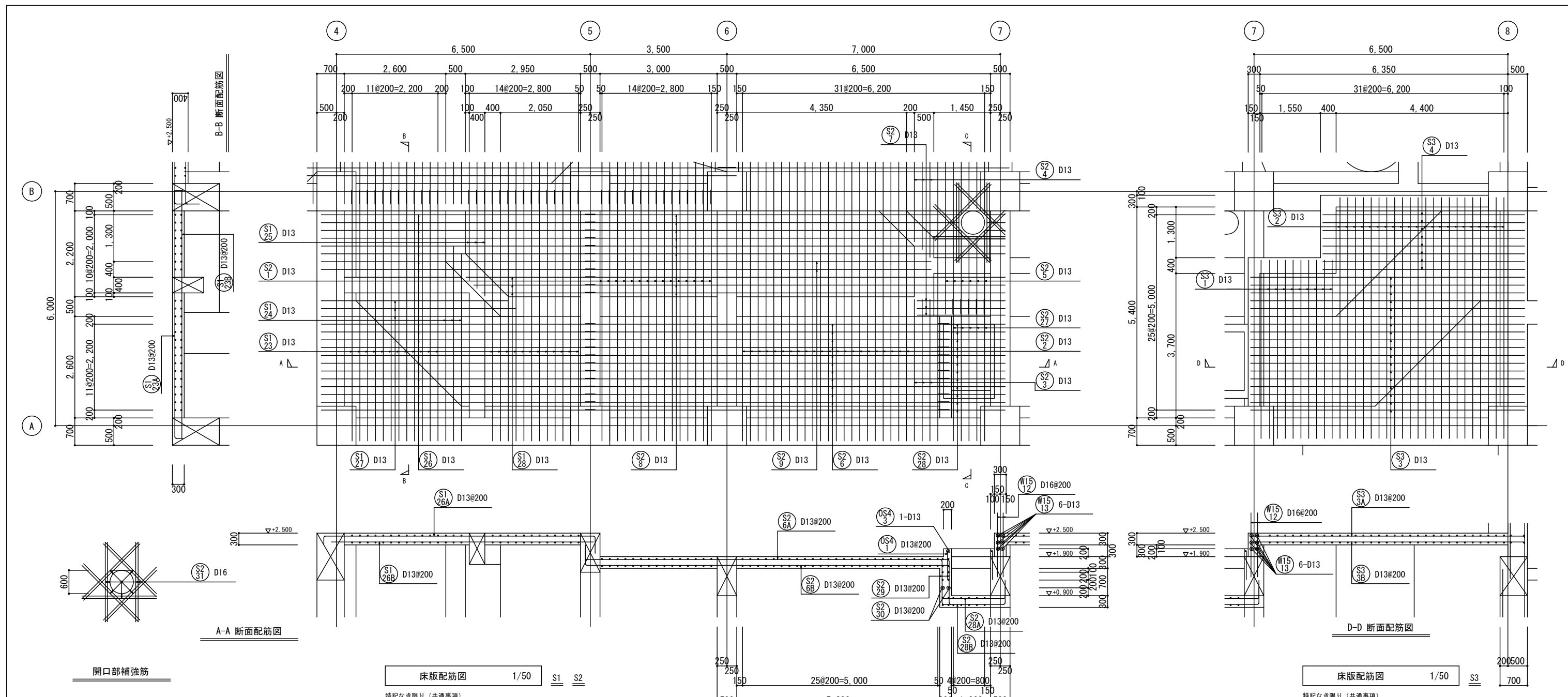
開口部補強筋

※本図面はA1サイズを原寸とする。

床版配筋図 1/50 S2

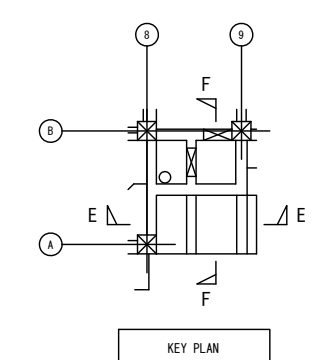
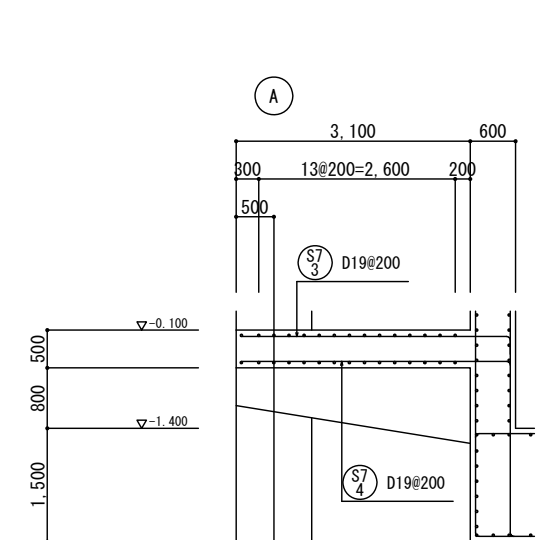
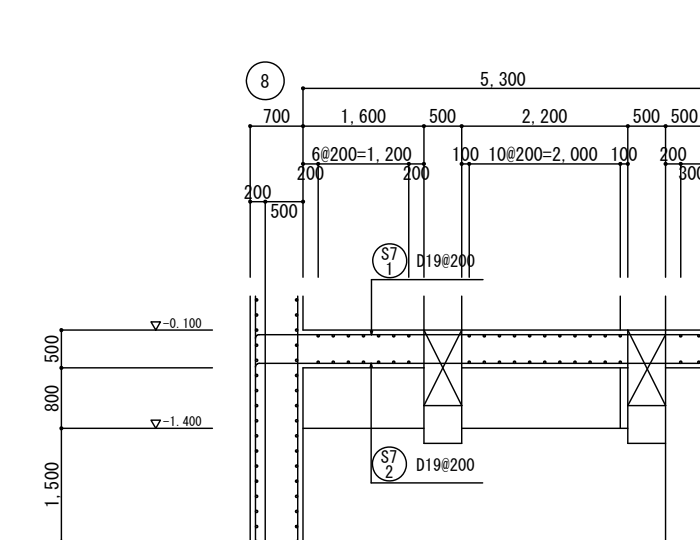
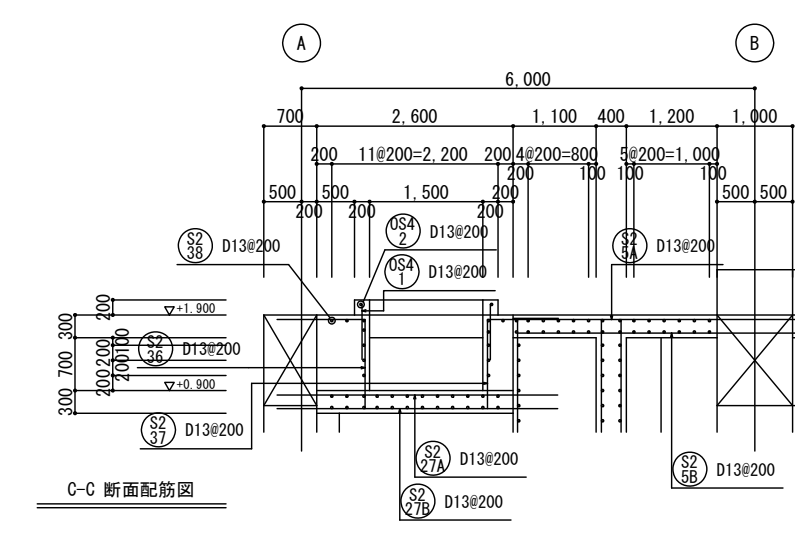
特記なき限り(共通事項)
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
 2. 床版相立筋は、□-D13#1,000×1,000程度とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	床版配筋図 (2)		
縮尺	1/50	図面番号	85/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



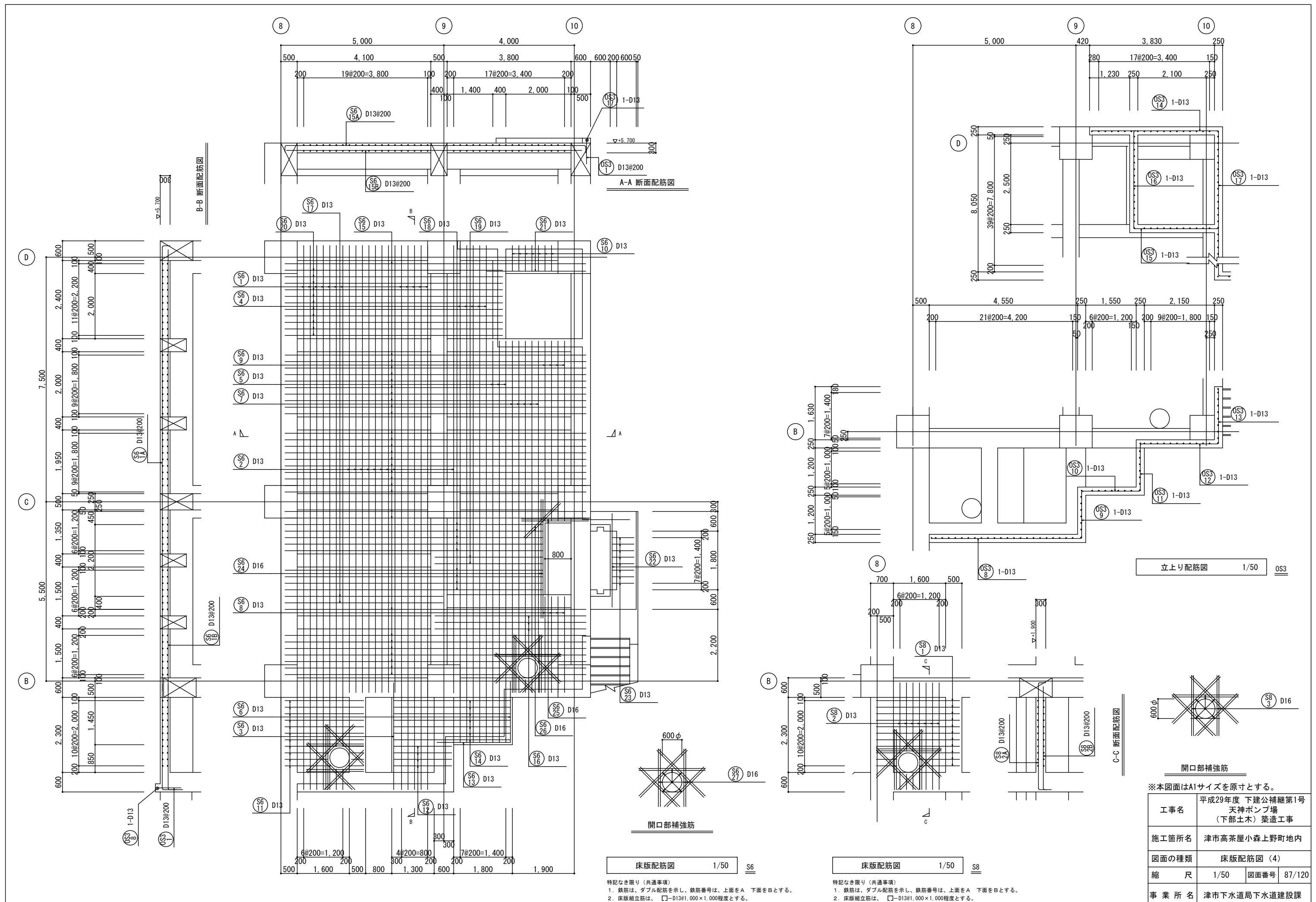
特記なき限り (共通事項)
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
 2. 床版組立筋は、□-D13#1,000×1,000程度とする。

特記なき限り (共通事項)
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
 2. 床版組立筋は、□-D13#1,000×1,000程度とする。



※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事	
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内	
図面の種類	床版配筋図 (3)	
縮尺	1/50	図面番号 86/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課	



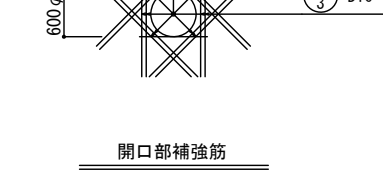
床版配筋図 1/50 S6

特記なき限り(共通事項)
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
 2. 床版組立筋は、【】-D13@1,000×1,000程度とする。

床版配筋図 1/50 S8

特記なき限り(共通事項)
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
 2. 床版組立筋は、【】-D13@1,000×1,000程度とする。

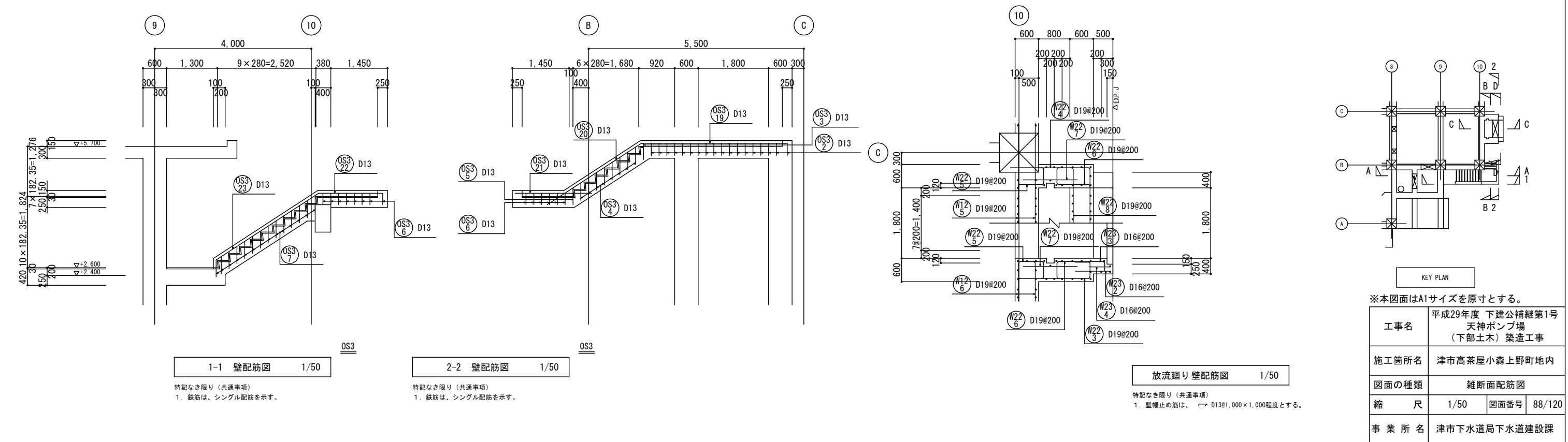
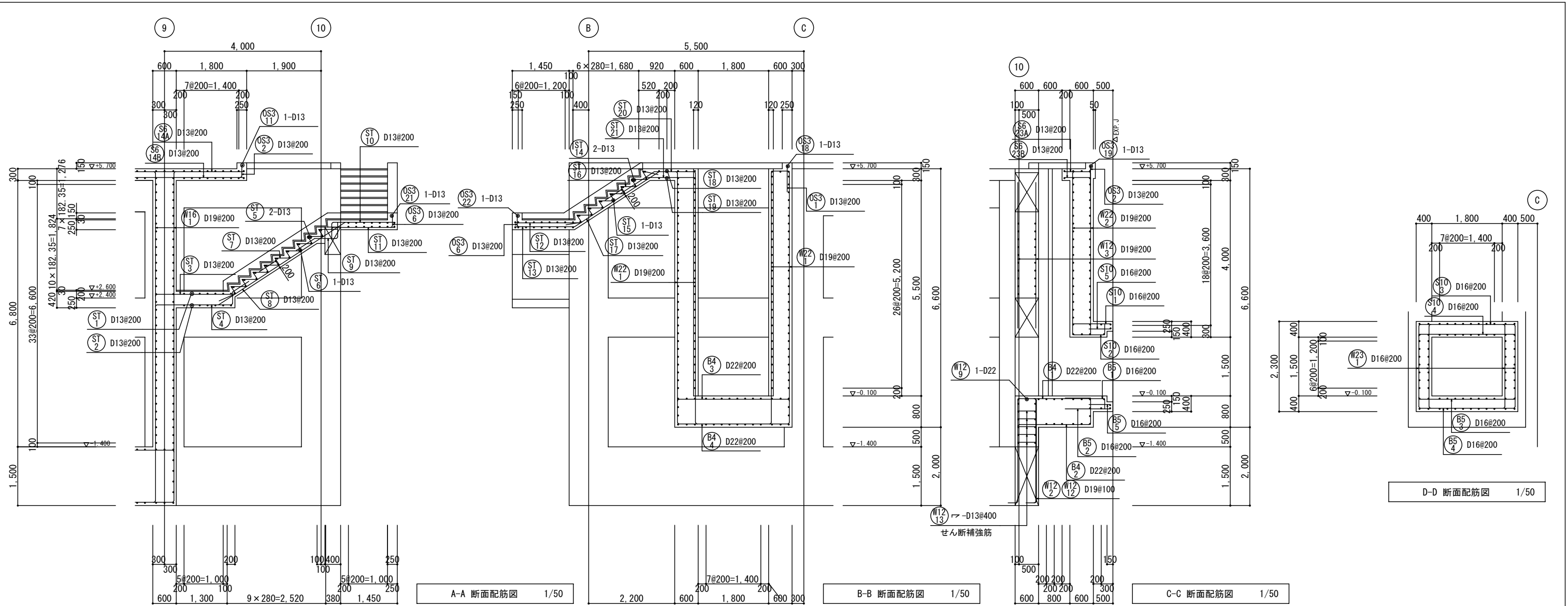
立上り配筋図 1/50 OS3



開口部補強筋

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	床版配筋図 (4)		
縮尺	1/50	図面番号	87/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



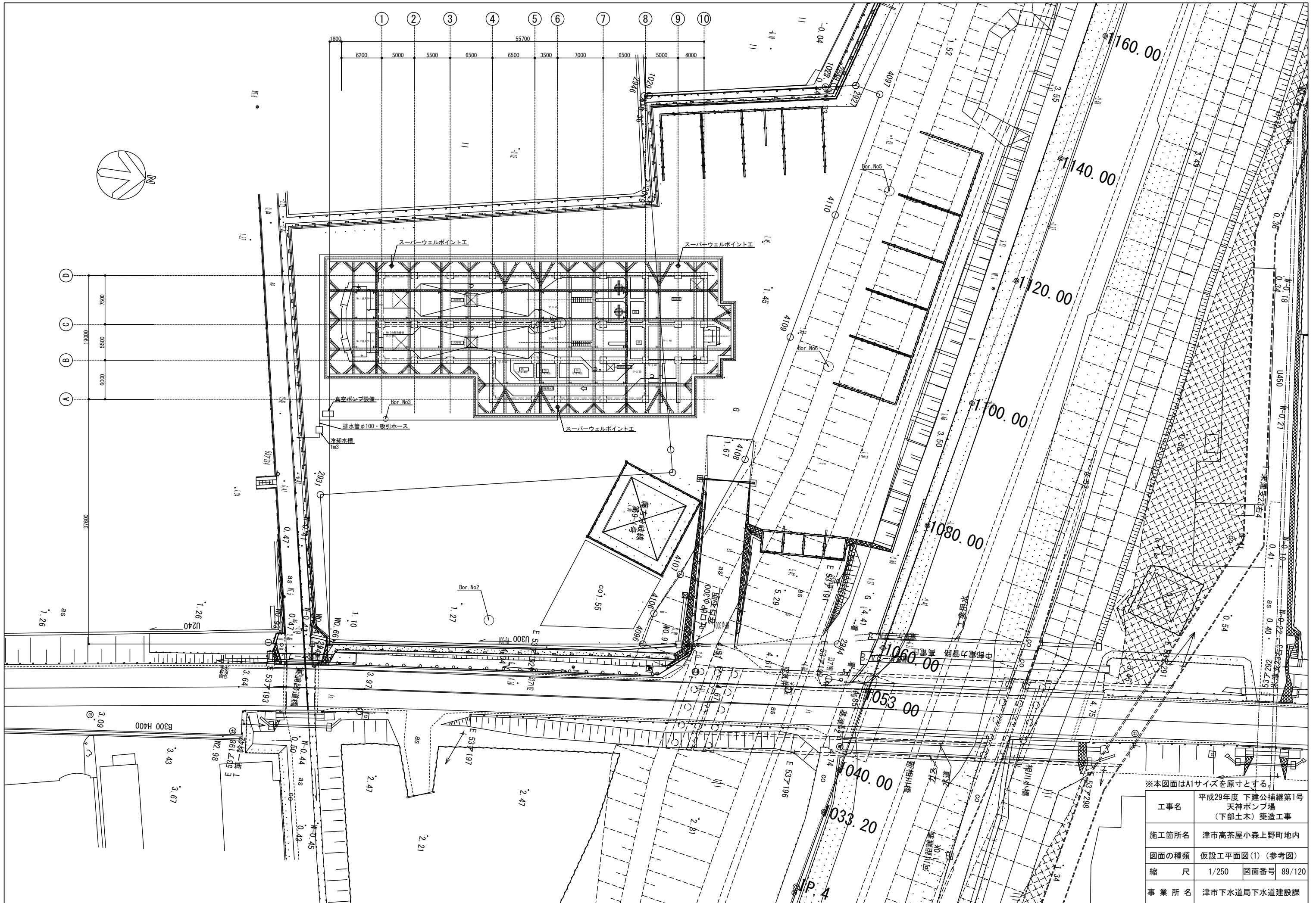
特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、シングル配筋を示す。

特記なき限り（共通事項）
1. 鉄筋は、シングル配筋を示す。

特記なき限り（共通事項）
1. 壁幅止め筋は、 \nearrow D13@1,000×1,000程度とする。

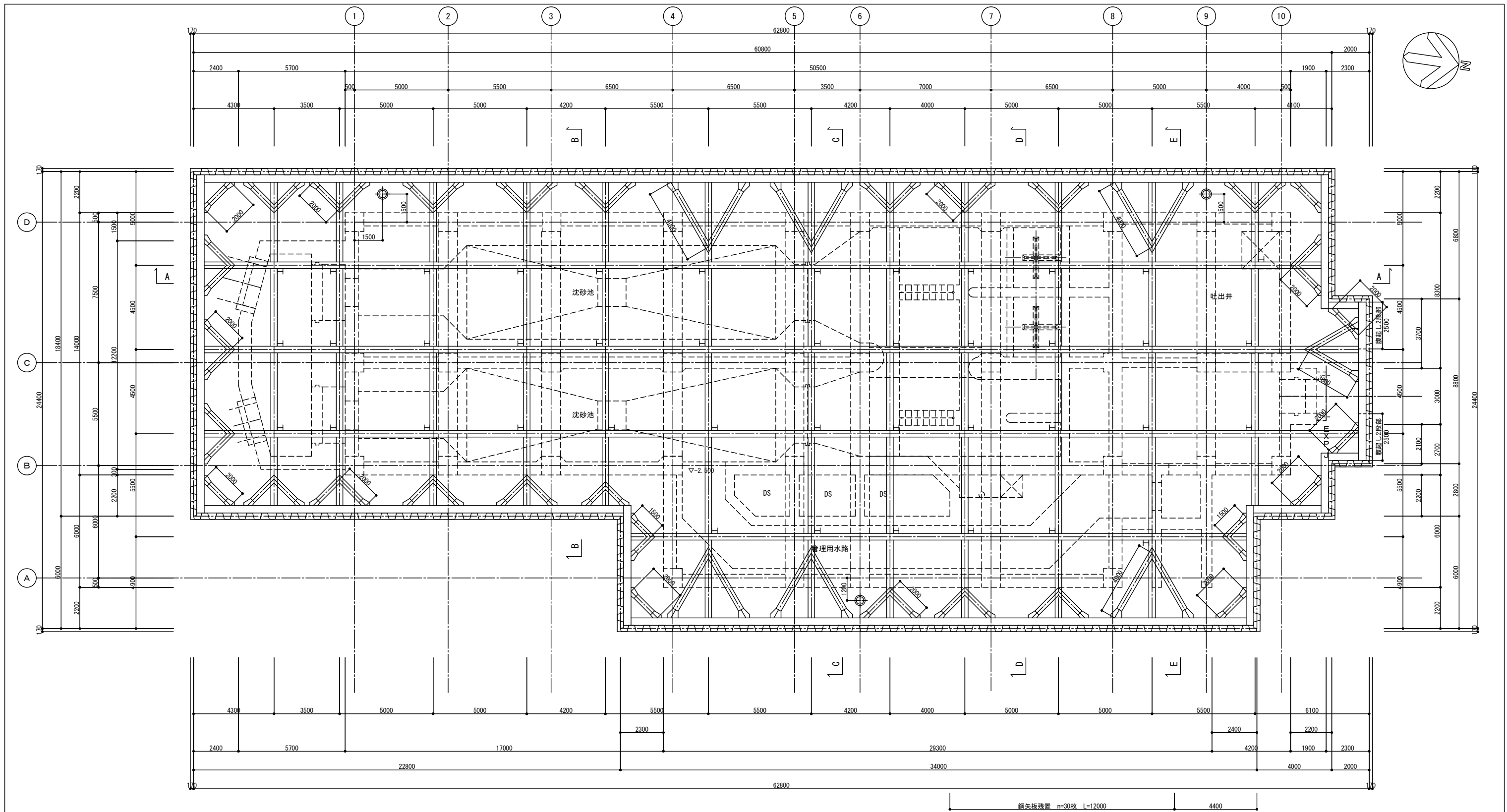
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事	
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内	
図面の種類	雑断面配筋図	
縮尺	1/50	図面番号 88/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課	



※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	仮設工平面図(1) (参考図)		
縮尺	1/250	図面番号	89/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



仮設工 平面図(掘削時1,2段支保) S=1/100

鋼矢板 材料表

位置	全 域
鋼材	SP-IV (SY295) @400
矢板長	15.00m
施工長	14.50m
本数	436枚

支保工 材料表

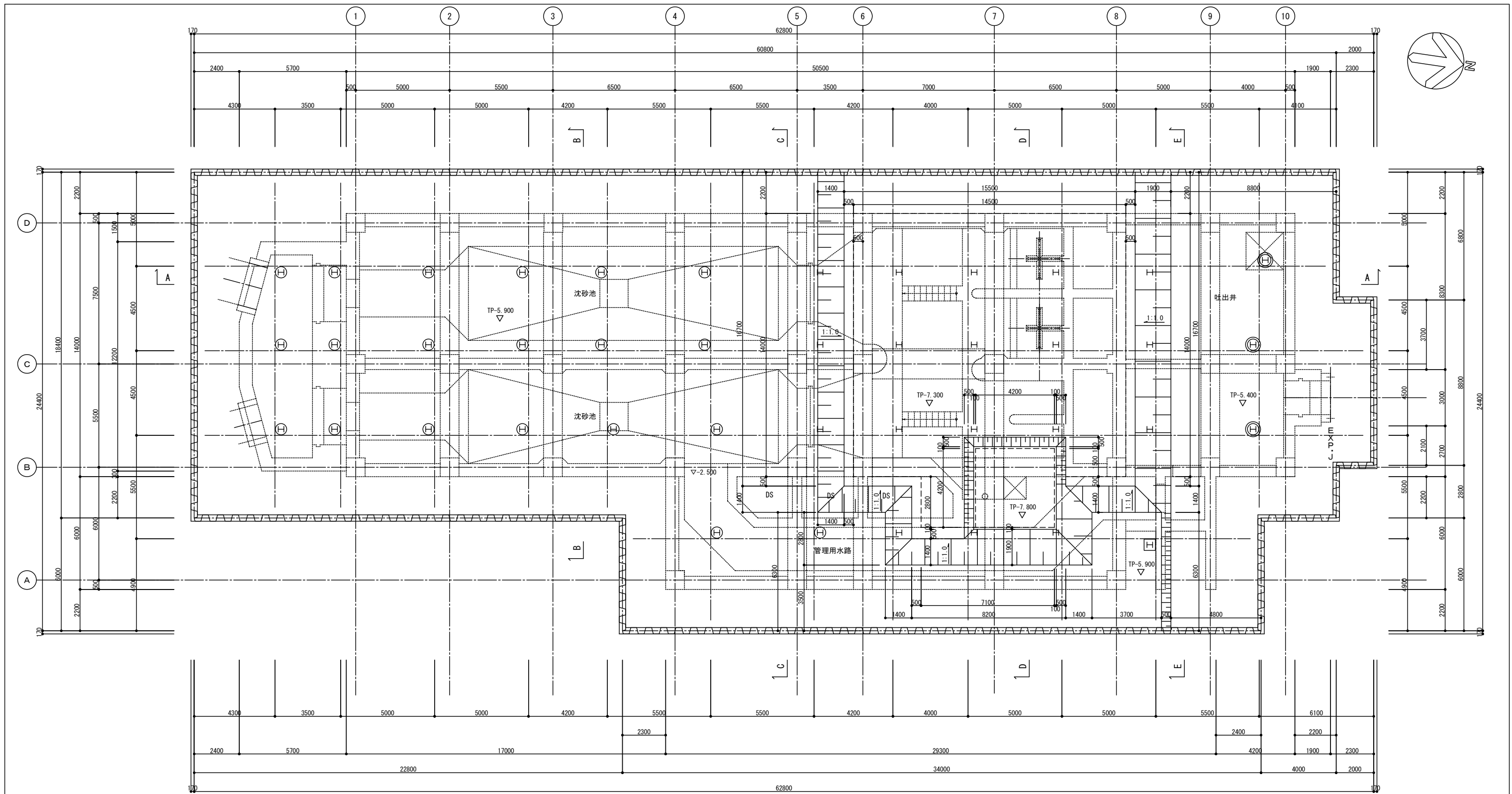
段	切 梁	腹 起 し	火 打 ち
1 段目	H-300×300×10×15 (加工)	H-350×350×12×19 (加工)	H-300×300×10×15 (加工)
2 段目	H-350×350×12×19 (加工)	H-400×400×13×21 (加工)	H-300×300×10×15 (加工)

注記) 1. 土留壁及び中間杭の施工は現況地盤高 (TP+1.40m) より、0.5m満掘りしたTP+0.90mからとする。

スーパーウェルポイント 3箇所

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	仮設工平面図(2) (参考図)		
縮 尺	1/100	図面番号	90/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

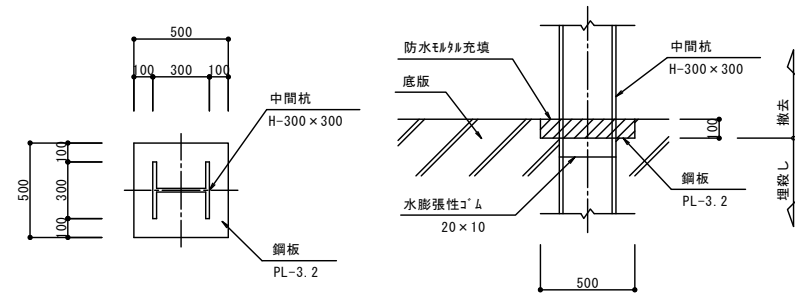


仮設工 平面図(底面部) S=1/100

中間杭 材料表

鋼材	H-300×300×10×15 (SS400)			
位置	底版TP-5.50m	底版TP-4.40m	底版TP-1.40m	底版TP-0.10m (地下燃料タンク)
杭長	11.00m	9.50m	9.00m	11.00m
本数	18本	20本	3本	1本
撤去長	2.90m 3本 5.90m 6本 7.00m 9本	5.90m	2.90m	1.60m

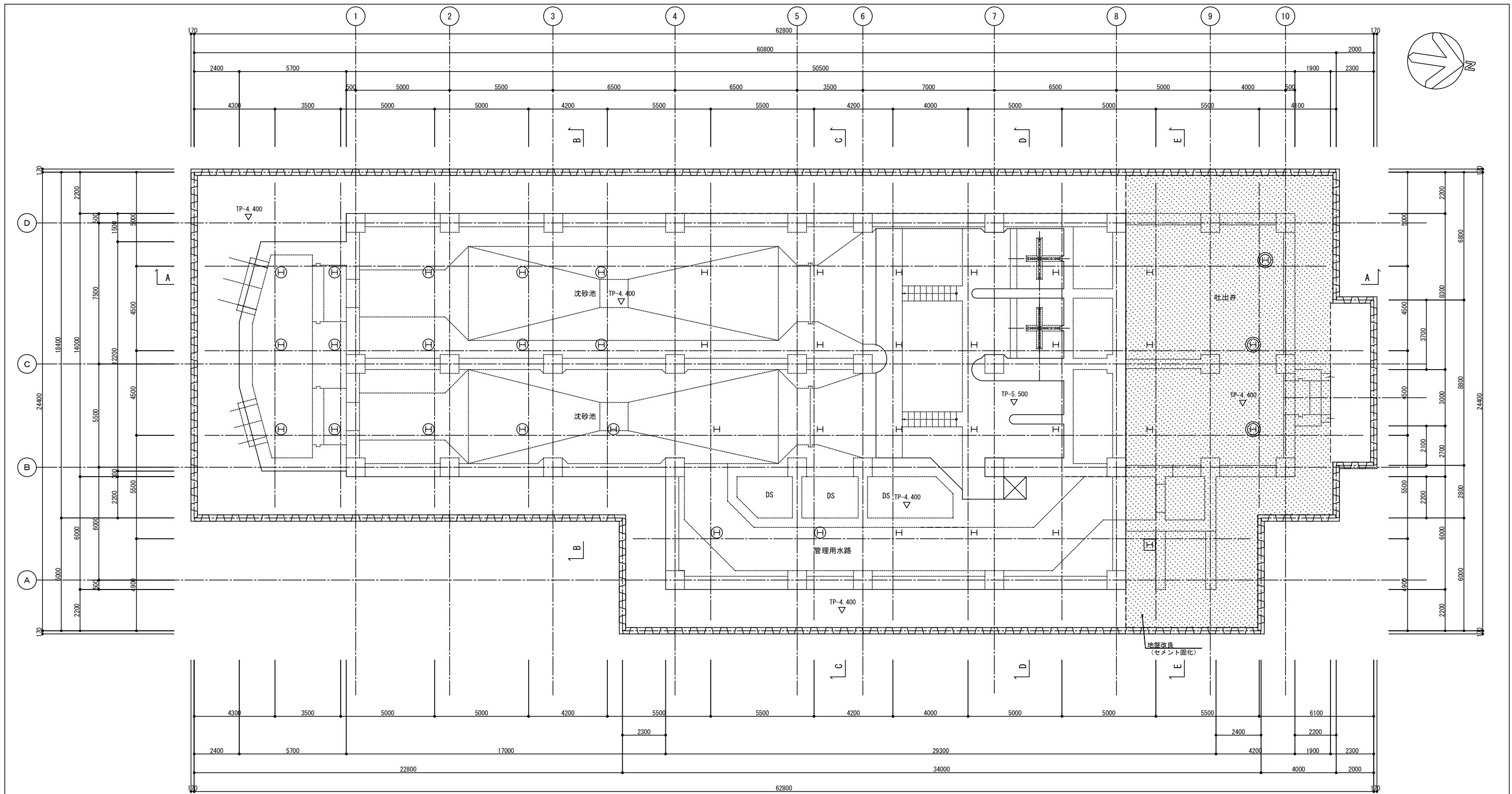
注記
1. 土留壁及び中間杭の施工は現況地盤高 (TP+1.40m) より、0.5m満掘りしたTP+0.90mからとする。



中間杭切断工 詳細図 1/20

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	仮設工平面図(3) (参考図)		
縮尺	1/100	図面番号	91/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



盛替工平面図 (2段支保撤去) S=1/100

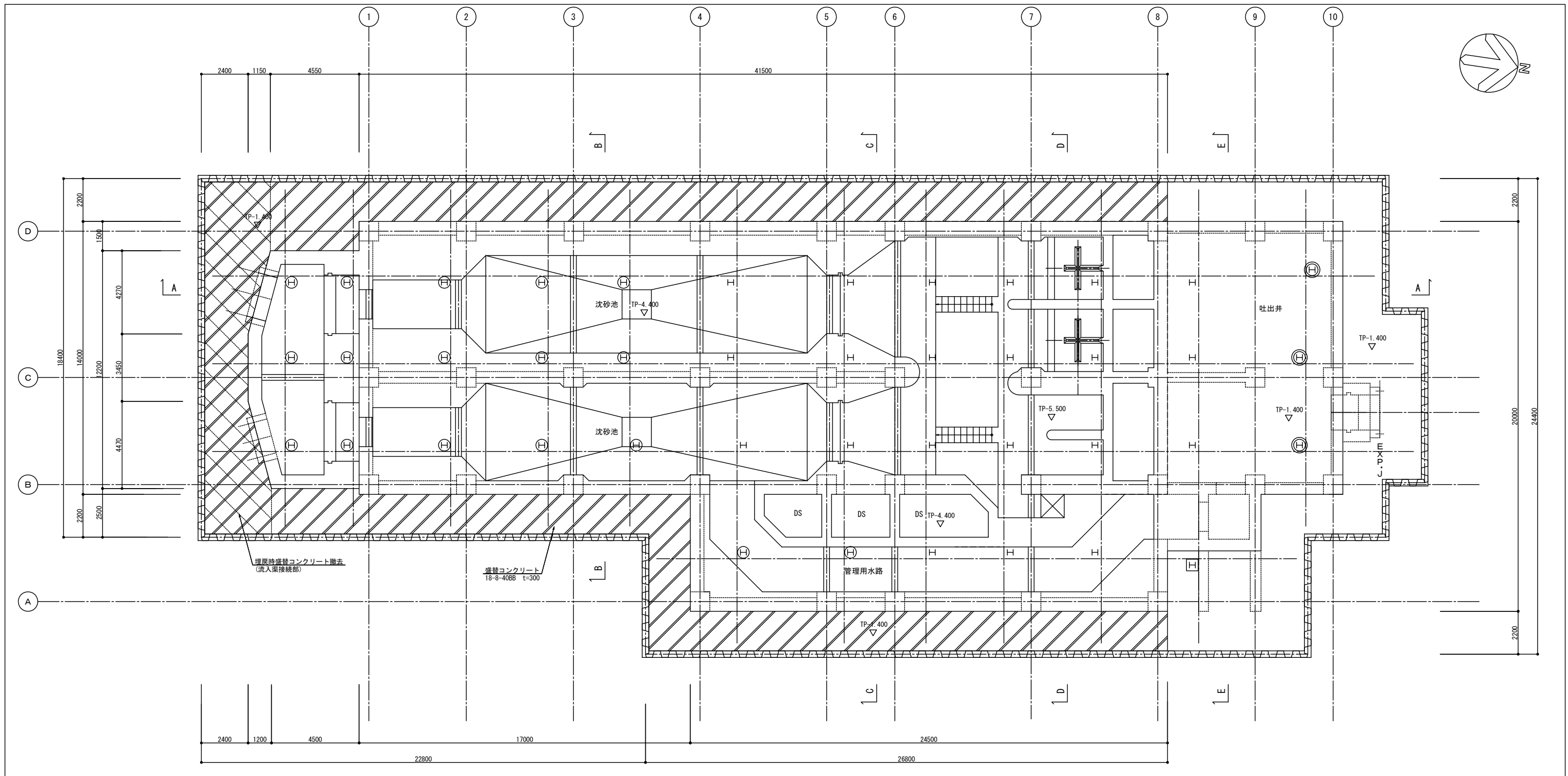
盛替梁 材料表

段	切 梁	腹 起 し	火 打 ち	盛替梁高さ
2段目撤去時	-	-	-	TP-4, 40

注記)
 1. 河川保全区域内は、必ず発生土により埋戻すこと。
 (地盤改良工と区分すること)
 2. 矢板引抜後の空隙処置を確実にすること。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	仮設工平面図(4) (参考図)		
縮 尺	1/100	図面番号	92/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



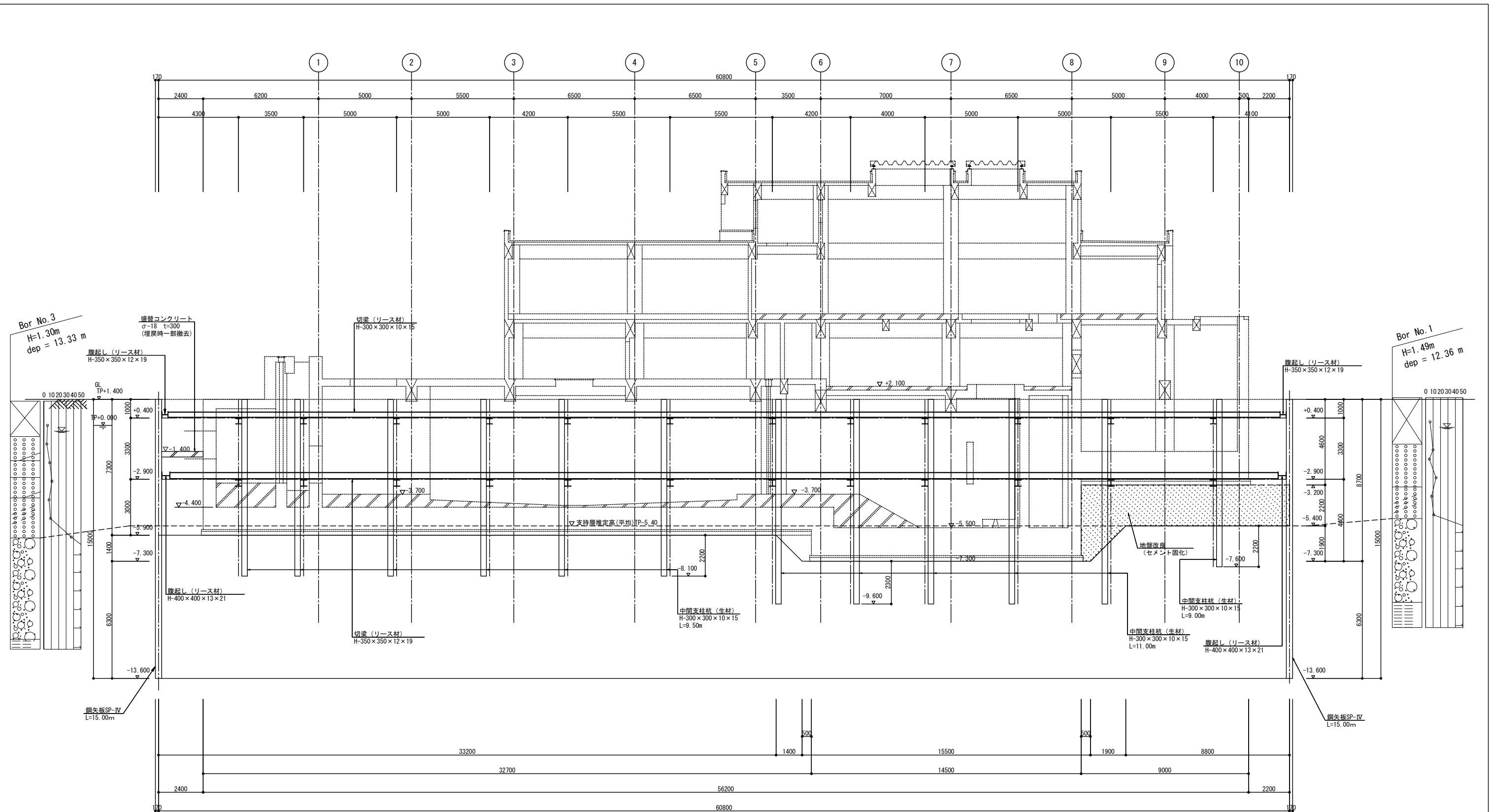
盛替工平面図 (1段支保撤去) S=1/100

盛替梁 材料表

段	切 梁	腹 起 し	火 打 ち	盛替梁高さ
1段目撤去時	H-300×300×10×15 (加工)	-	-	TP-1.40

※本図面はA1サイズを原寸とする。

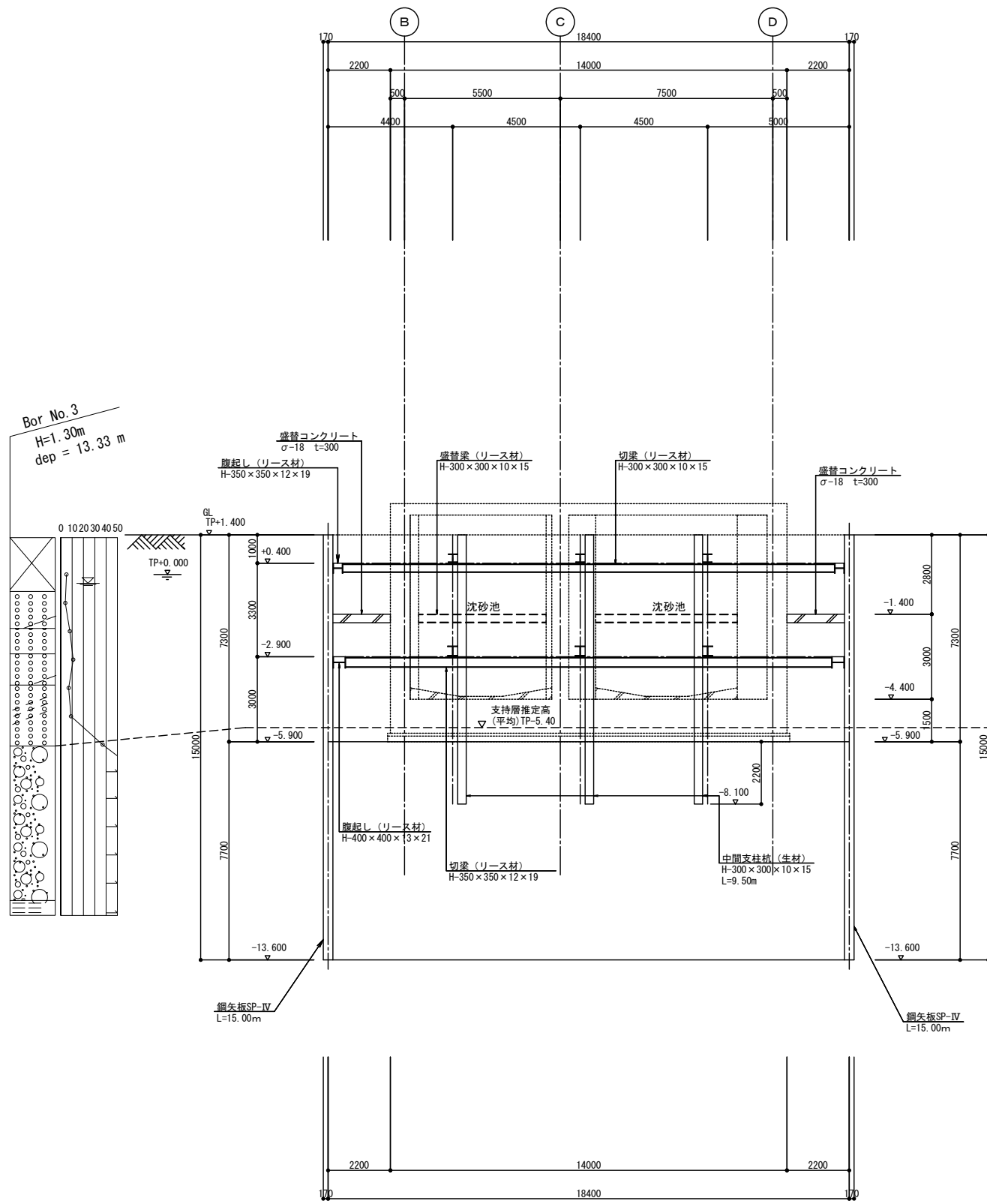
工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	仮設工平面図(5) (参考図)		
縮 尺	1/100	図面番号	93/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



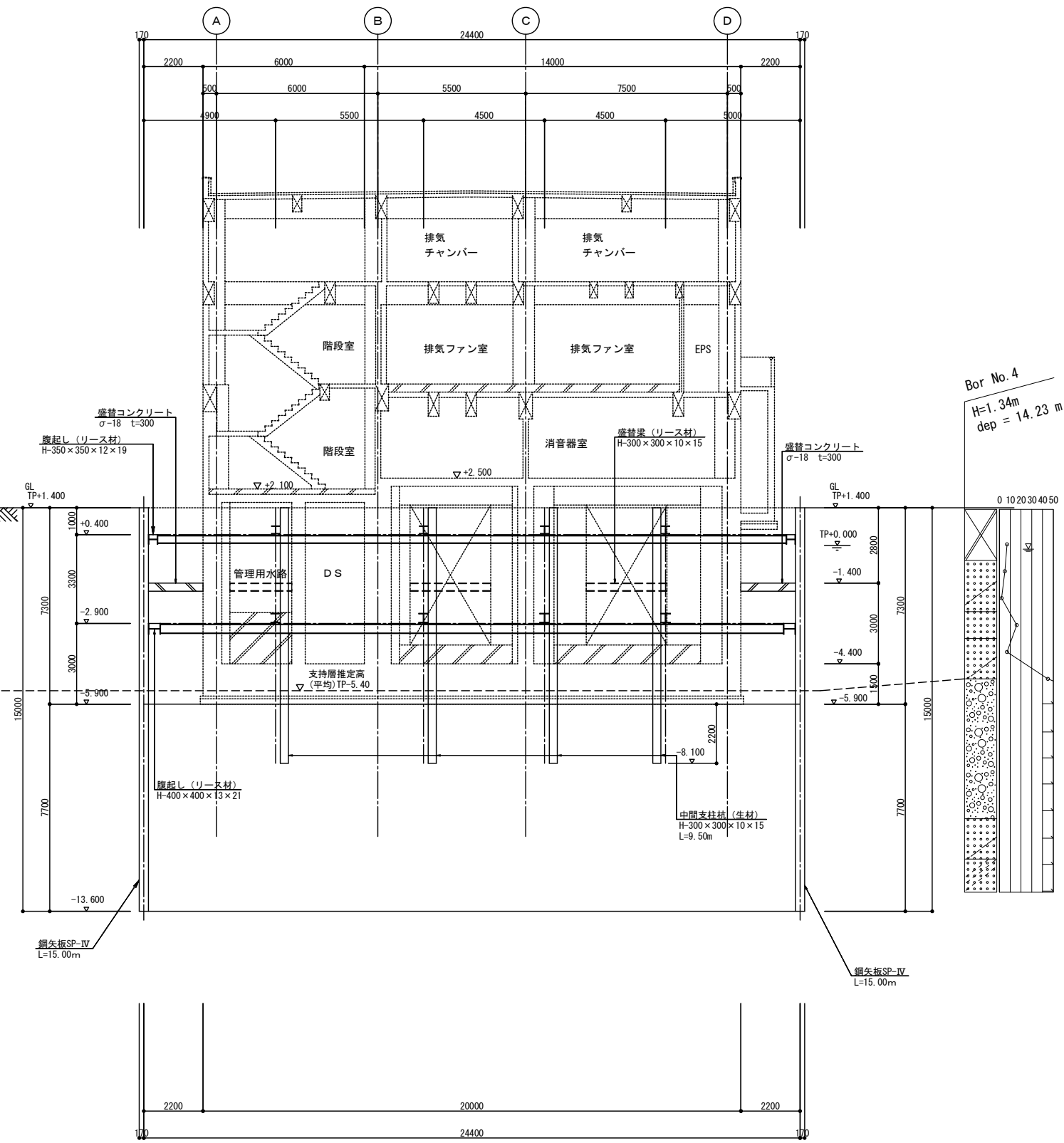
A-A断面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	仮設工断面図(1) (参考図)		
縮尺	1/100	図面番号	94/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



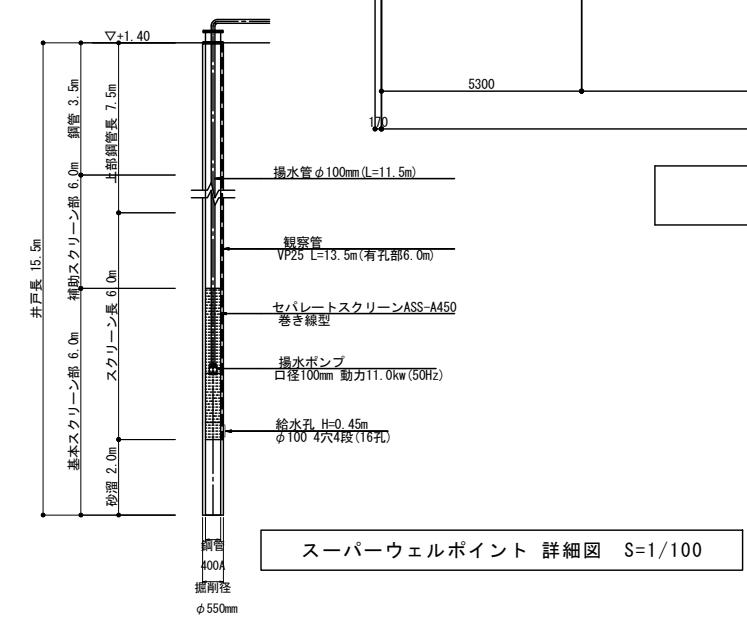
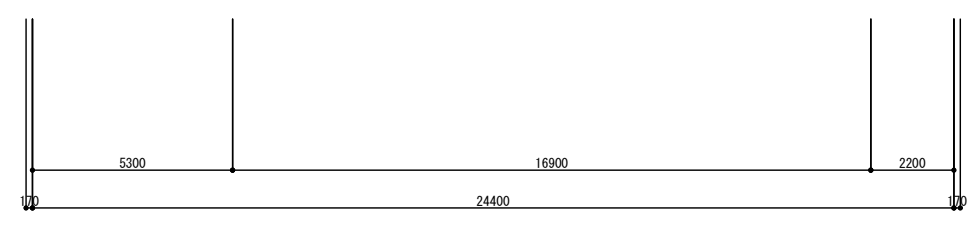
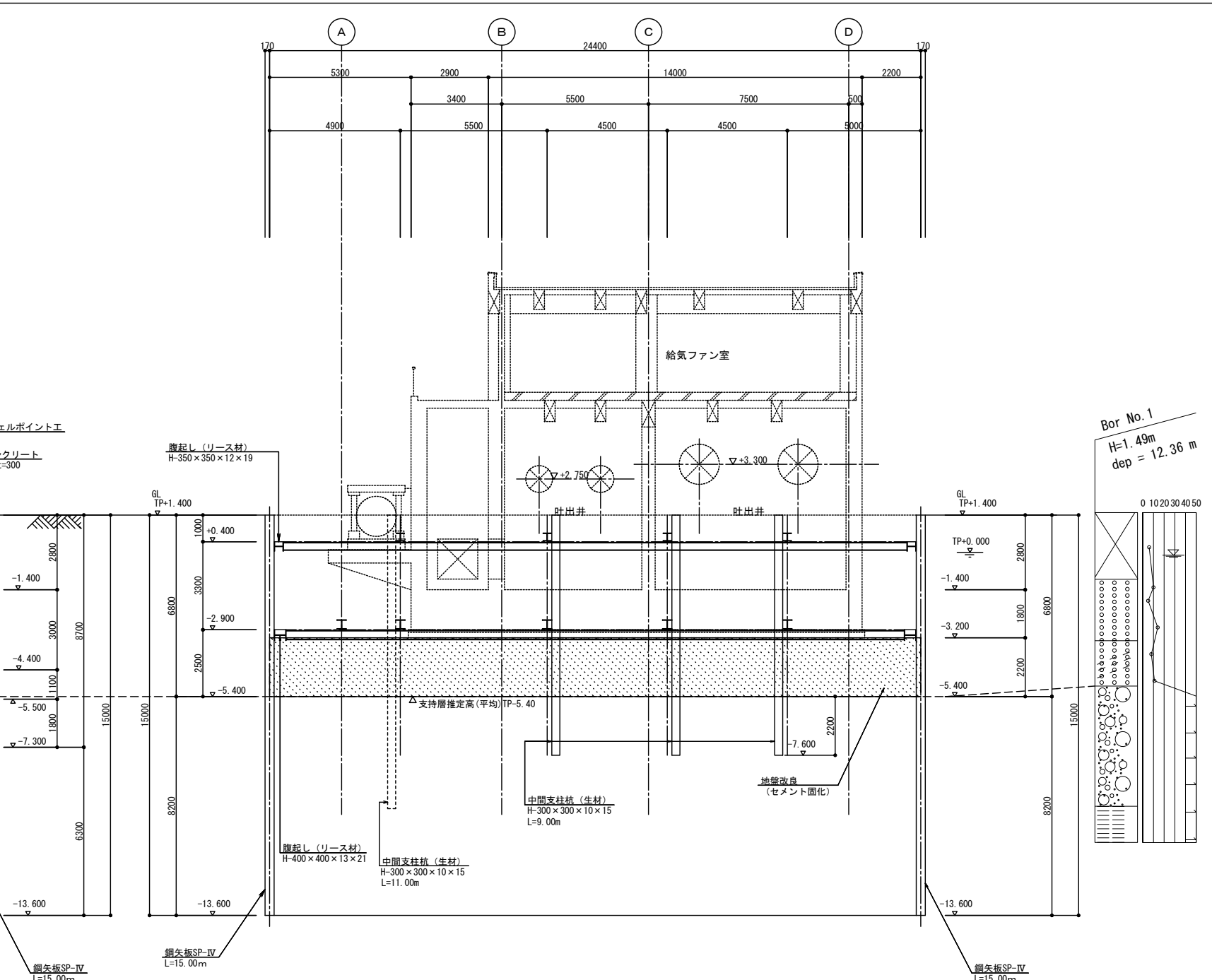
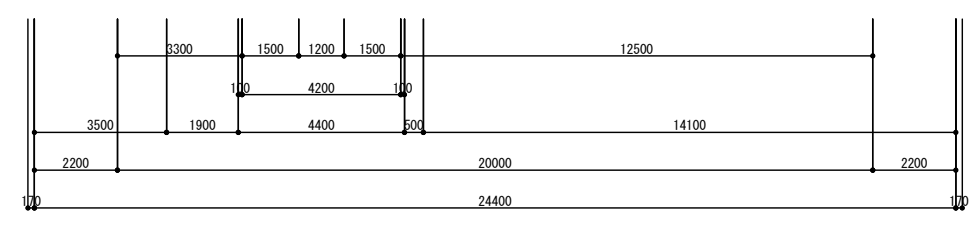
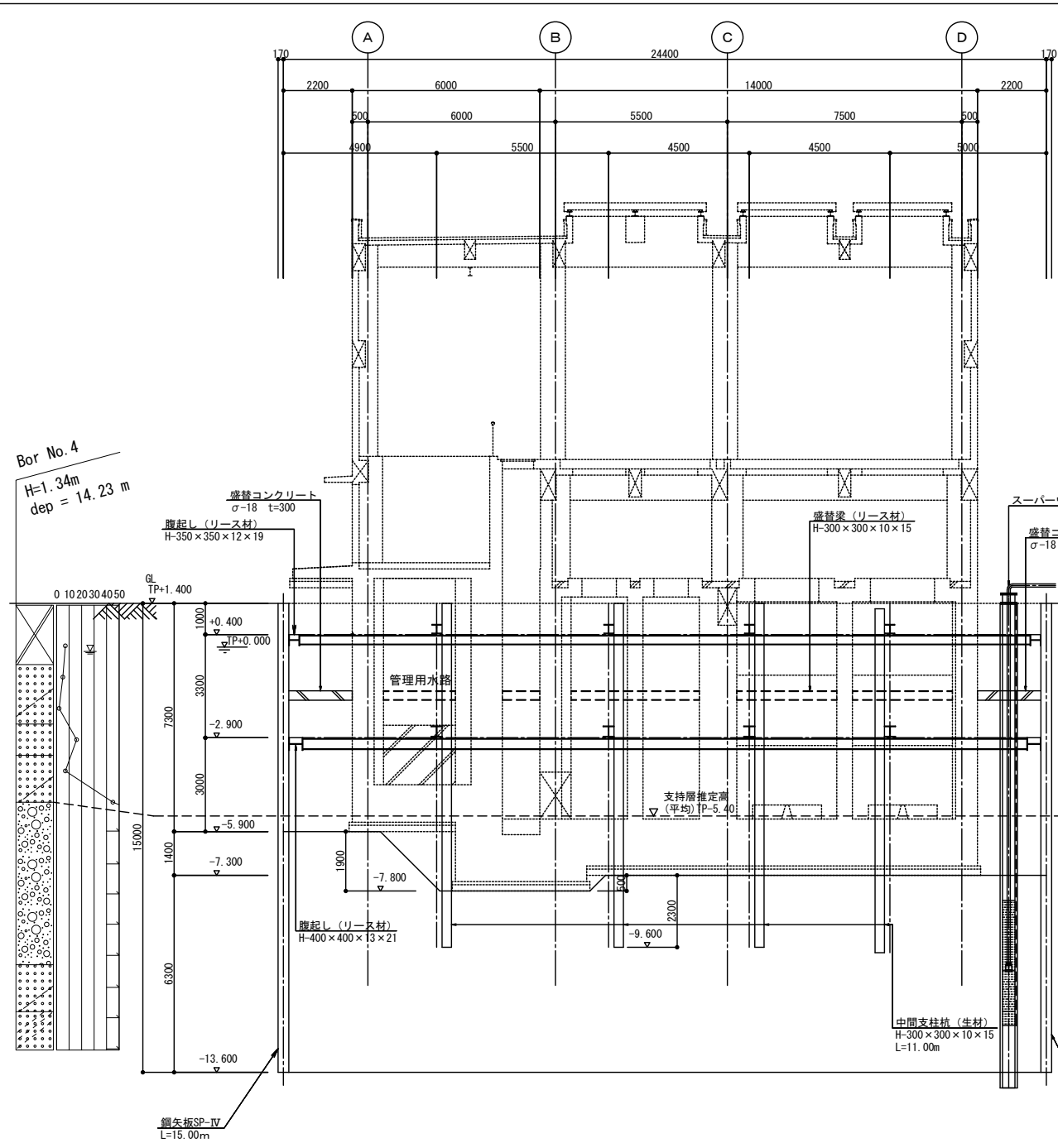
B-B断面図 S=1/100



C-C断面図 S=1/100

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	仮設工断面図(2) (参考図)		
縮尺	1/100	図面番号	95/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

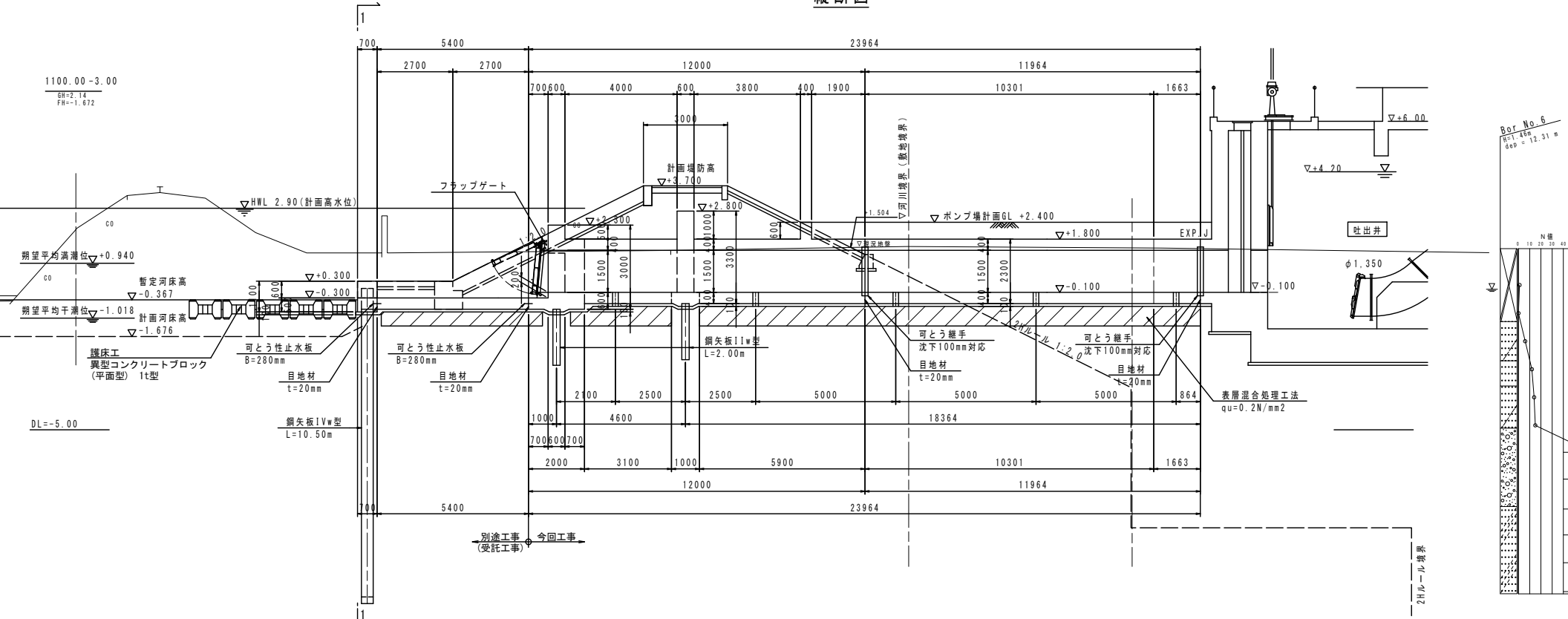


※本図面はA1サイズを原寸とする。

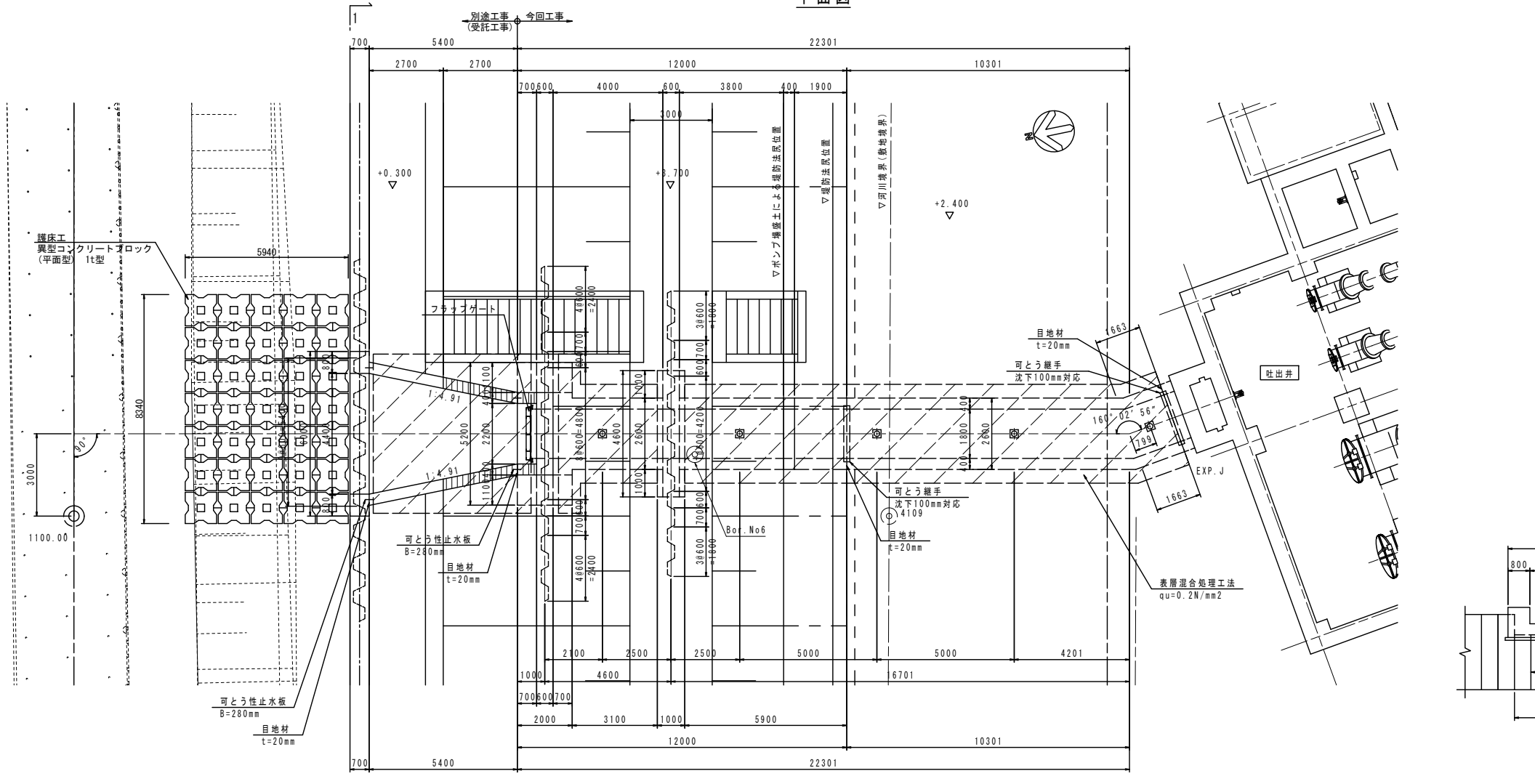
工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	仮設工断面図(3) (参考図)		
縮尺	1/100	図面番号	96/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

樋門一般図 S=1:100

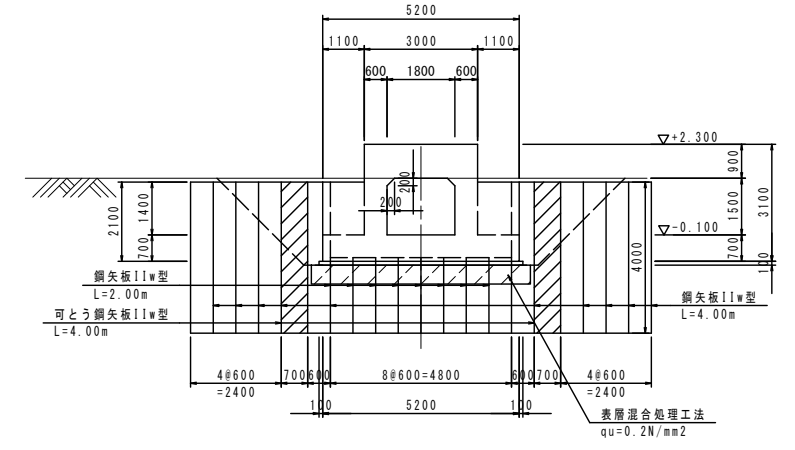
縦断面図



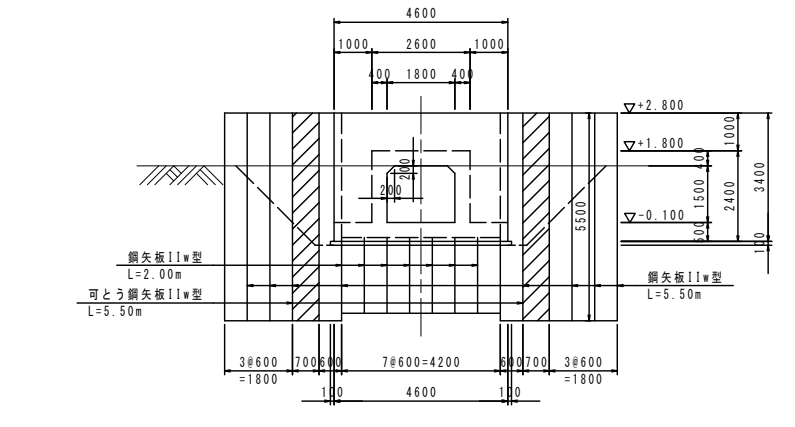
平面図



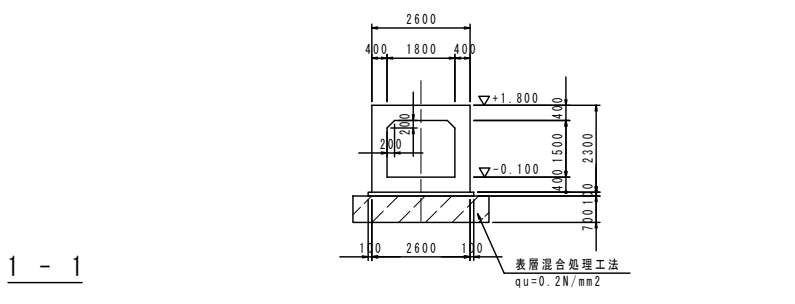
川表胸壁部



遮水壁部



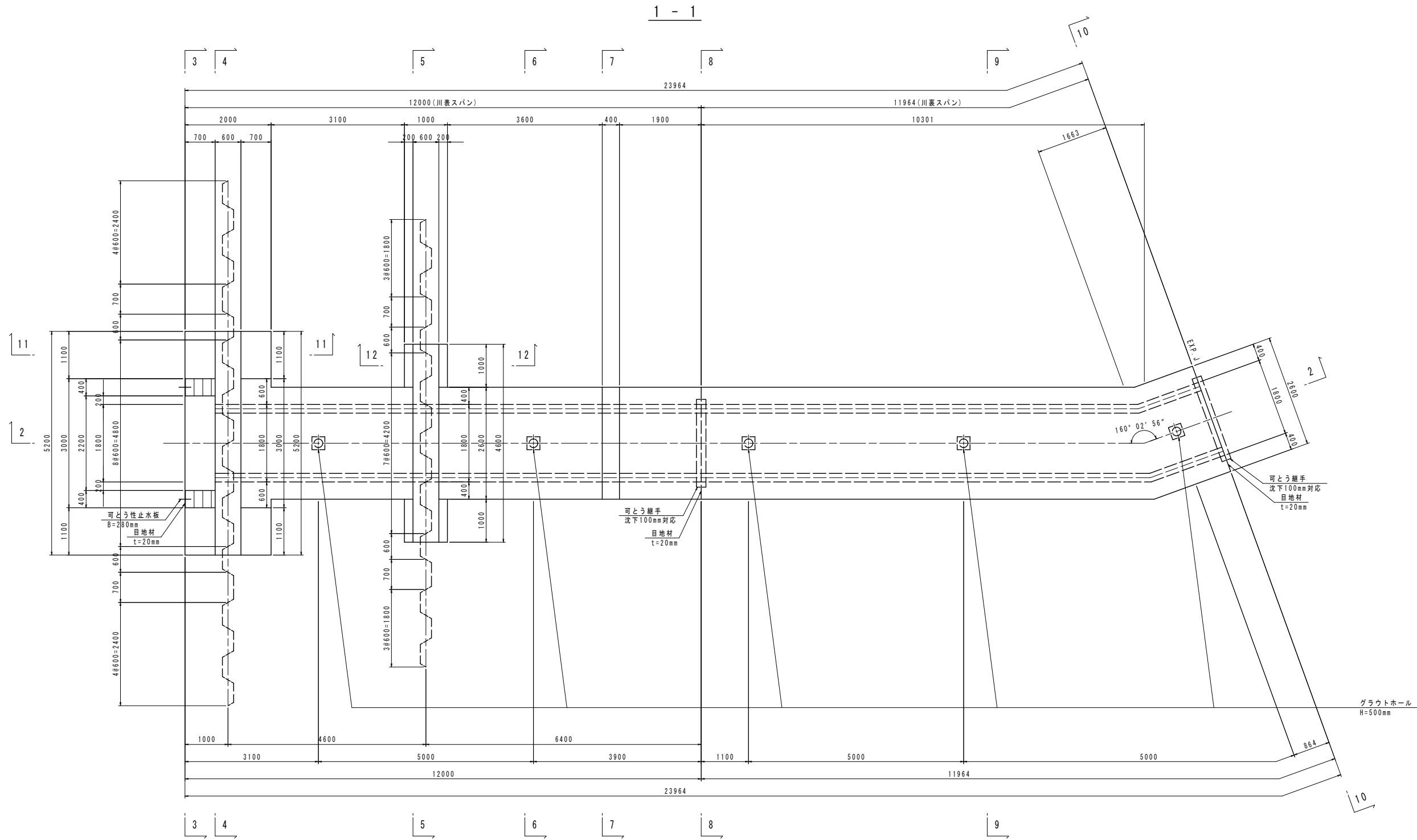
標準部



※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事	
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内	
図面の種類	樋門一般図	
縮尺	1/100	図面番号 97/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課	

樋門本体構造図(1) S=1:50



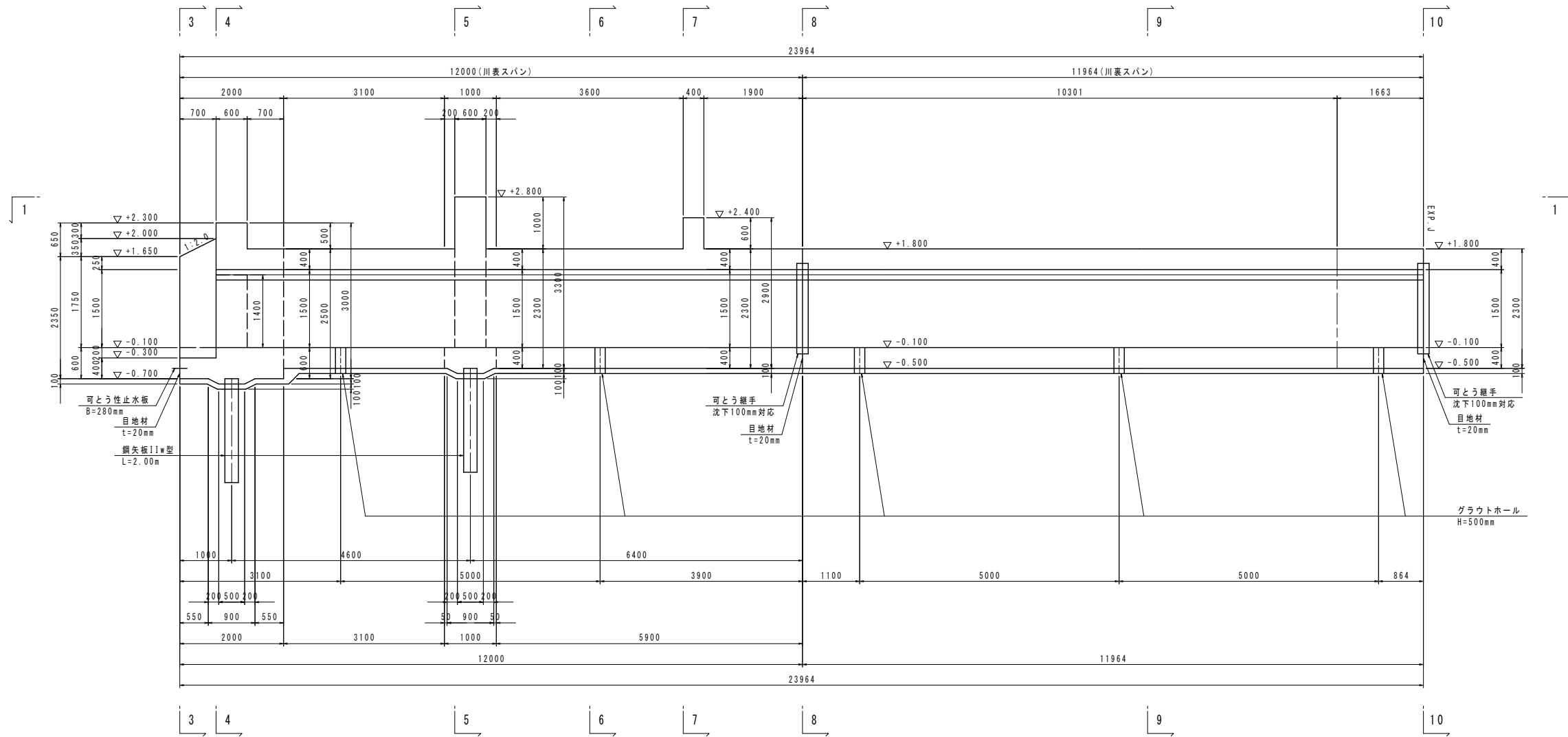
コンクリートの設計基準強度	
本体コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	樋門本体構造図(1)		
縮尺	1:50	図面番号	98/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

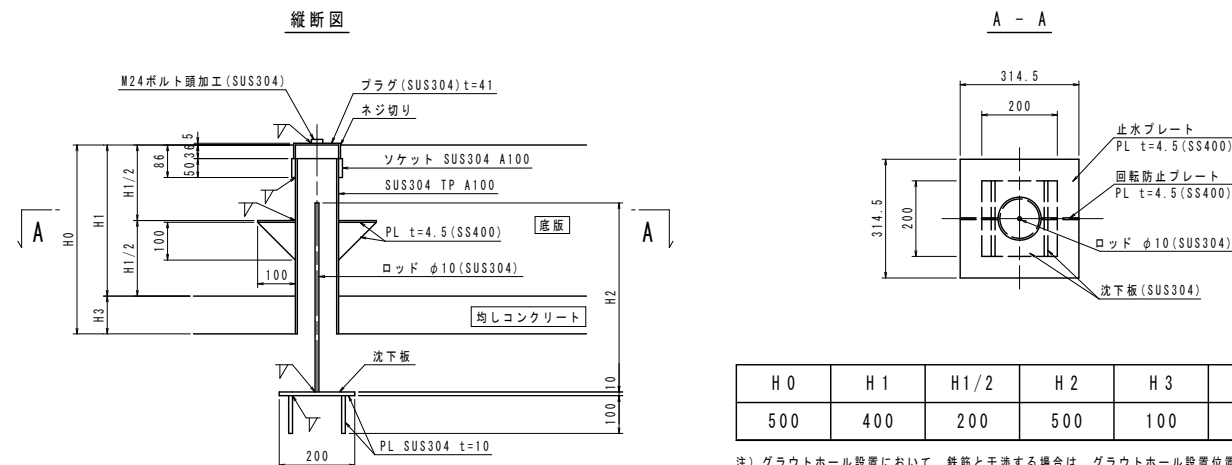
樋門本体構造図(2) S=1:50

2 - 2



注) グラウトホール設置において、鉄筋と干渉する場合は、グラウトホール設置位置をずらす事。

グラウトホール詳細図(参考図) S=1:10



H0	H1	H1/2	H2	H3	数量
500	400	200	500	100	5

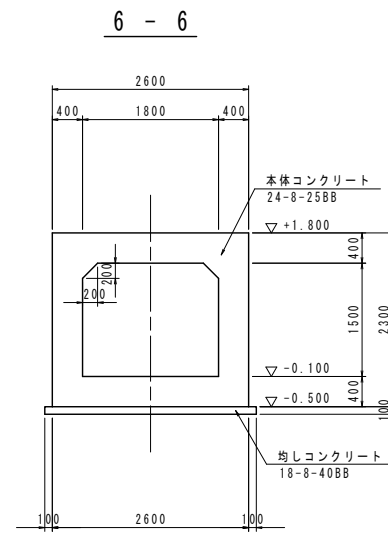
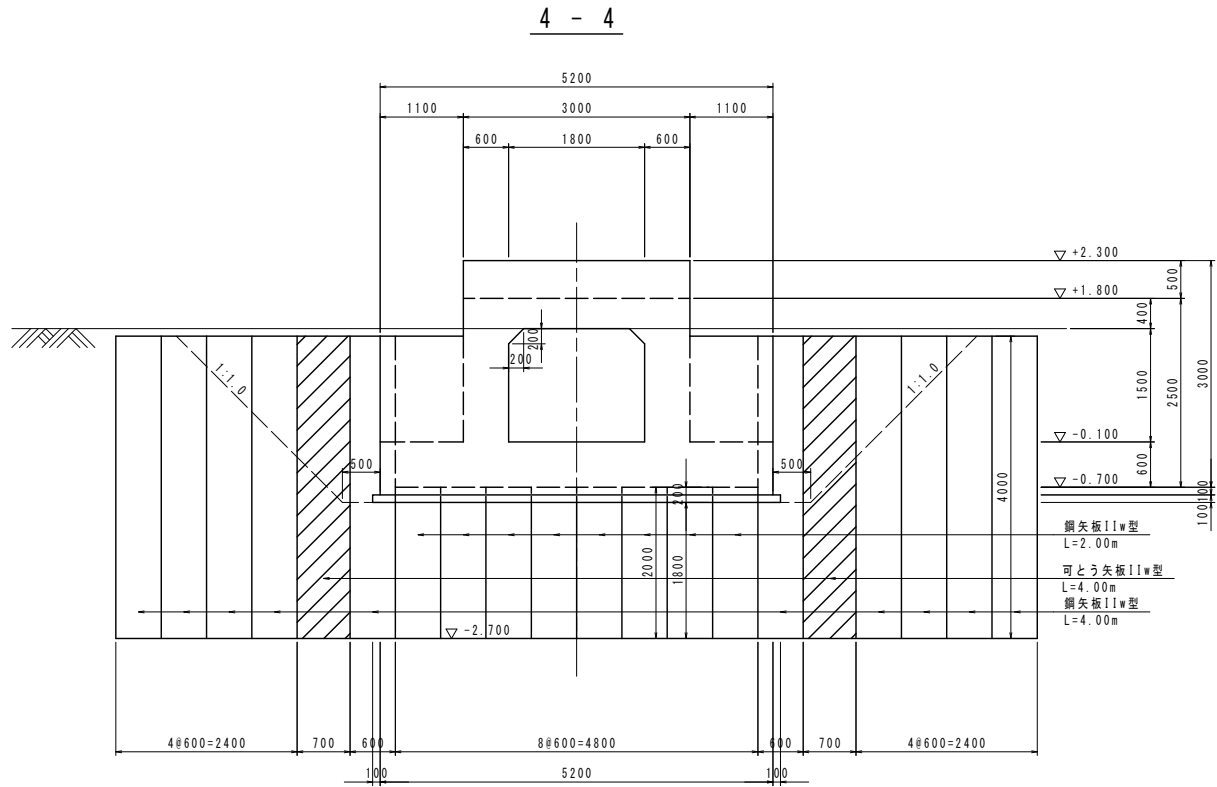
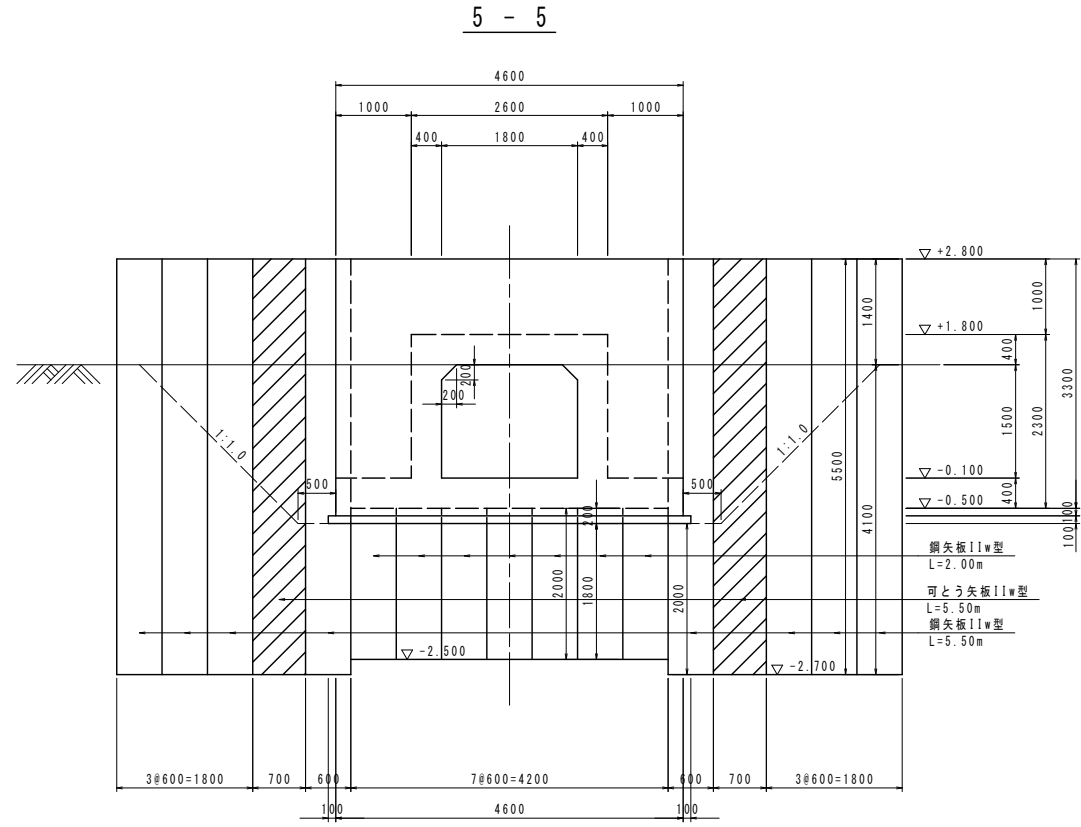
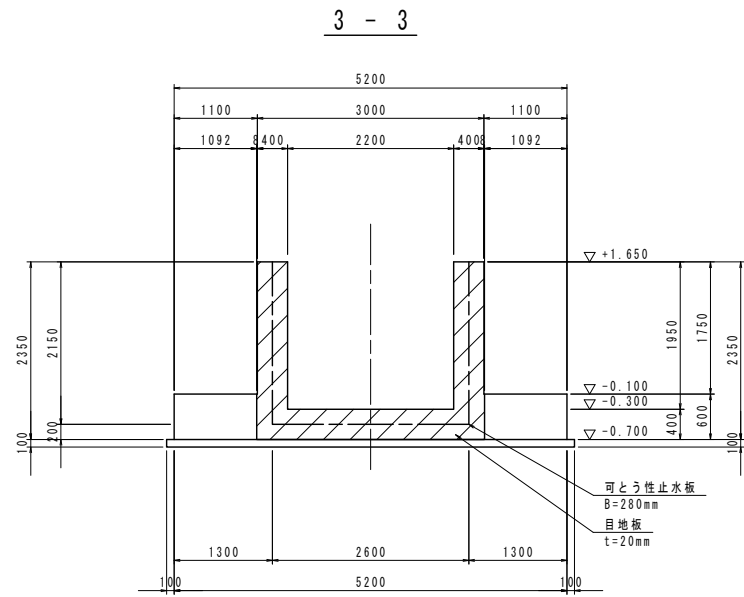
注) グラウトホール設置において、鉄筋と干渉する場合は、グラウトホール設置位置をずらす事。

コンクリートの設計基準強度	
本体コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	樋門本体構造図(2)		
縮尺	図示	図面番号	99/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

樋門本体構造図(3) S=1:50

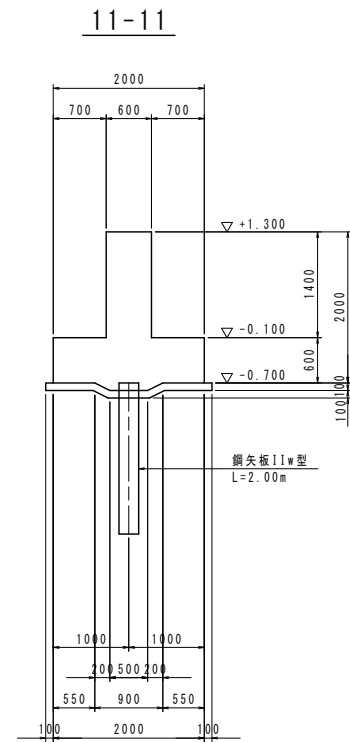
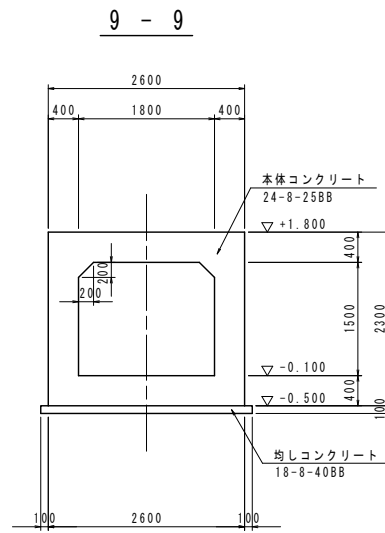
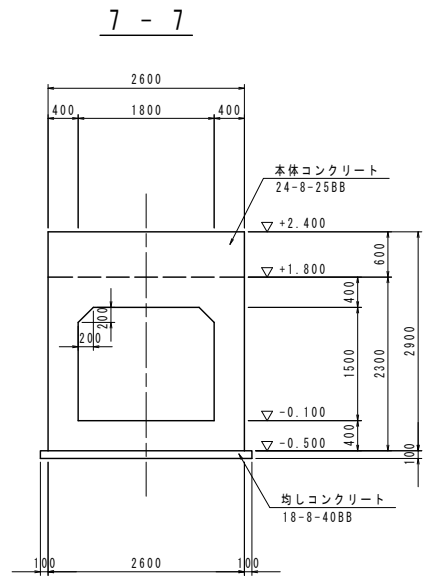


コンクリートの設計基準強度	
本体コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$

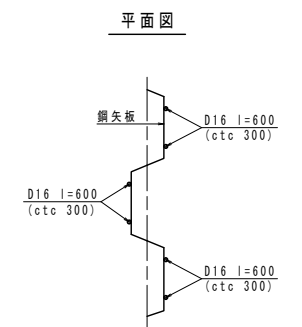
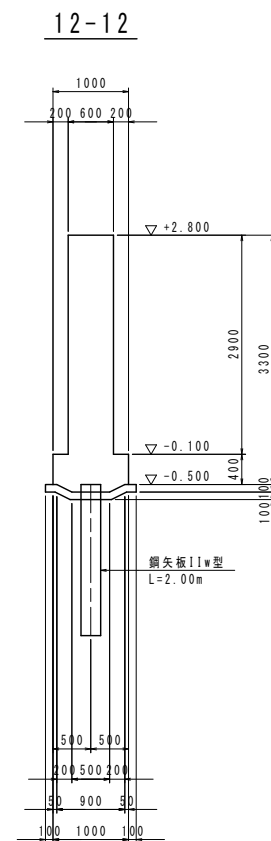
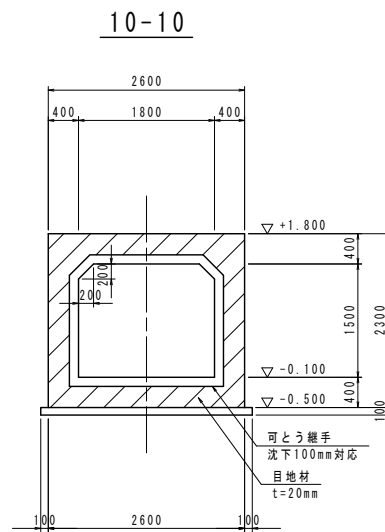
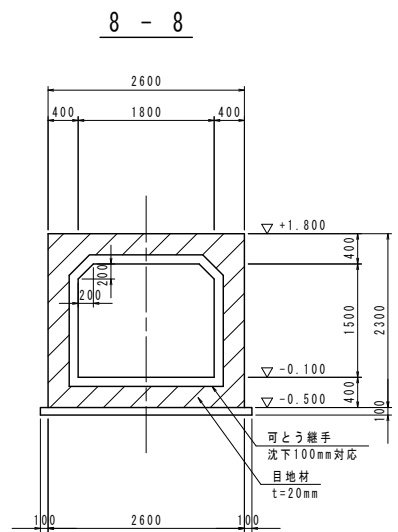
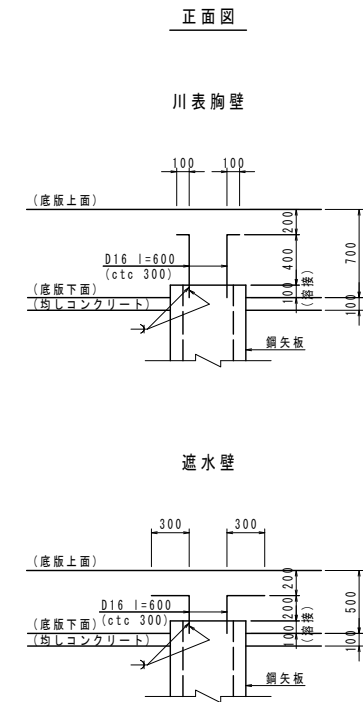
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	樋門本体構造図(3)
縮尺	1:50 図面番号 100/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課

樋門本体構造図(4) S=1:50



鋼矢板頭部鉄筋詳細図 S=1:30



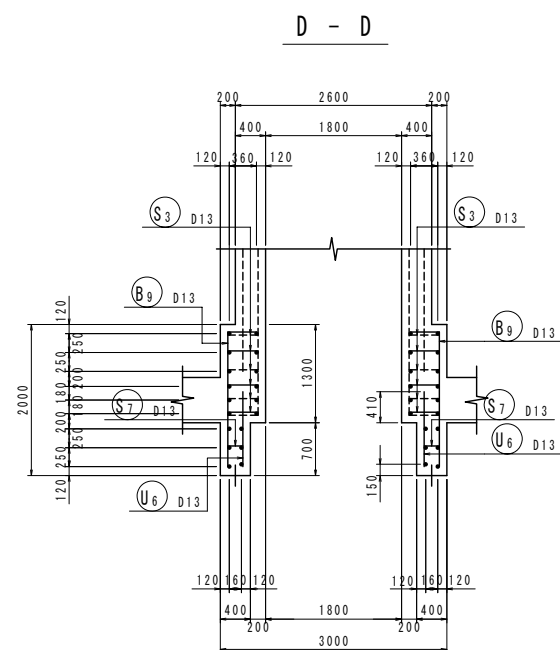
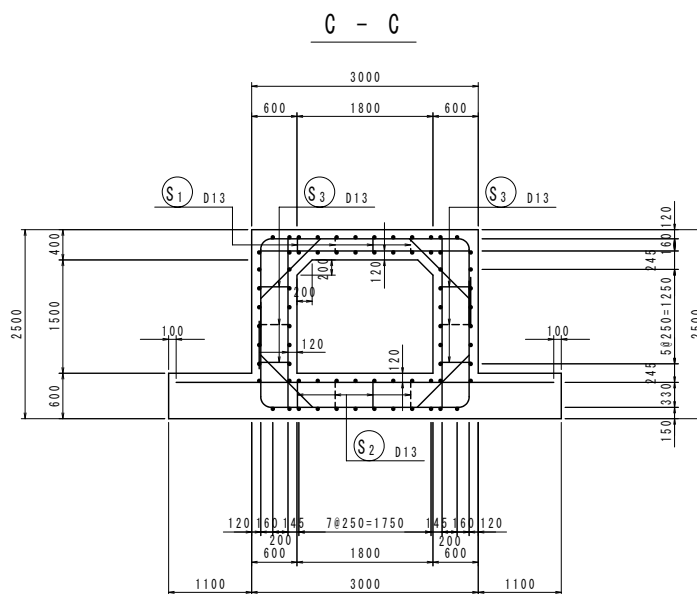
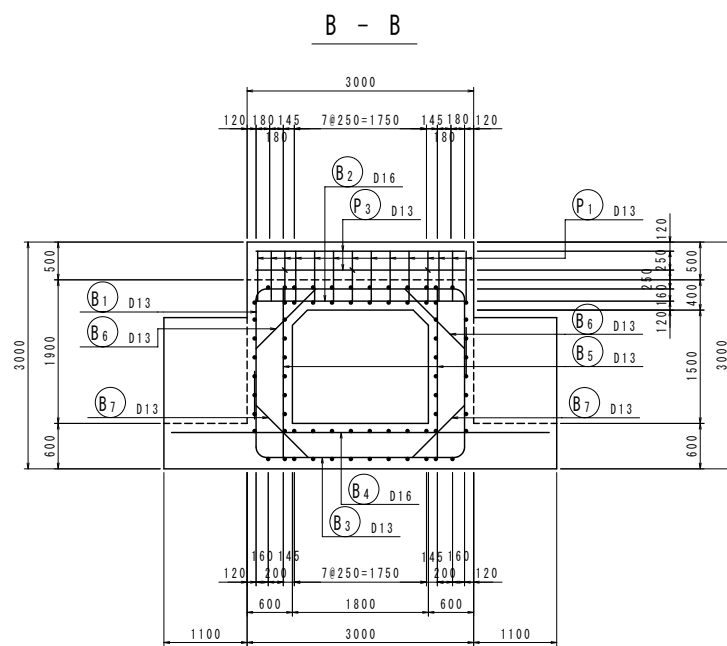
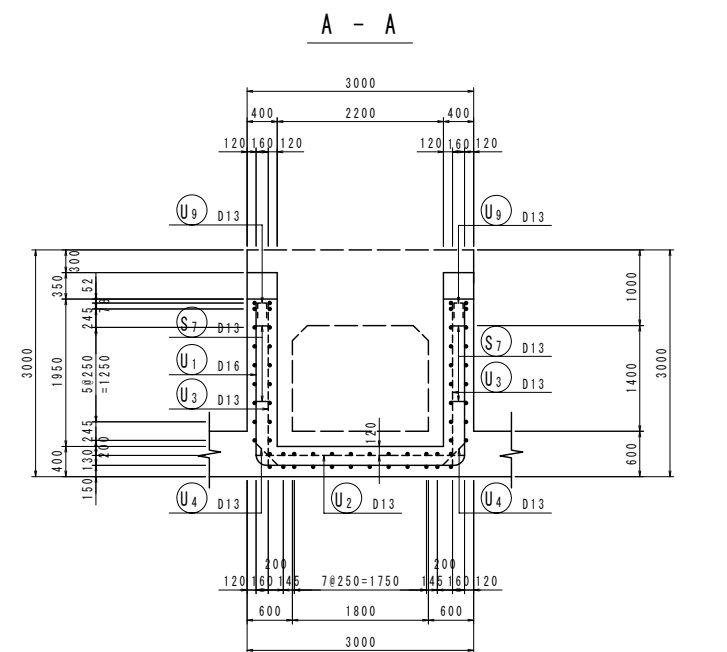
コンクリートの設計基準強度	
本体コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$

※本図面はA1サイズを原寸とする。

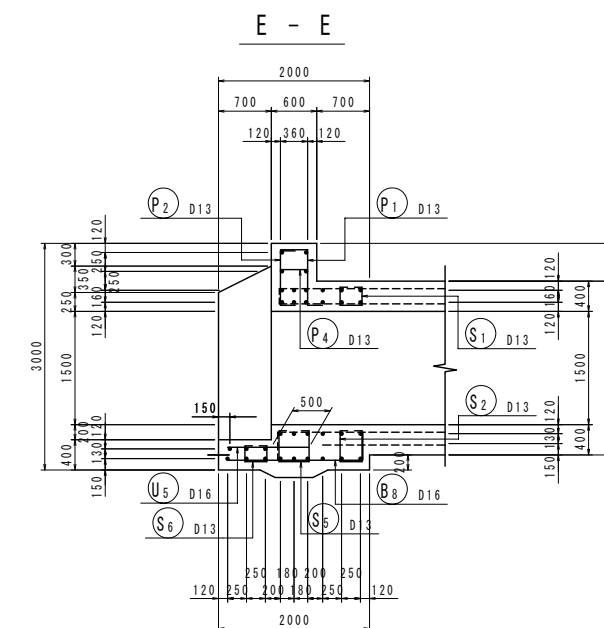
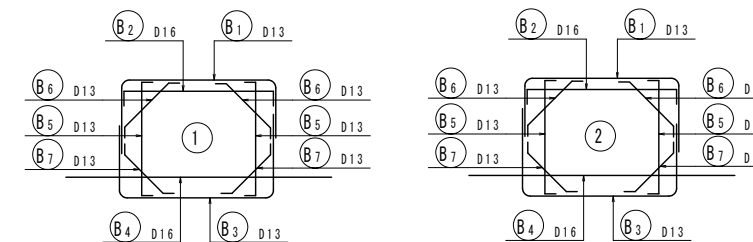
工事名	平成29年度 下建公補第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	樋門本体構造図(4)		
縮尺	図示	図面番号	101/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

樋門本体配筋図(1) S=1:50

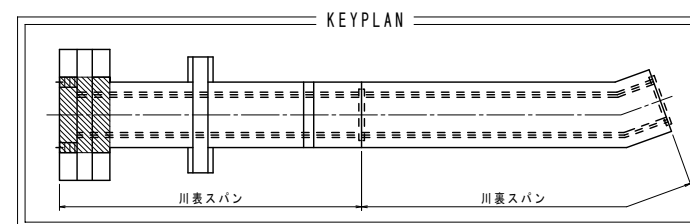
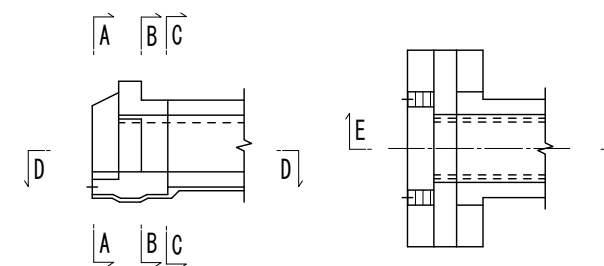
[川表端部]



主鉄筋組立図
ctc250



位置図



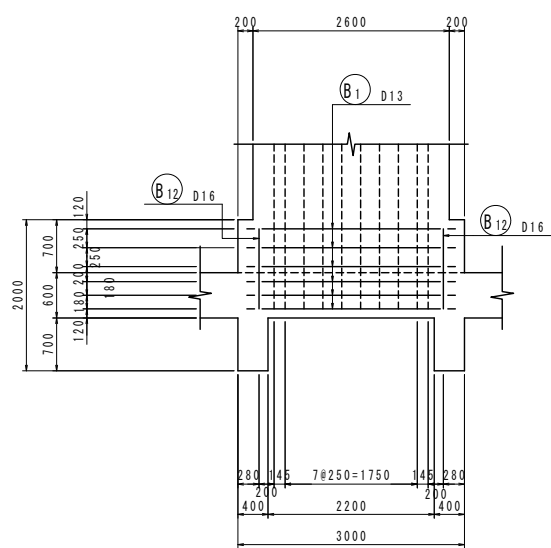
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	樋門本体配筋図(1)
縮尺	1:50 図面番号 102/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課

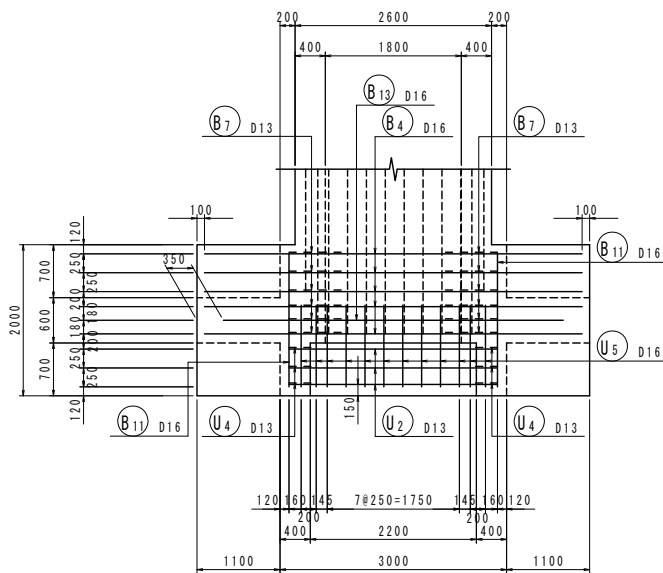
樋門本体配筋図(2) S=1:50

[川表端部]

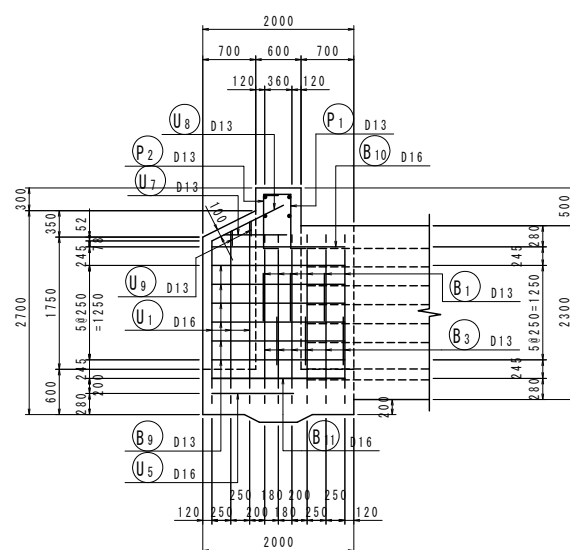
F - F



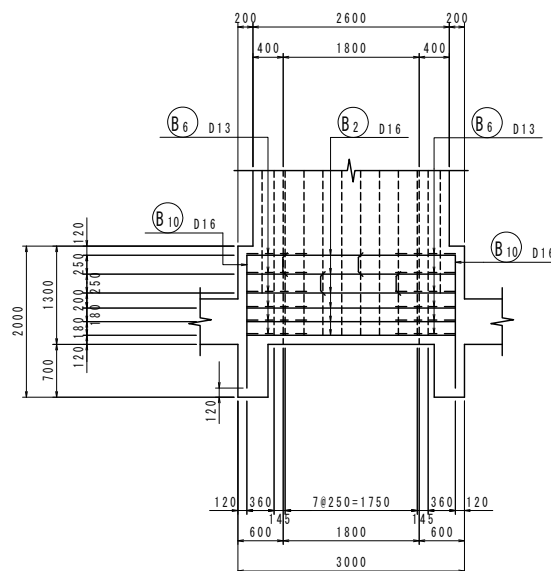
H - H



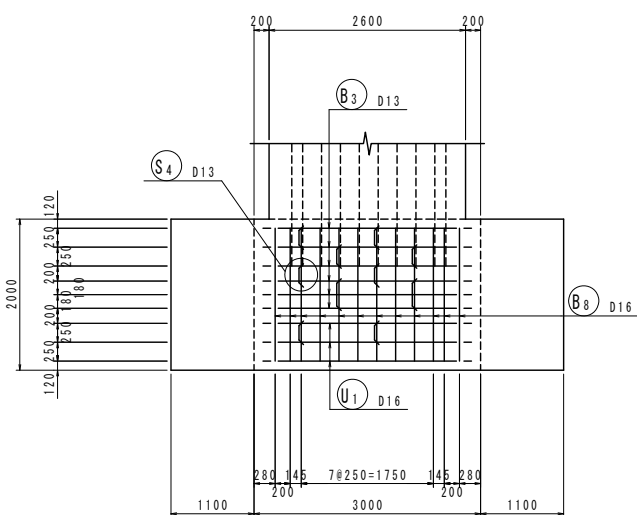
J - J



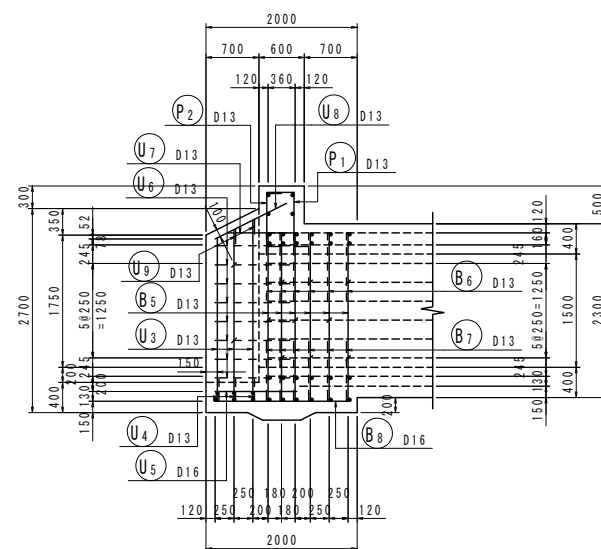
G - G



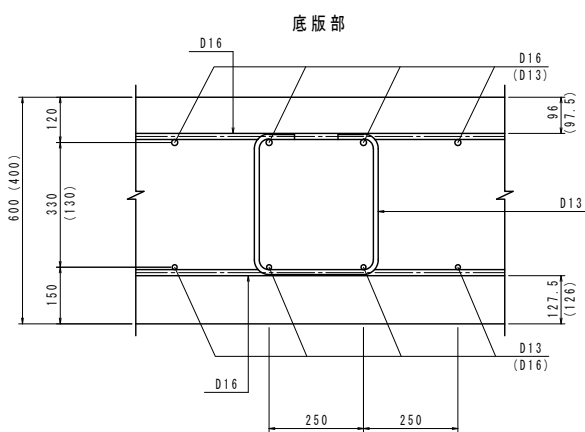
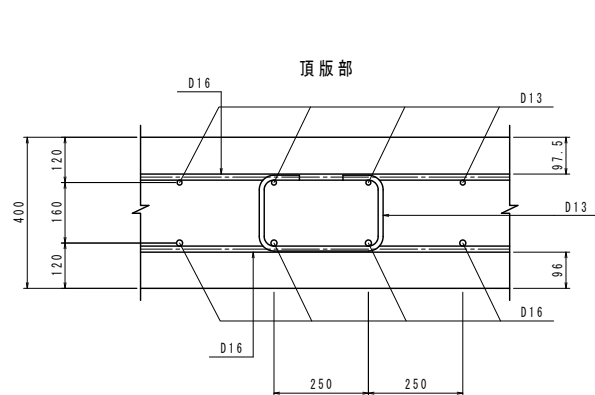
I - I



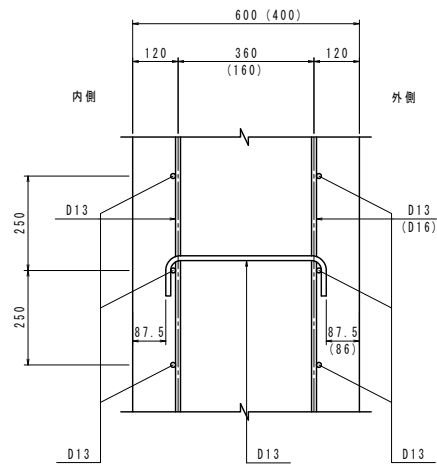
K - K



組立図 S=1:10

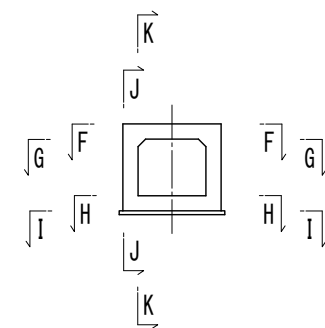


側壁部



※ ()内は、U型部の寸法を示す。

位置図

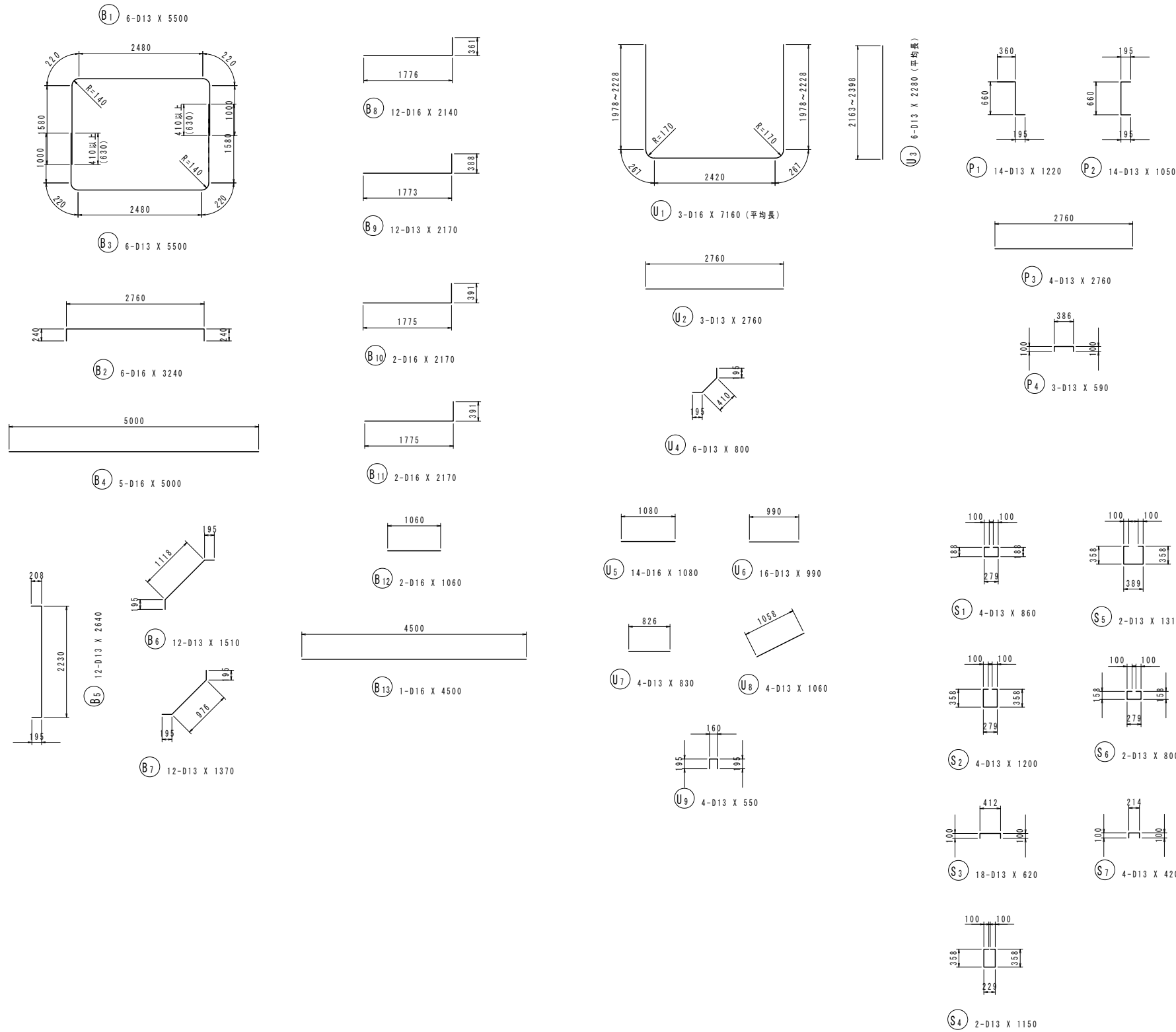


※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事	
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内	
図面の種類	樋門本体配筋図(2)	
縮尺	図示	図面番号 103/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課	

樋門本体配筋図(3) S=1:50

[川表端部]



鉄筋質量表 (SD345)

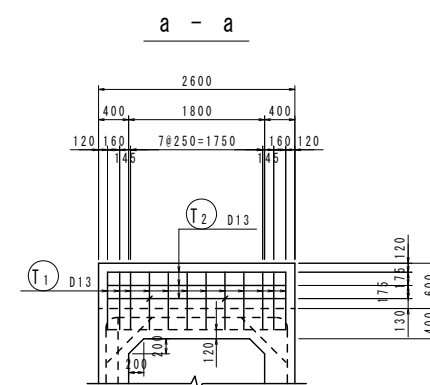
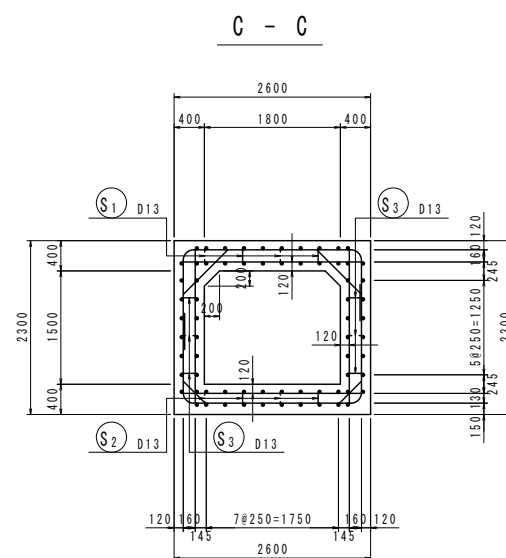
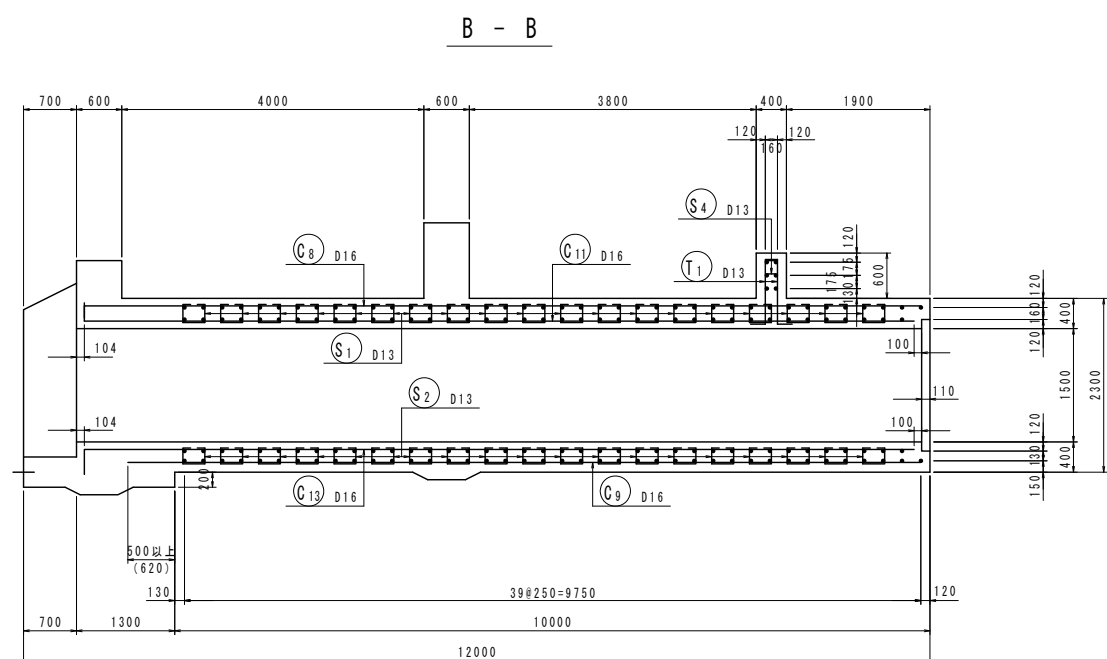
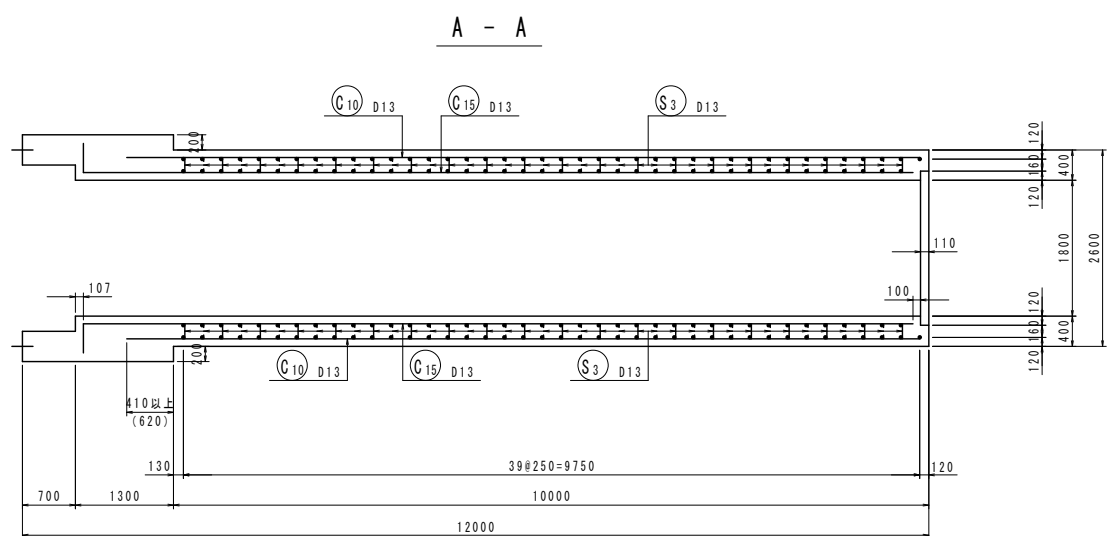
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
B 1	D13	5500	6	0.995	5.47	33	┌
B 2	D16	3240	6	1.56	5.05	30	┌
B 3	D13	5500	6	0.995	5.47	33	┌
B 4	D16	5000	5	1.56	7.80	39	┌
B 5	D13	2640	12	0.995	2.63	32	┌
B 6	D13	1510	12	0.995	1.50	18	┌
B 7	D13	1370	12	0.995	1.36	16	┌
B 8	D16	2140	12	1.56	3.34	40	┌
B 9	D13	2170	12	0.995	2.16	26	┌
B 10	D16	2170	2	1.56	3.39	7	┌
B 11	D16	2170	2	1.56	3.39	7	┌
B 12	D16	1060	2	1.56	1.65	3	┌
B 13	D16	4500	1	1.56	7.02	7	┌
291							
U 1	D16	7160	3	1.56	11.17	34	┌ (平均長)
U 2	D13	2760	3	0.995	2.75	8	┌
U 3	D13	2280	6	0.995	2.27	14	┌ (平均長)
U 4	D13	800	6	0.995	0.80	5	┌
U 5	D16	1080	14	1.56	1.68	24	┌
U 6	D13	990	16	0.995	0.99	16	┌
U 7	D13	830	4	0.995	0.83	3	┌
U 8	D13	1060	4	0.995	1.05	4	┌
U 9	D13	550	4	0.995	0.55	2	┌
110							
P 1	D13	1220	14	0.995	1.21	17	┌
P 2	D13	1050	14	0.995	1.04	15	┌
P 3	D13	2760	4	0.995	2.75	11	┌
P 4	D13	590	3	0.995	0.59	2	┌
45							
S 1	D13	860	4	0.995	0.86	3	┌
S 2	D13	1200	4	0.995	1.19	5	┌
S 3	D13	620	18	0.995	0.62	11	┌
S 4	D13	1150	2	0.995	1.14	2	┌
S 5	D13	1310	2	0.995	1.30	3	┌
S 6	D13	800	2	0.995	0.80	2	┌
S 7	D13	420	4	0.995	0.42	2	┌
28							
合計				D16	191 kg		
				D13	283 kg		
総質量					474 kg		

※本図面はA1サイズを原寸とする。

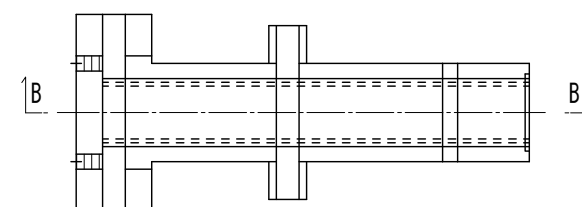
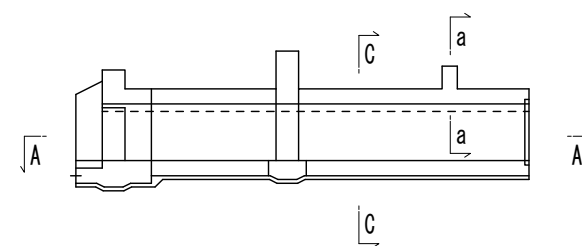
工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	樋門本体配筋図(3)		
縮尺	1:50	図面番号	104/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

樋門本体配筋図(4) S=1:50

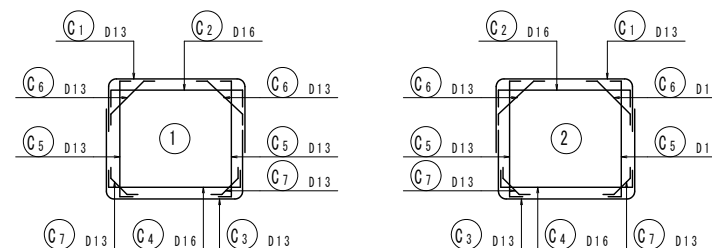
[川表スパン 函体部]



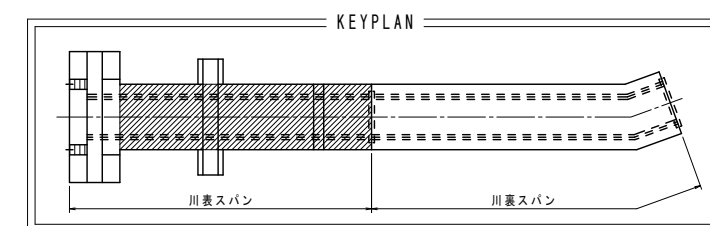
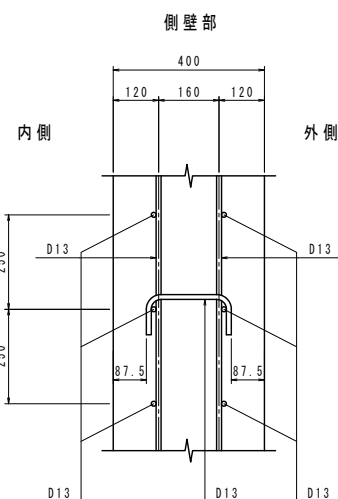
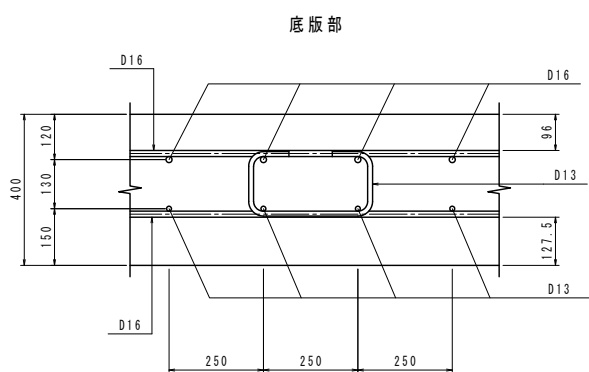
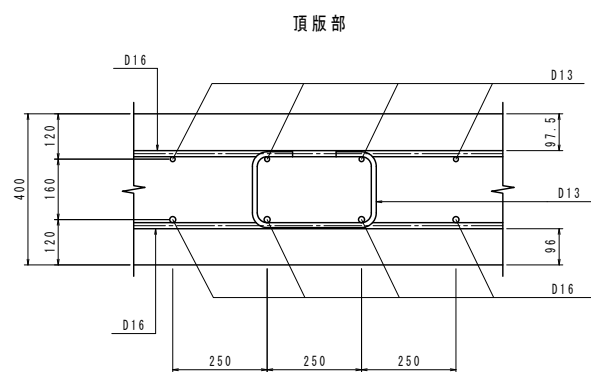
位置図



主鉄筋組立図
ctc250



組立図 S=1:10



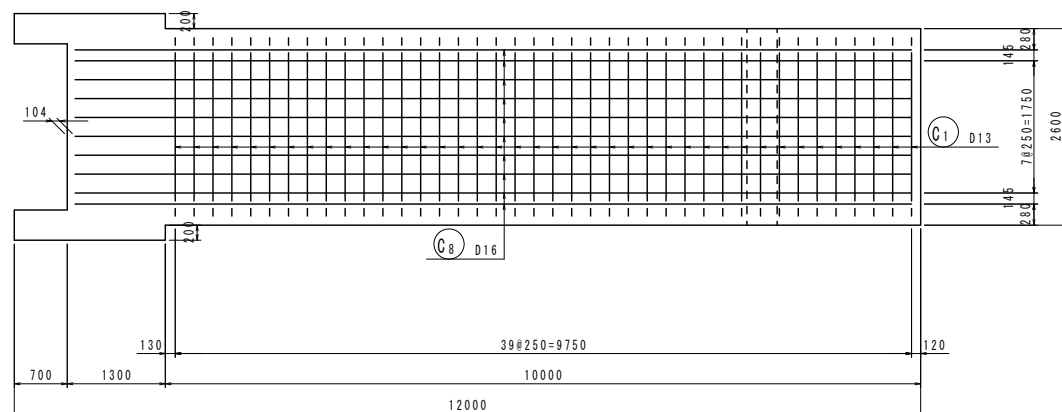
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事	
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内	
図面の種類	樋門本体配筋図(4)	
縮尺	図示	図面番号 105/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課	

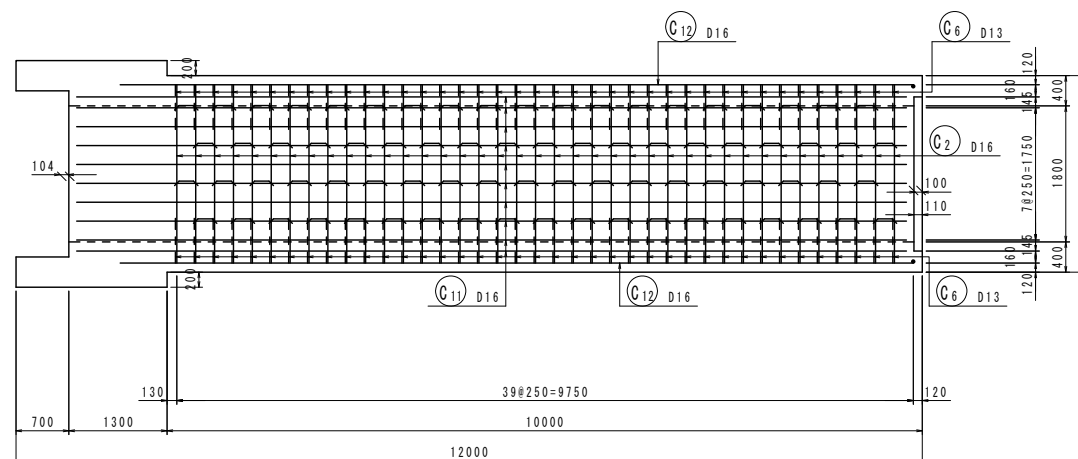
樋門本体配筋図(5) S=1:50

[川表スパン 函体部]

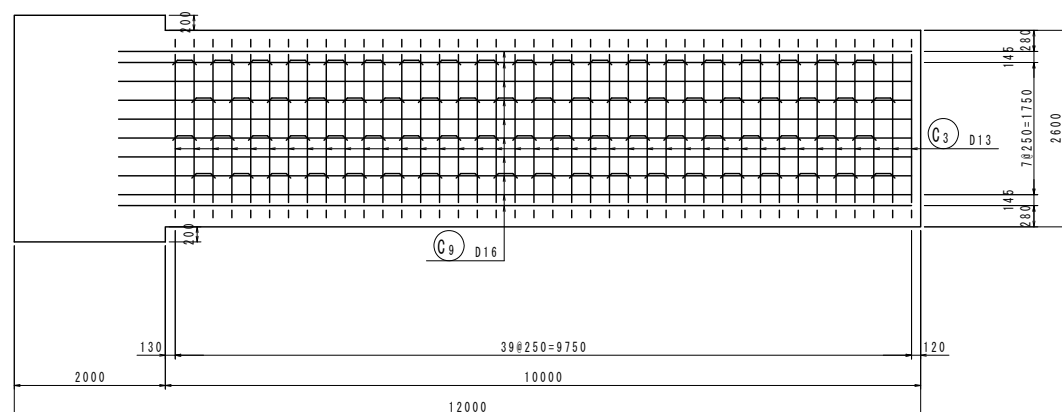
D - D



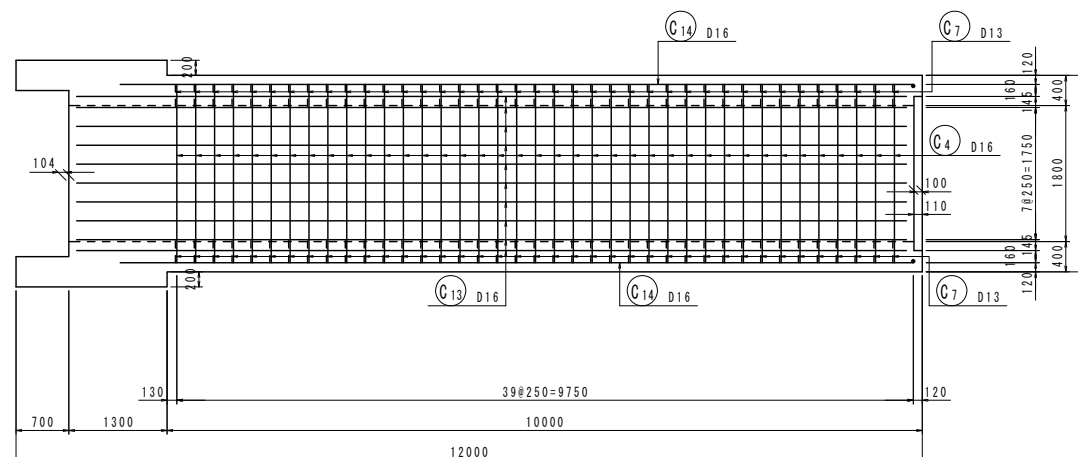
E - E



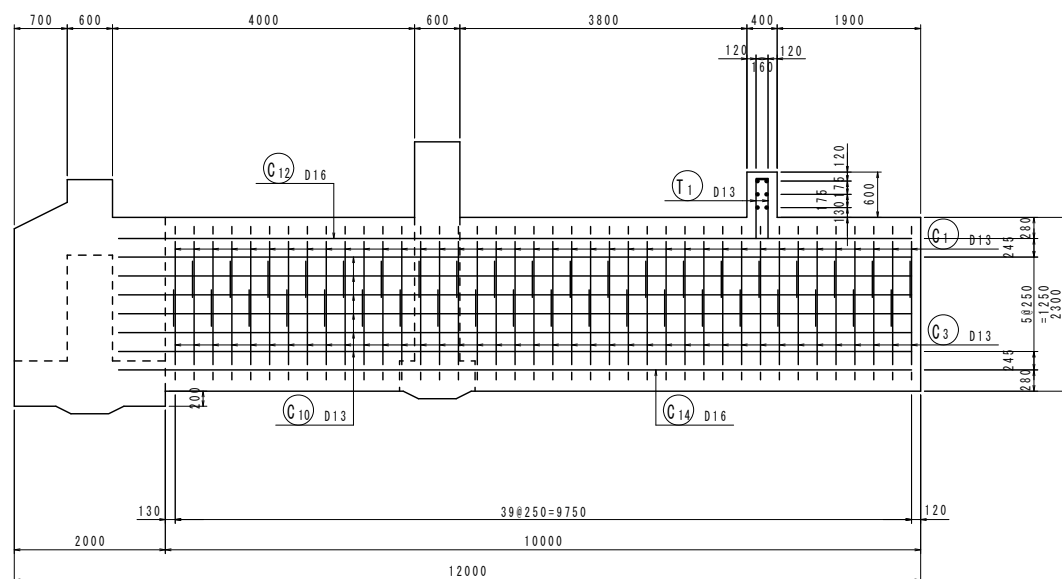
F - F



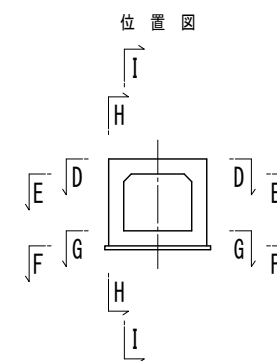
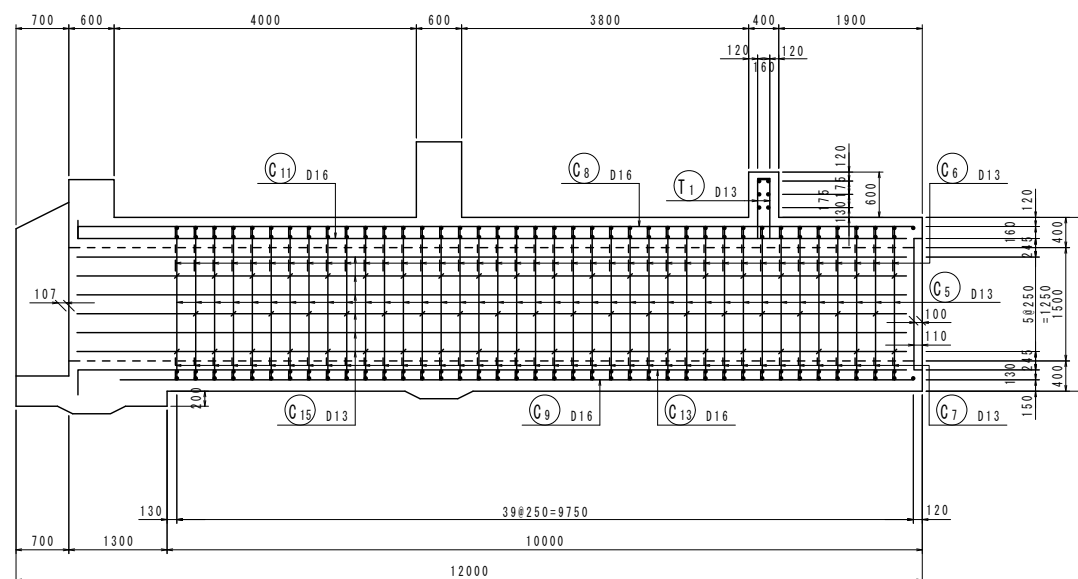
G - G



H - H



I - I

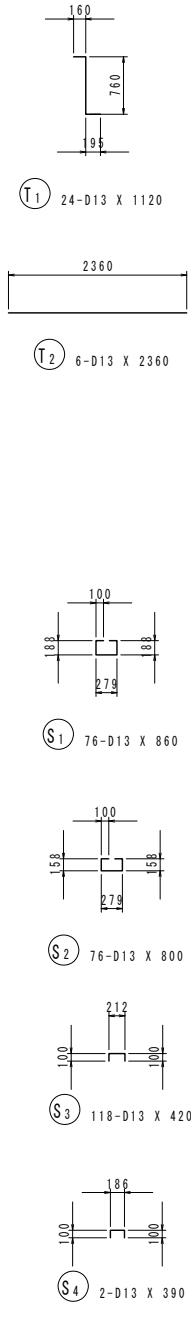
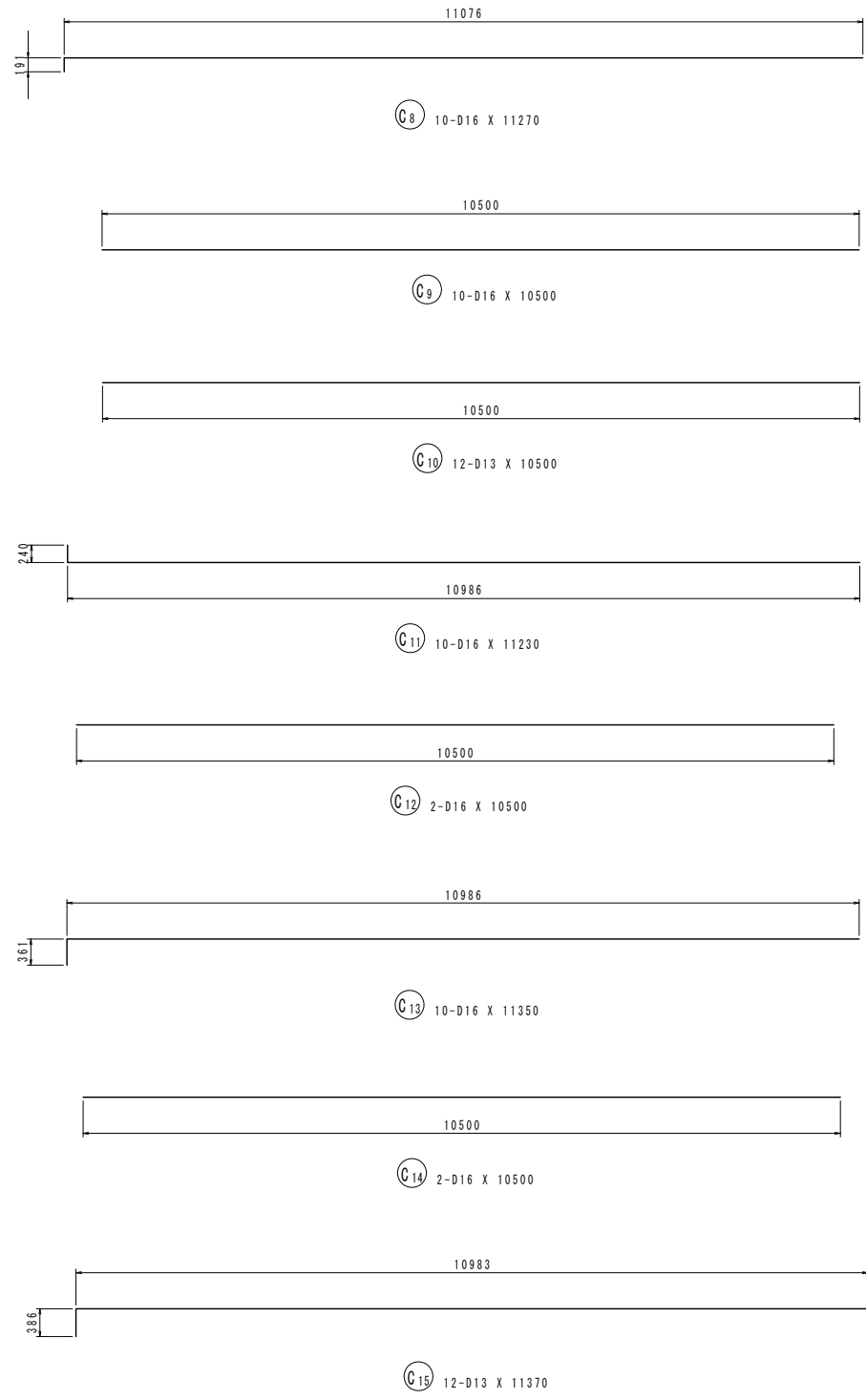
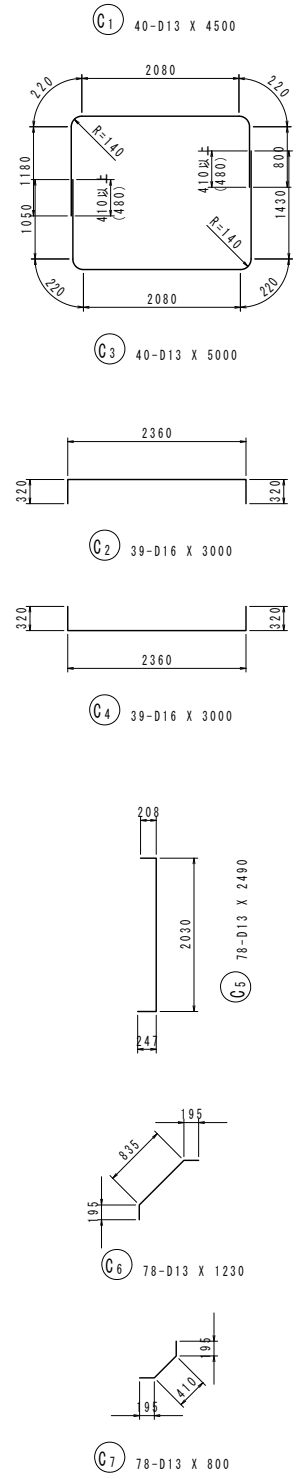


※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事	
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内	
図面の種類	樋門本体配筋図(5)	
縮尺	1:50	図面番号 106/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課	

樋門本体配筋図(6) S=1:50

[川表スパン 函体部]



鉄筋質量表 (SD345)

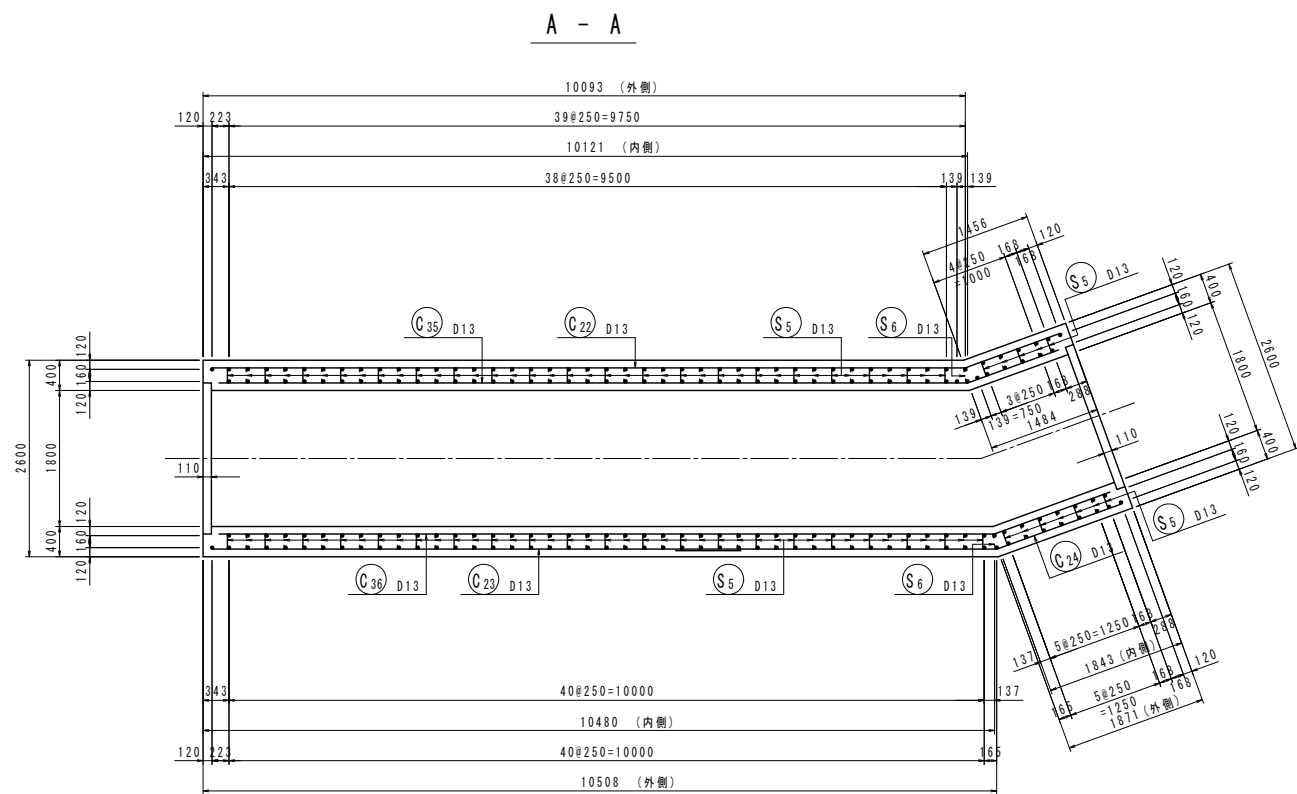
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
C1	D13	4500	40	0.995	4.48	179	┌
C2	D16	3000	39	1.56	4.68	183	┌
C3	D13	5000	40	0.995	4.98	199	┌
C4	D16	3000	39	1.56	4.68	183	┌
C5	D13	2490	78	0.995	2.48	193	┌
C6	D13	1230	78	0.995	1.22	95	┌
C7	D13	800	78	0.995	0.80	62	┌
C8	D16	11270	10	1.56	17.58	176	┌
C9	D16	10500	10	1.56	16.38	164	┌
C10	D13	10500	12	0.995	10.45	125	┌
C11	D16	11230	10	1.56	17.52	175	┌
C12	D16	10500	2	1.56	16.38	33	┌
C13	D16	11350	10	1.56	17.71	177	┌
C14	D16	10500	2	1.56	16.38	33	┌
C15	D13	11370	12	0.995	11.31	136	┌
						2113	
T1	D13	1120	24	0.995	1.11	27	└
T2	D13	2360	6	0.995	2.35	14	└
						41	
S1	D13	860	76	0.995	0.86	65	└
S2	D13	800	76	0.995	0.80	61	└
S3	D13	420	118	0.995	0.42	50	└
S4	D13	390	2	0.995	0.39	1	└
						177	
合計				D16	1124 kg		
				D13	1207 kg		
総質量					2331 kg		

※本図面はA1サイズを原寸とする。

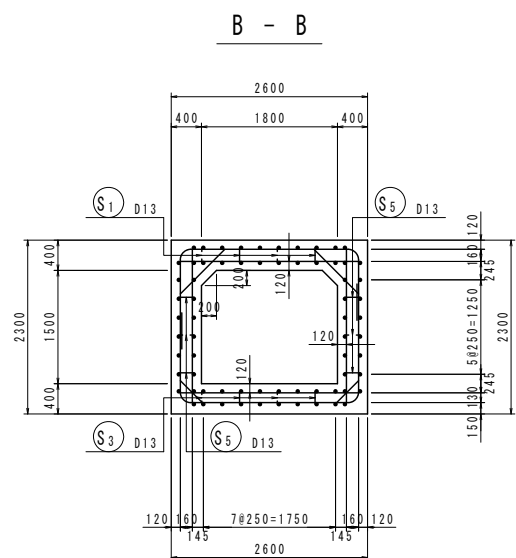
工事名	平成29年度 下建公補第1号 天神ポンプ場 (下部土木)築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	樋門本体配筋図(6)		
縮尺	1:50	図面番号	107/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

樋門本体配筋図(7) S=1:50

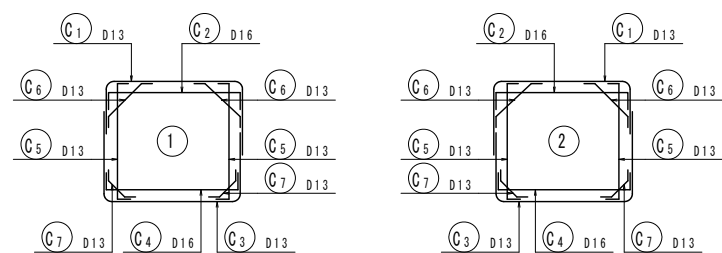
[川裏スパン 函体部]



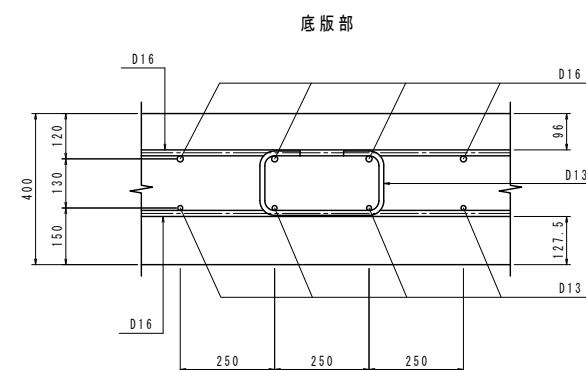
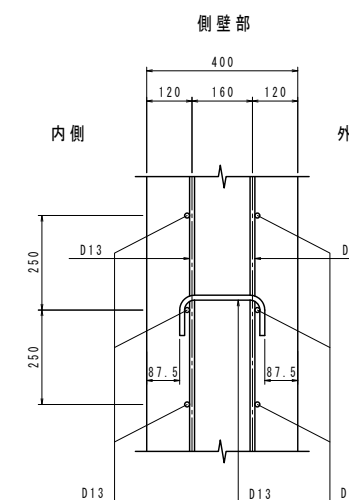
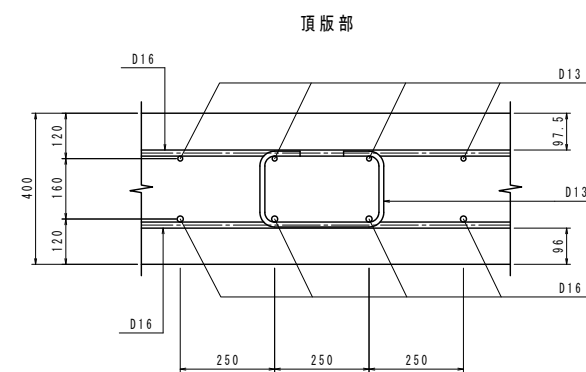
※延長方向寸法は、鉄筋かぶり位置での寸法を示す。



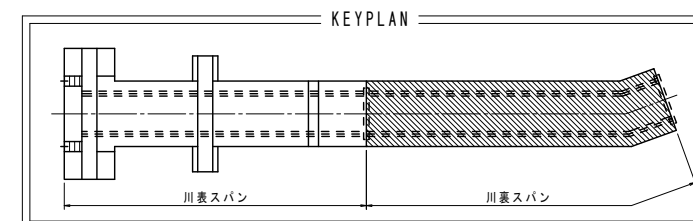
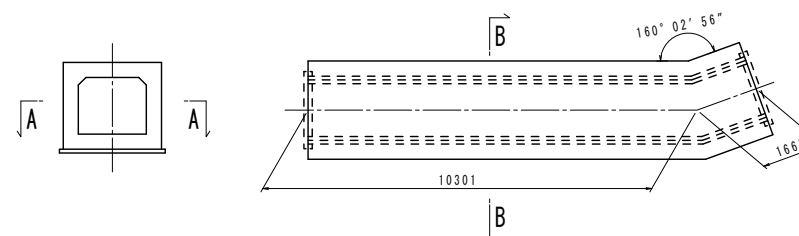
主鉄筋組立図
ctc250



組立図 S=1:10



位置図

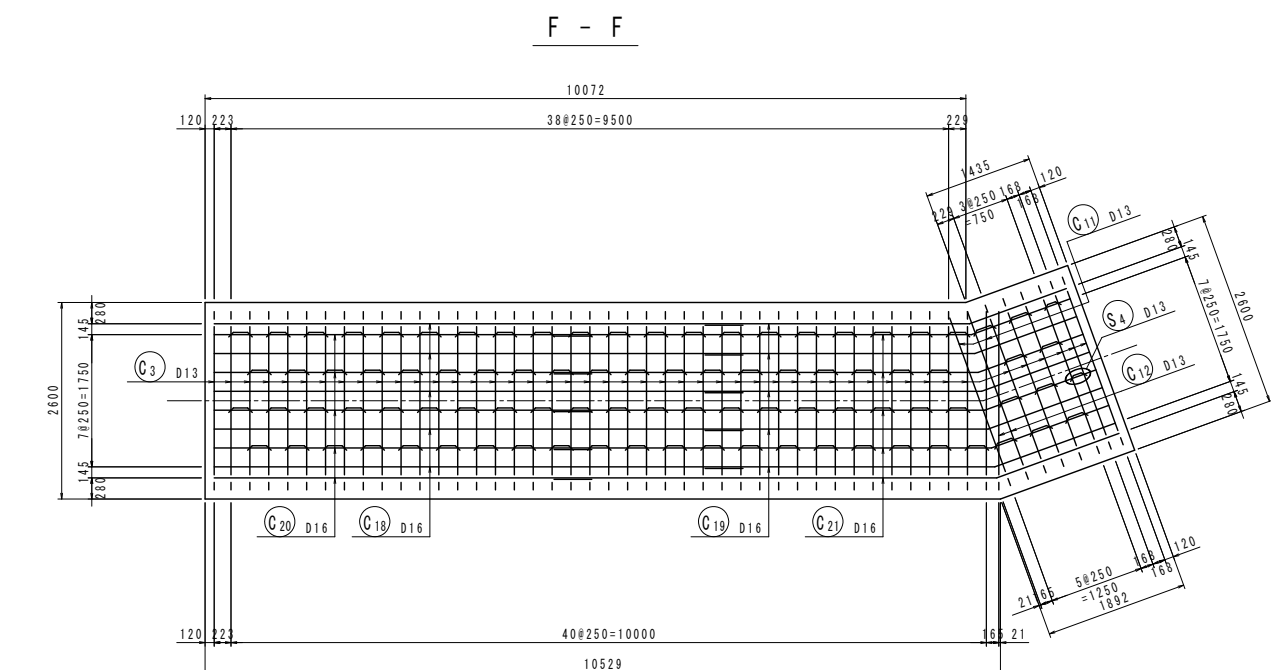
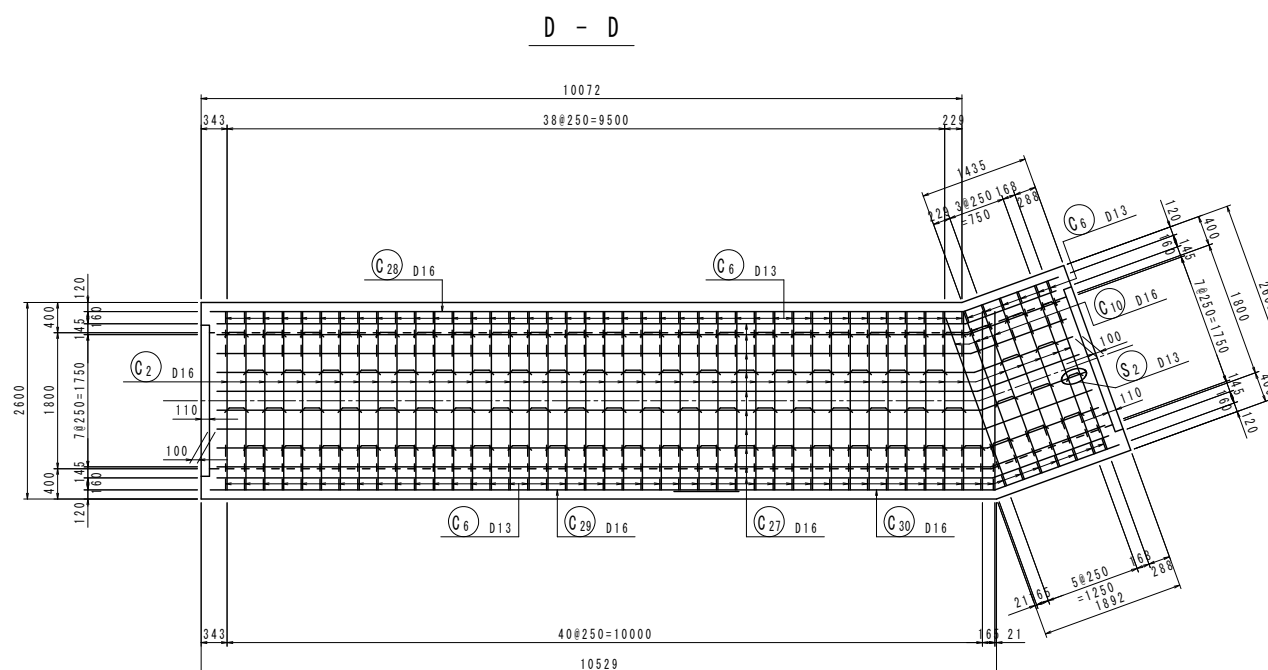
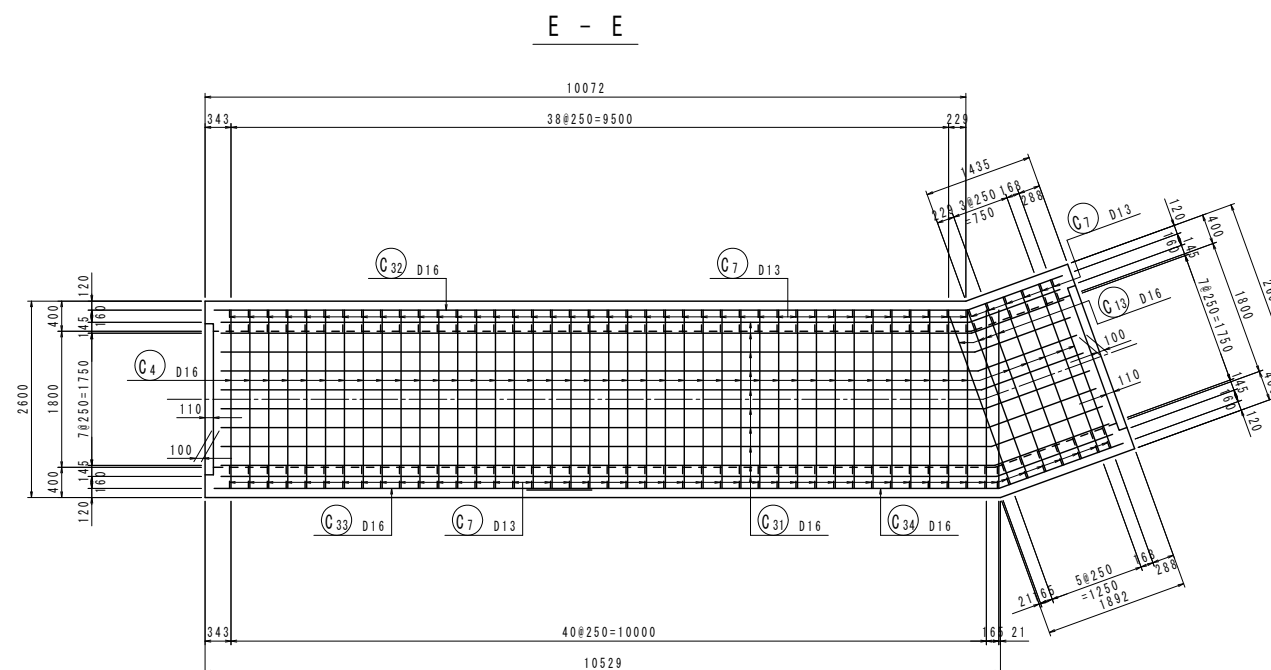
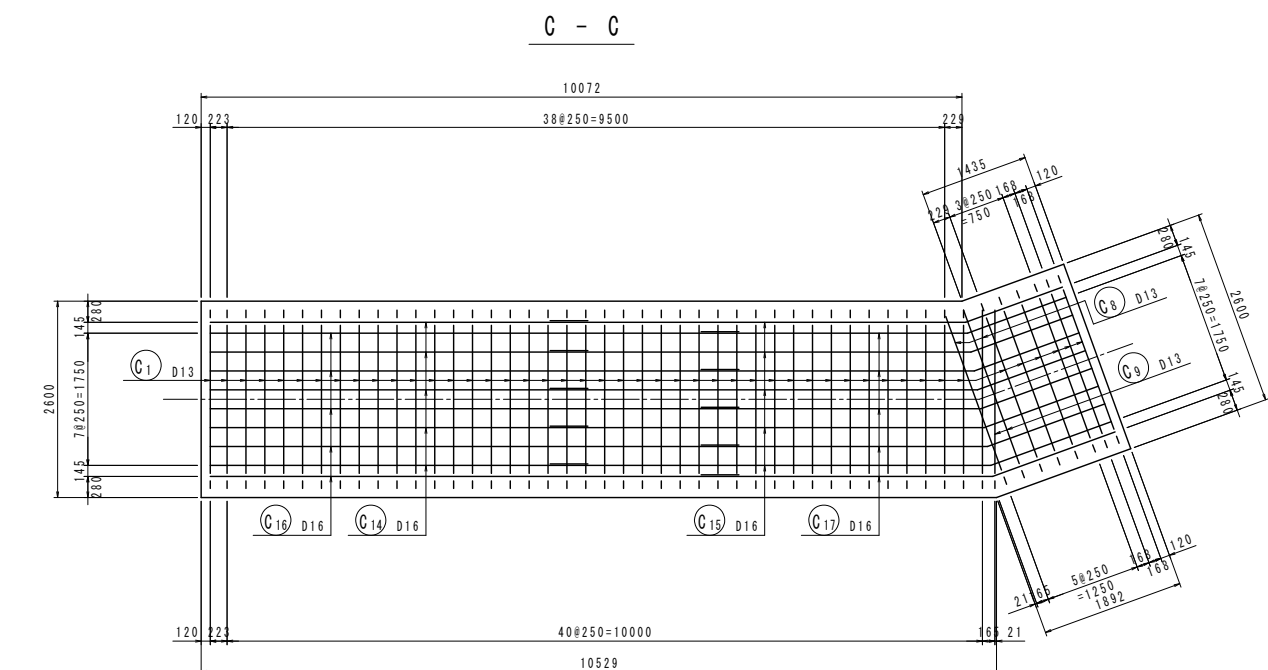


※本図面はA1サイズを原寸とする。

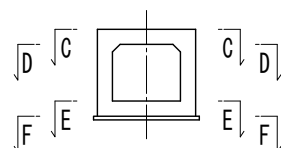
工事名	平成29年度 下建公補第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	樋門本体配筋図(7)
縮尺	図示 図面番号 108/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課

樋門本体配筋図(8) s=1:50

[川裏スパン 函体部]



位置図

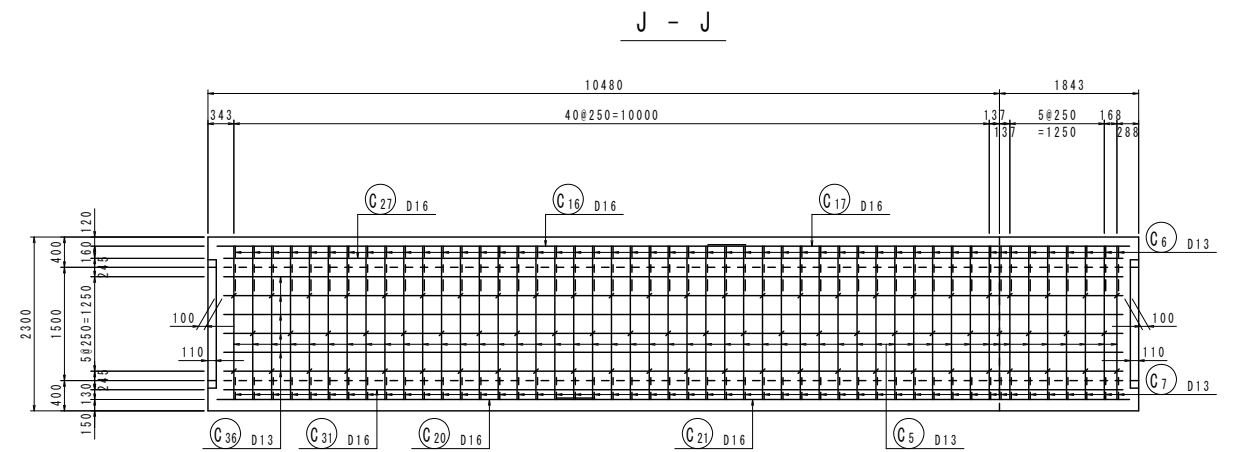
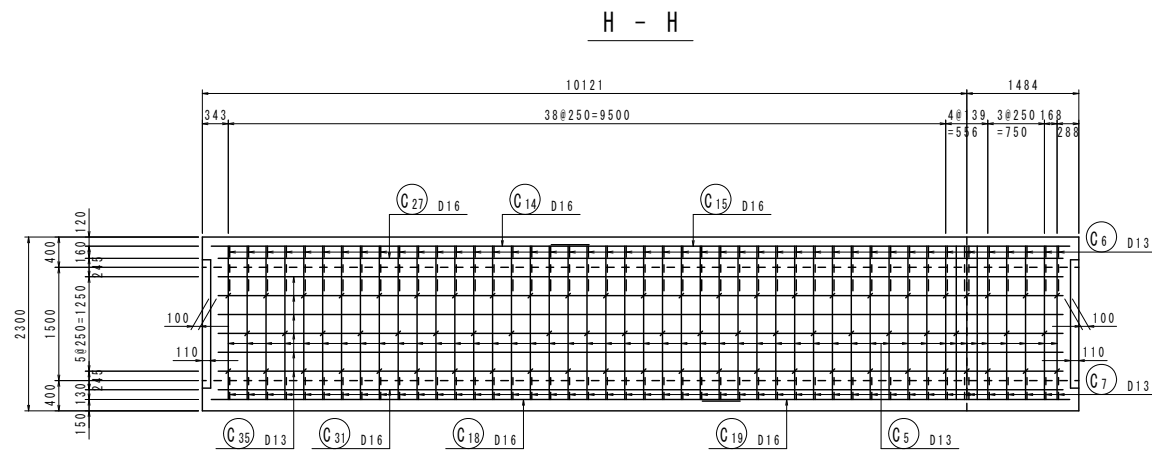
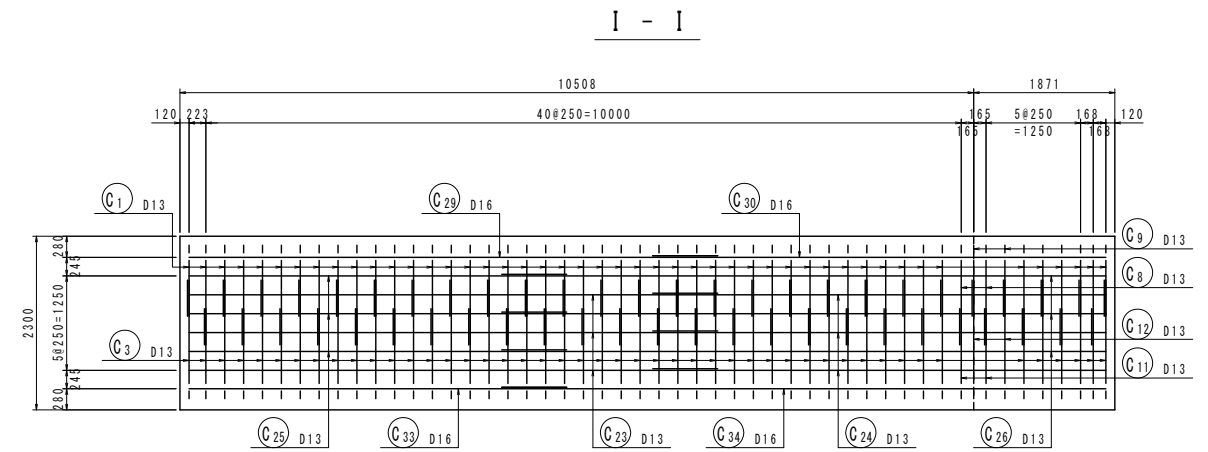
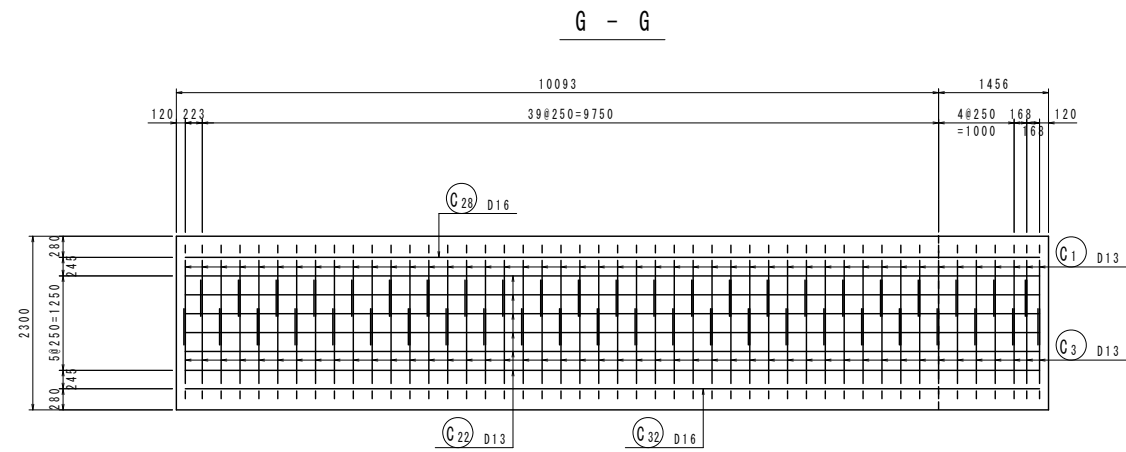


※本図面はA1サイズを原寸とする。

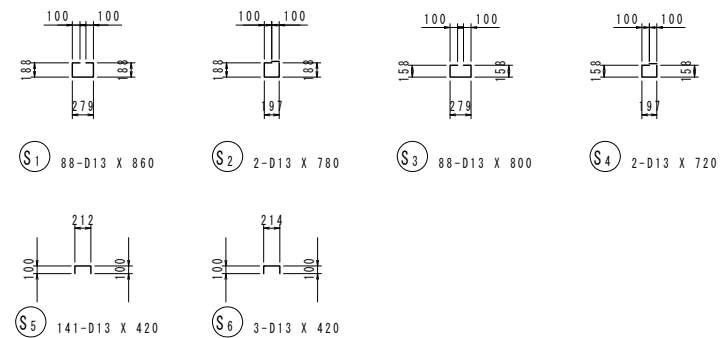
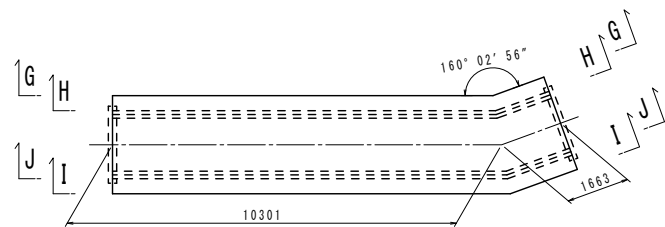
工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事	
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内	
図面の種類	樋門本体配筋図(8)	
縮尺	1:50	図面番号 109/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課	

樋門本体配筋図(9) S=1:50

[川裏スパン 函体部]



位置図

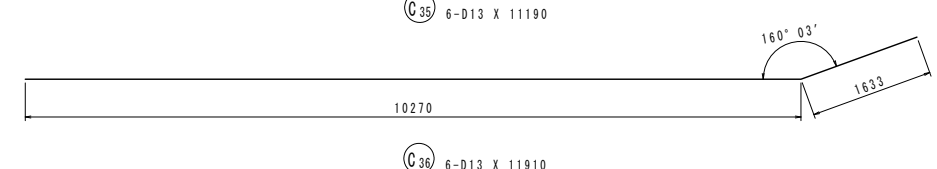
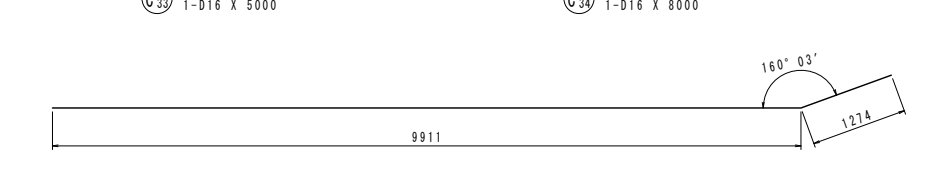
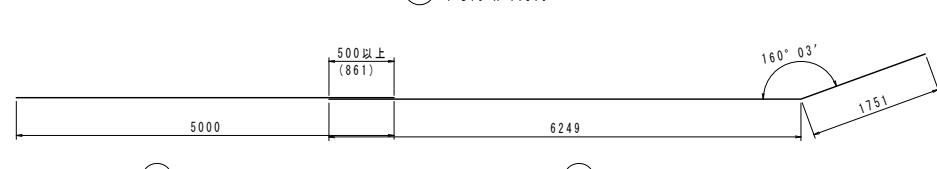
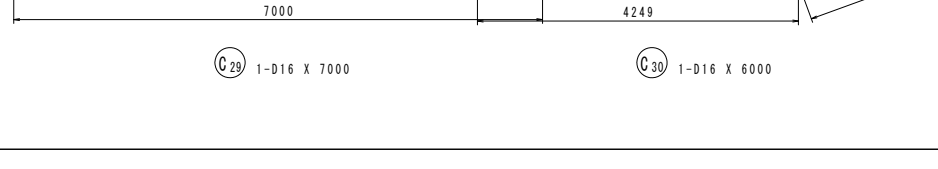
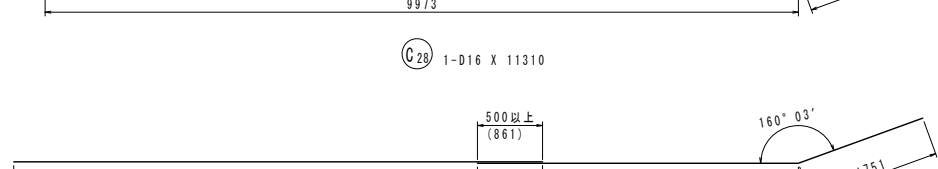
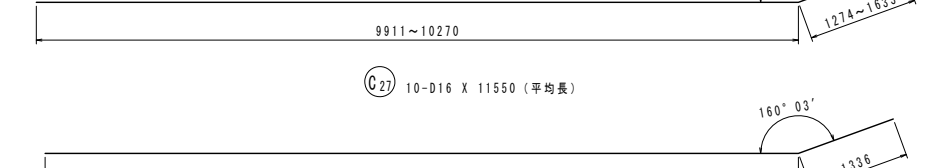
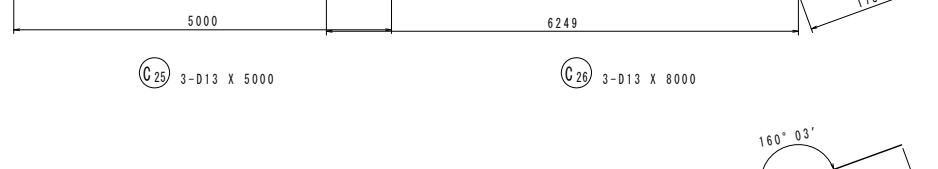
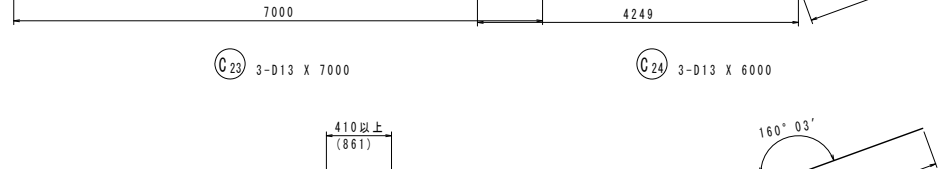
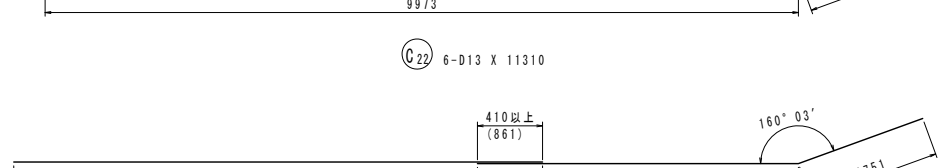
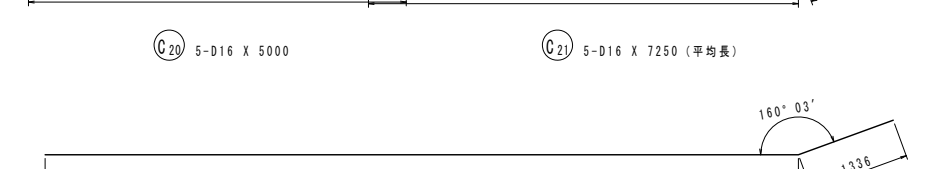
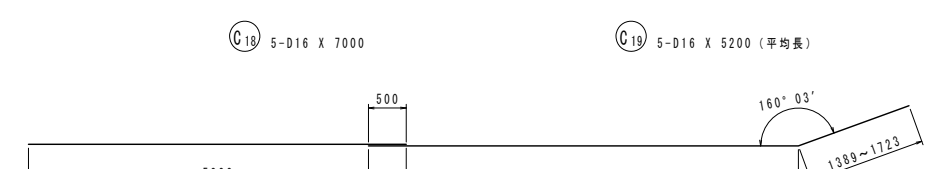
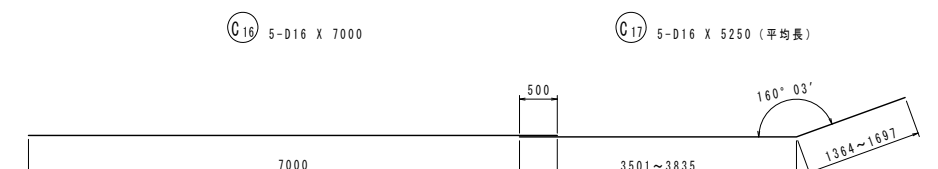
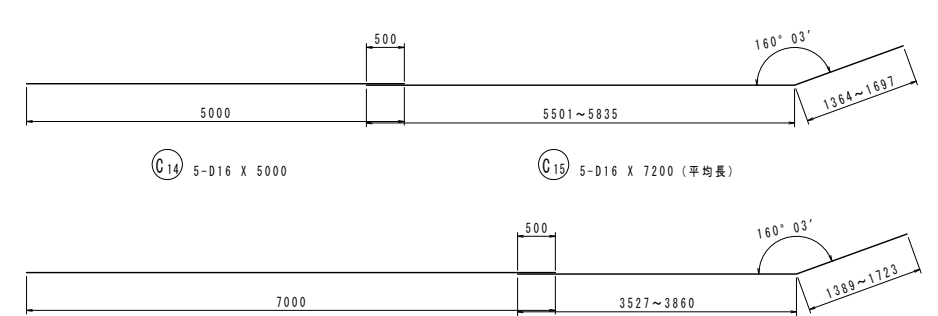
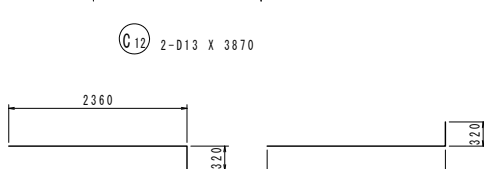
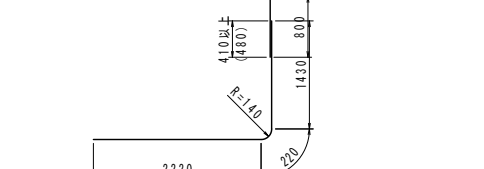
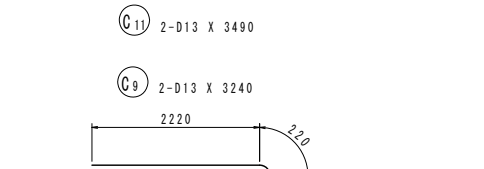
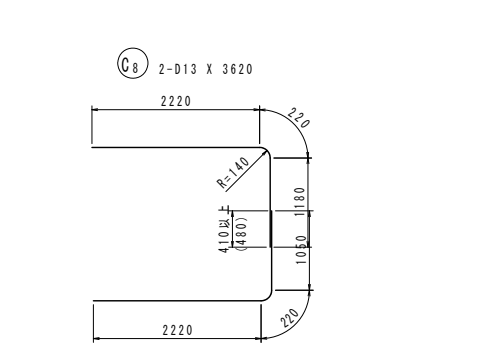
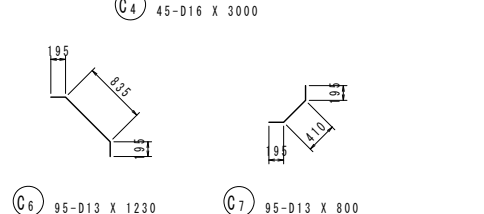
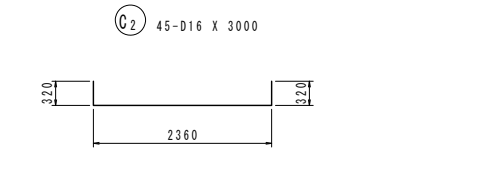
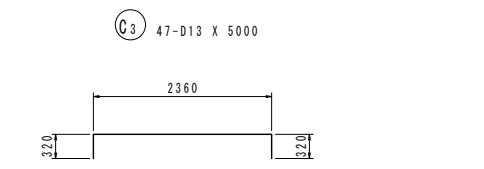
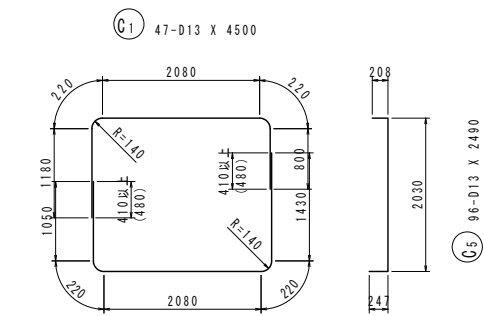


※ 延長方向の寸法は、主鉄筋かぶり位置での寸法とする。
※ 本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	樋門本体配筋図(9)
縮尺	1:50 図面番号 110/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課

樋門本体配筋図(10) s=1:50

[川裏スパン 函体部]



鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
C 1	D13	4500	47	0.995	4.48	211	
C 2	D16	3000	45	1.56	4.68	211	
C 3	D13	5000	47	0.995	4.98	234	
C 4	D16	3000	45	1.56	4.68	211	
C 5	D13	2490	96	0.995	2.48	238	
C 6	D13	1230	95	0.995	1.22	116	
C 7	D13	800	95	0.995	0.80	76	
C 8	D13	3620	2	0.995	3.60	7	
C 9	D13	3240	2	0.995	3.22	6	
C 10	D16	2680	4	1.56	4.18	17	
C 11	D13	3490	2	0.995	3.47	7	
C 12	D13	3870	2	0.995	3.85	8	
C 13	D16	2680	4	1.56	4.18	17	
C 14	D16	5000	5	1.56	7.80	39	
C 15	D16	7200	5	1.56	11.23	56	(平均長)
C 16	D16	7000	5	1.56	10.92	55	
C 17	D16	5250	5	1.56	8.19	41	(平均長)
C 18	D16	7000	5	1.56	10.92	55	
C 19	D16	5200	5	1.56	8.11	41	(平均長)
C 20	D16	5000	5	1.56	7.80	39	
C 21	D16	7250	5	1.56	11.31	57	(平均長)
C 22	D13	11310	6	0.995	11.25	68	
C 23	D13	7000	3	0.995	6.97	21	
C 24	D13	6000	3	0.995	5.97	18	
C 25	D13	5000	3	0.995	4.98	15	
C 26	D13	8000	3	0.995	7.96	24	
C 27	D16	11550	10	1.56	18.02	180	(平均長)
C 28	D16	11310	1	1.56	17.64	18	
C 29	D16	7000	1	1.56	10.92	11	
C 30	D16	6000	1	1.56	9.36	9	

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
C 31	D16	11550	10	1.56	18.02	180	(平均長)
C 32	D16	11310	1	1.56	17.64	18	
C 33	D16	5000	1	1.56	7.80	8	
C 34	D16	8000	1	1.56	12.48	12	
C 35	D13	11190	6	0.995	11.13	67	
C 36	D13	11910	6	0.995	11.85	71	

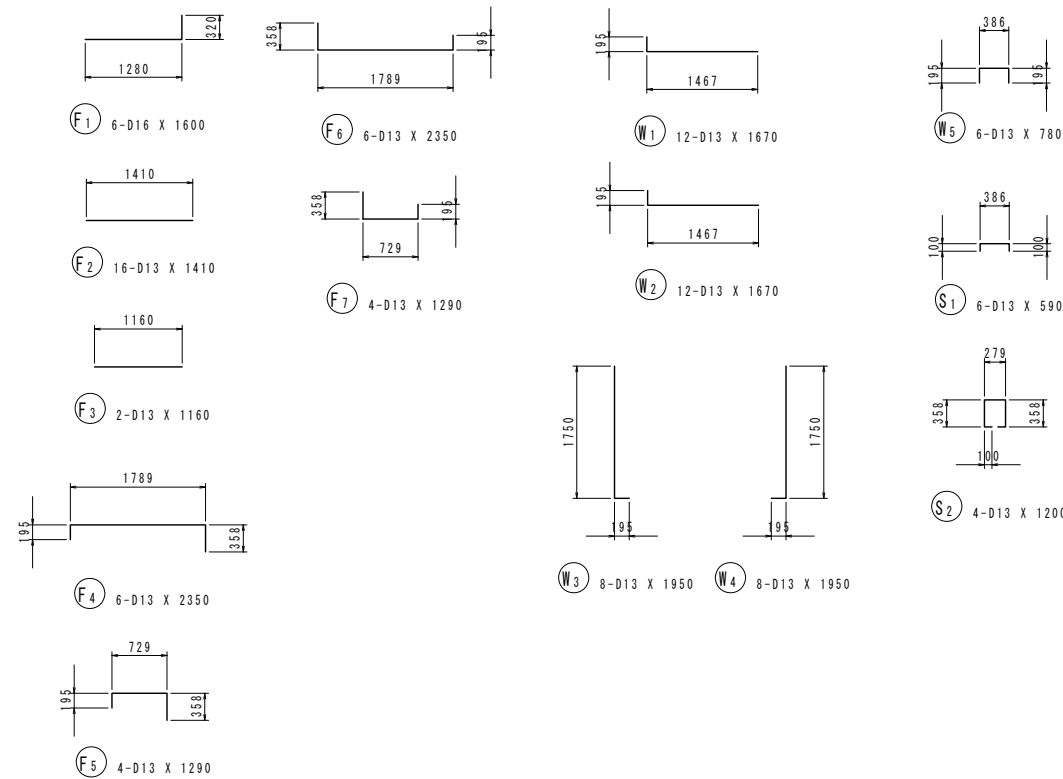
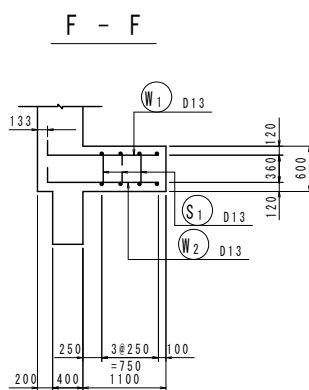
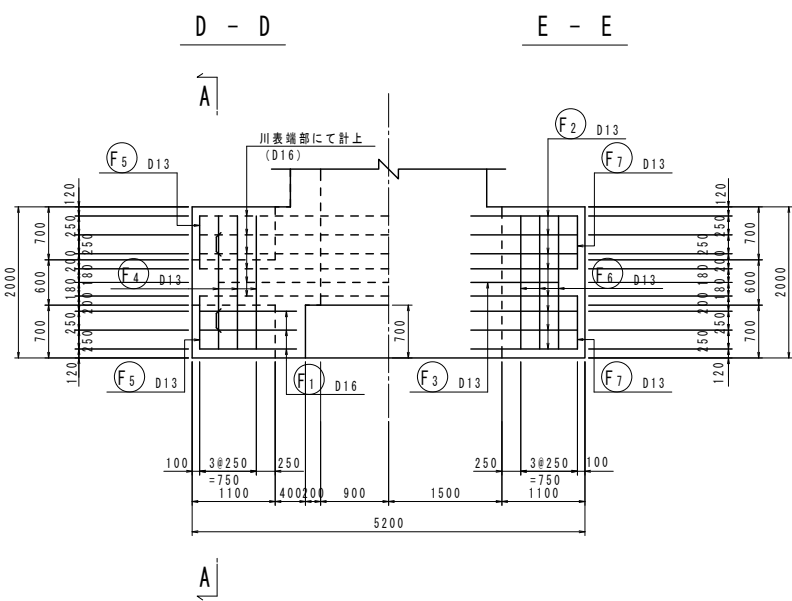
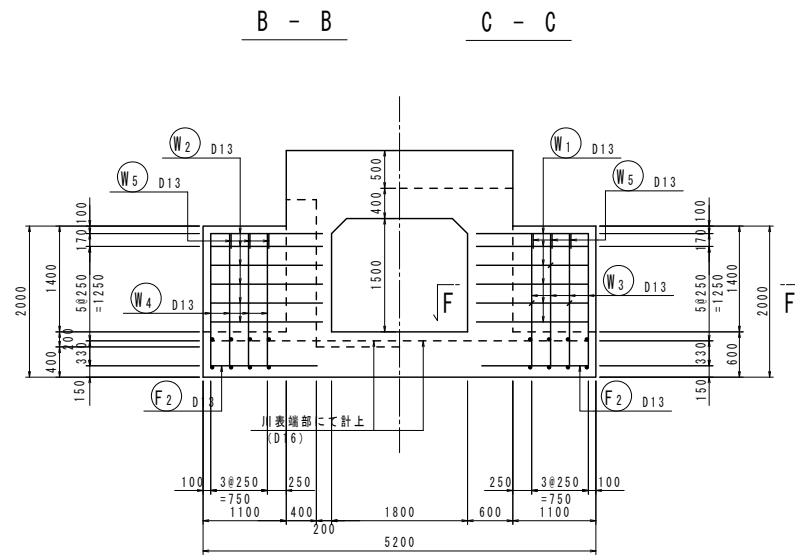
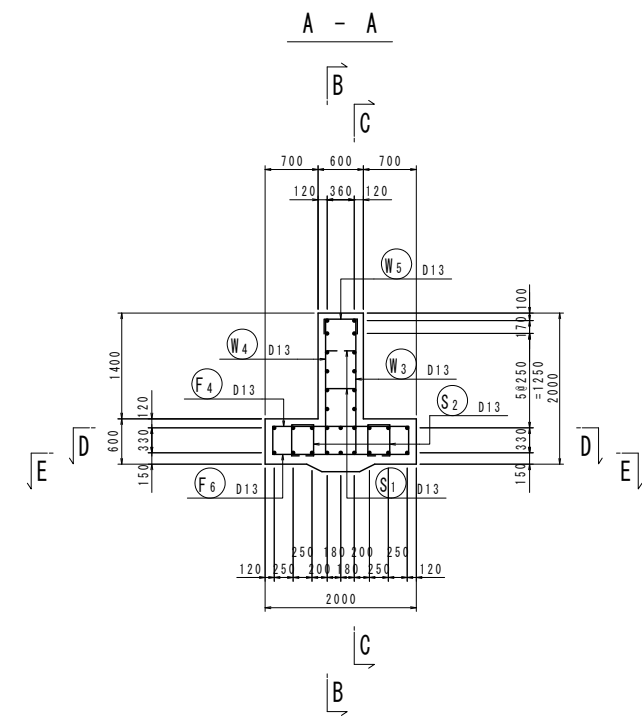
2462							
S 1	D13	860	88	0.995	0.86	76	
S 2	D13	780	2	0.995	0.78	2	
S 3	D13	800	88	0.995	0.80	70	
S 4	D13	720	2	0.995	0.72	1	
S 5	D13	420	141	0.995	0.42	59	
S 6	D13	420	3	0.995	0.42	1	
209							
合計				D16	1275 kg		
合計				D13	1396 kg		
総質量					2671 kg		

※本図面はA1サイズを原寸とする。

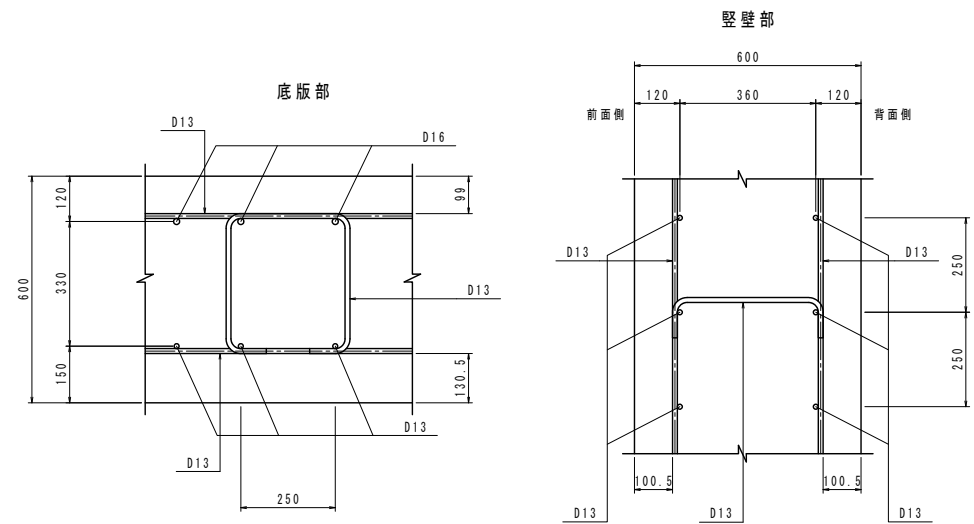
工事名	平成29年度 下建公補第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	樋門本体配筋図(10)
縮尺	1:50 図面番号 111/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課

樋門本体配筋図(11) S=1:50

[川表胸壁部]

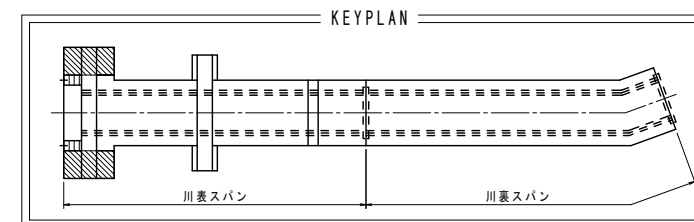


組立図 S=1:10



鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
F ₁	D16	1600	6	1.56	2.50	15	┌
F ₂	D13	1410	16	0.995	1.40	22	┌
F ₃	D13	1160	2	0.995	1.15	2	┌
F ₄	D13	2350	6	0.995	2.34	14	┌
F ₅	D13	1290	4	0.995	1.28	5	┌
F ₆	D13	2350	6	0.995	2.34	14	┌
F ₇	D13	1290	4	0.995	1.28	5	┌
77							
W ₁	D13	1670	12	0.995	1.66	20	┌
W ₂	D13	1670	12	0.995	1.66	20	┌
W ₃	D13	1950	8	0.995	1.94	16	┌
W ₄	D13	1950	8	0.995	1.94	16	┌
W ₅	D13	780	6	0.995	0.78	5	┌
77							
S ₁	D13	590	6	0.995	0.59	4	┌
S ₂	D13	1200	4	0.995	1.19	5	┌
9							
合計 D16					15 kg		
D13					148 kg		
総質量					163 kg		

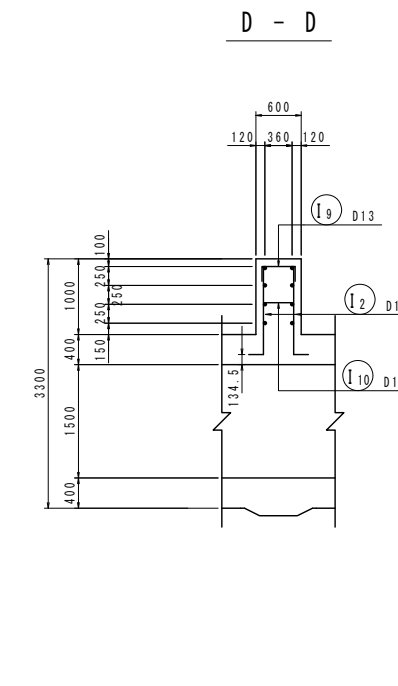
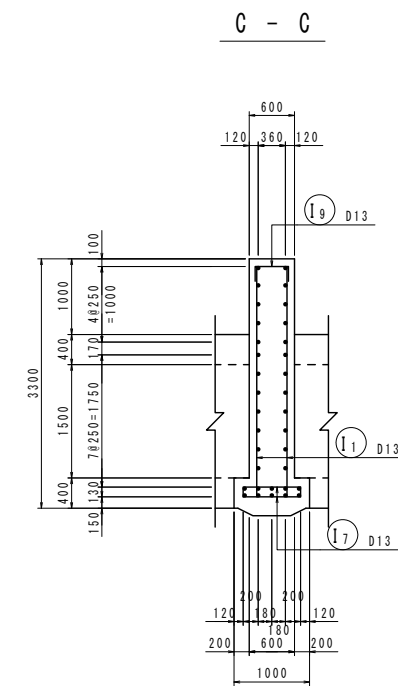
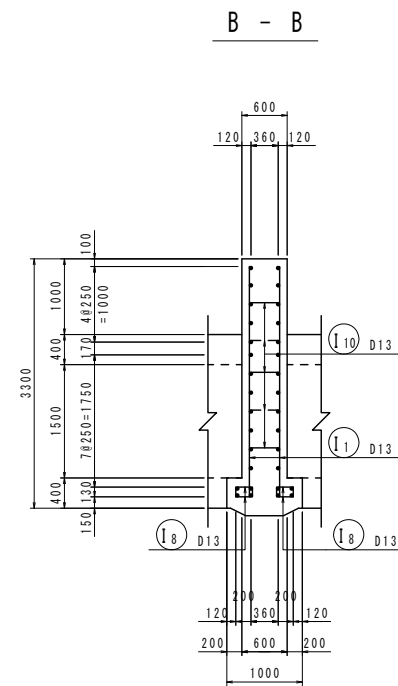
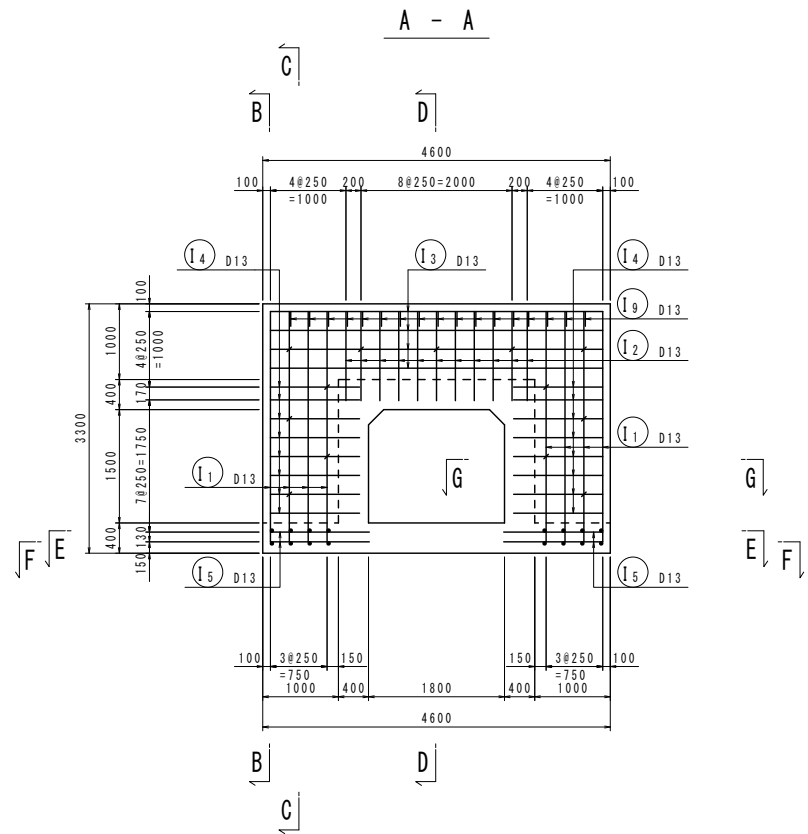


※本図面はA1サイズを原寸とする。

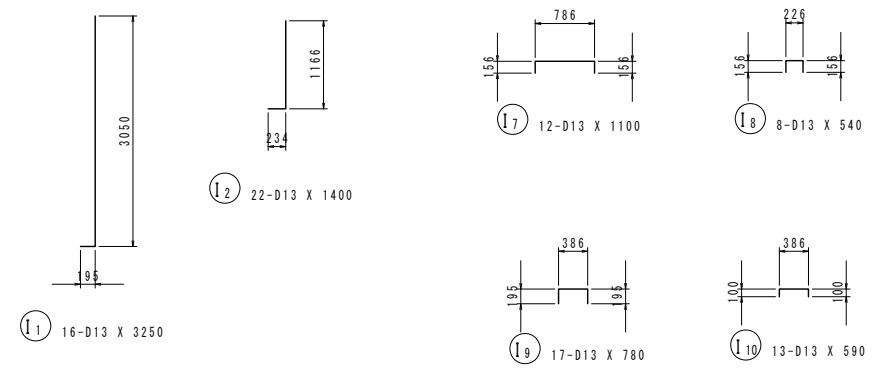
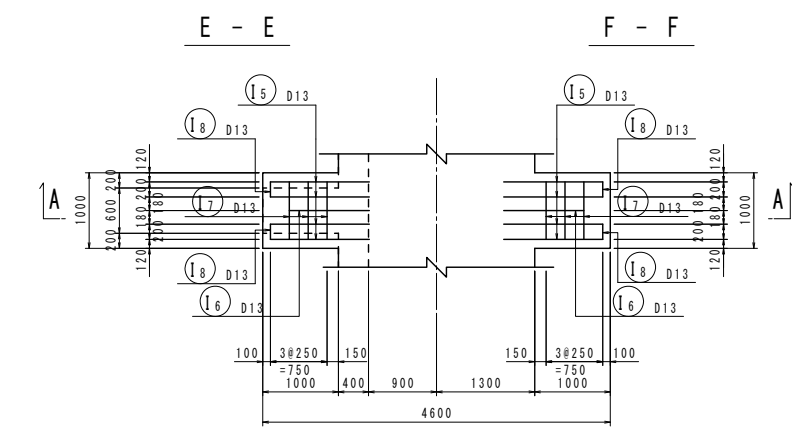
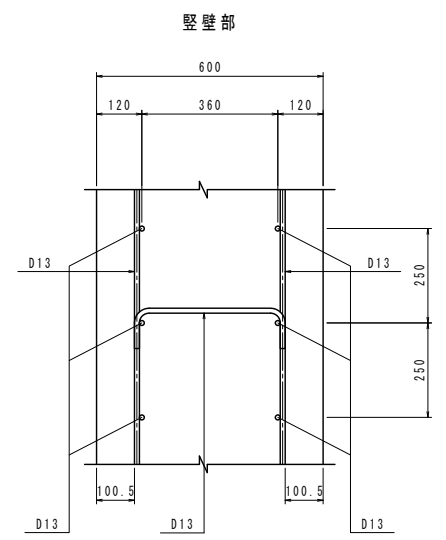
工事名	平成29年度 下建公補継第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	樋門本体配筋図(11)		
縮尺	図示	図面番号	112/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

樋門本体配筋図(12) S=1:50

[遮水壁部]

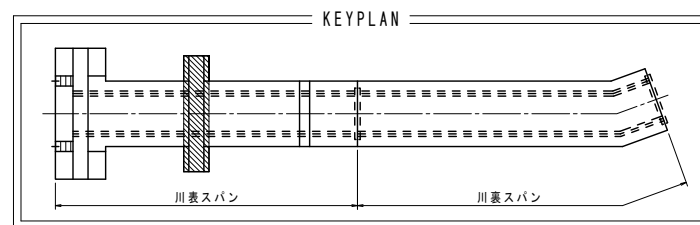
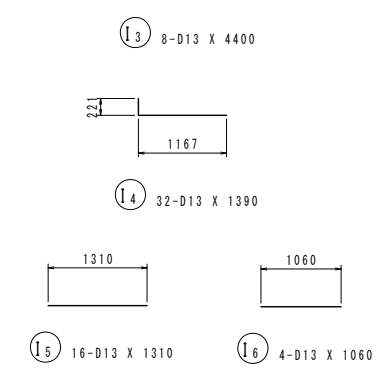
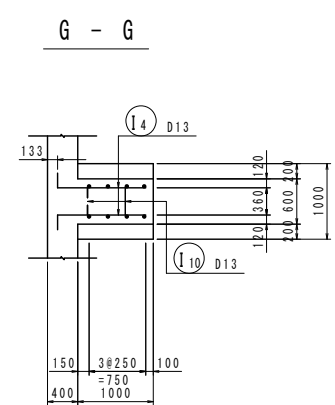


組立図 S=1:10



鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
I1	D13	3250	16	0.995	3.23	52	
I2	D13	1400	22	0.995	1.39	31	J
I3	D13	4400	8	0.995	4.38	35	—
I4	D13	1390	32	0.995	1.38	44	—
I5	D13	1310	16	0.995	1.30	21	—
I6	D13	1060	4	0.995	1.05	4	—
I7	D13	1100	12	0.995	1.09	13	—
I8	D13	540	8	0.995	0.54	4	—
I9	D13	780	17	0.995	0.78	13	—
I10	D13	590	13	0.995	0.59	8	—
						225	
合計 D13				225	kg		
総質量				225	kg		

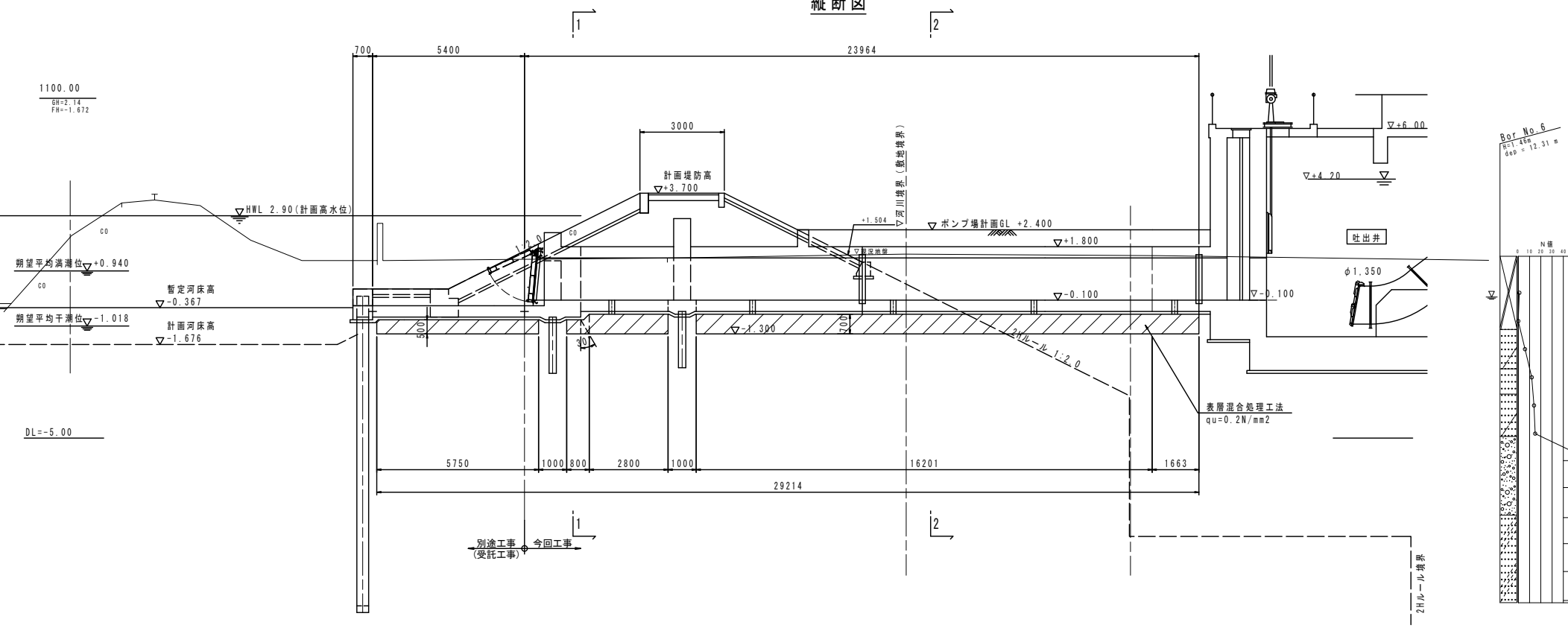


※本図面はA1サイズを原寸とする。

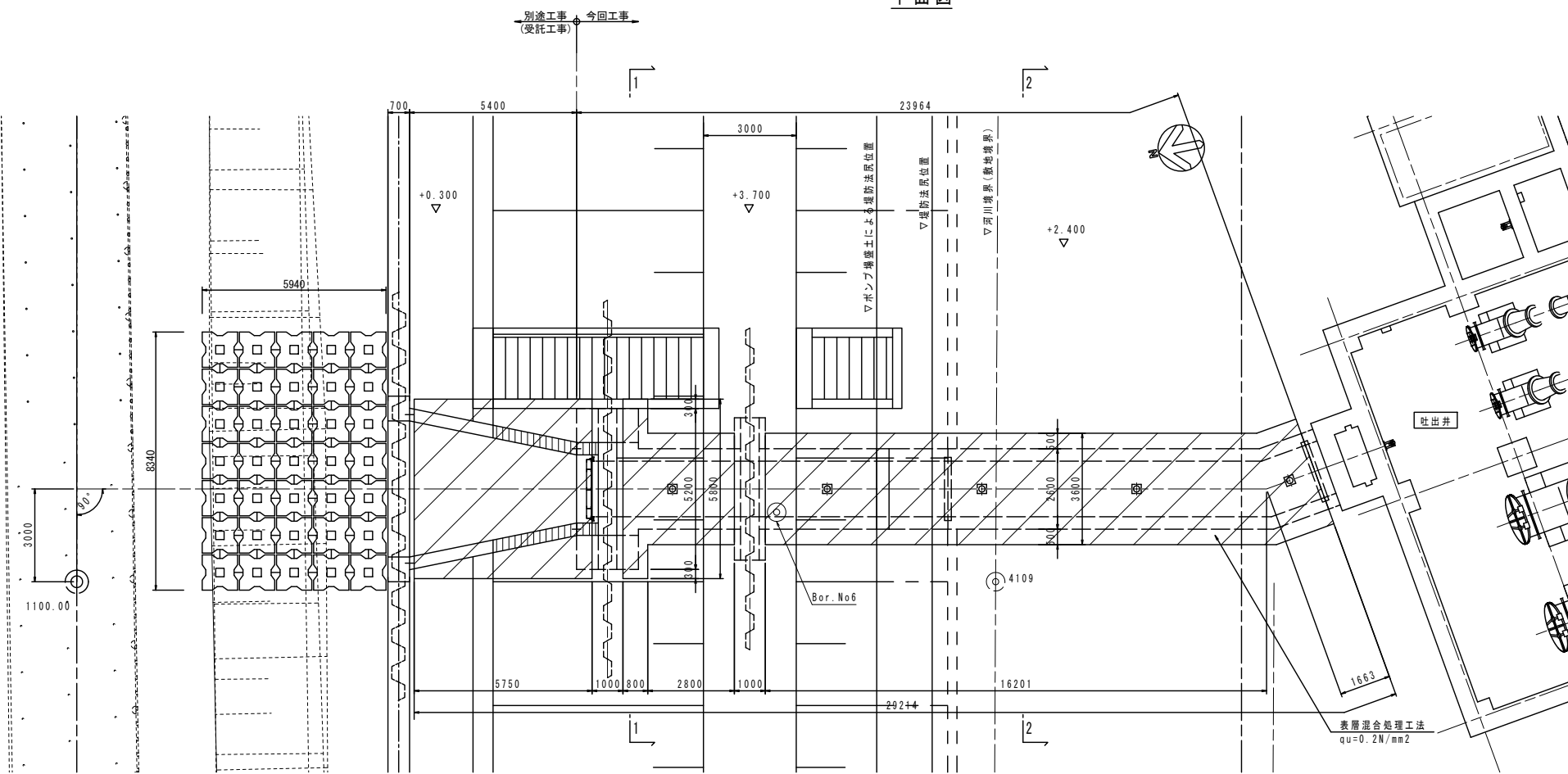
工事名	平成29年度 下建公補総第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	樋門本体配筋図(12)
縮尺	図示 図面番号 113/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課

地盤改良工図 S=1:100

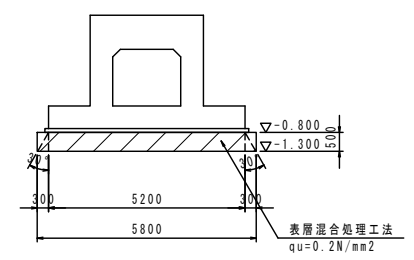
縦断面図



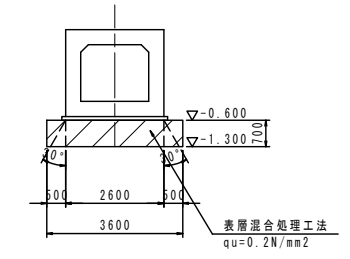
平面図



1 - 1



2 - 2



※本図面はA1サイズを原寸とする。

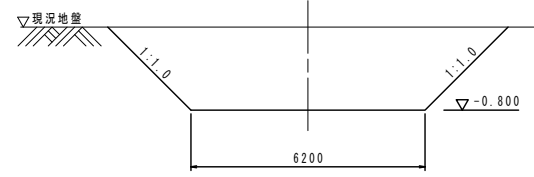
工事名	平成29年度 下建公補第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事	
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内	
図面の種類	地盤改良工図	
縮尺	1:100	図面番号 114/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課	

作業土工図(2) S=1:100

(樋門本体施工時)

1 - 1
2 - 2

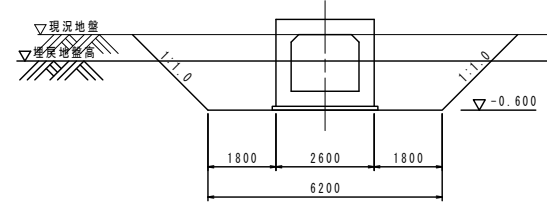
オープン掘削部			
床掘り	H ≤ 5m	18.5 m ²	
埋戻し	埋戻し種別B	0.0 m ²	



DL=-5.00

5' - 5'
6 - 6

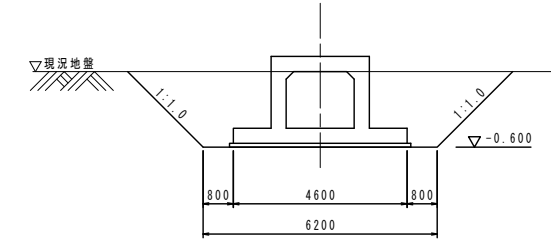
オープン掘削部			
床掘り	H ≤ 5m	16.4 m ²	
埋戻し	埋戻し種別B	6.4 m ²	



DL=-5.00

9' - 9'
10 - 10

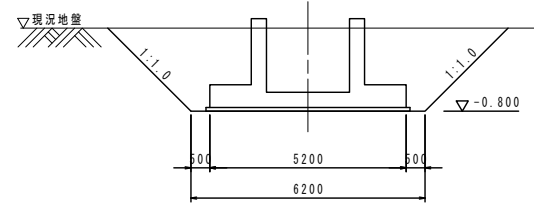
オープン掘削部			
床掘り	H ≤ 5m	16.4 m ²	
埋戻し	埋戻し種別B	10.2 m ²	



DL=-5.00

2' - 2'
3 - 3

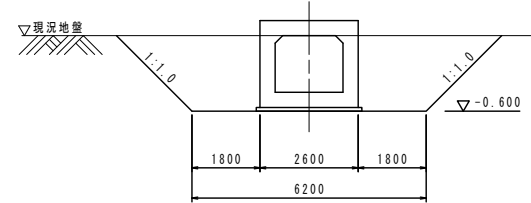
オープン掘削部			
床掘り	H ≤ 5m	18.5 m ²	
埋戻し	埋戻し種別B	0.0 m ²	



DL=-5.00

6' - 6'
7 - 7

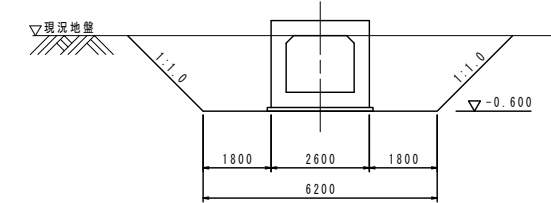
オープン掘削部			
床掘り	H ≤ 5m	16.4 m ²	
埋戻し	埋戻し種別B	11.2 m ²	



DL=-5.00

10' - 10'
11 - 11

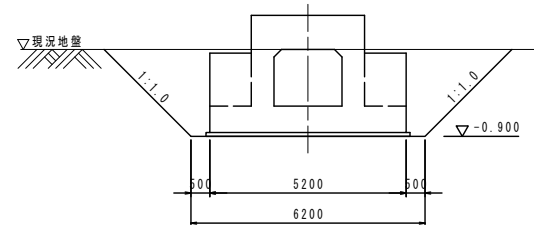
オープン掘削部			
床掘り	H ≤ 5m	16.4 m ²	
埋戻し	埋戻し種別B	11.2 m ²	



DL=-5.00

3' - 3'
4 - 4

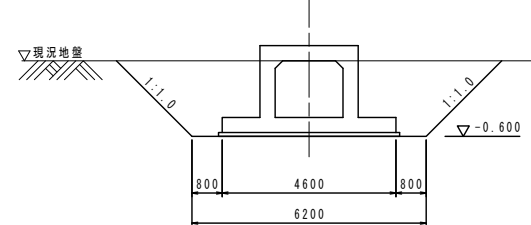
オープン掘削部			
床掘り	H ≤ 5m	19.5 m ²	
埋戻し	埋戻し種別B	0.0 m ²	



DL=-5.00

7' - 7'
8 - 8

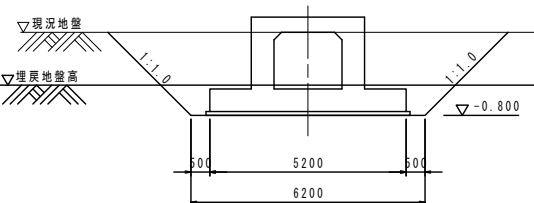
オープン掘削部			
床掘り	H ≤ 5m	16.4 m ²	
埋戻し	埋戻し種別B	10.2 m ²	



DL=-5.00

4' - 4'
5 - 5

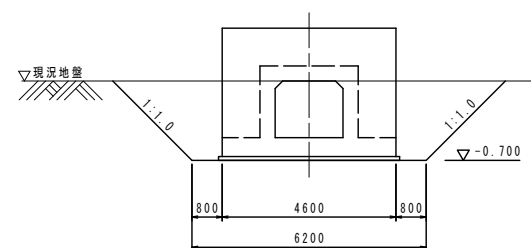
オープン掘削部			
床掘り	H ≤ 5m	18.5 m ²	
埋戻し	埋戻し種別B	1.6 m ²	



DL=-5.00

8' - 8'
9 - 9

オープン掘削部			
床掘り	H ≤ 5m	17.4 m ²	
埋戻し	埋戻し種別B	7.8 m ²	



DL=-5.00

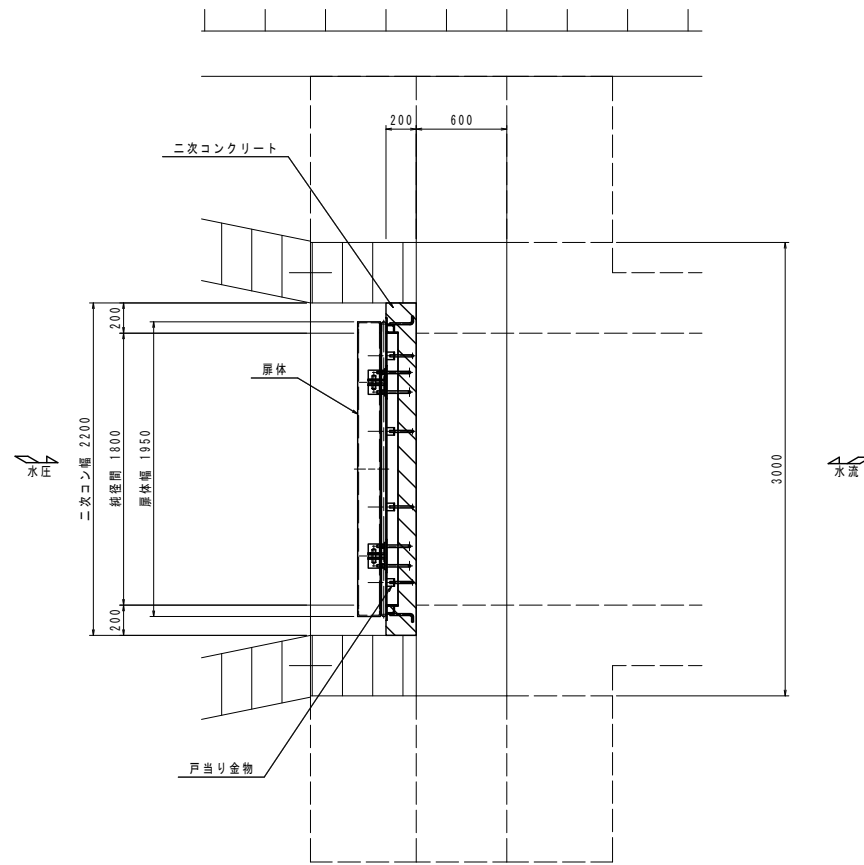
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	作業土工図(2)		
縮尺	1:100	図面番号	116/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

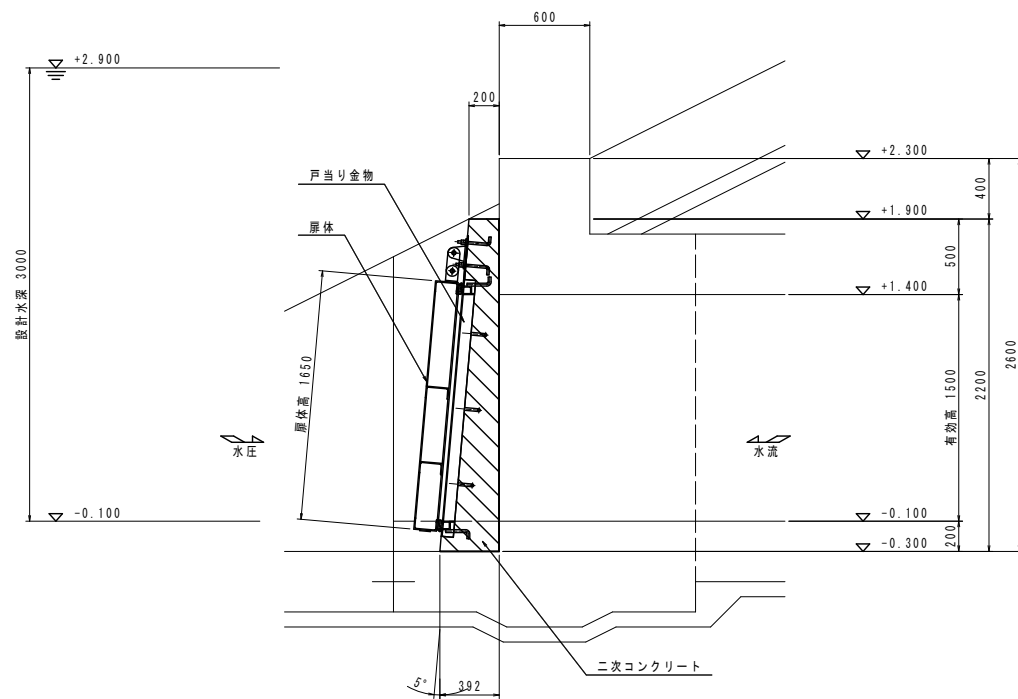
ゲート一般図 (参考図)

S=1:25

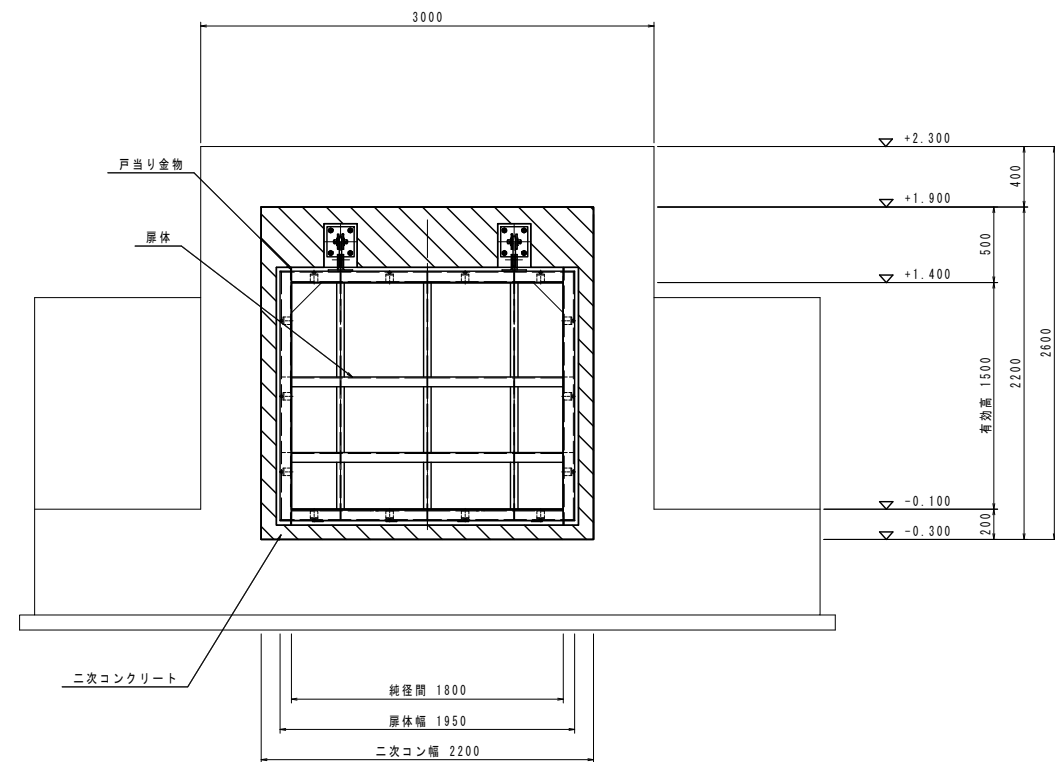
平面図



側面図



正面図

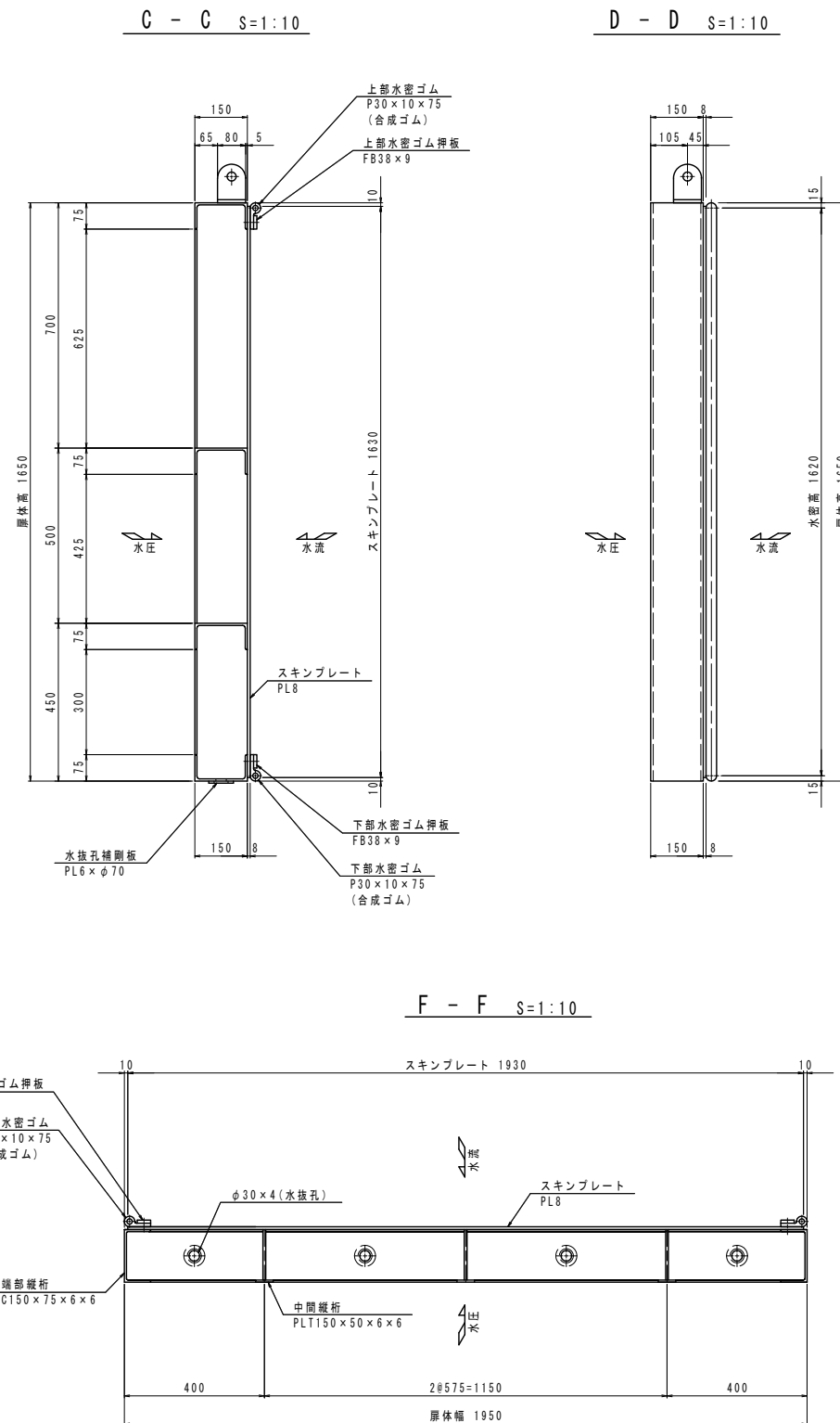
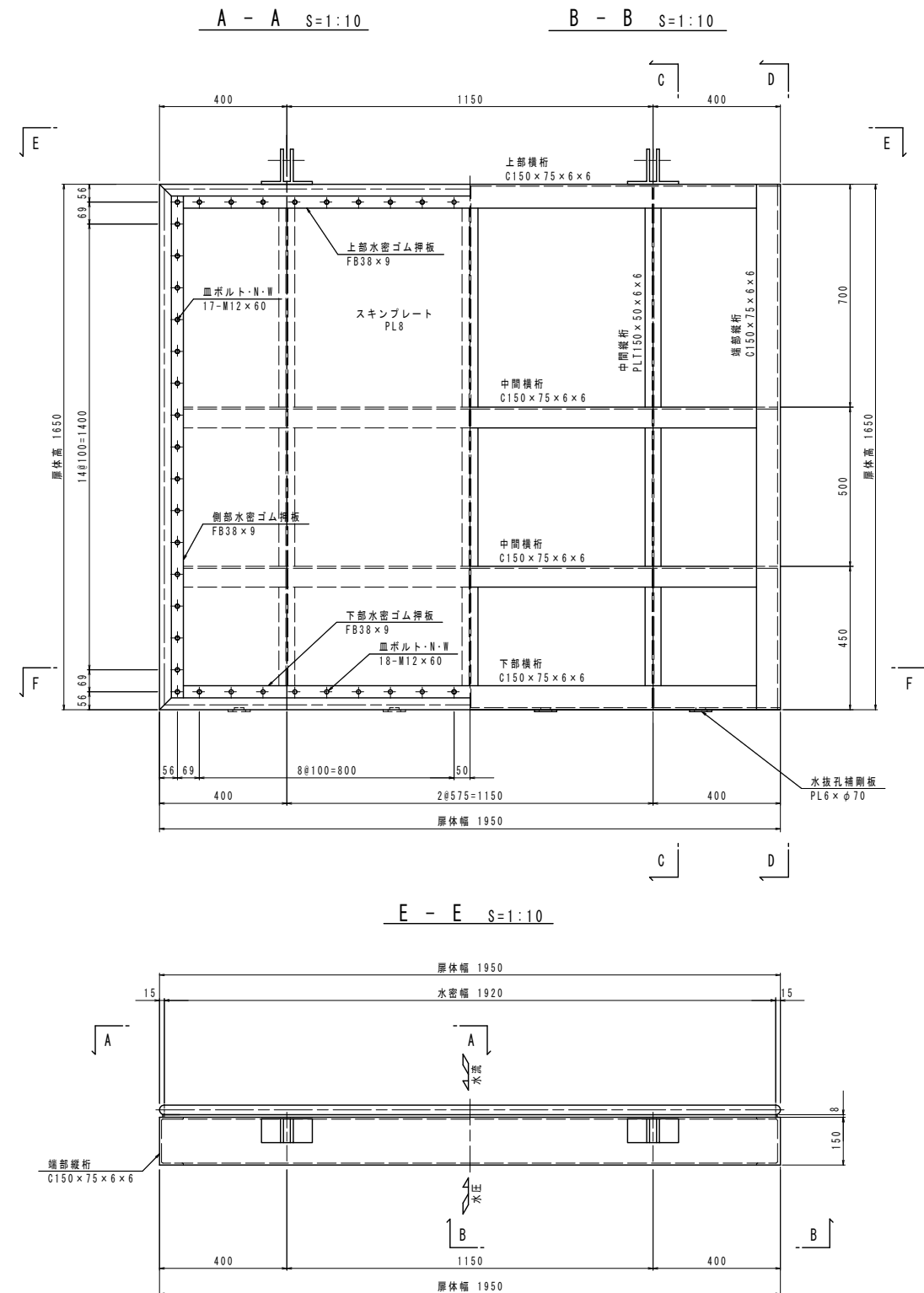


設計仕様			
型式	ステンレス製 フラップゲート		
設置数	1 門		
純径間	1.800 m		
有効高	1.500 m		
設計水深	外水深	3.000 m	▽ +2.900 m
	内水深	0.000 m	▽ -0.100 m
ゲート敷高	▽ -0.100 m		
据付傾斜角	5.0度		
水密方式	後面4方ゴム水密		
主要部材	扉体 SUS304 戸当り SUS304		

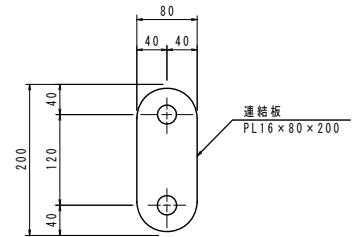
※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事		
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内		
図面の種類	ゲート一般図 (参考図)		
縮尺	1:25	図面番号	117/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

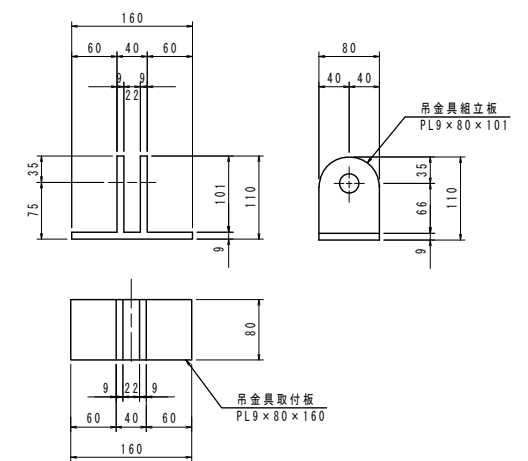
扉体組立図 (参考図)



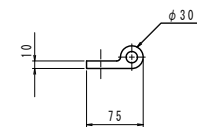
連結板詳細図 S=1:5



吊金具詳細図 S=1:5



水密ゴム詳細図 S=1:5
(合成ゴム)

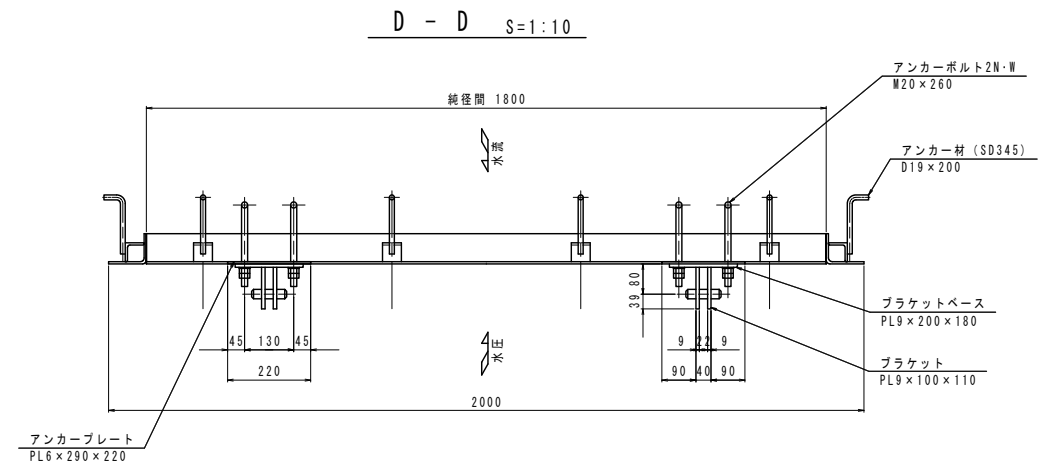
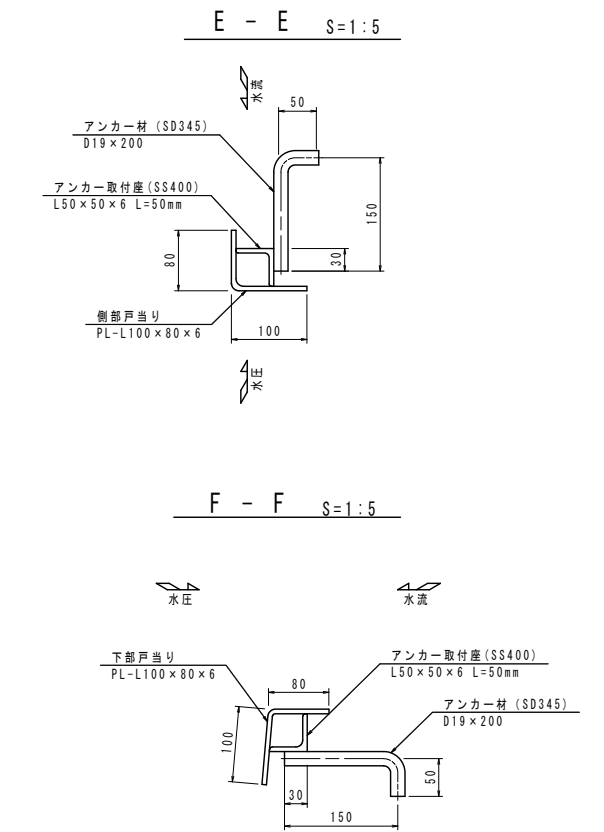
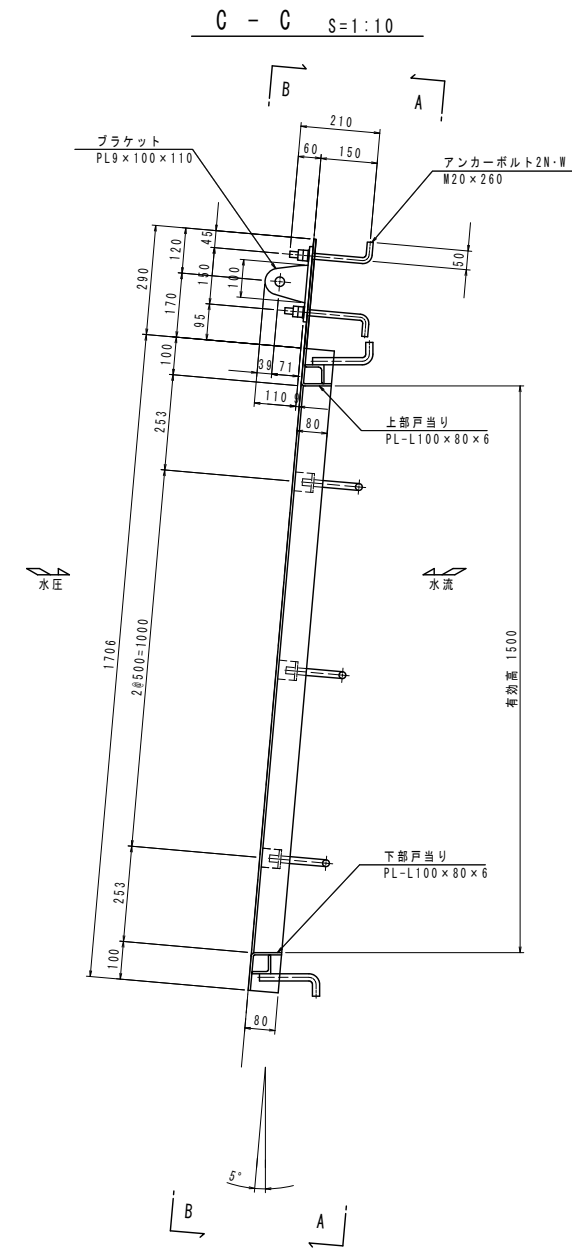
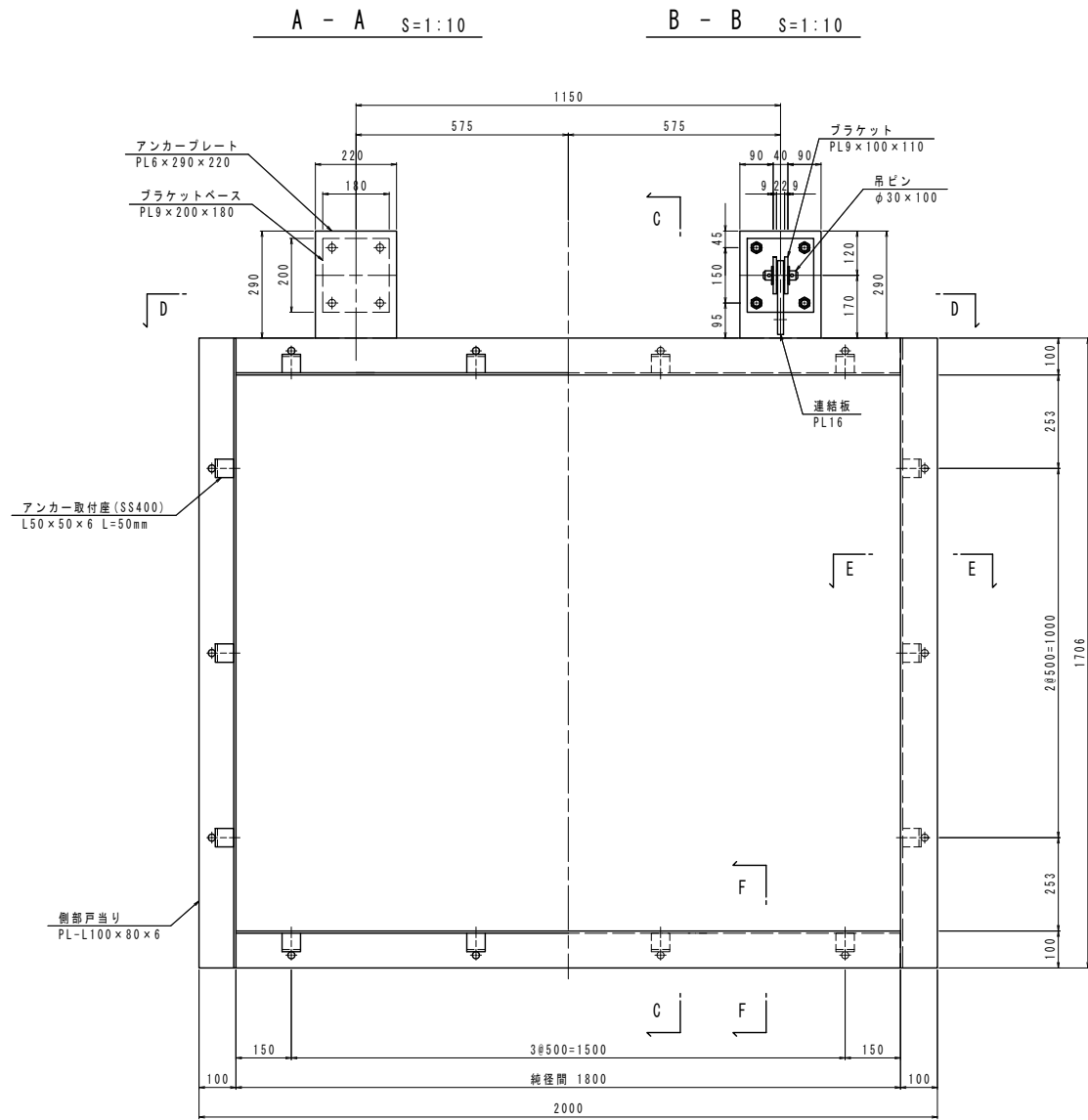


- 特記事項
- 1) 特記無き材質はSUS304とする。
 - 2) 本図は、1門分を示す。必要数は、1門分。
 - 3) 血ボルトが主桁と干渉する場合は、適宜移動させること。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	扉体組立図 (参考図)
縮尺	図示 図面番号 118/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課

戸当り金物組立図 (参考図)



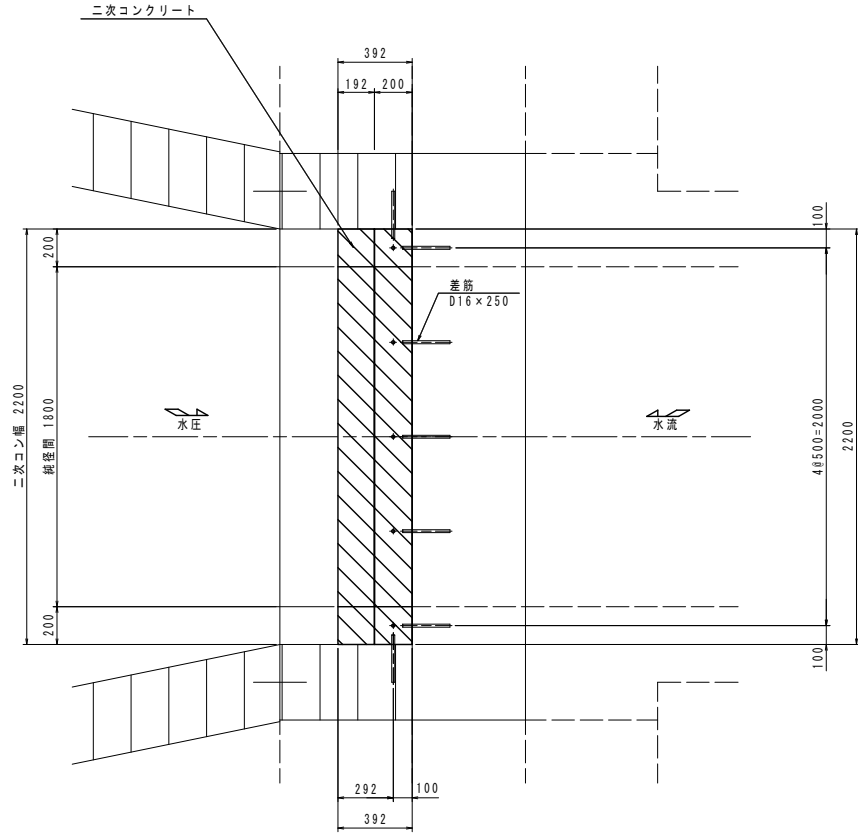
特記事項
 1) 特記無き材質はSUS304とする。
 2) 本図は、1門分を示す。必要数は、1門分。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

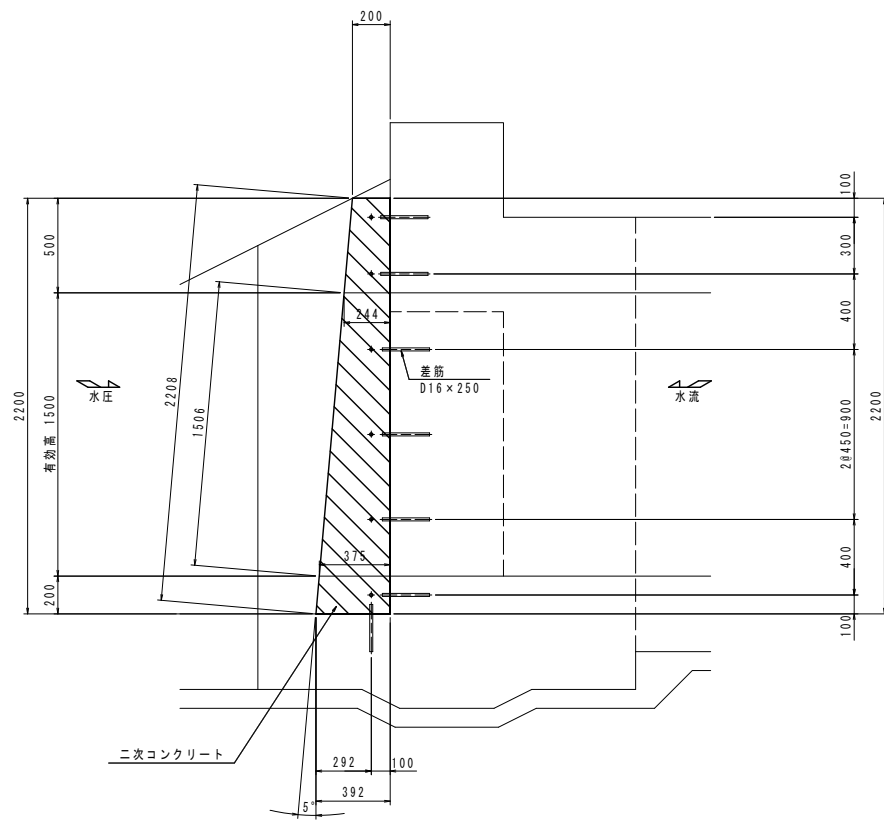
工事名	平成29年度 下建公補第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内
図面の種類	戸当り金物組立図 (参考図)
縮尺	図示 図面番号 119/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課

二次コン差筋図

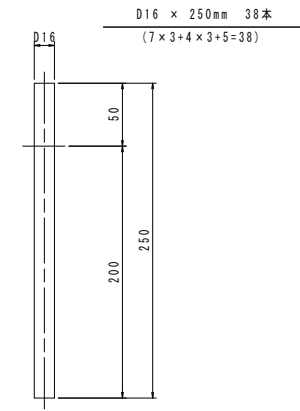
平面図 S=1:20



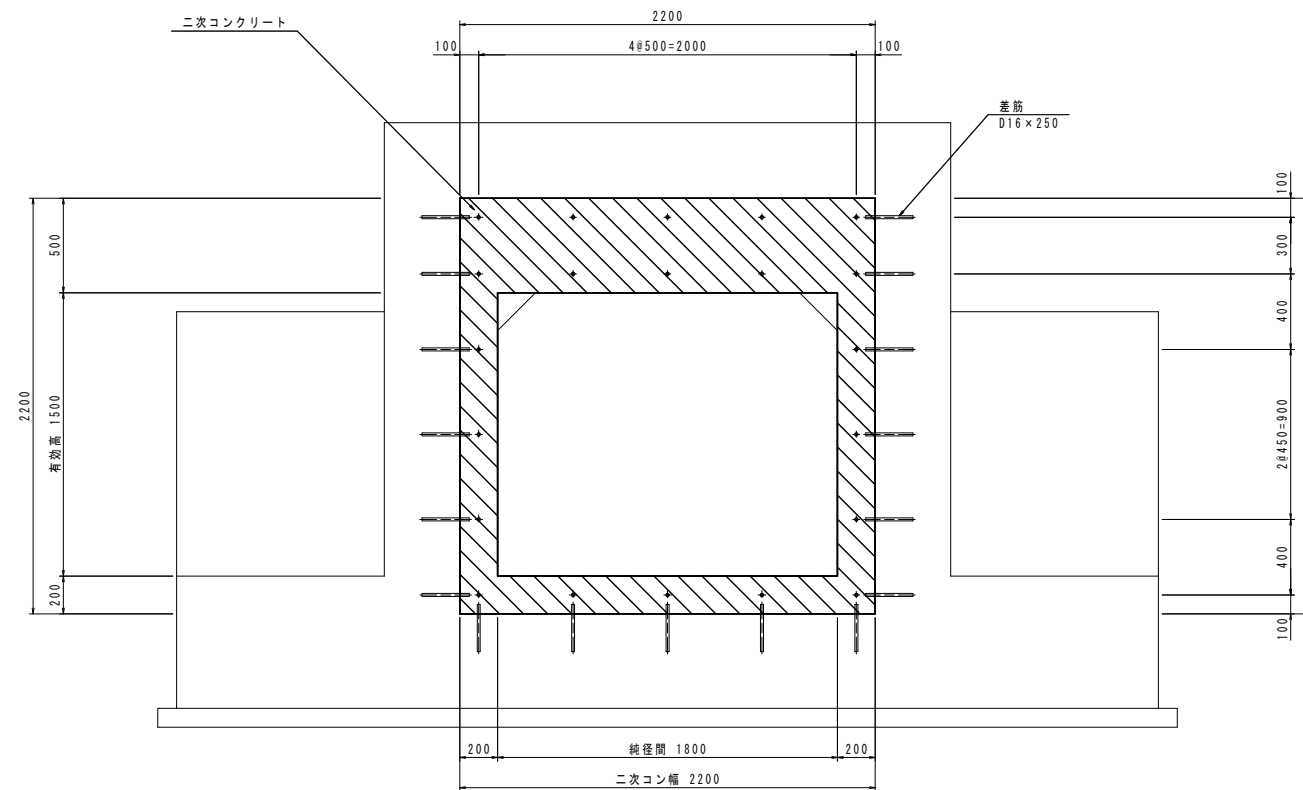
側面図 S=1:20



差筋詳細図 S=1:3



正面図 S=1:20



特記事項

- 1) 部は、箱抜き・二次コンクリートを示す。
- 2) コンクリートの設計基準強度は、 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ とする。
- 3) 差筋の仕様は、SD345とする。
- 4) 本図は、1門分を示す。必要数は、1門分。

※本図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	平成29年度 下建公補第1号 天神ポンプ場 (下部土木) 築造工事	
施工箇所名	津市高茶屋小森上野町地内	
図面の種類	二次コン差筋図	
縮尺	図示	図面番号 120/120
事業所名	津市下水道局下水道建設課	